

令和３年度太宰府まちづくり市民意識調査 報 告 書

太 宰 府 市

目 次

第1章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の性格	1
(1) 調査地域	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査対象者数	1
(4) 抽出方法	1
(5) 調査方法	1
(6) 調査期間	1
(7) 回収状況	1
3. 調査項目	2
4. 調査結果利用上の注意	3
第2章 調査結果の分析	5
第1節 回答者の属性	5
1. 性別（問1）	5
2. 年齢（問2）	6
3. 世帯構成（問3）	7
4. 職業（問4）	8
5. 小学校区（問5）	9
6. 居住年数（問6）	10
第2節 住みやすさについて	11
1. 本市の住みやすさ（問7）	11
2. 住みやすい理由（問8）	12
3. 住みにくい理由（問9）	15
第3節 本市の行政運営について	18
1. 市政への関心度（問10）	18
2. 市政への信頼度（問11）	19
3. 効果的な行政運営に対する評価（問12）	20
4. 市職員の対応・姿勢に対する満足度（問13）	21
5. まちづくりビジョンの認知度（問14）	22
6. 本市が行っている施策について	23
(1) 重要度（31施策）（問15）	23
(2) 満足度（31施策）（問15）	28
(3) 重要度と満足度の相関関係	33
(4) 重要度と満足度の領域別相関関係	34
7. コロナ禍において本市が進めていくべき取り組み（問16）	36
8. 太宰府市自治基本条例の認知度（問17）	37

第4節 日頃の暮らし、行動について	38
1. 子育てのしやすさ（問 18）	38
2. 生きがいの実感（問 19）	39
3. 高齢者福祉サービスの充実度（問 20）	40
4. 障がい福祉サービスの充実度（問 21）	41
5. 公共施設の弱者への配慮（問 22）	42
6. 民間施設の弱者への配慮（問 23）	43
7. 交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況（問 24）	44
8. 地域福祉の促進状況（問 25）	45
9. 健康状態（問 26）	46
10. 健康増進の取り組み状況（問 27）	47
11. 健康診査の受診状況（問 28）	48
12. 市が健康診査（集団健診）を行った場合の利用意向（問 29）	49
13. 災害に対する日頃の備え（問 30）	50
14. 消防団の認知度（問 31）	52
15. 防犯の推進（問 32）	53
16. 安全な消費生活の推進（問 33）	54
17. 人権侵害の経験の有無（問 34）	55
18. 市内での人権の尊重（問 35）	56
19. 固定的な役割分担に対する考え方（問 36）	57
20. DVを受けた経験がある場合の相談経験（問 37）	58
21. 生涯学習活動の取り組み状況（問 38）	59
22. 運動・スポーツの取り組み頻度（問 39）	60
23. 文化芸術活動の取り組み状況（問 40）	61
24. 地域の環境マナーの順守状況（問 41）	62
25. 地域の美化活動への参加状況（問 42）	63
26. 市内の自然の豊かさについて（問 43）	64
27. 野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所について（問 44）	65
28. 生ごみ堆肥化の取り組み状況（問 45）	66
29. 不要な紙類及び古布の資源回収の利用状況（問 46）	67
30. 省エネルギー・省資源の活動状況（問 47）	68
31. 環境に関する学習会等の参加状況（問 48）	69
32. 市内の歴史的景観の美しさに対する評価（問 49）	70
33. 居住地区のまちなみに対する評価（問 50）	71
34. 住環境の快適さに対する評価（問 51）	72
35. 商業施設等の利便性に対する評価（問 52）	73
36. 市内のバスの利便性に対する評価（問 53）	74
37. コミュニティバスの利用頻度（問 54）	75
38. コミュニティバスの運賃や利便性に対する評価（問 55）	76
39. 市内の鉄道の利便性に対する評価（問 56）	77

40. 市内の道路の円滑性に対する評価（問 57）	78
41. 外出時の移動手段（問 58）	79
42. 日頃の買い物場所（問 59）	80
43. 歴史・文化遺産に対する評価（問 60）	81
44. 本市の日本遺産や市民遺産に対する認知度（問 61）	82
45. 観光客の来訪に対する評価（問 62）	83
46. 本市の観光に必要なこと（問 63）	84
47. 姉妹都市・友好都市交流の認知度（問 64）	86
48. 自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況（問 65）	88
49. ボランティア活動への参加状況（問 66）	89
50. 市民と行政との情報共有（問 67）	90
51. 行政情報の接触状況（問 68）	91
52. 市議会情報の接触状況（問 69）	93
第5節 まちづくりに対する自由意見	95
付属資料＜使用した＞調査票	133

第 1 章 調査の概要

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

市民の声を市政に活かし市民参画の行政を進めていくため、市民の生活実態や問題意識、現状の施策に対する評価、今後のまちづくりに対する期待などを把握し、今後のまちづくりの基礎資料とする目的で実施した。

2. 調査の性格

(1)調査地域

太宰府市全域

(2)調査対象

太宰府市内に居住する 18 歳以上の市民

(3)調査対象者数

2,000 人

(4)抽出方法

住民基本台帳による無作為抽出法

(5)調査方法

郵送による発送

郵送及び Web による回答

(お礼兼督促状 1 回郵送)

(6)調査期間

配 布：令和 4 年 2 月 10 日（木）

投函締切：令和 4 年 2 月 24 日（木）

(ただし、3 月 4 日到着分まで有効票とした)

(7)回収状況

有効回収数：1,062 件（回収率 53.1%）

3. 調査項目

回答者の属性	問1	性別
	問2	年齢
	問3	世帯構成
	問4	職業
	問5	小学校区
	問6	居住年数
住みやすさについて	問7	本市の住みやすさ
	問8	住みやすい理由
	問9	住みにくい理由
本市の行政運営について	問10	市政への関心度
	問11	市政への信頼度
	問12	効果的な行政運営に対する評価
	問13	市職員の対応・姿勢に対する満足度
	問14	まちづくりビジョンの認知度
	問15A	施策の重要度(31施策)
	問15B	施策の満足度(31施策)
	問16	コロナ禍において本市が進めていくべき取り組み
	問17	太宰府市自治基本条例の認知度
日頃の暮らし、行動について	問18	子育てのしやすさ
	問19	生きがいの実感
	問20	高齢者福祉サービスの充実度
	問21	障がい福祉サービスの充実度
	問22	公共施設の弱者への配慮
	問23	民間施設の弱者への配慮
	問24	交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況
	問25	地域福祉の推進
	問26	健康状態
	問27	健康増進の取り組み状況
	問28	健康診査の受診状況
	問29	市が健康診査(集団健診)を行った場合の利用意向
	問30	災害に対する日頃の備え
	問31	消防団の認知度
	問32	防犯の推進
	問33	安全な消費生活の推進
	問34	人権侵害の経験の有無
	問35	市内での人権の尊重
	問36	固定的な役割分担に対する考え方
	問37	DVを受けた経験がある場合の相談経験
	問38	生涯学習活動の取り組み状況
	問39	運動・スポーツの取り組み頻度
	問40	文化芸術活動の取り組み状況
	問41	地域の環境マナーの順守状況
	問42	地域の美化活動への参加状況
	問43	市内の自然の豊かさについて
	問44	野鳥や昆虫、水辺の生き物等とふれあう場所について
	問45	生ごみ堆肥化の取り組み状況
	問46	不要な紙類及び古布の資源回収の利用状況
	問47	省エネルギー・省資源の活動状況
	問48	環境に関する学習会等の参加状況
	問49	市内の歴史的景観の美しさに対する評価
	問50	居住地区のまちなみに対する評価
	問51	住環境の快適さに対する評価
	問52	商業施設等の利便性に対する評価
	問53	市内のバスの利便性に対する評価
	問54	コミュニティバスの利用頻度
	問55	コミュニティバスの運賃や利便性に対する評価
	問56	市内の鉄道の利便性に対する評価
	問57	市内の道路の円滑性に対する評価
	問58	外出時の移動手段
	問59	日頃の買い物場所
	問60	歴史・文化遺産に対する評価
	問61	本市の日本遺産や市民遺産に対する認知度
	問62	観光客の来訪に対する評価
	問63	本市の観光に必要なこと
	問64	姉妹都市・友好都市の認知度
	問65	自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況
	問66	ボランティア活動への参加状況
	問67	市民と行政との情報共有
	問68A	「広報だざいふ」の閲覧状況
	問68B	「太宰府市ホームページ」の閲覧状況
	問69A	「太宰府市議会だより」の閲覧状況
	問69B	「太宰府市議会ホームページ」の閲覧状況
自由意見		

4. 調査結果利用上の注意

- (1) 単数回答の集計については、設問ごとに無回答の項目を設けて、これを含めた全体の基数（標本数）を100%としている。なお、回答率は小数点以下第2位を四捨五入しているため、数表、図表に示す回答率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- (2) 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の集計については、項目別に、基数（標本数）に対するその項目を選んだ回答者の割合としている。従って、数表、図表に示す各項目の回答率の合計は100%を超える場合がある。
- (3) 数表、図表、文中に示すN、nは、回答率算出上の基数（標本数）である。
N＝標本全数
n＝該当数（その質問を回答しなくてよい人を除いた数）
- (4) 付問は前問で特定の回答をした一部の回答者のみに対して続けて行った質問である。この場合の回答者は設問回答の該当者のみである。
- (5) 文中の選択肢の表記は「 」で行い、選択肢のうち、2つ以上のものを合計して表す場合は『 』としている。
- (6) 過去の調査結果と比較検討が可能な設問については、図中ではH29年度調査、H30年度調査、R1年度調査、R2年度調査の表記で掲載している。なお、一部の質問文や選択肢では、過去の調査とは文言が変更になっているものもある。
- (7) 表中「20歳代」は、18歳・19歳を含む。

第 2 章 調査結果の分析

第2章 調査結果の分析

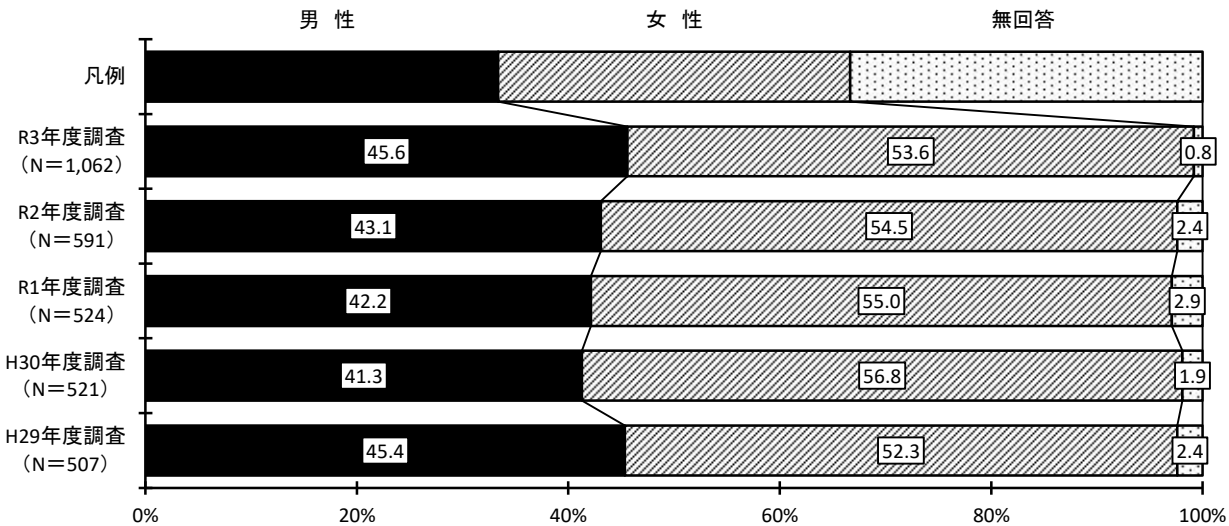
第1節 回答者の属性

1. 性別(問1)

● 回答者の性別は「男性」が45.6%、「女性」が53.6%となっている。

回答者の性別は、「男性」が45.6%、「女性」が53.6%で、女性の方が8.0ポイント高くなっている。
過去の調査結果と比べると、「女性」の方が高い傾向は変わらない。
年代別にみると、70歳代以上を除いたすべての年代において、「女性」の方が「男性」より高くなっている。
小学校区別にみると、水城西小学校区を除き、「女性」の方が「男性」より高くなっている。

問1. あなたの戸籍上の性別についてお選びください。



		標本数	男性	女性	無回答
全 体		1,062	484	569	9
		100.0	45.6	53.6	0.8
年 代 別	20歳代	78	41.0	57.7	1.3
	30歳代	107	42.1	57.9	—
	40歳代	201	42.8	57.2	—
	50歳代	201	40.3	58.2	1.5
	60歳代	200	49.0	50.5	0.5
	70歳代以上	272	52.2	46.7	1.1
	無回答	3	—	66.7	33.3
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	47.0	51.9	1.1
	太宰府東小学校区	112	47.3	52.7	—
	太宰府南小学校区	122	38.5	60.7	0.8
	水城小学校区	134	41.8	58.2	—
	水城西小学校区	123	52.0	47.2	0.8
	太宰府西小学校区	187	44.9	54.0	1.1
	国分小学校区	140	47.9	51.4	0.7
	わからない	48	43.8	54.2	2.1
	無回答	13	46.2	46.2	7.7

2. 年齢(問2)

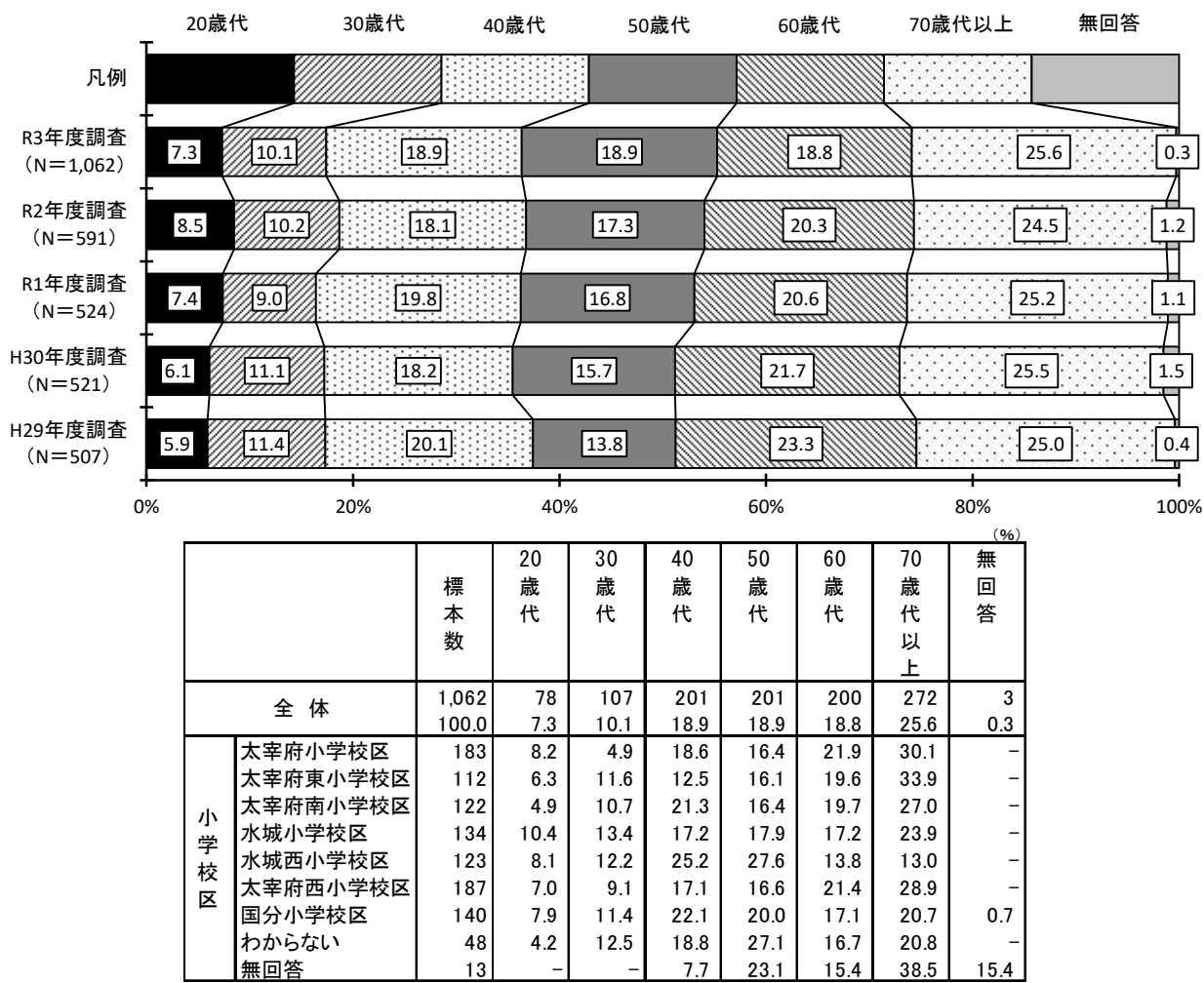
● 回答者の年齢は 70 歳代以上が最も多くなっている。

回答者の年齢は、「70 歳代以上」(25.6%) が最も高く、次いで「40 歳代」「50 歳代」(18.9%)、「60 歳代」(18.8%) の順となっている。

過去の調査結果と比べると、「50 歳代」は 1.6 ポイント、「70 歳代以上」は 1.1 ポイント増加している。一方、「20 歳代」は 1.2 ポイント減少している。

小学校区別にみると、水城西小学校区、国分小学校区を除き、「70 歳代以上」が最も高くなっている。一方、水城西小学校区は「50 歳代」(27.6%)、国分小学校区は「40 歳代」(22.1%) が最も高くなっている。

問2. あなたの年齢を次の中からお選びください。



3. 世帯構成(問3)

- 「2世代世帯(親と子)」が5割以上、「夫婦のみ」の世帯が3割以上となっている。
- 60歳代以上では「夫婦のみ」の世帯の割合が高く、50歳代以下では「2世代世帯(親と子)」の割合が高い。

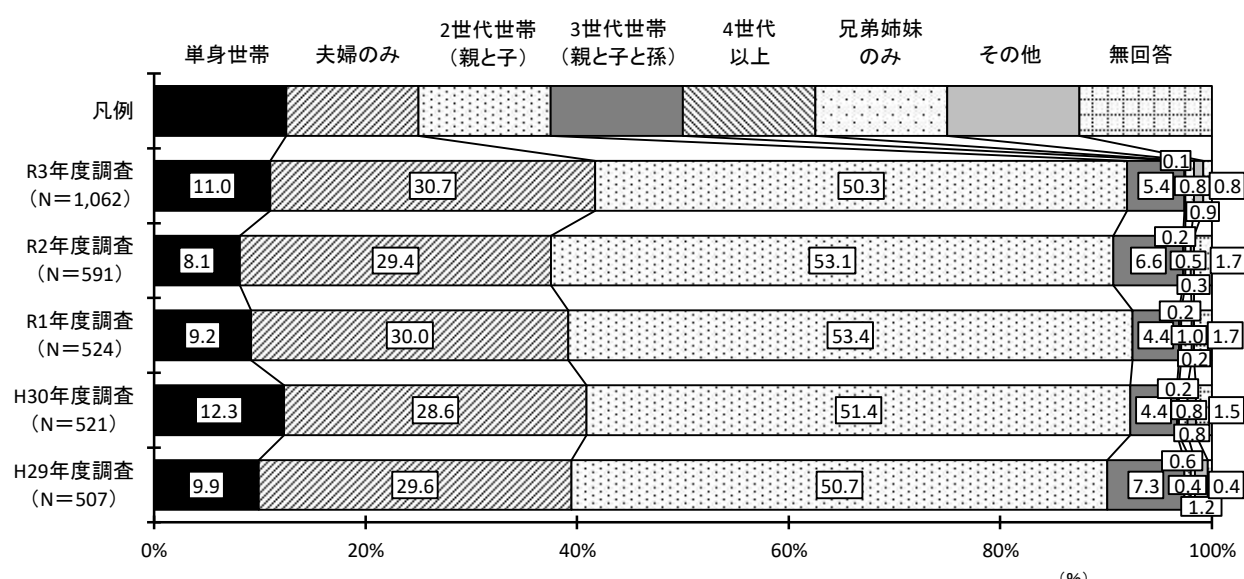
回答者の世帯構成は、「2世代世帯(親と子)」(50.3%)が最も高く、次いで「夫婦のみ」(30.7%)、「単身世帯」(11.0%)の順となっている。

性別にみると、男女とも「2世代世帯(親と子)」が最も高くなっている。

年代別にみると、60歳代以上では、「夫婦のみ」が最も高くなっており、50歳代以下では「2世代世帯(親と子)」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「2世代世帯(親と子)」が最も高くなっている。

問3. あなたの世帯構成について次の中から選びください。



		標本数	単身世帯	夫婦のみ	2世代世帯(親と子)	3世代世帯(親と子と孫)	4世代以上	兄弟姉妹のみ	その他	無回答
全体		1,062	11.0	30.7	50.3	5.4	0.1	0.8	0.9	0.8
性別	男性	484	11.0	32.2	49.4	5.0	-	1.0	0.8	0.6
	女性	569	10.9	29.2	51.7	5.6	0.2	0.7	1.1	0.7
	無回答	9	22.2	44.4	11.1	11.1	-	-	-	11.1
年代別	20歳代	78	10.3	15.4	65.4	6.4	1.3	-	1.3	-
	30歳代	107	6.5	7.5	84.1	1.9	-	-	-	-
	40歳代	201	4.5	10.0	77.1	6.5	-	0.5	1.0	0.5
	50歳代	201	10.0	23.4	58.2	6.0	-	0.5	1.5	0.5
	60歳代	200	11.5	52.0	30.0	5.0	-	1.0	-	0.5
	70歳代以上	272	18.4	49.6	22.1	5.5	-	1.8	1.5	1.1
	無回答	3	-	-	33.3	-	-	-	-	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	183	13.7	30.1	44.3	6.0	0.5	2.7	1.6	1.1
	太宰府東小学校区	112	5.4	42.0	48.2	2.7	-	0.9	-	0.9
	太宰府南小学校区	122	6.6	25.4	59.0	6.6	-	0.8	1.6	-
	水城小学校区	134	13.4	31.3	48.5	4.5	-	0.7	1.5	-
	水城西小学校区	123	6.5	26.0	60.2	7.3	-	-	-	-
	太宰府西小学校区	187	9.6	35.3	48.7	5.3	-	0.5	0.5	-
	国分小学校区	140	10.0	23.6	57.1	7.1	-	-	0.7	1.4
	わからない	48	37.5	35.4	27.1	-	-	-	-	-
	無回答	13	15.4	23.1	30.8	-	-	-	7.7	23.1

4. 職業(問4)

● 職業は「会社員」(28.2%)、「無職」(25.0%)、「パート・アルバイトなど」(16.6%)が主である。

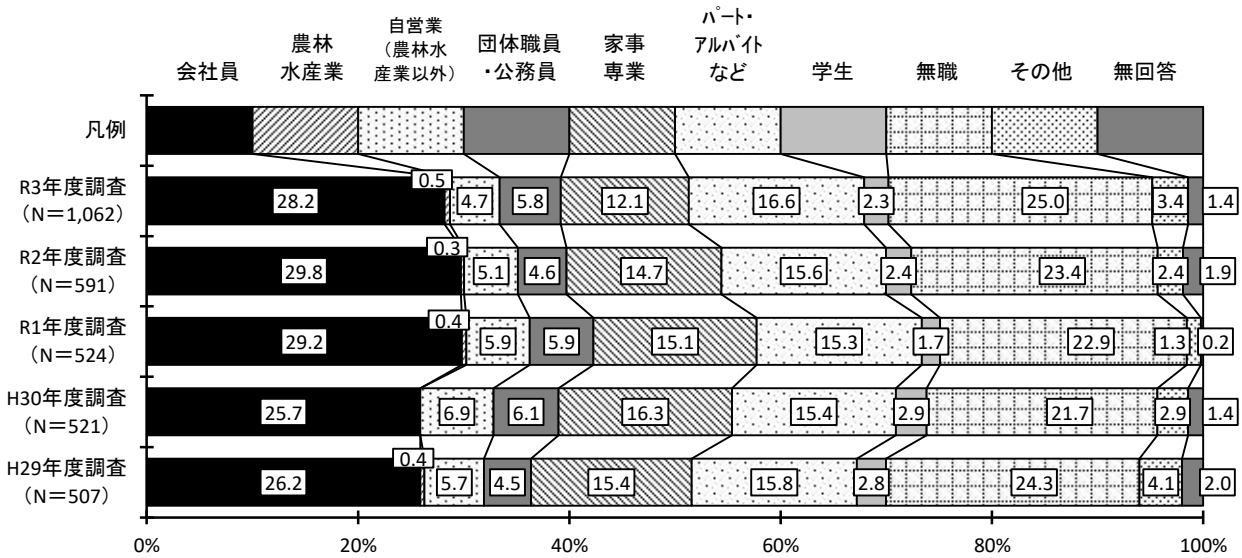
回答者の職業は、「会社員」(28.2%)が最も高く、次いで「無職」(25.0%)、「パート・アルバイトなど」(16.6%)の順となっている。

過去の調査結果と比べると、「無職」の割合は過去5年間の調査で最も高くなっている。

性別にみると、男性は「会社員」(38.4%)が最も高くなっており、女性は「パート・アルバイト」(25.3%)が最も高くなっている。

小学校区別にみると、「会社員」が最も高いのは、水城西小学校区(39.0%)となっている。一方、「無職」が最も高いのは太宰府東小学校区(33.0%)となっている。

問4. あなたのご職業を次の中からお選びください。



		標本数	会社員	農林水産業	自営業(農林水産業以外)	団体職員・公務員	家事専業	パート・アルバイトなど	学生	無職	その他	無回答
全体		1,062	299	5	50	62	129	176	24	266	36	15
		100.0	28.2	0.5	4.7	5.8	12.1	16.6	2.3	25.0	3.4	1.4
性別	男性	484	38.4	0.6	6.6	7.4	-	6.6	3.3	32.4	3.7	0.8
	女性	569	19.7	0.4	3.2	4.6	22.3	25.3	1.4	18.5	3.0	1.8
	無回答	9	11.1	-	-	-	22.2	-	-	44.4	11.1	11.1
性別・年代別	男性: 20歳代	32	21.9	3.1	-	-	-	12.5	46.9	12.5	3.1	-
	男性: 30歳代	45	66.7	2.2	6.7	6.7	-	4.4	2.2	6.7	4.4	-
	男性: 40歳代	86	67.4	1.2	11.6	15.1	-	1.2	-	3.5	-	-
	男性: 50歳代	81	65.4	-	7.4	14.8	-	1.2	-	8.6	1.2	1.2
	男性: 60歳代	98	29.6	-	7.1	6.1	-	10.2	-	39.8	4.1	3.1
	男性: 70歳代以上	142	6.3	-	4.2	1.4	-	9.9	-	71.1	7.0	-
	女性: 20歳代	45	42.2	2.2	-	4.4	8.9	11.1	17.8	11.1	2.2	-
	女性: 30歳代	62	37.1	-	3.2	4.8	6.5	40.3	-	6.5	1.6	-
	女性: 40歳代	115	31.3	-	3.5	6.1	13.0	33.0	-	6.1	4.3	2.6
	女性: 50歳代	117	20.5	0.9	4.3	10.3	17.9	30.8	-	9.4	3.4	2.6
	女性: 60歳代	101	7.9	-	4.0	2.0	41.6	22.8	-	15.8	5.0	1.0
	女性: 70歳代以上	127	1.6	-	2.4	-	32.3	12.6	-	48.0	0.8	2.4
小学校区別	無回答	11	9.1	-	-	-	18.2	9.1	-	45.5	9.1	9.1
	太宰府小学校区	183	25.7	0.5	8.2	4.9	14.8	12.6	2.7	26.2	3.3	1.1
	太宰府東小学校区	112	17.9	-	4.5	8.9	9.8	21.4	0.9	33.0	2.7	0.9
	太宰府南小学校区	122	30.3	-	2.5	9.0	12.3	15.6	1.6	25.4	2.5	0.8
	水城小学校区	134	31.3	0.7	1.5	2.2	10.4	20.9	3.7	22.4	3.0	3.7
	水城西小学校区	123	39.0	0.8	4.1	10.6	10.6	16.3	1.6	14.6	1.6	0.8
	太宰府西小学校区	187	26.7	0.5	4.8	4.8	13.4	15.0	3.7	27.8	2.7	0.5
	国分小学校区	140	29.3	-	6.4	5.0	15.7	15.0	0.7	20.0	7.1	0.7
わからない		48	25.0	2.1	2.1	-	2.1	27.1	2.1	33.3	6.3	-
無回答		13	15.4	-	7.7	-	7.7	-	-	46.2	-	23.1

5. 小学校区(問5)

- 住んでいる小学校区は「太宰府西小学校区」(17.6%)と「太宰府小学校区」(17.2%)が多くなっている。

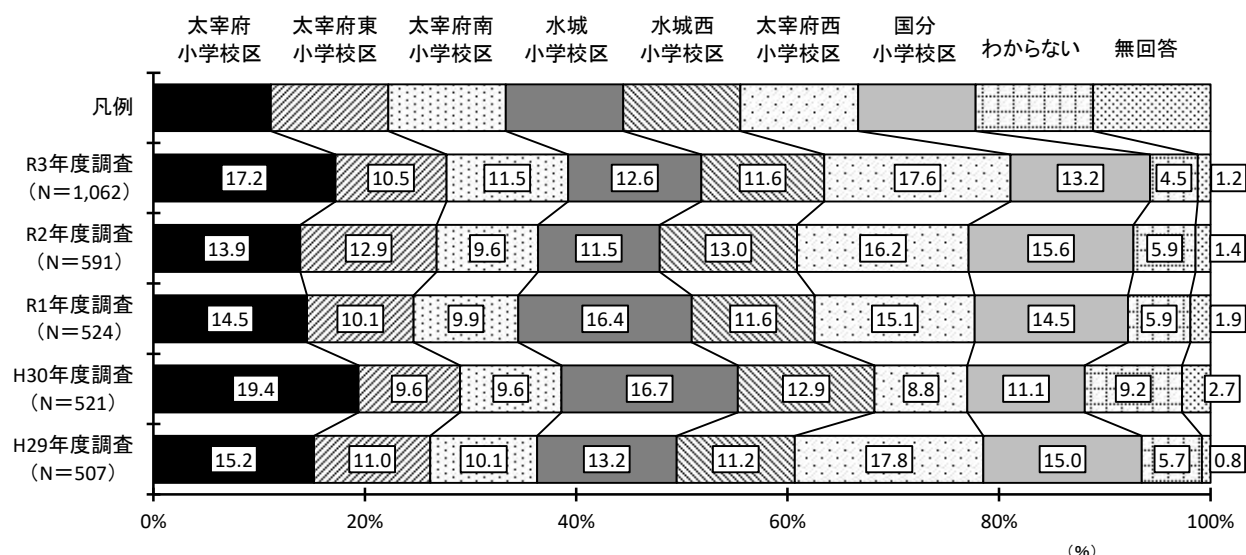
回答者の住んでいる小学校区は「太宰府西小学校区」(17.6%)が最も高く、次いで「太宰府小学校区」(17.2%)、「国分小学校区」(13.2%)の順となっている。

過去の調査結果と比べると、「太宰府東小学校区」、「国分小学校区」は前回調査から2.4ポイント減少している。

性別にみると、「太宰府南小学校区」、「水城小学校区」、「太宰府西小学校区」を除くすべての小学校区で男性の方が女性より高くなっている。

年代別にみると、20歳代と40歳代と70歳代以上は「太宰府小学校区」、30歳代は「水城小学校区」、50歳代は「水城西小学校区」が最も高くなっている。なお、60歳代は「太宰府小学校区」および「太宰府西小学校区」が同程度で最も高くなっている。

問5. あなたの住んでいる小学校区を次の中から選びください。



		標本数	太宰府小学校区	太宰府東小学校区	太宰府南小学校区	水城小学校区	水城西小学校区	太宰府西小学校区	国分小学校区	わからない	無回答
全体		1,062	183	112	122	134	123	187	140	48	13
		100.0	17.2	10.5	11.5	12.6	11.6	17.6	13.2	4.5	1.2
性別	男性	484	17.8	11.0	9.7	11.6	13.2	17.4	13.8	4.3	1.2
	女性	569	16.7	10.4	13.0	13.7	10.2	17.8	12.7	4.6	1.1
	無回答	9	22.2	-	11.1	-	11.1	22.2	11.1	11.1	11.1
年代別	20歳代	78	19.2	9.0	7.7	17.9	12.8	16.7	14.1	2.6	-
	30歳代	107	8.4	12.1	12.1	16.8	14.0	15.9	15.0	5.6	-
	40歳代	201	16.9	7.0	12.9	11.4	15.4	15.9	15.4	4.5	0.5
	50歳代	201	14.9	9.0	10.0	11.9	16.9	15.4	13.9	6.5	1.5
	60歳代	200	20.0	11.0	12.0	11.5	8.5	20.0	12.0	4.0	1.0
	70歳代以上	272	20.2	14.0	12.1	11.8	5.9	19.9	10.7	3.7	1.8
	無回答	3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	66.7

6. 居住年数(問6)

● 居住年数が「25 年以上」が5割以上を占めている。

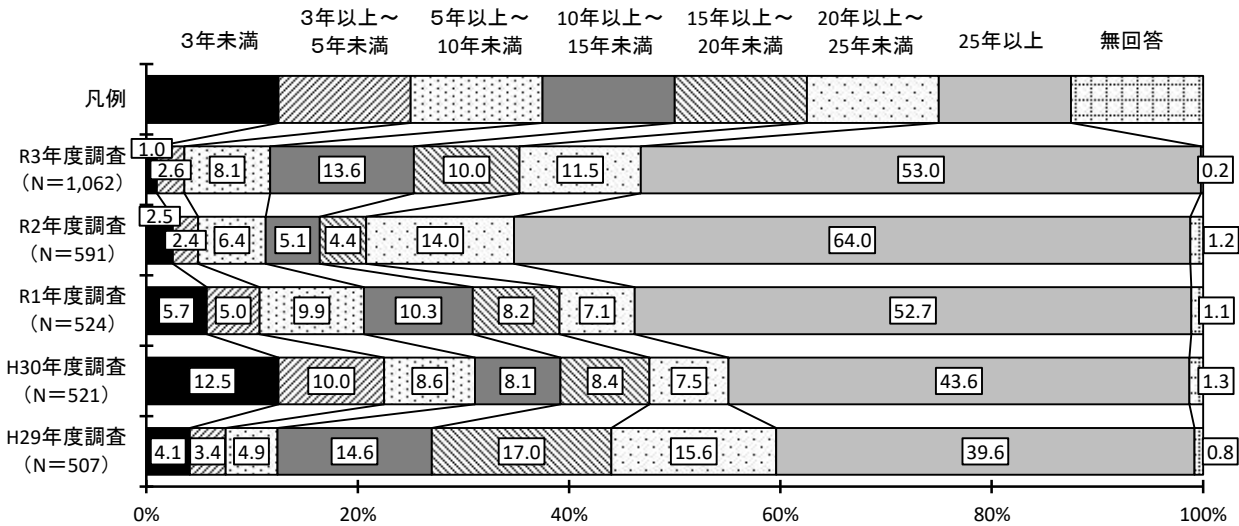
回答者の居住年数は「25 年以上」(53.0%) が最も高く、次いで「10 年以上～15 年未満」(13.6%)、「20 年以上～25 年未満」(11.5%) の順となっている。
過去の調査結果と比べると、「25 年以上」(53.0%) は前回調査から 11.0 ポイント減少しており、「3 年未満」(1.0%) は過去 5 年間の調査で最も低くなっている。

性別にみると、「25 年以上」は男性 (54.8%) の方が女性 (51.3%) より高くなっており、「15 年以上～20 年未満」は女性 (10.4%) の方が男性 (9.3%) より高くなっている。

年代別にみると、20 歳代を除くすべての年代で「25 年以上」が最も高くなっている。一方、20 歳代は「20 年以上～25 年未満」(33.3%) が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「25 年以上」が最も高くなっている。

問6. あなたは本市に住んで何年になりますか。



		標本数	3年未満	3年以上～5年未満	5年以上～10年未満	10年以上～15年未満	15年以上～20年未満	20年以上～25年未満	25年以上	無回答
全体		1,062	11	28	86	144	106	122	563	2
		100.0	1.0	2.6	8.1	13.6	10.0	11.5	53.0	0.2
性別	男性	484	1.0	2.3	7.6	13.4	9.3	11.6	54.8	-
	女性	569	1.1	3.0	8.6	13.9	10.4	11.6	51.3	0.2
	無回答	9	-	-	-	-	22.2	-	66.7	11.1
年代別	20歳代	78	3.8	3.8	6.4	11.5	11.5	33.3	29.5	-
	30歳代	107	5.6	12.1	27.1	16.8	8.4	1.9	28.0	-
	40歳代	201	0.5	2.0	12.9	27.9	17.4	7.5	31.8	-
	50歳代	201	-	3.0	3.5	15.9	15.9	17.9	43.8	-
	60歳代	200	-	0.5	4.5	6.0	1.0	9.0	78.5	0.5
	70歳代以上	272	0.4	0.4	3.7	6.3	7.0	8.8	73.5	-
	無回答	3	-	-	-	-	-	33.3	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	183	-	2.2	3.3	12.0	8.2	10.9	63.4	-
	太宰府東小学校区	112	-	2.7	5.4	5.4	6.3	12.5	67.0	0.9
	太宰府南小学校区	122	-	2.5	7.4	21.3	4.9	8.2	55.7	-
	水城小学校区	134	2.2	2.2	11.2	9.0	12.7	13.4	49.3	-
	水城西小学校区	123	1.6	4.9	10.6	17.9	13.0	16.3	35.8	-
	太宰府西小学校区	187	1.1	1.1	4.3	10.2	12.8	10.7	59.9	-
	国分小学校区	140	0.7	2.1	9.3	15.7	10.0	12.9	49.3	-
	わからない	48	4.2	8.3	29.2	22.9	14.6	4.2	16.7	-
	無回答	13	7.7	-	15.4	30.8	-	-	38.5	7.7

第2節 住みやすさについて

1. 本市の住みやすさ(問7)

- 本市の住みやすさについて『満足派』は79.0%、『不満派』は13.5%となっている。

本市の住みやすさについて、『満足派』（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）の割合は79.0%、一方、『不満派』（「住みにくい」と「どちらかといえば住みにくい」の合計）は13.5%で、『満足派』が7割以上と高くなっている。

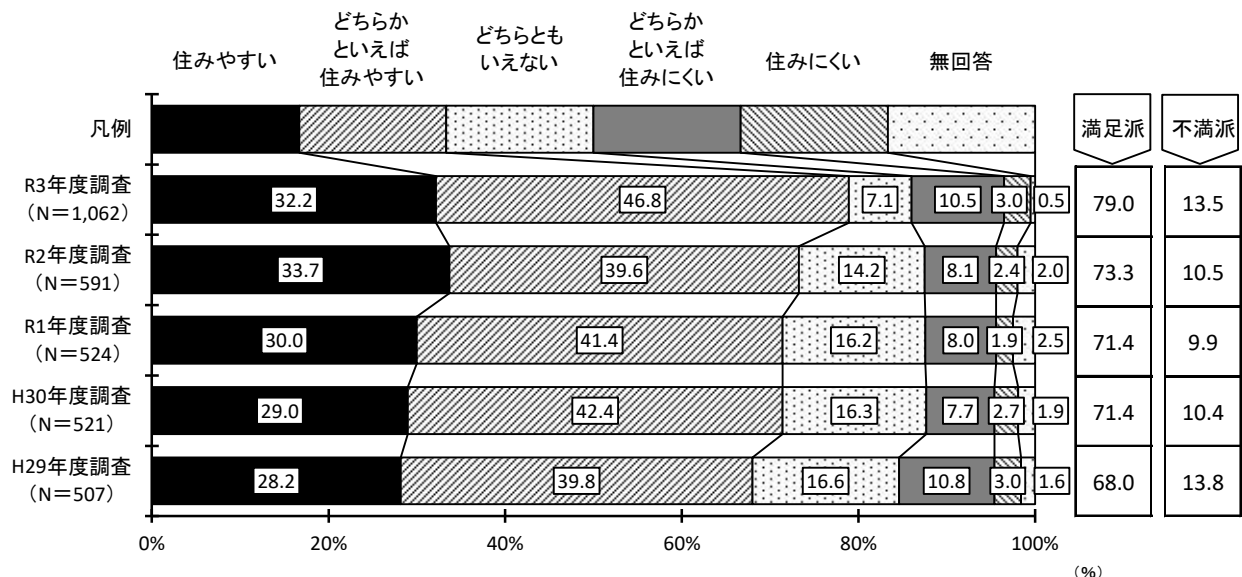
過去の調査結果と比べると、『満足派』は前回調査から5.7ポイント増加している。

性別にみると、『満足派』は男性79.1%に対し女性78.7%で、男女ともほぼ同程度となっている。

年代別にみると、すべての年代で『満足派』が7割を超えている。なお、『満足派』が最も高いのは20歳代（82.1%）となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『満足派』が7割を超えている。『満足派』の割合が最も高いのは太宰府西小学校区（86.6%）となっている。

問7. あなたは本市が住みやすいまちだと思いますか。（○は1つ）



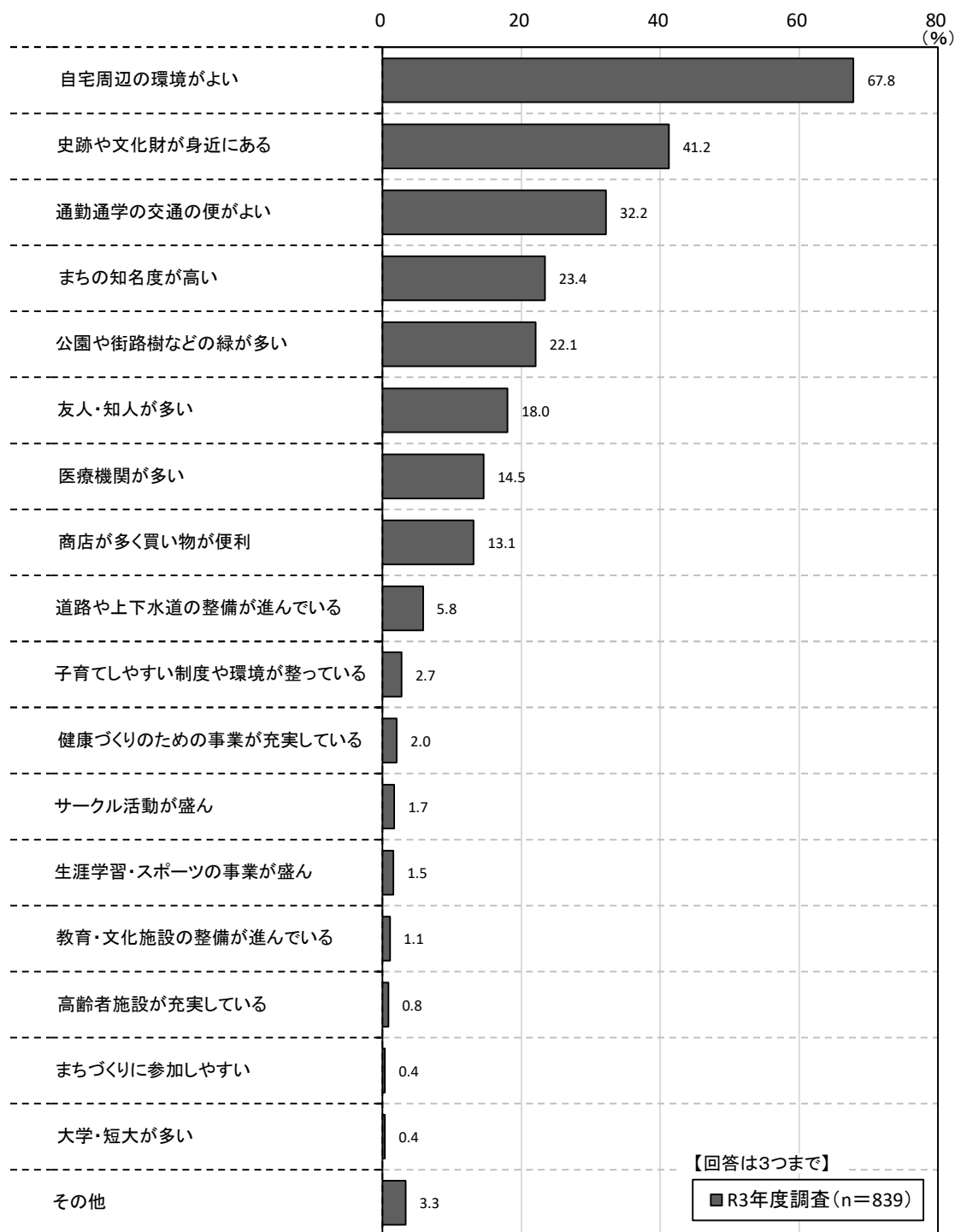
		標本数	住みやすい	やいどすえちいばらみと	いどえちならいとも	にいどくえちいばらみと	住みにくい	無回答	満足派	不満派
全 体		1,062	342	497	75	111	32	5	839	143
		100.0	32.2	46.8	7.1	10.5	3.0	0.5	79.0	13.5
性別	男 性	484	34.9	44.2	6.8	10.3	3.7	-	79.1	14.0
	女 性	569	29.3	49.4	7.4	10.7	2.5	0.7	78.7	13.2
	無回答	9	66.7	22.2	-	-	-	11.1	88.9	-
年代別	20歳代	78	46.2	35.9	5.1	9.0	3.8	-	82.1	12.8
	30歳代	107	34.6	41.1	7.5	11.2	4.7	0.9	75.7	15.9
	40歳代	201	31.8	46.3	7.0	10.4	3.5	1.0	78.1	13.9
	50歳代	201	28.9	49.3	7.0	13.4	1.5	-	78.1	14.9
	60歳代	200	26.5	54.0	7.0	8.5	4.0	-	80.5	12.5
	70歳代以上	272	34.6	45.6	7.4	9.9	2.2	0.4	80.1	12.1
	無回答	3	-	33.3	33.3	-	-	33.3	33.3	-
小学校区別	太宰府小学校区	183	23.0	49.7	7.7	16.4	3.3	-	72.7	19.7
	太宰府東小学校区	112	25.9	54.5	8.9	7.1	3.6	-	80.4	10.7
	太宰府南小学校区	122	31.1	48.4	4.1	13.9	0.8	1.6	79.5	14.8
	水城小学校区	134	37.3	46.3	7.5	5.2	3.0	0.7	83.6	8.2
	水城西小学校区	123	35.0	49.6	2.4	10.6	2.4	-	84.6	13.0
	太宰府西小学校区	187	46.0	40.6	5.3	7.5	0.5	-	86.6	8.0
	国分小学校区	140	26.4	45.7	10.7	12.9	4.3	-	72.1	17.1
	わからない	48	29.2	37.5	10.4	8.3	14.6	-	66.7	22.9
	無回答	13	23.1	38.5	23.1	-	-	15.4	61.5	-

2. 住みやすい理由(問8)

- 住みやすい理由は、「自宅周辺の環境がよい」(67.8%)が最も高く、次いで「史跡や文化財が身近にある」(41.2%)、「通勤通学の交通の便がよい」(32.2%)の順となっている。

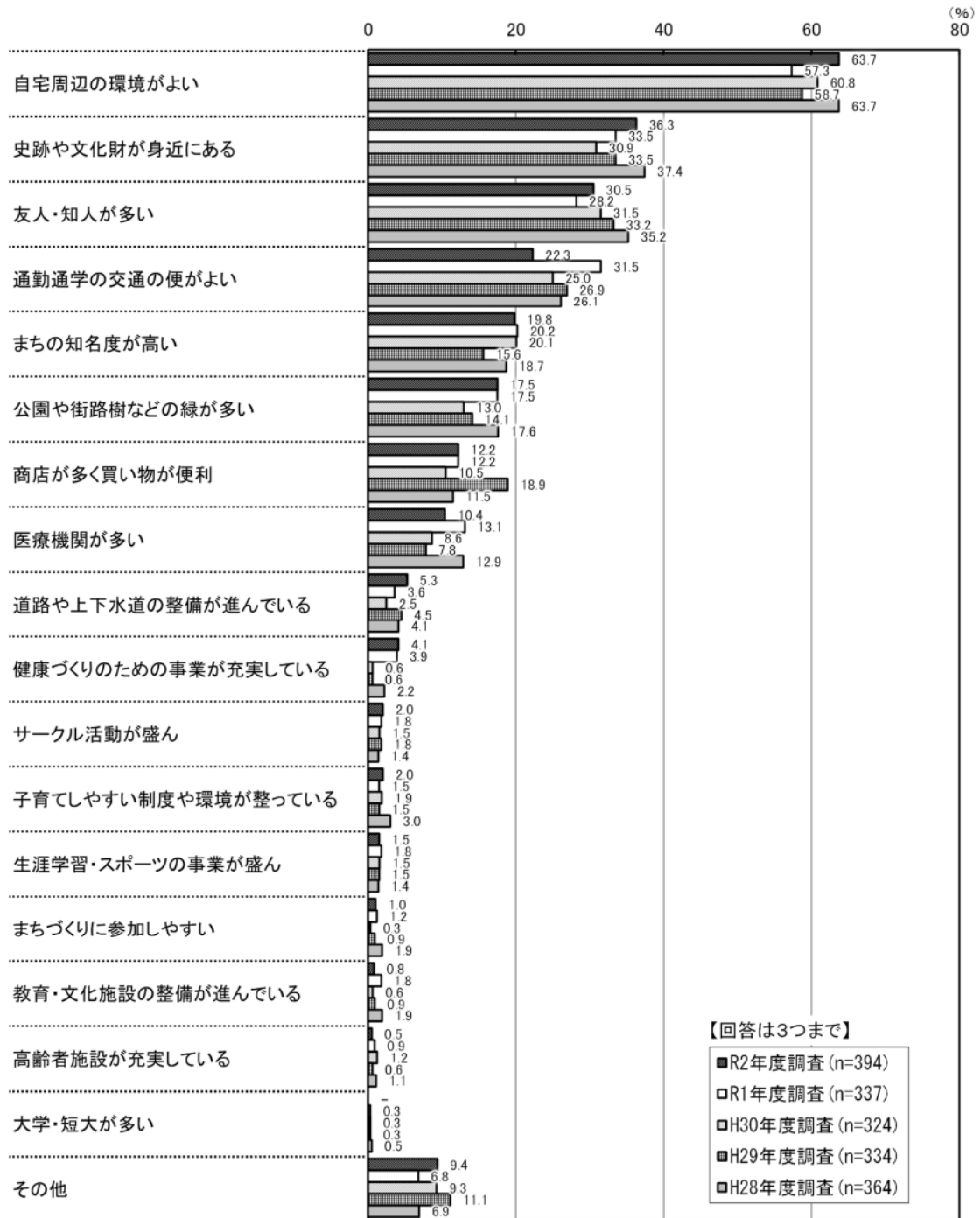
本市が住みやすい理由について、「自宅周辺の環境がよい」(67.8%)が最も高く、次いで「史跡や文化財が身近にある」(41.2%)、「通勤通学の交通の便がよい」(32.2%)の順となっている。

問8.【住みやすいと答えた方】におたずねします。住みやすいと思う主な理由は何ですか。
(〇は3つまで)



【R2 年度参考】

【住み続けたいと答えた方】におたずねします。「住み続けたい」と思う主な理由は何ですか。
(〇は3つまで)



性別にみると、男女ともに「自宅周辺の環境がよい」（男性 65.3%、女性 70.1%）が最も高くなっており、次いで「史跡や文化財が身近にある」（男性 41.8%、女性 40.8%）、「通勤通学の交通の便がよい」（男性 32.9%、女性 32.1%）の順となっている。

年代別にみると、すべての年代で「自宅周辺の環境がよい」が最も高くなっている。次いで、20歳代は「友人・知人が多い」、30歳代は「通勤通学の交通の便がよい」、「まちの知名度が高い」、40歳代は「通勤通学の交通の便がよい」、50歳代～70歳代以上は「史跡や文化財が身近にある」がそれぞれ高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「自宅周辺の環境がよい」が最も高くなっている。

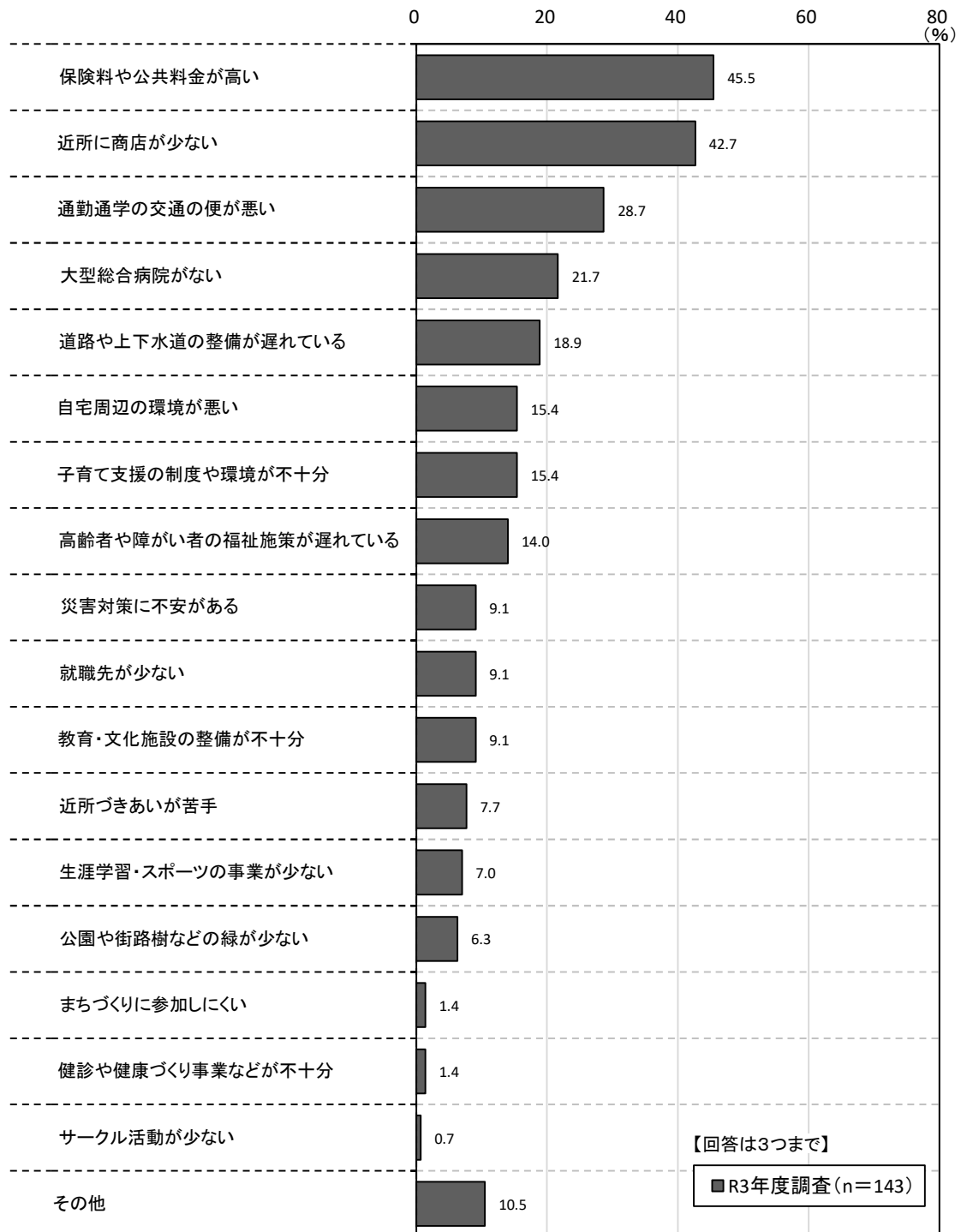
		(%)																			
		標 本 数	自 宅 周 辺 の 環 境 が よ い	あ る 史 跡 や 文 化 財 が 身 近 に	よ い 通 勤 通 学 の 交 通 の 便 が	ま ち の 知 名 度 が 高 い	が 多 い 公 園 や 街 路 樹 な ど の 緑	友 人 ・ 知 人 が 多 い	医 療 機 関 が 多 い	利 商 店 が 多 く 買 い 物 が 便	道 路 や 上 下 水 道 の 整 備	環 境 が 整 っ て い る 子 育 て し や す い 制 度 や	健 康 づ く り の た め の 事 業 が 充 実 し て い る	サ ー ク ル 活 動 が 盛 ん	事 業 が 盛 ん	生 涯 学 習 ・ ス ポ ー ツ の	が 進 ん で い る 教 育 ・ 文 化 施 設 の 整 備	い る 高 齢 者 施 設 が 充 実 し て	す い ま ち づ く り に 参 加 し や	大 学 ・ 短 大 が 多 い	そ の 他
全 体		839 100.0	569 67.8	346 41.2	270 32.2	196 23.4	185 22.1	151 18.0	122 14.5	110 13.1	49 5.8	23 2.7	17 2.0	14 1.7	13 1.5	9 1.1	7 0.8	3 0.4	3 0.4	28 3.3	
性 別	男 性	383	65.3	41.8	32.9	24.8	23.0	12.3	15.4	12.3	6.3	3.9	0.8	1.8	1.3	1.8	0.5	0.3	-	-	3.9
	女 性	448	70.1	40.8	32.1	22.1	21.4	22.8	13.6	13.8	5.4	1.8	2.9	1.3	1.8	0.4	1.1	0.4	0.7	-	2.5
	無回答	8	62.5	37.5	-	25.0	12.5	25.0	25.0	12.5	12.5	-	12.5	12.5	-	-	-	-	-	-	25.0
年 代 別	20歳代	64	59.4	28.1	40.6	21.9	21.9	42.2	10.9	9.4	4.7	-	-	1.6	1.6	3.1	-	-	-	-	3.1
	30歳代	81	72.8	18.5	23.5	23.5	19.8	17.3	9.9	18.5	-	13.6	-	-	-	-	-	-	-	-	3.7
	40歳代	157	66.2	39.5	41.4	26.1	19.1	16.6	9.6	11.5	3.2	3.8	1.3	-	0.6	0.6	0.6	0.6	1.3	-	3.2
	50歳代	157	65.6	43.9	43.3	21.0	15.9	17.8	12.1	15.9	3.8	0.6	1.3	1.3	1.9	1.3	0.6	-	-	-	5.1
	60歳代	161	70.2	49.7	29.8	26.7	22.4	15.5	10.6	11.8	8.1	2.5	0.6	0.6	1.9	1.9	1.2	0.6	-	-	3.7
	70歳代以上	218	69.7	46.8	20.2	21.1	29.4	14.2	25.7	12.4	10.1	0.5	5.5	4.6	2.3	0.5	1.4	0.5	0.5	-	1.8
	無回答	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	133	69.9	57.1	27.8	30.8	20.3	18.0	12.0	8.3	3.8	0.8	3.0	1.5	2.3	1.5	-	-	-	0.8	4.5
	太宰府東小学校区	90	62.2	51.1	27.8	26.7	20.0	23.3	13.3	5.6	4.4	4.4	3.3	5.6	3.3	1.1	1.1	-	1.1	-	3.3
	太宰府南小学校区	97	66.0	33.0	19.6	29.9	19.6	24.7	17.5	6.2	9.3	6.2	2.1	-	3.1	2.1	2.1	-	-	-	-
	水城小学校区	112	66.1	38.4	50.9	14.3	23.2	17.0	16.1	9.8	4.5	2.7	-	0.9	0.9	0.9	0.9	-	-	-	0.9
	水城西小学校区	104	68.3	35.6	59.6	12.5	17.3	16.3	7.7	16.3	2.9	2.9	1.0	-	1.0	-	-	1.0	-	-	1.9
	太宰府西小学校区	162	76.5	31.5	21.0	22.2	27.8	17.3	24.1	27.2	8.0	3.1	3.1	3.1	1.2	1.9	1.2	0.6	0.6	-	3.1
	国分小学校区	101	59.4	39.6	25.7	30.7	21.8	16.8	7.9	7.9	9.9	1.0	2.0	1.0	-	-	-	1.0	-	-	8.9
	わからない	32	68.8	53.1	28.1	9.4	28.1	-	9.4	21.9	-	-	-	-	-	-	-	3.1	-	-	3.1
	無回答	8	62.5	50.0	12.5	37.5	12.5	12.5	12.5	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5

3. 住みにくい理由(問9)

- 住みにくい理由は、「保険料や公共料金が高い」(45.5%)が最も高い。

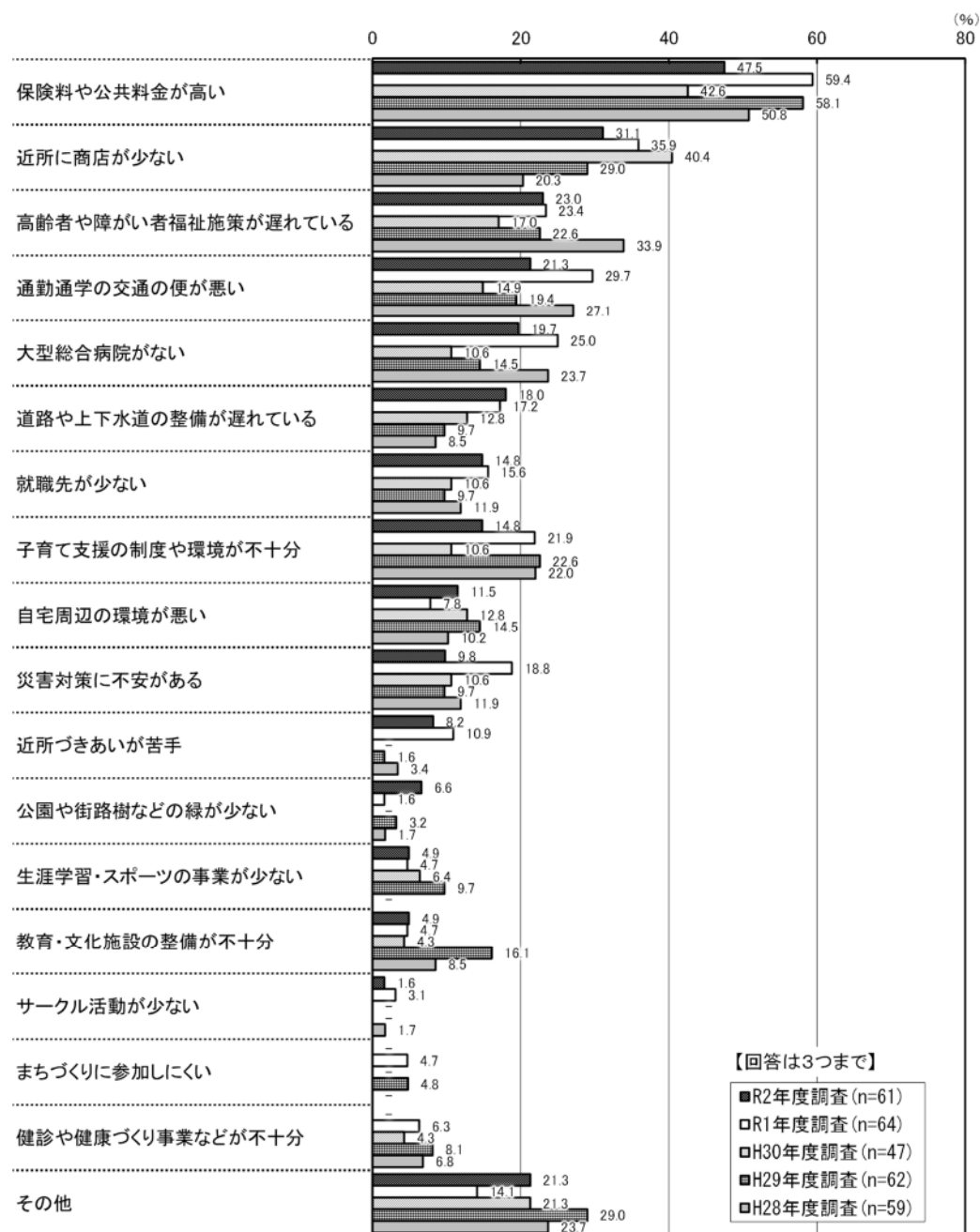
本市が住みにくい理由について、「保険料や公共料金が高い」(45.5%)が最も高く、次いで「近所に商店が少ない」(42.7%)、「通勤通学の便が悪い」(28.7%)、「大型総合病院がない」(21.7%)の順となっている。

問9.【住みにくいと答えた方】におたずねします。住みにくいと思う主な理由は何ですか。
(〇は3つまで)



【R2 年度参考】

【住み続けたくないと答えた方】におたずねします。「住み続けたくない」と思う主な理由は何ですか。（〇は3つまで）



性別にみると、男性は「保険料や公共料金が高い」(54.4%)、女性は「近所に商店が少ない」(49.3%)が最も高くなっている。男性は次いで「近所に商店が少ない」(35.3%)、女性は次いで「保険料や公共料金が高い」(37.3%)の順となっている。

年代別にみると、40歳代、70歳代以上を除くすべての年代で「保険料や公共料金が高い」が最も高くなっている。一方、40歳代、70歳代以上は「近所に商店が少ない」が最も高くなっている。

		標 本 数	(%)																				
			い 保 険 料 や 公 共 料 金 が 高 い	近 所 に 商 店 が 少 な い	悪 い 通 勤 通 学 の 交 通 の 便 が	大 型 総 合 病 院 が な い	が 遅 れ て 上 下 水 道 の 整 備	自 宅 周 辺 の 環 境 が 悪 い	境 が 不 十 分	子 育 て 支 援 の 制 度 や 環	高 齢 者 や 障 が い る 者 の 福	災 害 対 策 に 不 安 が あ る	就 職 先 が 少 な い	が 不 十 分	教 育 ・ 文 化 施 設 の 整 備	近 所 づ き あ い が 苦 手	事 業 が 少 な い	生 涯 学 習 ・ ス ポ ー ツ の	公 園 や 街 路 樹 な ど の 緑	く ま い づ く り に 参 加 し に	な ど が 不 十 分	健 診 や 健 康 づ く り 事 業	サ ー ク ル 活 動 が 少 な い
全 体		143 100.0	65 45.5	61 42.7	41 28.7	31 21.7	27 18.9	22 15.4	22 15.4	20 14.0	13 9.1	13 9.1	13 9.1	13 9.1	11 7.7	10 7.0	9 6.3	2 1.4	2 1.4	2 1.4	1 0.7	15 10.5	
性 別	男 性	68	54.4	35.3	23.5	20.6	22.1	14.7	8.8	11.8	5.9	10.3	10.3	4.4	10.3	4.4	1.5	2.9	-	-	-	13.2	
	女 性	75	37.3	49.3	33.3	22.7	16.0	16.0	21.3	16.0	12.0	8.0	8.0	10.7	4.0	8.0	1.3	-	1.3	-	-	8.0	
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
年 代 別	20歳代	10	50.0	40.0	50.0	20.0	30.0	10.0	-	20.0	10.0	-	10.0	-	10.0	-	-	-	-	-	-	-	
	30歳代	17	58.8	52.9	41.2	29.4	11.8	23.5	29.4	-	5.9	11.8	11.8	5.9	-	17.6	-	-	-	-	-	17.6	
	40歳代	28	42.9	46.4	35.7	17.9	14.3	14.3	32.1	7.1	3.6	10.7	14.3	7.1	10.7	10.7	3.6	-	-	-	-	7.1	
	50歳代	30	43.3	40.0	30.0	13.3	16.7	20.0	23.3	26.7	6.7	13.3	6.7	-	3.3	-	-	-	-	-	-	10.0	
	60歳代	25	48.0	28.0	20.0	20.0	32.0	16.0	4.0	8.0	16.0	8.0	12.0	16.0	8.0	4.0	4.0	8.0	-	-	-	16.0	
	70歳代以上	33	39.4	48.5	15.2	30.3	15.2	9.1	-	18.2	12.1	6.1	3.0	12.1	9.1	6.1	-	-	-	-	3.0	9.1	
無回答		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	36	41.7	30.6	27.8	19.4	33.3	19.4	8.3	11.1	11.1	8.3	2.8	-	2.8	5.6	-	-	-	-	-	8.3	
	太宰府東小学校区	12	50.0	50.0	16.7	16.7	33.3	16.7	16.7	16.7	8.3	8.3	8.3	-	8.3	-	-	-	-	-	-	16.7	
	太宰府南小学校区	18	22.2	61.1	33.3	33.3	5.6	16.7	27.8	22.2	11.1	22.2	5.6	11.1	-	11.1	-	-	-	-	-	5.6	
	水城小学校区	11	54.5	63.6	-	18.2	-	-	27.3	27.3	-	9.1	9.1	9.1	18.2	9.1	9.1	9.1	-	-	-	9.1	
	水城西小学校区	16	56.3	31.3	31.3	18.8	12.5	18.8	18.8	6.3	-	12.5	6.3	6.3	6.3	6.3	-	-	-	-	-	12.5	
	太宰府西小学校区	15	53.3	20.0	53.3	40.0	13.3	6.7	20.0	20.0	6.7	6.7	20.0	13.3	6.7	-	-	-	-	-	-	13.3	
	国分小学校区	24	54.2	37.5	29.2	12.5	20.8	20.8	12.5	12.5	16.7	4.2	16.7	16.7	8.3	12.5	-	4.2	-	-	-	12.5	
	わからない	11	36.4	81.8	27.3	18.2	9.1	9.1	-	-	-	9.1	-	9.1	9.1	18.2	-	9.1	-	-	-	9.1	
無回答		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

第3節 本市の行政運営について

1. 市政への関心度(問 10)

● 市政への関心度は、『ある派』は 68.9%、『ない派』は 30.3%となっている。

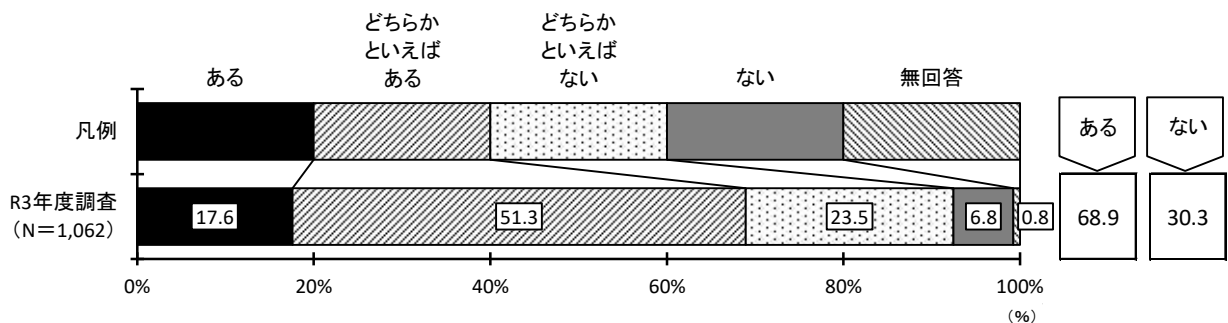
市政への関心度について、『ある派』（「ある」と「どちらかといえばある」の合計）は 68.9%となっている。一方、『ない派』（「ない」と「どちらかといえはない」の合計）は 30.3%で、『ある派』の方が『ない派』よりも 38.6 ポイント高くなっている。

性別にみると、『ある派』は男性（73.1%）の方が女性（65.6%）より 7.5 ポイント高くなっている。

年代別にみると、『ある派』は 70 歳代以上（78.7%）が最も高くなっており、一方、『ない派』は 20 歳代（42.3%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『ある派』の方が『ない派』より高くなっており、太宰府東小学校区（75.0%）が最も高くなっている。

問 10. あなたは市政に関心はありますか。（○は1つ）



		標本数	ある	い ど ち ら か と い え ば あ か と	い ど ち ら か と い え ば な か い	ない	無 回 答	ある 派	ない 派
全 体		1,062 100.0	187 17.6	545 51.3	250 23.5	72 6.8	8 0.8	732 68.9	322 30.3
性 別	男 性	484	23.8	49.4	18.2	8.1	0.6	73.1	26.2
	女 性	569	12.3	53.3	27.9	5.6	0.9	65.6	33.6
	無回答	9	22.2	33.3	33.3	11.1	—	55.6	44.4
年 代 別	20歳代	78	11.5	44.9	29.5	12.8	1.3	56.4	42.3
	30歳代	107	10.3	49.5	27.1	12.1	0.9	59.8	39.3
	40歳代	201	14.4	49.3	26.9	9.5	—	63.7	36.3
	50歳代	201	12.4	56.2	24.9	6.5	—	68.7	31.3
	60歳代	200	18.5	52.5	23.5	4.5	1.0	71.0	28.0
	70歳代以上	272	27.6	51.1	16.9	2.9	1.5	78.7	19.9
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	—	—	66.7	33.3
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	25.7	48.6	19.1	5.5	1.1	74.3	24.6
	太宰府東小学校区	112	15.2	59.8	19.6	5.4	—	75.0	25.0
	太宰府南小学校区	122	17.2	53.3	24.6	4.9	—	70.5	29.5
	水城小学校区	134	15.7	48.5	28.4	6.0	1.5	64.2	34.3
	水城西小学校区	123	17.1	51.2	22.0	9.8	—	68.3	31.7
	太宰府西小学校区	187	18.7	51.3	23.0	5.9	1.1	70.1	28.9
	国分小学校区	140	12.9	54.3	25.0	7.9	—	67.1	32.9
	わからない	48	10.4	35.4	37.5	14.6	2.1	45.8	52.1
無回答		13	15.4	53.8	15.4	7.7	7.7	69.2	23.1

2. 市政への信頼度(問 11)

● 市政への信頼については、『肯定派』は 71.9%、『否定派』は 27.0%となっている。

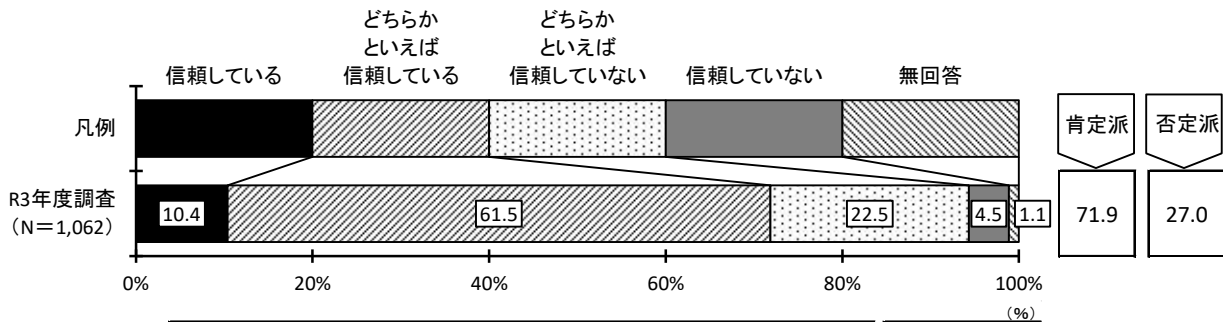
市政への信頼度について、『肯定派』（「信頼している」と「どちらかといえば信頼している」の合計）は 71.9%となっている。一方、『否定派』（「信頼していない」と「どちらかといえば信頼していない」の合計）は 27.0%で、『肯定派』の方が『否定派』よりも 44.9 ポイント高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は男性 72.3%に対し女性 71.5%で、男女ともほぼ同程度となっている。

年代別にみると、『肯定派』は 70 歳代以上（77.9%）が最も高くなっており、一方、『否定派』は 30 歳代（37.4%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『肯定派』の方が『否定派』より高くなっており、太宰府西小学校区（80.2%）が最も高くなっている。

問 11. あなたは市政を信頼していますか。（○は 1 つ）



		標 本 数	信 頼 し て い る	信 頼 し ら る か い え ば	信 頼 し ら る か い え ば	信 頼 し て い ない	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		1,062	110	653	239	48	12	763	287
		100.0	10.4	61.5	22.5	4.5	1.1	71.9	27.0
性 別	男 性	484	11.2	61.2	21.5	5.6	0.6	72.3	27.1
	女 性	569	9.8	61.7	23.6	3.7	1.2	71.5	27.2
	無回答	9	-	66.7	11.1	-	22.2	66.7	11.1
年 代 別	20歳代	78	16.7	57.7	19.2	6.4	-	74.4	25.6
	30歳代	107	6.5	55.1	31.8	5.6	0.9	61.7	37.4
	40歳代	201	7.5	60.7	25.4	6.5	-	68.2	31.8
	50歳代	201	10.0	58.2	23.9	7.0	1.0	68.2	30.8
	60歳代	200	5.5	70.5	20.0	1.5	2.5	76.0	21.5
	70歳代以上	272	15.8	62.1	18.0	2.6	1.5	77.9	20.6
	無回答	3	33.3	-	66.7	-	-	33.3	66.7
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	12.0	59.6	22.4	5.5	0.5	71.6	27.9
	太宰府東小学校区	112	7.1	61.6	25.0	6.3	-	68.8	31.3
	太宰府南小学校区	122	11.5	66.4	20.5	1.6	-	77.9	22.1
	水城小学校区	134	11.2	57.5	26.9	3.7	0.7	68.7	30.6
	水城西小学校区	123	7.3	67.5	17.1	6.5	1.6	74.8	23.6
	太宰府西小学校区	187	13.9	66.3	15.5	2.7	1.6	80.2	18.2
	国分小学校区	140	6.4	55.7	32.1	4.3	1.4	62.1	36.4
	わからない	48	4.2	60.4	20.8	10.4	4.2	64.6	31.3
	無回答	13	38.5	23.1	30.8	-	7.7	61.5	30.8

3. 効果的な行政運営に対する評価(問 12)

● 効果的な行政運営については、『肯定派』は 63.9%、『否定派』は 34.9%となっている。

本市の効果的な行政運営について、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は 63.9%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は 34.9%で、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。

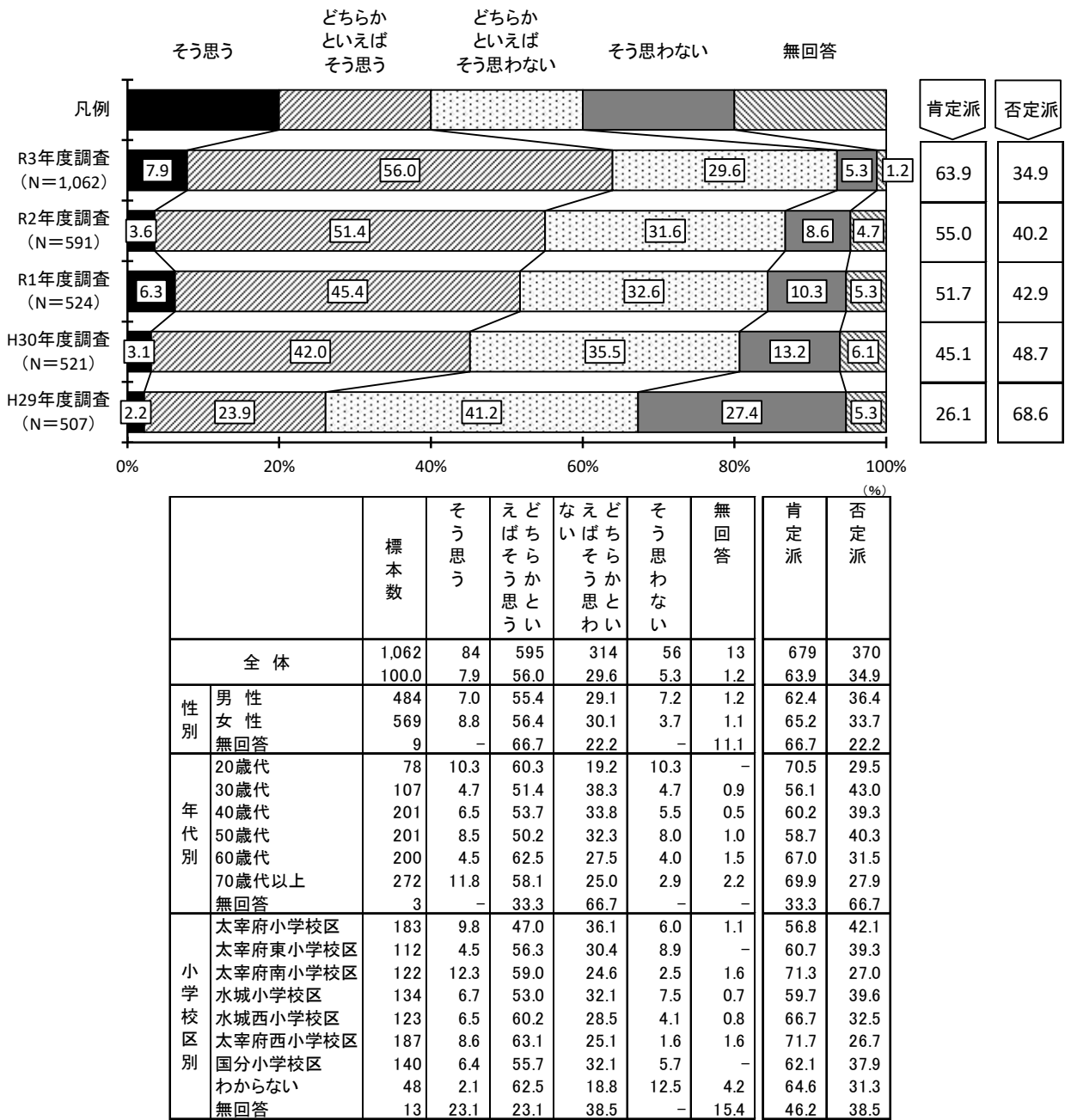
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から 8.9 ポイント増加しており、過去 5 年間の調査で最も高くなっている。

性別にみると、『肯定派』女性 (65.2%) の方が男性 (62.4%) より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは 20 歳代 (70.5%) となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区 (71.7%) となっている。一方、『否定派』が最も高いのは、太宰府小学校区 (42.1%) となっている。

問 12. あなたは本市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。(〇は 1 つ)



4. 市職員の対応・姿勢に対する満足度(問 13)

● 市職員の対応や行動などの仕事への取り組みについては、『満足派』は 83.9%、『不満派』は 14.6%となっている。

市職員の対応や行動に対する満足度について、『満足派』（「満足している」と「ある程度満足している」の合計）は 83.9%となっている。一方、『不満派』（「満足していない」と「あまり満足していない」の合計）は 14.6%で、『満足派』の方が『不満派』より高くなっている。

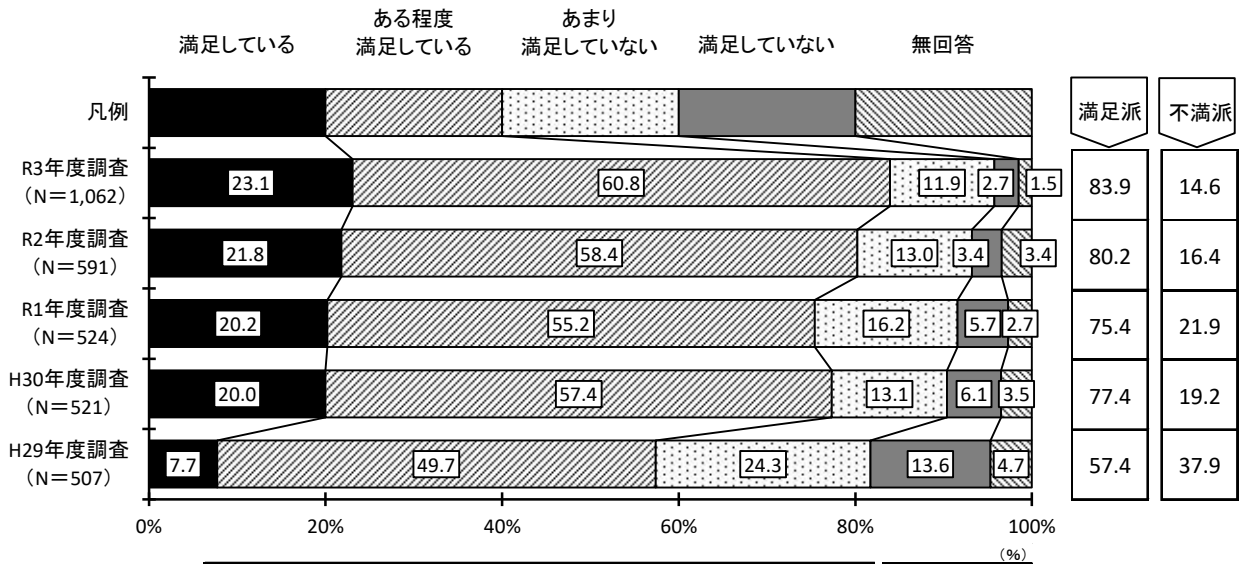
過去の調査結果と比べると、『満足派』は前回調査から 3.7 ポイント増加しており、過去 5 年間の調査で最も高くなっている。

性別にみると、『満足派』は男性 84.3%に対し女性 83.7%で、男女ともほぼ同程度となっている。

年代別にみると、すべての年代で『満足派』が 7 割を超えており、20 歳代（91.0%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『満足派』が最も高いのは太宰府東小学校区（87.5%）となっている。一方、『不満派』が最も高いのは国分小学校区（17.9%）となっている。

問 13. あなたは本市職員の窓口での対応や日頃の仕事に対する姿勢について、満足していますか。
（○は 1 つ）



	標本数	満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答	満足派	不満派
全体	1,062	245	646	126	29	16	891	155
	100.0	23.1	60.8	11.9	2.7	1.5	83.9	14.6
性別								
男性	484	25.8	58.5	11.6	2.9	1.2	84.3	14.5
女性	569	20.7	62.9	12.1	2.6	1.6	83.7	14.8
無回答	9	22.2	55.6	11.1	-	11.1	77.8	11.1
年代別								
20歳代	78	28.2	62.8	6.4	2.6	-	91.0	9.0
30歳代	107	19.6	59.8	15.9	2.8	1.9	79.4	18.7
40歳代	201	25.9	58.7	10.4	4.0	1.0	84.6	14.4
50歳代	201	22.9	56.7	13.9	5.0	1.5	79.6	18.9
60歳代	200	15.5	71.0	9.5	2.0	2.0	86.5	11.5
70歳代以上	272	26.8	57.7	12.9	0.7	1.8	84.6	13.6
無回答	3	-	66.7	33.3	-	-	66.7	33.3
小学校区別								
太宰府小学校区	183	21.9	62.3	10.9	4.4	0.5	84.2	15.3
太宰府東小学校区	112	20.5	67.0	10.7	0.9	0.9	87.5	11.6
太宰府南小学校区	122	28.7	53.3	17.2	-	0.8	82.0	17.2
水城小学校区	134	18.7	66.4	9.0	3.7	2.2	85.1	12.7
水城西小学校区	123	20.3	64.2	11.4	3.3	0.8	84.6	14.6
太宰府西小学校区	187	28.3	57.2	11.2	0.5	2.7	85.6	11.8
国分小学校区	140	24.3	57.1	13.6	4.3	0.7	81.4	17.9
わからない	48	16.7	62.5	10.4	6.3	4.2	79.2	16.7
無回答	13	15.4	53.8	15.4	7.7	7.7	69.2	23.1

5. まちづくりビジョンの認知度(問 14)

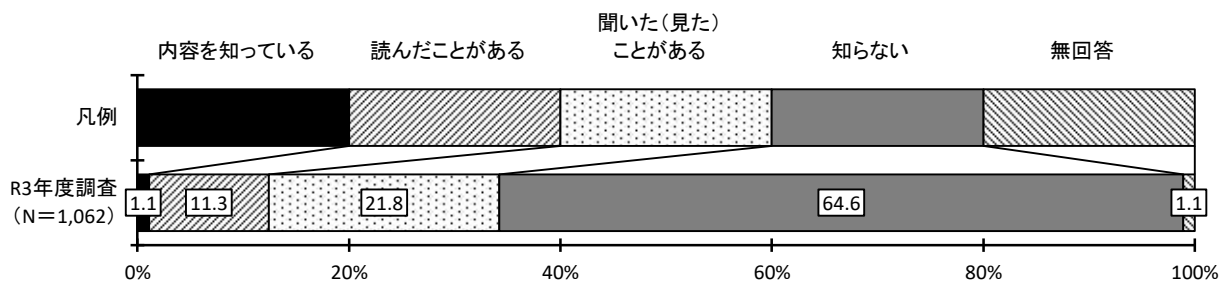
● まちづくりビジョンの認知度は、「知らない」は 64.6%、「聞いた(見た)ことがある」は 21.8%となっている。

まちづくりビジョンの認知度は「知らない」(64.6%)が最も高く、次いで「聞いた(見た)ことがある」(21.8%)、「読んだことがある」(11.3%)の順となっている。

性別にみると、「知らない」は男性 64.5%に対し女性 65.0%で、男女ともほぼ同程度となっている。

年代別にみると、「読んだことがある」が最も高いのは 70 歳代以上(17.6%)となっている。

問 14. あなたは第 2 期太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略(通称：まちづくりビジョン)を知っていますか。(〇は 1 つ)



		標 本 数	内 容 を 知 っ て い る	読 ん だ こ と が あ る	こ 聞 い た (見 た) あ る	知 ら な い	無 回 答	(%)
全 体		1,062	12	120	232	686	12	
		100.0	1.1	11.3	21.8	64.6	1.1	
性 別	男 性	484	1.9	11.0	21.9	64.5	0.8	
	女 性	569	0.5	11.8	21.3	65.0	1.4	
	無回答	9	－	－	55.6	44.4	－	
年 代 別	20歳代	78	1.3	10.3	19.2	69.2	－	
	30歳代	107	－	4.7	15.0	79.4	0.9	
	40歳代	201	1.0	10.9	15.9	71.6	0.5	
	50歳代	201	1.0	11.4	22.4	65.2	－	
	60歳代	200	2.0	7.0	28.0	62.0	1.0	
	70歳代以上	272	1.1	17.6	24.6	54.0	2.6	
	無回答	3	－	－	33.3	33.3	33.3	
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	1.1	10.9	28.4	59.0	0.5	
	太宰府東小学校区	112	0.9	11.6	24.1	63.4	－	
	太宰府南小学校区	122	0.8	10.7	19.7	68.0	0.8	
	水城小学校区	134	2.2	14.2	14.2	67.9	1.5	
	水城西小学校区	123	0.8	8.9	21.1	69.1	－	
	太宰府西小学校区	187	1.1	11.8	20.3	64.7	2.1	
	国分小学校区	140	1.4	11.4	25.0	62.1	－	
	わからない	48	－	8.3	16.7	70.8	4.2	
無回答		13	－	15.4	23.1	46.2	15.4	

6. 本市が行っている施策について

(1)重要度(31 施策)(問 15)

- 「施策 24 防災力の強化」「施策 23 交通環境の向上」「施策 10 子育て・教育環境の充実」などで「重要」の割合が高い。

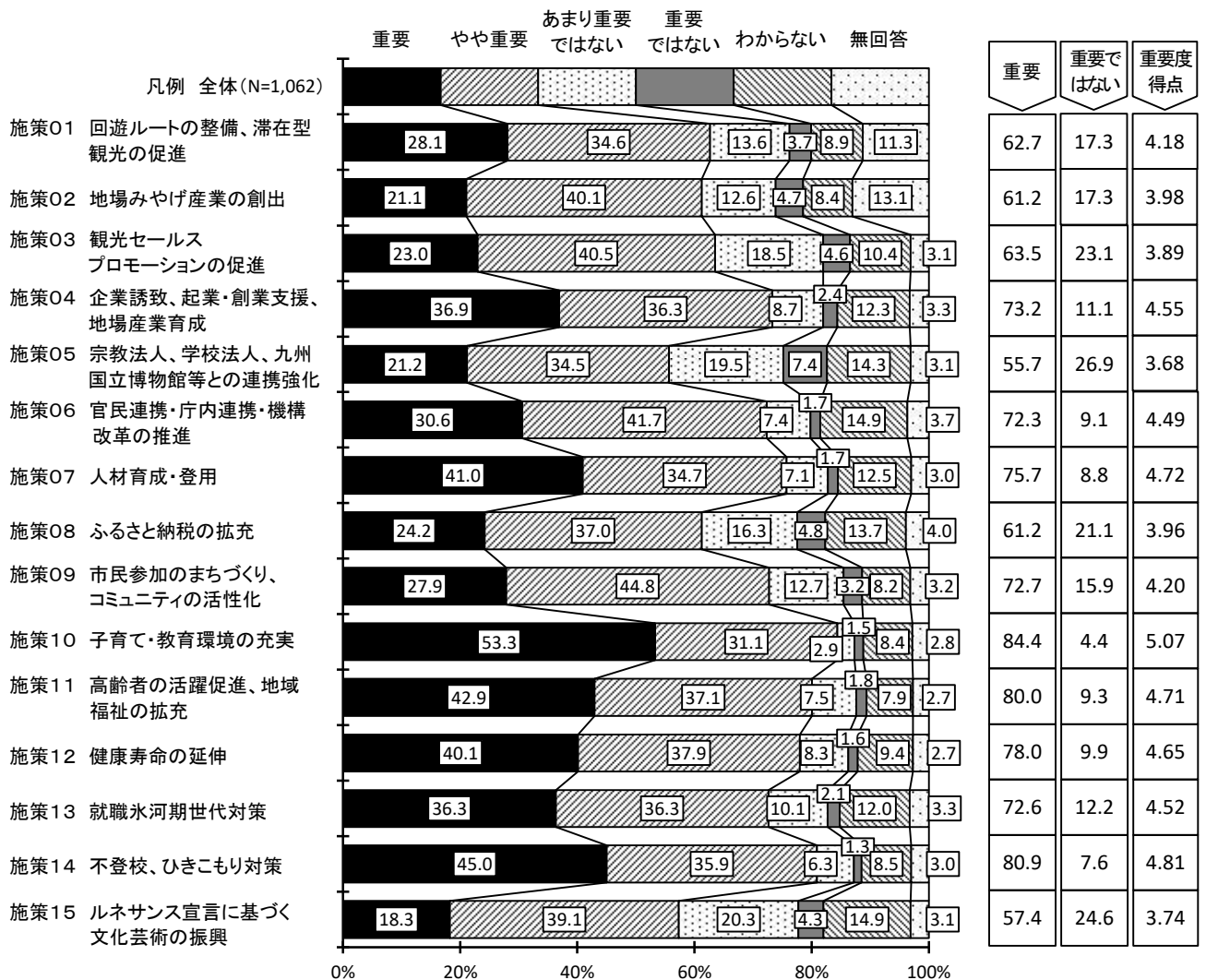
まちづくりビジョンに掲げた 31 項目への取り組みについて、『重要』（「重要」と「やや重要」の合計）と考えている割合が高いのは、「24 防災力の強化」（88.9%）、「23 交通環境の向上」（86.9%）、「10 子育て・教育環境の充実」（84.4%）、「29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減」（82.8%）、「14 不登校、ひきこもり対策」（80.9%）などがある。

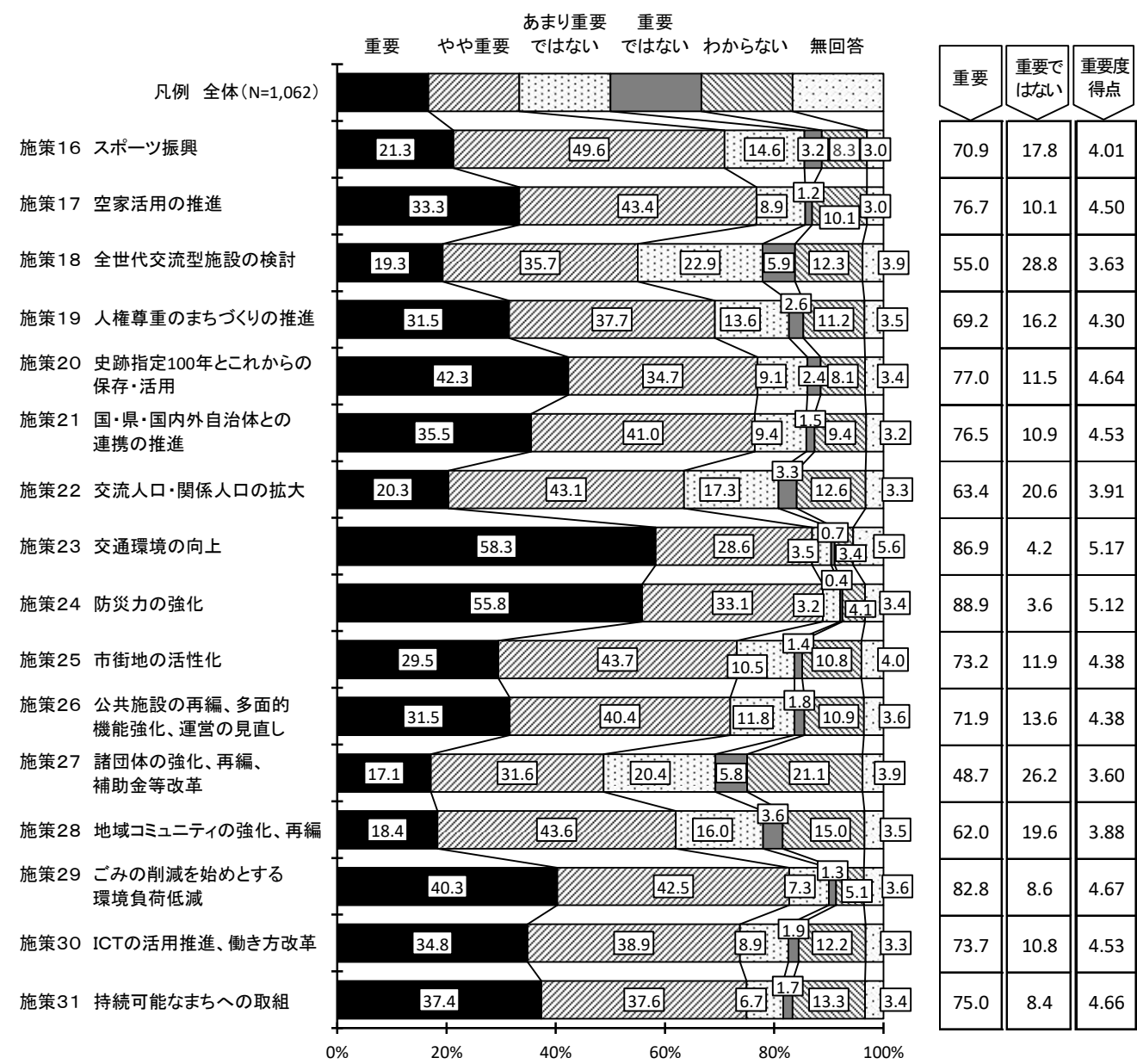
一方、『重要度』が低い施策としては、「27 諸団体の強化、再編、補助金等改革」（48.7%）や「18 全世代交流型施設の検討」（55.0%）などがあげられる。

問 15. 本市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで、本市が行っているまちづくりビジョンに掲げる次の 1～31 の施策についておたずねします。

(A) あなたは、この施策がどの程度重要だと思いますか。

あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ 1 つ選んで、数字に○印をお付けください。





重要度の得点化の手順

重要度	得点
1. 重要	6点
2. やや重要	4点
3. あまり重要ではない	2点
4. 重要ではない	0点
5. わからない (無回答)	欠損値 (得点計算の対象外)

重要度得点 =
$$\frac{(\text{選択肢1}) \times 6 + (\text{選択肢2}) \times 4 + (\text{選択肢3}) \times 2 + (\text{選択肢4}) \times 0}{(\text{選択肢1} \sim \text{選択肢4} \text{ の回答者数})}$$

	回答者の割合(%)			重要度	
	『重要』	『重要ではない』	わからない	重要度 得点	順位
施策23 交通環境の向上	86.9	4.2	3.4	5.17	1
施策24 防災力の強化	88.9	3.6	4.1	5.12	2
施策10 子育て・教育環境の充実	84.4	4.4	8.4	5.07	3
施策14 不登校、ひきこもり対策	80.9	7.6	8.5	4.81	4
施策07 人材育成・登用	75.7	8.8	12.5	4.72	5
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	80.0	9.3	7.9	4.71	6
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	82.8	8.6	5.1	4.67	7
施策31 持続可能なまちへの取組	75.0	8.4	13.3	4.66	8
施策12 健康寿命の延伸	78.0	9.9	9.4	4.65	9
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	77.0	11.5	8.1	4.64	10
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	73.2	11.1	12.3	4.55	11
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	76.5	10.9	9.4	4.53	12
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	73.7	10.8	12.2	4.53	13
施策13 就職氷河期世代対策	72.6	12.2	12.0	4.52	14
施策17 空家活用の推進	76.7	10.1	10.1	4.50	15
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	72.3	9.1	14.9	4.49	16
施策25 市街地の活性化	73.2	11.9	10.8	4.38	17
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	71.9	13.6	10.9	4.38	18
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	69.2	16.2	11.2	4.30	19
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	72.7	15.9	8.2	4.20	20
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	62.7	17.3	8.9	4.18	21
施策16 スポーツ振興	70.9	17.8	8.3	4.01	22
施策02 地場みやげ産業の創出	61.2	17.3	8.4	3.98	23
施策08 ふるさと納税の拡充	61.2	21.1	13.7	3.96	24
施策22 交流人口・関係人口の拡大	63.4	20.6	12.6	3.91	25
施策03 観光セールスプロモーションの促進	63.5	23.1	10.4	3.89	26
施策28 地域コミュニティの強化、再編	62.0	19.6	15.0	3.88	27
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	57.4	24.6	14.9	3.74	28
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	55.7	26.9	14.3	3.68	29
施策18 全世代交流型施設の検討	55.0	28.8	12.3	3.63	30
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	48.7	26.2	21.1	3.60	31

重要度
【平均値】
4.36

『重要』＝「重要」＋「やや重要」

『重要ではない』＝「あまり重要ではない」＋「重要ではない」

各施策について、まちづくりビジョンに掲げた市民意識調査による重要度評価を整理する。

① 性別

重要度の平均値は 4.36 となり、その内訳をみると男性が 4.27 に対し女性は 4.43 で、女性の方が高くなっている。

女性は、「02 地場みやげ産業の創出」、「03 観光セールスプロモーションの促進」、「04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成」を除くすべての項目において男性より重要度得点が高くなっており、男女差が 0.4 以上ある項目は「19 人権を尊重するまちづくりの推進」がある。

② 年齢別

第 1 位をみると、30 歳代と 50 歳代を除くすべての年代で「23 交通環境の向上」、30 歳代は「10 子育て・教育環境の充実」、50 歳代は「23 交通環境の向上」、「24 防災力の強化」となっている。

③ 地域別

第 1 位をみると、太宰府小学校区と太宰府東小学校区、太宰府南小学校区は「23 交通環境の向上」、水城西小学校区と太宰府西小学校区、国分小学校区は「24 防災力の強化」、水城小学校区は「10 子育て・教育環境の充実」となっている。

第2章 調査結果の分析

(左列:重要度得点/右列:順位)

	全体		男性		女性		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代 以上	
施策23 交通環境の向上	5.17	1	5.10	1	5.23	1	5.41	1	4.94	2	5.18	1	4.99	1	5.27	1	5.27	1
施策24 防災力の強化	5.12	2	5.05	2	5.19	2	5.28	2	4.85	3	5.12	3	4.99	1	5.22	2	5.21	2
施策10 子育て・教育環境の充実	5.07	3	5.05	2	5.08	3	5.20	3	5.21	1	5.17	2	4.93	3	5.01	3	5.05	3
施策14 不登校、ひきこもり対策	4.81	4	4.68	4	4.93	4	4.78	7	4.63	4	4.76	5	4.61	7	4.91	5	5.04	4
施策07 人材育成・登用	4.72	5	4.61	5	4.82	6	4.71	9	4.27	10	4.72	6	4.58	9	4.93	4	4.87	7
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	4.71	6	4.60	7	4.81	7	4.56	14	4.46	6	4.68	7	4.75	4	4.77	8	4.83	9
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	4.67	7	4.48	11	4.83	5	4.80	6	4.26	11	4.46	16	4.51	10	4.78	7	4.98	5
施策31 持続可能なまちへの取組	4.66	8	4.53	10	4.77	8	4.84	5	4.41	8	4.66	8	4.43	15	4.85	6	4.71	12
施策12 健康寿命の延伸	4.65	9	4.55	9	4.74	9	4.52	16	4.15	14	4.65	9	4.61	7	4.77	8	4.86	8
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	4.64	10	4.61	5	4.67	11	4.71	9	4.19	13	4.57	10	4.48	11	4.76	10	4.89	6
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	4.55	11	4.56	8	4.54	16	4.31	20	3.98	20	4.49	13	4.65	5	4.68	13	4.72	11
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	4.53	12	4.46	12	4.58	13	4.54	15	4.28	9	4.55	12	4.31	17	4.57	14	4.76	10
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	4.53	13	4.43	13	4.62	12	4.87	4	4.53	5	4.77	4	4.63	6	4.47	17	4.14	21
施策13 就職氷河期世代対策	4.52	14	4.32	17	4.69	10	4.29	22	4.45	7	4.56	11	4.45	13	4.56	15	4.62	13
施策17 空家活用の推進	4.50	15	4.42	14	4.57	14	4.73	8	4.23	12	4.49	13	4.37	16	4.69	12	4.54	16
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	4.49	16	4.39	15	4.57	14	4.32	19	4.10	17	4.41	18	4.47	12	4.70	11	4.60	14
施策25 市街地の活性化	4.38	17	4.34	16	4.41	19	4.70	11	4.06	18	4.47	15	4.15	18	4.51	16	4.41	18
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	4.38	18	4.18	18	4.54	16	4.62	12	4.11	16	4.44	17	4.44	14	4.37	20	4.33	19
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	4.30	19	4.08	21	4.48	18	4.58	13	4.15	14	4.14	20	3.99	21	4.41	19	4.56	15
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	4.20	20	4.10	20	4.27	20	4.42	18	3.77	23	4.06	22	4.06	19	4.34	21	4.43	17
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	4.18	21	4.17	19	4.19	21	4.27	23	3.91	22	4.29	19	4.02	20	4.46	18	4.12	22
施策16 スポーツ振興	4.01	22	3.93	24	4.07	23	4.20	24	3.59	25	3.69	27	3.92	22	4.20	22	4.30	20
施策02 地場みやげ産業の創出	3.98	23	3.99	23	3.96	25	3.83	29	4.04	19	3.94	25	3.81	24	4.09	24	4.08	24
施策08 ふるさと納税の拡充	3.96	24	3.80	26	4.09	22	4.49	17	3.98	20	4.09	21	3.91	23	3.81	30	3.86	29
施策22 交流人口・関係人口の拡大	3.91	25	3.88	25	3.94	26	3.84	28	3.59	25	4.03	23	3.78	25	3.98	27	4.05	26
施策03 観光セールスプロモーションの促進	3.89	26	4.02	22	3.78	29	3.88	27	3.67	24	3.96	24	3.76	26	4.05	25	3.94	27
施策28 地域コミュニティの強化、再編	3.88	27	3.76	27	4.00	24	3.97	25	3.47	27	3.74	26	3.71	27	4.17	23	4.06	25
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	3.74	28	3.68	28	3.79	28	3.73	30	3.13	30	3.67	28	3.40	31	4.00	26	4.10	23
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	3.68	29	3.67	29	3.70	31	3.93	26	3.07	31	3.58	29	3.50	30	3.93	29	3.91	28
施策18 全世代交流型施設の検討	3.63	30	3.47	30	3.76	30	3.66	31	3.47	27	3.31	31	3.55	29	3.94	28	3.81	30
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	3.60	31	3.36	31	3.83	27	4.30	21	3.19	29	3.49	30	3.70	28	3.79	31	3.44	31
平均	4.36		4.27		4.43		4.46		4.07		4.33		4.24		4.48		4.47	

(左列:重要度得点/右列:順位)

	全体	太宰府 小学校区	太宰府東 小学校区	太宰府南 小学校区	水城 小学校区	水城西 小学校区	太宰府西 小学校区	国分 小学校区	わからない
施策23 交通環境の向上	5.17 1	5.29 1	5.26 1	5.27 1	5.11 3	5.10 2	5.14 3	5.03 2	5.26 1
施策24 防災力の強化	5.12 2	5.13 2	4.96 3	5.13 3	5.18 2	5.13 1	5.23 1	5.05 1	5.02 3
施策10 子育て・教育環境の充実	5.07 3	5.04 3	4.98 2	5.15 2	5.34 1	5.07 3	5.17 2	4.98 3	4.46 14
施策14 不登校、ひきこもり対策	4.81 4	4.83 4	4.67 6	5.03 5	4.98 4	4.90 4	4.79 5	4.62 8	4.49 12
施策07 人材育成・登用	4.72 5	4.76 5	4.63 8	4.69 10	4.80 5	4.72 5	4.78 6	4.75 4	4.43 17
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	4.71 6	4.72 7	4.79 4	5.04 4	4.77 6	4.59 7	4.60 11	4.72 6	4.36 19
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	4.67 7	4.67 8	4.54 13	4.77 7	4.62 9	4.62 6	4.93 4	4.46 14	4.46 14
施策31 持続可能なまちへの取組	4.66 8	4.62 13	4.58 10	4.50 13	4.72 7	4.56 10	4.76 7	4.75 4	4.82 5
施策12 健康寿命の延伸	4.65 9	4.73 6	4.73 5	4.81 6	4.57 11	4.57 9	4.59 12	4.60 10	4.74 6
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	4.64 10	4.66 9	4.65 7	4.64 11	4.53 13	4.53 11	4.68 8	4.64 7	5.05 2
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	4.55 11	4.63 12	4.62 9	4.77 7	4.60 10	4.32 17	4.58 13	4.37 17	4.61 9
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	4.53 12	4.46 17	4.52 14	4.64 11	4.56 12	4.38 15	4.57 14	4.55 12	4.65 7
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	4.53 13	4.47 16	4.44 15	4.71 9	4.63 8	4.59 7	4.41 18	4.62 8	4.49 12
施策13 就職氷河期世代対策	4.52 14	4.64 10	4.43 16	4.36 17	4.51 14	4.39 14	4.65 9	4.57 11	4.57 10
施策17 空家活用の推進	4.50 15	4.53 14	4.58 11	4.32 21	4.40 18	4.49 12	4.65 9	4.34 18	4.92 4
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	4.49 16	4.64 10	4.54 12	4.36 17	4.43 15	4.40 13	4.46 16	4.55 12	4.43 17
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	4.38 18	4.36 19	4.28 17	4.31 22	4.41 17	4.33 16	4.48 15	4.40 15	4.65 7
施策25 市街地の活性化	4.38 17	4.43 18	4.18 19	4.41 15	4.43 15	4.29 18	4.46 16	4.39 16	4.46 14
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	4.30 19	4.52 15	4.10 23	4.35 19	4.22 21	4.15 19	4.36 19	4.17 20	4.54 11
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	4.20 20	4.21 20	4.13 20	4.39 16	4.36 19	4.05 22	4.24 20	4.20 19	3.66 30
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	4.18 21	4.00 22	4.22 18	4.50 13	4.30 20	4.13 20	4.23 21	4.11 21	3.94 26
施策16 スポーツ振興	4.01 22	4.18 21	4.00 24	3.86 27	3.80 27	4.07 21	4.13 22	3.98 25	3.85 28
施策02 地場みやげ産業の創出	3.98 23	3.92 24	3.88 25	4.35 19	3.89 25	4.00 23	3.97 25	3.95 26	3.75 29
施策08 ふるさと納税の拡充	3.96 24	3.81 27	4.11 22	3.88 26	3.85 26	3.87 25	4.05 23	4.11 21	4.16 23
施策22 交流人口・関係人口の拡大	3.91 25	3.96 23	3.83 27	3.96 24	3.93 24	3.54 29	3.98 24	4.04 23	4.05 25
施策03 観光セールスプロモーションの促進	3.89 26	3.62 29	3.86 26	3.98 23	4.05 22	3.77 26	3.95 26	4.03 24	4.17 22
施策28 地域コミュニティの強化、再編	3.88 27	3.89 25	3.75 28	3.80 28	3.94 23	3.92 24	3.93 27	3.78 27	4.24 21
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	3.74 28	3.88 26	3.74 29	3.60 29	3.64 29	3.48 30	3.83 28	3.75 28	4.11 24
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	3.68 29	3.78 28	4.11 21	3.96 24	3.50 31	3.44 31	3.62 31	3.50 30	3.50 31
施策18 全世代交流型施設の検討	3.63 30	3.58 30	3.51 31	3.59 30	3.60 30	3.64 28	3.68 30	3.54 29	4.31 20
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	3.60 31	3.50 31	3.68 30	3.23 31	3.76 28	3.69 27	3.79 29	3.36 31	3.93 27
平均	4.36	4.37	4.33	4.40	4.37	4.28	4.41	4.32	4.39

(2)満足度(31 施策)(問 15)

- 「施策 20 史跡指定 100 年とこれからの保存・活用」「施策 29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減」「施策 02 地場みやげ産業の創出」などで『満足派』の割合が高い。

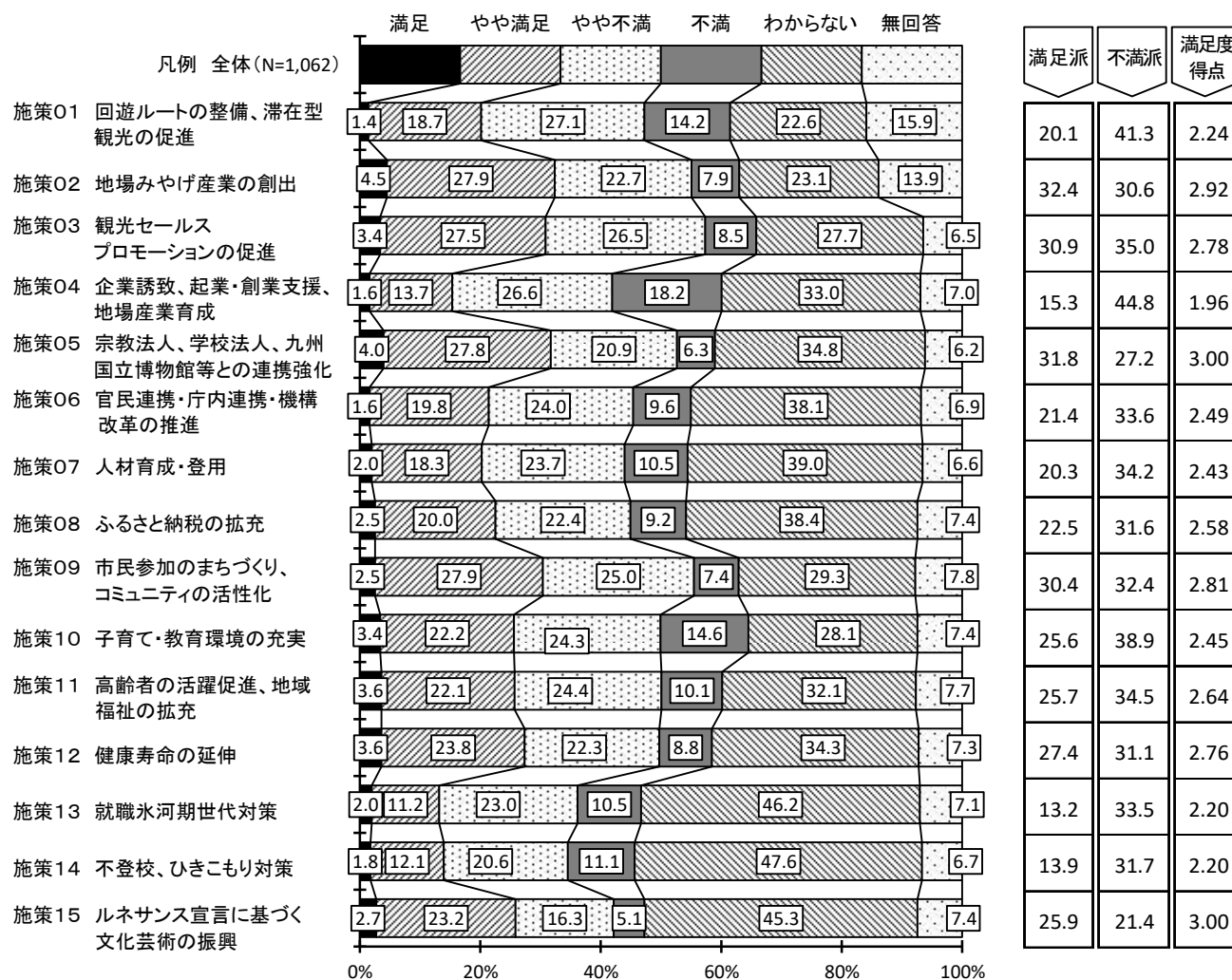
まちづくりビジョンに掲げた 31 項目への取り組みについて、『満足派』（「満足」と「やや満足」の合計）と考えている割合が高いのは「20 史跡指定 100 年とこれからの保存・活用」（42.5%）、「29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減」（33.2%）、「02 地場みやげ産業の創出」（32.4%）、「16 スポーツ振興」（31.9%）、「05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化」（31.8%）などがある。

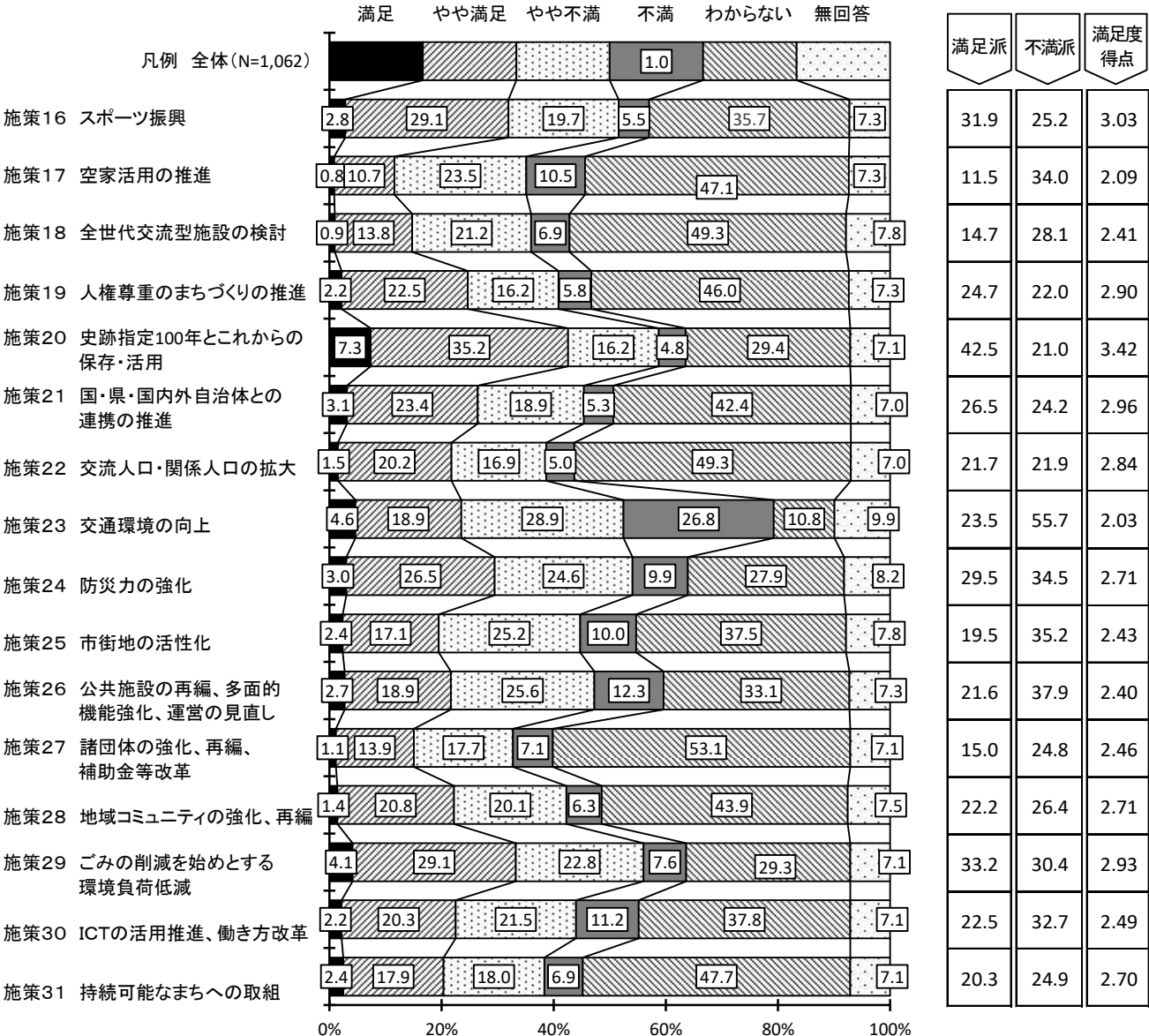
一方、『満足派』の割合が低い施策としては、「17 空家活用の推進」（11.5%）や「13 就職氷河期世代対策」（13.2%）、「14 不登校、ひきこもり対策」（13.9%）、「18 全世代交流型施設の検討」（14.7%）などがあげられる。

問 15. 本市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで、本市が行っているまちづくりビジョンに掲げる次の 1～31 の施策についておたずねします。

(B) あなたは、この施策にどの程度満足していますか。

あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ 1 つ選んで、数字に○印をお付けください。





満足度の得点化の手順

満足度	得点
1. 満足	→ 6点
2. やや満足	→ 4点
3. やや不満	→ 2点
4. 不満	→ 0点
5. わからない (無回答)	→ 欠損値 (得点計算の対象外)

満足度得点	=	$\frac{(\text{選択肢1}) \times 6 + (\text{選択肢2}) \times 4 + (\text{選択肢3}) \times 2 + (\text{選択肢4}) \times 0}{(\text{選択肢1} \sim \text{選択肢4の回答者数})}$
-------	---	---

	回答者の割合(%)			重要度	
	『満足』	『不満』	わからない	満足度 得点	順位
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	42.5	21.0	29.4	3.42	1
施策16 スポーツ振興	31.9	25.2	35.7	3.03	2
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	31.8	27.2	34.8	3.00	3
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	25.9	21.4	45.3	3.00	3
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	26.5	24.2	42.4	2.96	5
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	33.2	30.4	29.3	2.93	6
施策02 地場みやげ産業の創出	32.4	30.6	23.1	2.92	7
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	24.7	22.0	46.0	2.90	8
施策22 交流人口・関係人口の拡大	21.7	21.9	49.3	2.84	9
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	30.4	32.4	29.3	2.81	10
施策03 観光セールスプロモーションの促進	30.9	35.0	27.7	2.78	11
施策12 健康寿命の延伸	27.4	31.1	34.3	2.76	12
施策28 地域コミュニティの強化、再編	22.2	26.4	43.9	2.71	13
施策24 防災力の強化	29.5	34.5	27.9	2.71	13
施策31 持続可能なまちへの取組	20.3	24.9	47.7	2.70	15
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	25.7	34.5	32.1	2.64	16
施策08 ふるさと納税の拡充	22.5	31.6	38.4	2.58	17
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	22.5	32.7	37.8	2.49	18
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	21.4	33.6	38.1	2.49	18
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	15.0	24.8	53.1	2.46	20
施策10 子育て・教育環境の充実	25.6	38.9	28.1	2.45	21
施策25 市街地の活性化	19.5	35.2	37.5	2.43	22
施策07 人材育成・登用	20.3	34.2	39.0	2.43	22
施策18 全世代交流型施設の検討	14.7	28.1	49.3	2.41	24
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	21.6	37.9	33.1	2.40	25
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	20.1	41.3	22.6	2.24	26
施策14 不登校、ひきこもり対策	13.9	31.7	47.6	2.20	27
施策13 就職氷河期世代対策	13.2	33.5	46.2	2.20	27
施策17 空家活用の推進	11.5	34.0	47.1	2.09	29
施策23 交通環境の向上	23.5	55.7	10.8	2.03	30
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	15.3	44.8	33.0	1.96	31

満足度
【平均値】
2.61

『満足』＝「満足」＋「やや満足」

『不満』＝「やや不満」＋「不満」

●『満足』『不満』『わからない』のうち、各項目で最も割合が高いものを太字で示している

各施策について、まちづくりビジョンに掲げた市民意識調査による満足度評価を整理する。

① 性別

満足度の平均値は2.61となり、その内訳をみると男性が2.53に対し女性は2.70で、女性の方が高い。

女性は、「18 全世代交流型施設の検討」を除いたすべての項目において男性より満足度得点が高くなっており、男女差が0.4以上ある項目は「31 持続可能なまちへの取組」がある。

② 年齢別

第1位をみると、すべての年代で「20 史跡指定100年とこれからの保存・活用」となっている。

③ 地域別

第1位をみると、すべての小学校区で「20 史跡指定100年とこれからの保存・活用」となっている。

(左列:満足度得点/右列:順位)

	全体		男性		女性		20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代以上	
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	3.42	1	3.32	1	3.52	1	4.04	1	3.45	1	3.59	1	3.42	1	2.87	1	3.55	1
施策16 スポーツ振興	3.03	2	2.89	3	3.18	2	3.14	13	3.18	2	3.24	3	2.94	3	2.66	6	3.10	4
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	3.00	3	2.90	2	3.09	6	3.32	7	3.14	4	3.09	5	2.86	5	2.78	2	3.07	5
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	3.00	3	2.86	5	3.14	3	3.27	8	3.17	3	3.41	2	2.86	5	2.53	12	3.01	7
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	2.96	5	2.82	7	3.12	4	3.39	5	2.83	9	3.09	5	2.89	4	2.57	9	3.14	2
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	2.93	6	2.86	5	3.01	8	3.26	9	2.72	11	3.02	8	2.80	7	2.72	4	3.13	3
施策02 地場みやげ産業の創出	2.92	7	2.74	8	3.10	5	3.50	2	3.06	6	3.19	4	2.77	8	2.75	3	2.69	13
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	2.90	8	2.87	4	2.93	11	3.15	12	2.67	15	3.01	9	2.96	2	2.63	7	3.00	8
施策22 交流人口・関係人口の拡大	2.84	9	2.69	10	3.02	7	3.42	3	2.73	10	2.80	17	2.67	13	2.63	7	3.02	6
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	2.81	10	2.73	9	2.89	13	3.05	16	3.08	5	3.01	9	2.69	12	2.56	10	2.78	10
施策03 観光セールスプロモーションの促進	2.78	11	2.61	14	2.95	9	3.42	3	2.68	14	2.99	11	2.76	9	2.71	5	2.54	18
施策12 健康寿命の延伸	2.76	12	2.63	12	2.91	12	3.33	6	2.92	8	2.94	13	2.64	14	2.27	19	2.89	9
施策24 防災力の強化	2.71	13	2.65	11	2.77	16	3.25	10	2.59	20	2.81	15	2.71	11	2.35	16	2.77	11
施策28 地域コミュニティの強化、再編	2.71	13	2.63	12	2.80	14	3.00	18	2.72	11	2.97	12	2.76	9	2.47	13	2.61	16
施策31 持続可能なまちへの取組	2.70	15	2.49	17	2.94	10	3.11	14	2.62	17	3.03	7	2.57	16	2.42	14	2.68	14
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	2.64	16	2.52	15	2.78	15	3.05	16	2.93	7	2.75	18	2.64	14	2.17	23	2.73	12
施策08 ふるさと納税の拡充	2.58	17	2.51	16	2.66	17	2.60	25	2.72	11	2.81	15	2.41	17	2.54	11	2.54	18
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	2.49	18	2.48	18	2.50	20	2.88	19	2.60	18	2.55	23	2.25	24	2.34	17	2.59	17
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	2.49	18	2.37	24	2.61	18	2.61	24	2.48	22	2.70	19	2.38	19	2.38	15	2.44	23
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	2.46	20	2.46	20	2.46	23	2.41	29	2.46	23	2.85	14	2.33	20	2.25	20	2.47	22
施策10 子育て・教育環境の充実	2.45	21	2.42	21	2.48	22	3.16	11	2.42	25	2.30	27	2.29	22	2.32	18	2.62	15
施策07 人材育成・登用	2.43	22	2.38	23	2.49	21	2.73	22	2.63	16	2.39	24	2.39	18	2.23	21	2.50	20
施策25 市街地の活性化	2.43	22	2.31	25	2.58	19	2.78	20	2.60	18	2.63	21	2.30	21	2.09	26	2.50	20
施策18 全世代交流型施設の検討	2.41	24	2.48	18	2.35	25	3.09	15	2.33	26	2.67	20	2.20	25	2.15	25	2.43	24
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	2.40	25	2.41	22	2.42	24	2.77	21	2.56	21	2.57	22	2.28	23	2.16	24	2.41	25
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	2.24	26	2.23	26	2.24	27	2.48	27	2.44	24	2.18	30	2.03	29	2.20	22	2.30	28
施策14 不登校、ひきこもり対策	2.20	27	2.09	28	2.33	26	2.51	26	2.18	27	2.37	25	2.04	28	1.85	30	2.37	26
施策13 就職氷河期世代対策	2.20	27	2.17	27	2.21	28	2.28	30	2.08	28	2.34	26	2.15	26	1.91	28	2.35	27
施策17 空家活用の推進	2.09	29	1.99	29	2.19	29	2.67	23	2.08	28	2.20	29	2.05	27	1.96	27	1.98	30
施策23 交通環境の向上	2.03	30	1.99	29	2.09	30	2.42	28	2.00	30	2.08	31	1.98	30	1.87	29	2.07	29
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	1.96	31	1.86	31	2.06	31	2.22	31	2.00	30	2.25	28	1.90	31	1.83	31	1.80	31
平均	2.61		2.53		2.70		2.98		2.65		2.77		2.51		2.36		2.65	

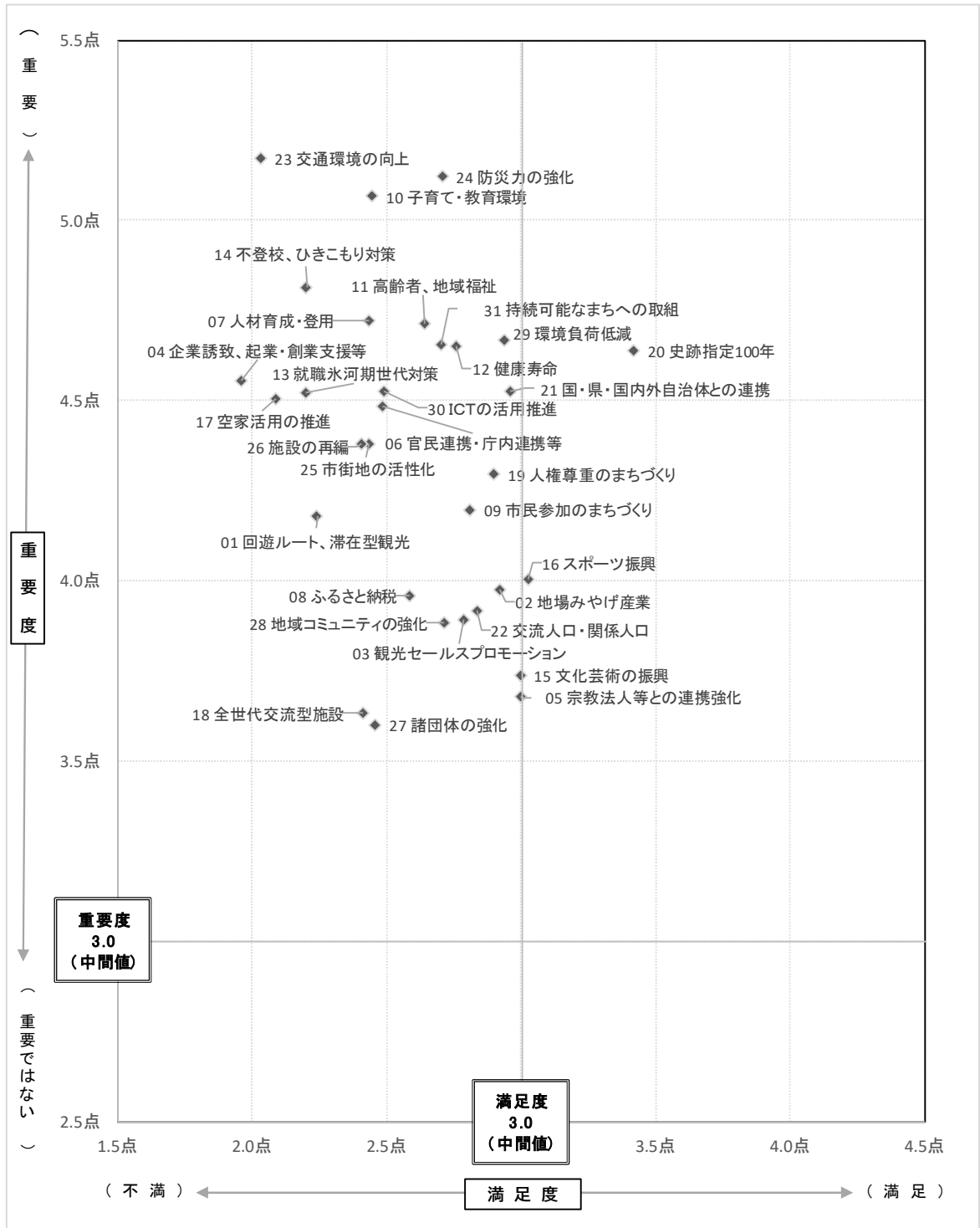
第2章 調査結果の分析

(左列:満足度得点/右列:順位)

	全体	太宰府 小学校区	太宰府東 小学校区	太宰府南 小学校区	水城 小学校区	水城西 小学校区	太宰府西 小学校区	国分 小学校区	わからない
施策20 史跡指定100年とこれからの保存・活用	3.42 1	3.16 1	3.49 1	3.42 1	3.51 1	3.55 1	3.55 1	3.27 1	3.71 1
施策16 スポーツ振興	3.03 2	2.82 5	3.30 2	2.92 7	3.28 2	3.09 5	3.21 3	2.80 9	2.53 7
施策15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興	3.00 3	2.98 2	3.04 4	3.15 3	2.88 5	3.22 4	3.08 7	2.84 5	2.57 6
施策05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化	3.00 3	2.95 3	3.06 3	3.18 2	2.78 8	3.34 2	3.03 9	2.84 5	2.42 12
施策21 国・県・国内外自治体との連携の推進	2.96 5	2.64 12	2.93 7	3.02 4	3.05 3	3.00 10	3.32 2	2.79 10	2.71 4
施策29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減	2.93 6	2.66 11	2.99 6	2.95 5	3.00 4	2.99 12	3.14 6	2.95 4	2.40 13
施策02 地場みやげ産業の創出	2.92 7	2.84 4	2.81 11	2.86 9	2.70 11	3.07 7	3.03 9	3.14 3	2.83 3
施策19 人権尊重のまちづくりの推進	2.90 8	2.67 10	2.81 11	2.62 15	2.85 7	3.33 3	3.06 8	3.20 2	2.13 19
施策22 交流人口・関係人口の拡大	2.84 9	2.60 14	2.83 10	2.81 12	2.87 6	2.81 13	3.19 4	2.76 11	2.53 7
施策09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化	2.81 10	2.74 8	3.00 5	2.91 8	2.75 9	3.00 10	3.00 14	2.58 14	2.00 21
施策03 観光セールスプロモーションの促進	2.78 11	2.81 6	2.50 16	2.95 5	2.71 10	2.81 13	2.83 18	2.76 11	2.96 2
施策12 健康寿命の延伸	2.76 12	2.71 9	2.89 8	2.79 13	2.70 11	2.56 22	3.01 11	2.70 13	2.50 9
施策24 防災力の強化	2.71 13	2.33 20	2.72 14	2.82 11	2.64 13	3.08 6	2.85 15	2.83 7	2.17 17
施策28 地域コミュニティの強化、再編	2.71 13	2.58 15	2.56 15	2.61 17	2.63 14	3.07 7	3.01 11	2.81 8	1.29 31
施策31 持続可能なまちへの取組	2.70 15	2.62 13	2.50 16	2.86 9	2.35 22	3.05 9	3.17 5	2.53 16	1.82 28
施策11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充	2.64 16	2.56 16	2.78 13	2.60 18	2.38 20	2.64 18	3.01 11	2.49 17	2.50 9
施策08 ふるさと納税の拡充	2.58 17	2.80 7	2.40 21	2.45 19	2.48 17	2.61 20	2.80 19	2.46 19	2.10 20
施策06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進	2.49 18	2.24 24	2.30 23	2.75 14	2.36 21	2.73 15	2.69 23	2.43 21	2.45 11
施策30 ICTの活用推進、働き方改革	2.49 18	2.36 19	2.45 19	2.44 20	2.63 14	2.50 24	2.76 20	2.39 22	2.35 15
施策27 諸団体の強化、再編、補助金等改革	2.46 20	2.20 25	2.45 19	2.16 28	2.43 19	2.62 19	2.85 15	2.58 14	2.17 17
施策10 子育て・教育環境の充実	2.45 21	2.50 18	2.85 9	2.35 25	2.09 27	2.34 26	2.84 17	2.21 26	2.00 21
施策07 人材育成・登用	2.43 22	2.33 20	2.46 18	2.62 15	2.00 30	2.55 23	2.74 21	2.32 24	2.36 14
施策25 市街地の活性化	2.43 22	2.25 23	2.29 24	2.33 26	2.46 18	2.69 16	2.72 22	2.48 18	1.89 26
施策18 全世代交流型施設の検討	2.41 24	2.52 17	2.36 22	2.37 23	2.22 25	2.58 21	2.47 26	2.45 20	1.63 30
施策26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し	2.40 25	2.18 26	2.28 25	2.42 21	2.53 16	2.66 17	2.58 24	2.39 22	2.00 21
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進	2.24 26	2.05 28	1.77 30	2.38 22	2.28 24	2.24 27	2.52 25	2.27 25	2.64 5
施策13 就職氷河期世代対策	2.20 27	2.14 27	2.27 26	2.36 24	2.00 30	2.17 28	2.40 27	2.05 30	2.00 21
施策14 不登校、ひきこもり対策	2.20 27	2.33 20	2.20 27	2.12 29	2.06 28	2.47 25	2.19 30	2.18 28	1.64 29
施策17 空家活用の推進	2.09 29	2.00 29	1.85 29	2.21 27	2.14 26	1.92 31	2.23 29	2.19 27	2.00 21
施策23 交通環境の向上	2.03 30	1.52 31	2.02 28	2.08 30	2.32 23	2.08 29	2.29 28	2.16 29	1.87 27
施策04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成	1.96 31	1.80 30	1.68 31	1.94 31	2.05 29	2.06 30	2.07 31	2.02 31	2.19 16
平均	2.61	2.48	2.57	2.63	2.55	2.74	2.83	2.58	2.27

(3)重要度と満足度の相関関係

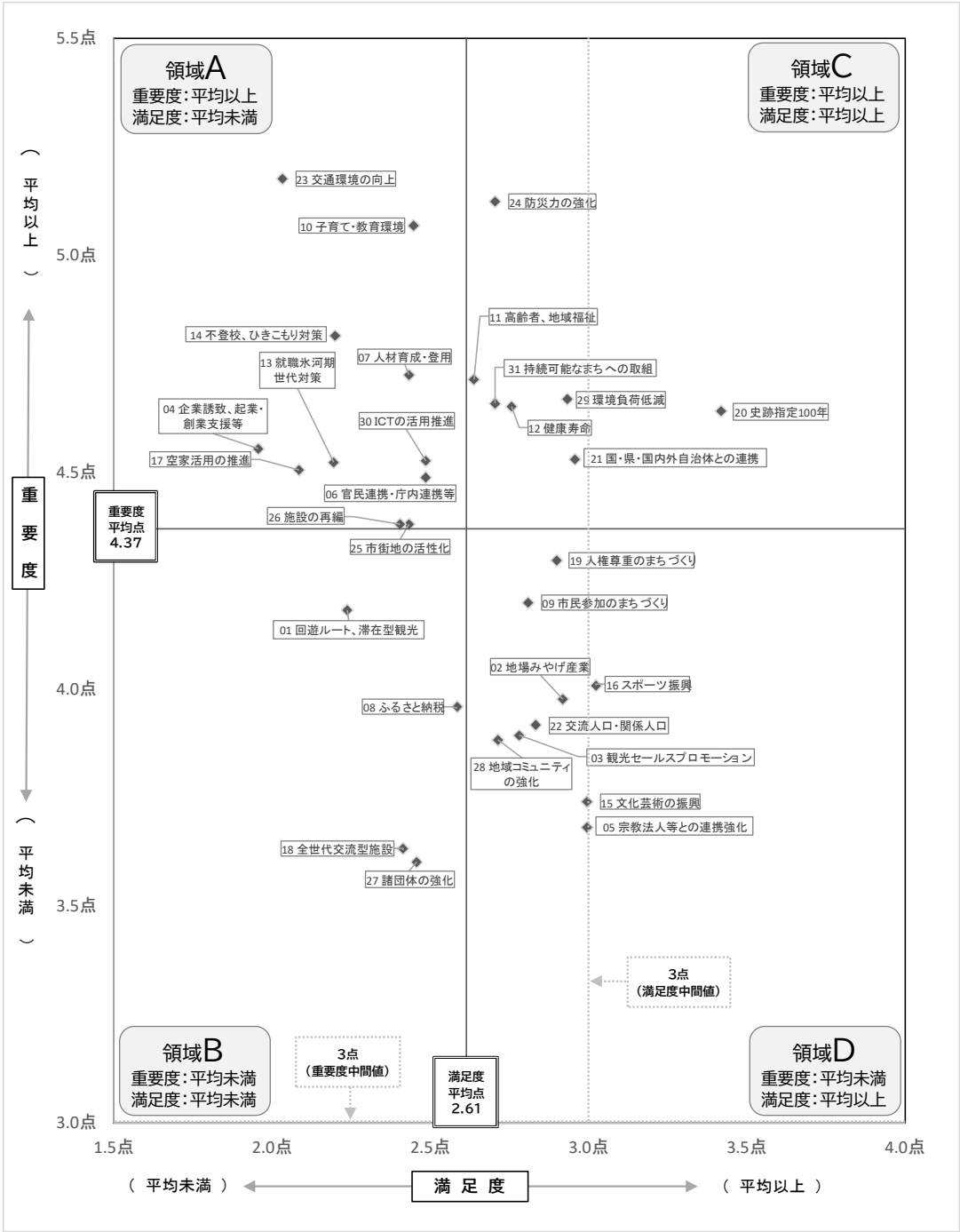
縦軸に重要度、横軸に満足度をとった相関関係をみると、重要度はすべての項目で中間値（3.0）を上回っている。一方、満足度が中間値（3.0）を上回っているのは、「16 スポーツ振興」「20 史跡指定100年」の2施策となっている。



(4)重要度と満足度の領域別相関関係

重要度と満足度の領域別相関関係をみると、重要度が高くかつ満足度が低い【領域A】に入る施策が早急に対応すべき優先度が高い項目となり、その施策は「04 企業誘致、起業・創業支援等」「06 官民連携・庁内連携等」「07 人材育成・登用」「10 子育て・教育環境」「13 就職氷河期世代対策」「14 不登校、ひきこもり対策」「17 空家活用の推進」「23 交通環境の向上」「25 市街地の活性化」「26 施設の再編」「30ICTの活用推進」の 11 施策となっている。

各領域 該当項目 の特徴	【領域A】	重要度・高 満足度・低	今後改善の優先度が高い（行政的ニーズが高い）。
	【領域B】	重要度・低 満足度・低	施策の重要性を理解してもらうとともに満足度をあげていく必要がある。
	【領域C】	重要度・高 満足度・高	重要度・満足度ともに平均以上で、引き続き取り組みの充実が求められる。
	【領域D】	重要度・低 満足度・高	重要度が低く、満足度が高いもので、今後、施策の重要性を理解してもらうことが必要である。



*4領域ごとに、対応すべき優先度が高い項目順に並べている

《重要度×満足度》

A:【重要度】平均以上 【満足度】平均未満

B:【重要度】【満足度】ともに平均未滿

C:【重要度】【満足度】ともに平均以上

D:【重要度】平均未滿 【満足度】平均以上

31施策の重要度得点、満足度得点をそれぞれ単純平均

7. コロナ禍において本市が進めていくべき取り組み(問 16)

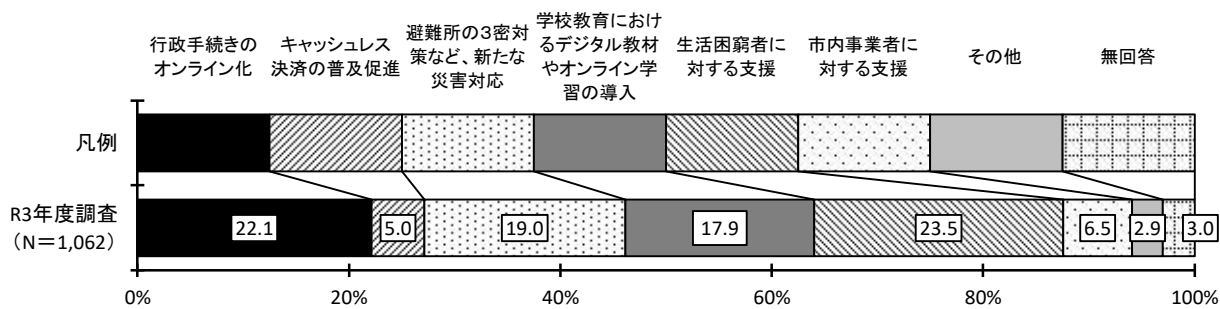
● 本市が進めていくべき取り組みについては、「生活困窮者に対する支援」(23.5%)が最も高い。

本市が進めていくべき取り組みについて、「生活困窮者に対する支援」(23.5%)が最も高く、次いで「行政手続きのオンライン化」(22.1%)、「避難所の3密対策など、新たな災害対応」(19.0%)、「学校教育におけるデジタル教材やオンライン学習の導入」(17.9%)の順となっている。

性別にみると、男性は「行政手続きのオンライン化」(25.8%)、女性は「生活困窮者に対する支援」(22.7%)が最も高くなっている。

年代別にみると、30歳代～40歳代は「学校教育におけるデジタル教材やオンライン学習の導入」が最も高くなっている。

問 16. コロナ禍における新しい生活様式に対応するために、今後本市が特に進めていくべき取り組みは何であると考えますか。(〇は1つ)



		標本数	行政手続きのオンライン化	キャッシュレスの普及促進	避難所の3密対策など、新たな災害対応	学校教育におけるデジタル教材やオンライン学習の導入	生活困窮者に対する支援	市内事業者に対する支援	その他	無回答
全体		1,062	235	53	202	190	250	69	31	32
		100.0	22.1	5.0	19.0	17.9	23.5	6.5	2.9	3.0
性別	男性	484	25.8	5.6	15.5	16.7	24.6	5.8	3.7	2.3
	女性	569	19.3	4.6	21.8	19.0	22.7	7.2	1.9	3.5
	無回答	9	-	-	33.3	11.1	22.2	-	22.2	11.1
年代別	20歳代	78	29.5	7.7	15.4	14.1	24.4	5.1	3.8	-
	30歳代	107	24.3	4.7	13.1	29.0	23.4	4.7	0.9	-
	40歳代	201	21.4	7.5	12.4	25.9	15.4	10.0	6.5	1.0
	50歳代	201	29.4	3.5	14.4	17.4	23.9	6.0	3.0	2.5
	60歳代	200	22.5	5.5	23.0	14.0	20.5	7.0	3.0	4.5
	70歳代以上	272	14.0	3.3	27.9	12.1	31.6	5.1	0.7	5.1
	無回答	3	33.3	-	-	-	-	-	-	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	183	22.4	4.4	21.3	14.2	23.0	9.8	3.3	1.6
	太宰府東小学校区	112	24.1	3.6	22.3	15.2	25.0	4.5	3.6	1.8
	太宰府南小学校区	122	25.4	9.8	13.1	19.7	19.7	8.2	2.5	1.6
	水城小学校区	134	20.1	6.7	11.9	25.4	28.4	2.2	3.7	1.5
	水城西小学校区	123	19.5	4.1	22.8	22.8	20.3	8.1	0.8	1.6
	太宰府西小学校区	187	22.5	3.2	16.0	17.6	26.2	5.3	3.2	5.9
	国分小学校区	140	23.6	3.6	25.0	17.9	18.6	6.4	2.1	2.9
	わからない	48	20.8	6.3	22.9	6.3	29.2	4.2	6.3	4.2
	無回答	13	-	7.7	15.4	-	30.8	15.4	-	30.8

8. 太宰府市自治基本条例の認知度(問 17)

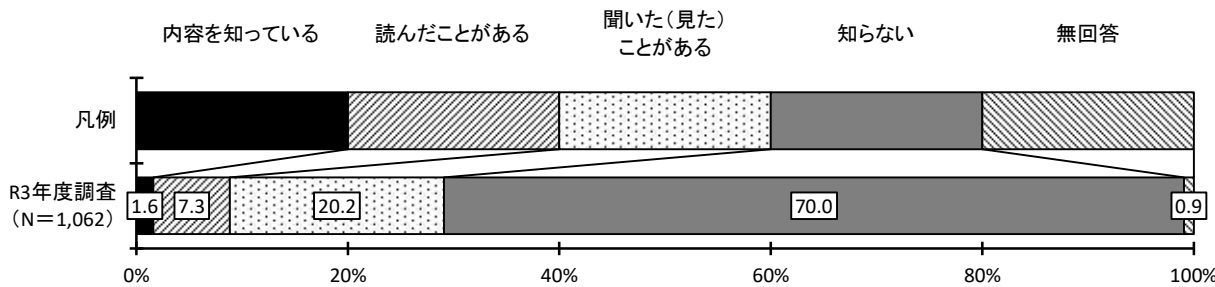
- 太宰府市自治基本条例の認知度については、「知らない」は 70.0%、「聞いた(見た)ことがある」は 20.2%となっている。

太宰府市自治基本条例の認知度は「知らない」(70.0%)が最も高く、次いで「聞いた(見た)ことがある」(20.2%)、「読んだことがある」(7.3%)の順となっている。

性別にみると、「知らない」は男性 68.8%に対し女性 70.7%で、男女ともほぼ同程度となっている。

年代別にみると、「読んだことがある」が最も高いのは 70 歳代以上(12.1%)となっている。

問 17. 本市では市民を主体とした自治を推進し、市民福祉の向上を図ることを目的に「太宰府市自治基本条例」を制定していますが、あなたはこの条例についてご存じですか。(○は1つ)



		標本数	内容を知っている	読んだことがある	聞いた(見た)ことがある	知らない	無回答
全体		1,062	1.6	7.3	20.2	70.0	0.9
性別	男性	484	2.5	6.2	21.9	68.8	0.6
	女性	569	0.9	8.3	19.2	70.7	1.1
	無回答	9	-	-	-	88.9	11.1
年代別	20歳代	78	2.6	7.7	19.2	70.5	-
	30歳代	107	0.9	2.8	19.6	76.6	-
	40歳代	201	0.5	6.0	18.9	74.6	-
	50歳代	201	1.5	6.0	18.4	73.6	0.5
	60歳代	200	2.5	5.0	17.5	74.0	1.0
	70歳代以上	272	1.8	12.1	25.0	58.8	2.2
	無回答	3	-	33.3	33.3	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	183	1.6	9.3	23.0	65.0	1.1
	太宰府東小学校区	112	2.7	8.9	23.2	65.2	-
	太宰府南小学校区	122	-	9.0	21.3	69.7	-
	水城小学校区	134	1.5	9.0	19.4	69.4	0.7
	水城西小学校区	123	-	3.3	19.5	77.2	-
	太宰府西小学校区	187	2.1	5.9	23.0	66.8	2.1
	国分小学校区	140	3.6	7.9	14.3	73.6	0.7
	わからない	48	-	2.1	12.5	83.3	2.1
	無回答	13	-	-	15.4	76.9	7.7

第4節 日頃の暮らし、行動について

1. 子育てのしやすさ(問 18)

●『子育てがしやすい派』は 73.7%、『子育てがしにくい派』は 26.3%となっている。

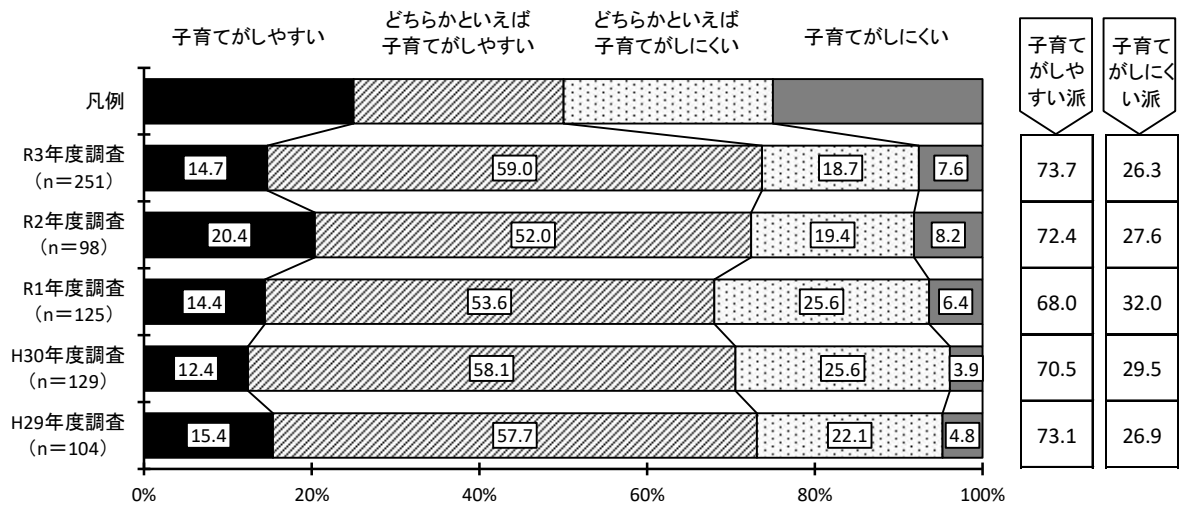
子育て支援の推進について、『子育てがしやすい派』（「子育てがしやすい」と「どちらかといえば子育てがしやすい」の合計）は 73.7%となっている。一方、『子育てがしにくい派』（「子育てがしにくい」と「どちらかといえば子育てがしにくい」の合計）は 26.3%で、『子育てがしやすい派』の方が『子育てがしにくい派』より 47.4 ポイント高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『子育てがしやすい派』は前回調査から 1.3 ポイント増加している。

性別にみると、『子育てがしやすい派』は男性（75.7%）の方が女性（72.0%）より 3.7 ポイント高くなっている。

【中学生までのお子さまをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 18. あなたは本市では子育てがしやすいと思いますか。（○は1つ）



		標本数	子育てがしやすい	子育てがしやすい	子育てがしにくい	子育てがしにくい	無回答	子育てがしやすい派	子育てがしにくい派
全体		251	37	148	47	19	-	185	66
		100.0	14.7	59.0	18.7	7.6	-	73.7	26.3
性別	男性	107	13.1	62.6	15.0	9.3	-	75.7	24.3
	女性	143	16.1	55.9	21.7	6.3	-	72.0	28.0
	無回答	1	-	100.0	-	-	-	100.0	-
年代別	20歳代	9	11.1	77.8	-	11.1	-	88.9	11.1
	30歳代	66	15.2	51.5	22.7	10.6	-	66.7	33.3
	40歳代	116	14.7	55.2	21.6	8.6	-	69.8	30.2
	50歳代	35	11.4	74.3	11.4	2.9	-	85.7	14.3
	60歳代	11	9.1	72.7	18.2	-	-	81.8	18.2
	70歳代以上	14	28.6	64.3	7.1	-	-	92.9	7.1
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	37	8.1	56.8	35.1	-	-	64.9	35.1
	太宰府東小学校区	20	5.0	75.0	5.0	15.0	-	80.0	20.0
	太宰府南小学校区	37	16.2	51.4	27.0	5.4	-	67.6	32.4
	水城小学校区	31	12.9	54.8	16.1	16.1	-	67.7	32.3
	水城西小学校区	41	14.6	68.3	9.8	7.3	-	82.9	17.1
	太宰府西小学校区	41	31.7	56.1	7.3	4.9	-	87.8	12.2
	国分小学校区	41	9.8	61.0	22.0	7.3	-	70.7	29.3
	わからない	3	-	-	66.7	33.3	-	-	100.0
	無回答	-	-	-	-	-	-	-	-

2. 生きがいの実感(問 19)

● 生きがいを感じている『充実派』は 73.3%となっている。

生きがいの実感について、生きがいを感じている『充実派』（「とても感じている」と「どちらかといえば感じている」の合計）は 73.3%で、7 割以上が『充実』と感じている。一方、『不満派』（「全く感じていない」と「どちらかといえば感じていない」の合計）は 24.9%となっている。

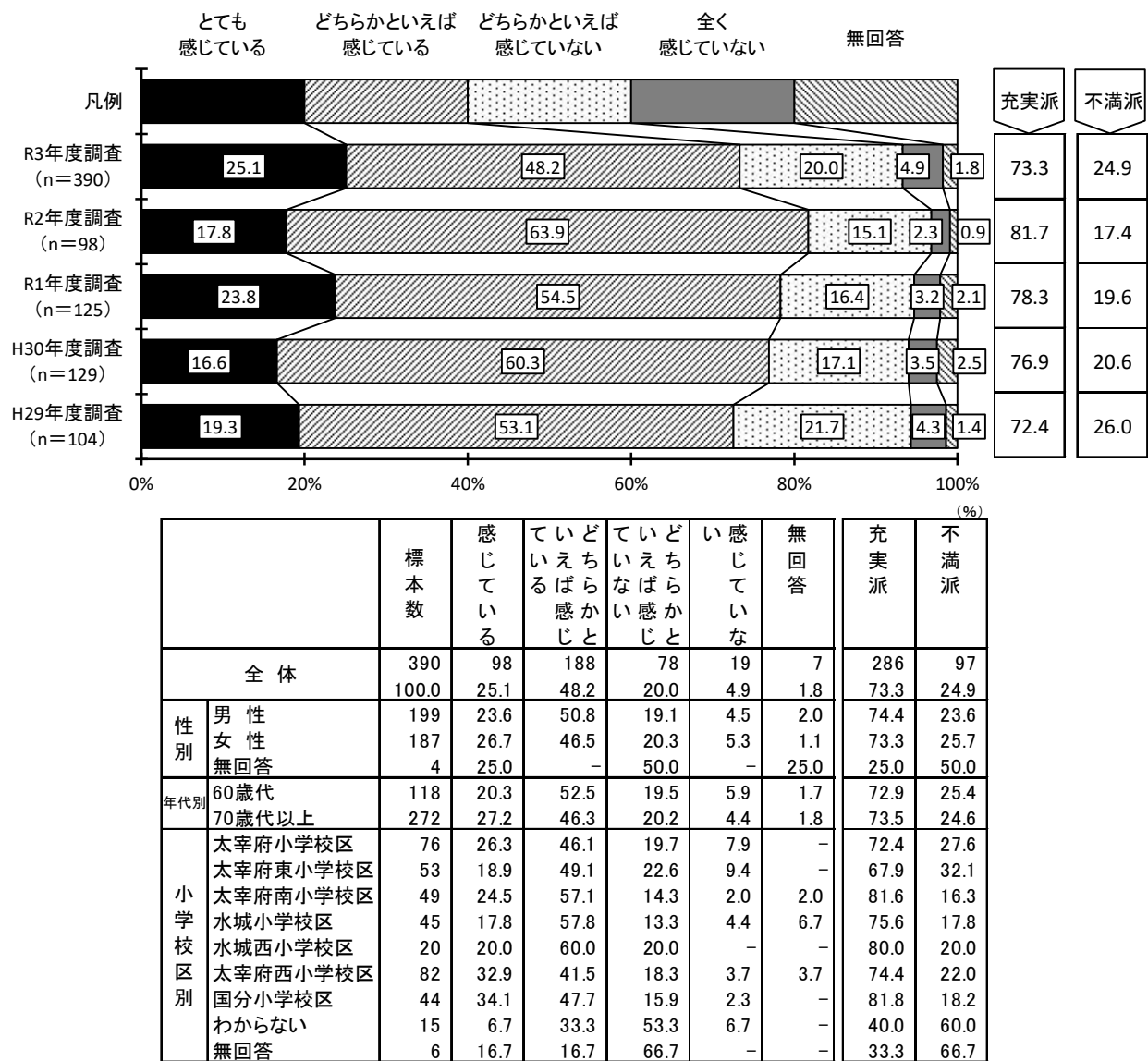
過去の調査結果と比べると、『充実派』は前回調査から 8.4 ポイント減少している。

性別にみると、『充実派』は男性 74.4%に対して女性 73.3%と、男女ともほぼ同程度となっている。

年代別にみると、『充実派』は、60 歳代（72.9%）と 70 歳代以上（73.5%）はほぼ同程度となっている。

【65 歳以上の方だけにおたずねします】

問 19. あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。（○は1つ）



3. 高齢者福祉サービスの充実度(問 20)

● 高齢者福祉サービスについて『充実派』は 23.1%、『不足派』は 29.5%となっている。

高齢者福祉サービスの充実度について、『充実派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は 23.1%となっている。一方、『不足派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は 29.5%で、『不足派』の方が『充実派』より 6.4 ポイント高くなっている。

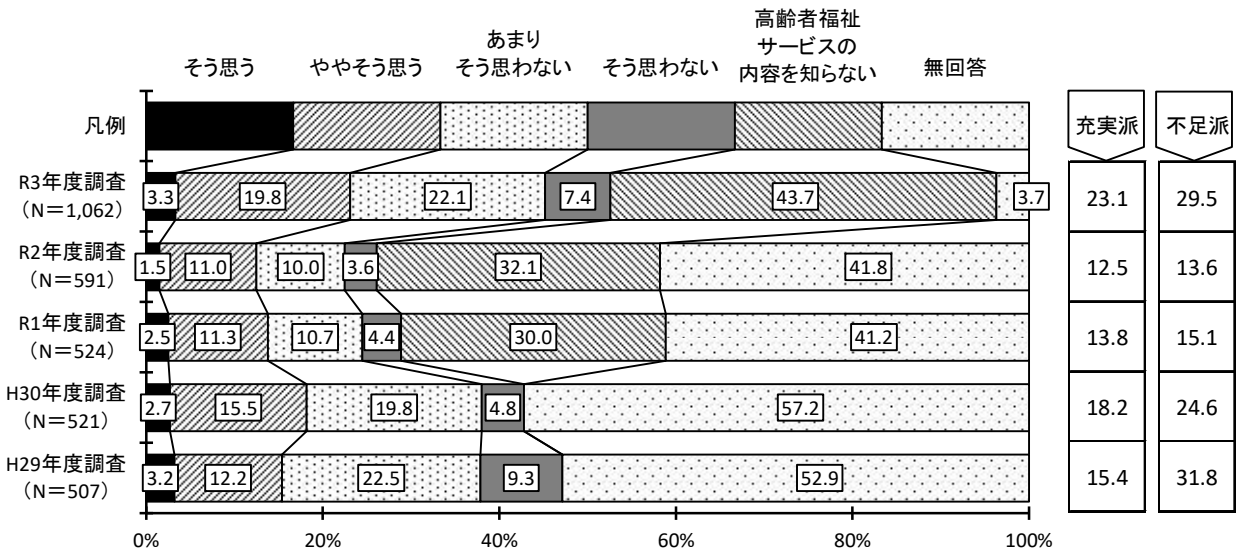
過去の調査結果と比べると、『充実派』は前回調査から 10.6 ポイント、『不足派』は前回調査から 15.9 ポイント増加している。

性別にみると、『充実派』は男性 23.1%に対して女性 23.0%と、男女ともほぼ同程度となっている。一方、『不足派』は男性 (31.8%) の方が女性 (27.6%) より 4.2 ポイント高くなっている。

年代別にみると、『充実派』は 70 歳代以上 (26.1%) が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『充実派』は太宰府西小学校区 (27.3%) が最も高くなっている。一方、『不足派』は太宰府南小学校区 (35.2%) が最も高くなっている。

問 20. あなたは本市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	思わぬ	あまり思わぬ	いそう	ない	サ	高	無	充	不
全 体		1,062	35	210	235	79	464	39				245	314
		100.0	3.3	19.8	22.1	7.4	43.7	3.7				23.1	29.5
性 別	男 性	484	2.9	20.2	23.1	8.7	43.0	2.1				23.1	31.8
	女 性	569	3.5	19.5	21.4	6.2	44.5	4.9				23.0	27.6
	無回答	9	11.1	11.1	11.1	22.2	33.3	11.1				22.2	33.3
年 代 別	20歳代	78	1.3	21.8	17.9	3.8	52.6	2.6				23.1	21.8
	30歳代	107	4.7	16.8	15.0	2.8	57.9	2.8				21.5	17.8
	40歳代	201	2.5	17.9	19.9	8.0	47.3	4.5				20.4	27.9
	50歳代	201	2.0	19.4	19.9	6.0	45.8	7.0				21.4	25.9
	60歳代	200	4.5	19.5	25.5	8.0	40.0	2.5				24.0	33.5
	70歳代以上	272	4.0	22.1	27.2	9.9	34.6	2.2				26.1	37.1
	無回答	3	-	33.3	-	66.7	-	-				33.3	66.7
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	6.0	16.9	24.6	8.7	36.6	7.1				23.0	33.3
	太宰府東小学校区	112	2.7	21.4	22.3	8.0	43.8	1.8				24.1	30.4
	太宰府南小学校区	122	4.1	18.0	22.1	13.1	38.5	4.1				22.1	35.2
	水城小学校区	134	0.7	21.6	21.6	6.0	47.8	2.2				22.4	27.6
	水城西小学校区	123	3.3	15.4	15.4	9.8	52.0	4.1				18.7	25.2
	太宰府西小学校区	187	3.2	24.1	21.9	4.8	43.3	2.7				27.3	26.7
	国分小学校区	140	2.1	22.9	25.0	3.6	43.6	2.9				25.0	28.6
	わからない	48	2.1	12.5	18.8	4.2	58.3	4.2				14.6	22.9
無回答		13	7.7	15.4	38.5	15.4	23.1	-				23.1	53.8

4. 障がい福祉サービスの充実度(問 21)

● 障がい福祉サービスについて『不足派』は 26.1%で、『充実派』(19.2%)よりも高い。

障がい福祉サービスの充実度について、『充実派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は 19.2%、『不足派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は 26.1%で、『不足派』の方が『充実派』より 6.9 ポイント高くなっている。

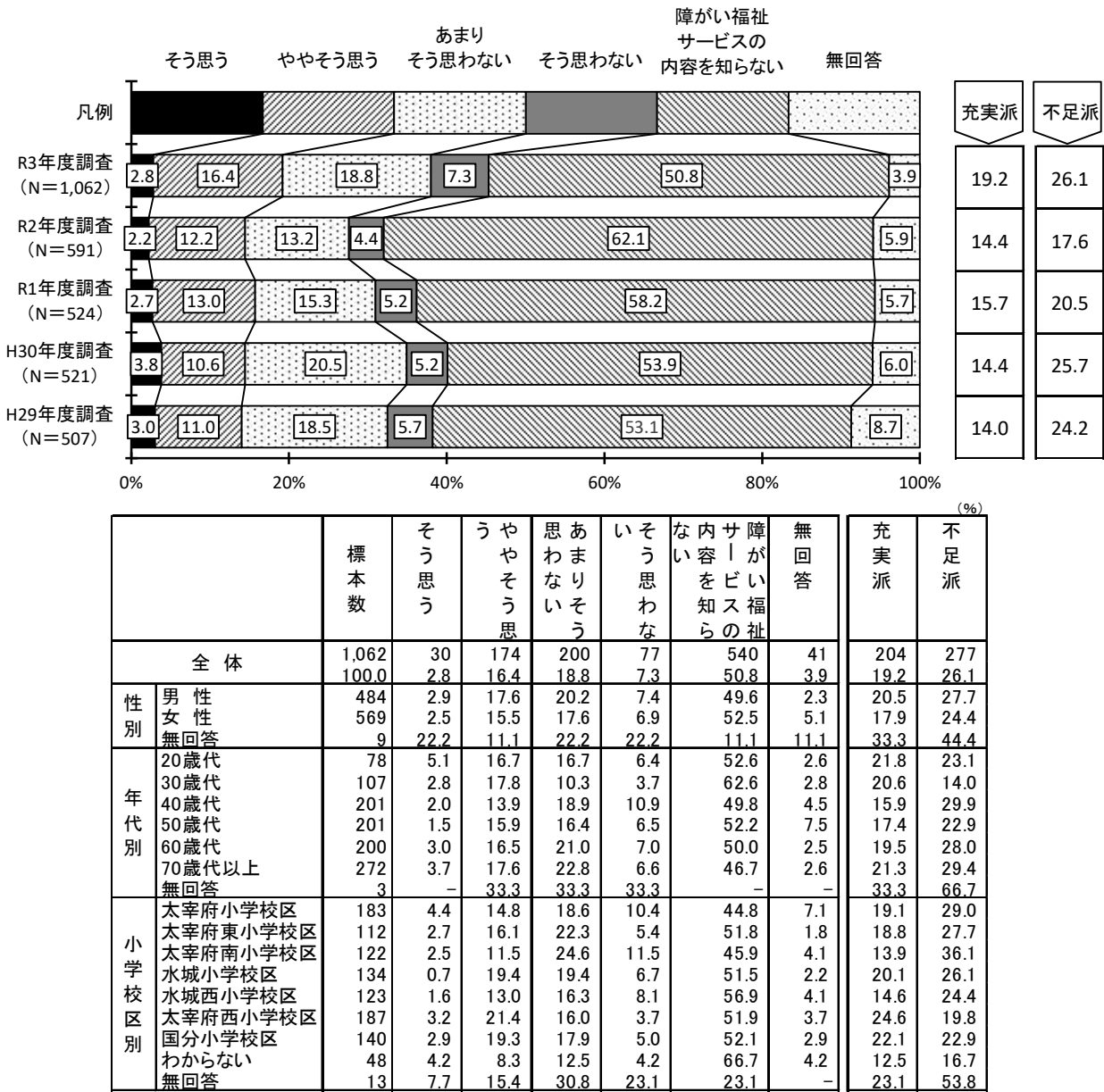
過去の調査結果と比べると、『充実派』は前回調査から 4.8 ポイント、『不足派』は前回調査から 8.5 ポイント増加している。

性別にみると、『充実派』は男性 (20.5%) の方が女性 (17.9%) より高くなっている。

年代別にみると、『充実派』は 20 歳代 (21.8%) が最も高くなっており、一方、『不足派』は 40 歳代 (29.9%) が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『充実派』が最も高くなっているのは太宰府西小学校区 (24.6%) となっている。一方、『不足派』が最も高くなっているのは太宰府南小学校区 (36.1%) となっている。

問 21. あなたは本市の障がい福祉サービスは充実していると思いますか。(〇は 1 つ)



5. 公共施設の弱者への配慮(問 22)

● 公共施設の配慮について『肯定派』は 39.2%、『否定派』は 32.1%となっている。

公共施設の弱者への配慮について、配慮されているという『肯定派』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は 39.2%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）は 32.1%で、『肯定派』の方が『否定派』より 7.1 ポイント高くなっている。

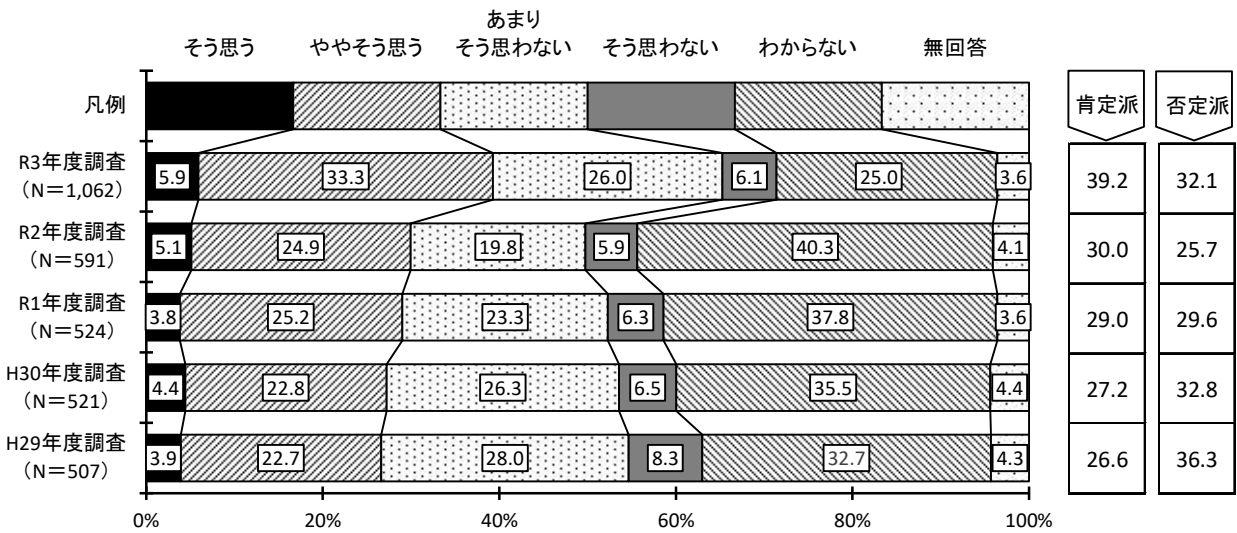
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から 9.2 ポイント、『否定派』は前回調査から 6.4 ポイント増加している。

性別にみると、『肯定派』は男性（41.1%）の方が女性（37.6%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は 20 歳代（48.7%）が最も高くなっており、一方、『否定派』は 60 歳代（40.5%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区を除き、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。『肯定派』は太宰府西小学校区（43.9%）が最も高くなっている。

問 22. あなたは市内の公共施設（市役所など）が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定派 (%)	否定派 (%)
全体		1,062	63	354	276	65	266	38	417	341
		100.0	5.9	33.3	26.0	6.1	25.0	3.6	39.2	32.1
性別	男性	484	6.6	34.5	26.0	7.0	23.8	2.1	41.1	33.1
	女性	569	5.3	32.3	26.0	5.3	26.4	4.7	37.6	31.3
	無回答	9	11.1	33.3	22.2	11.1	11.1	11.1	44.4	33.3
年代別	20歳代	78	9.0	39.7	19.2	6.4	23.1	2.6	48.7	25.6
	30歳代	107	5.6	38.3	18.7	0.9	32.7	3.7	43.9	19.6
	40歳代	201	3.0	32.8	28.9	8.5	21.9	5.0	35.8	37.3
	50歳代	201	6.0	32.8	21.4	5.0	27.9	7.0	38.8	26.4
	60歳代	200	5.0	30.0	33.0	7.5	22.5	2.0	35.0	40.5
	70歳代以上	272	8.1	32.7	27.2	5.9	24.6	1.5	40.8	33.1
	無回答	3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	183	8.7	25.7	31.1	8.7	19.1	6.6	34.4	39.9
	太宰府東小学校区	112	6.3	36.6	32.1	0.9	21.4	2.7	42.9	33.0
	太宰府南小学校区	122	4.9	33.6	27.9	9.8	19.7	4.1	38.5	37.7
	水城小学校区	134	6.0	34.3	25.4	7.5	26.1	0.7	40.3	32.8
	水城西小学校区	123	3.3	35.8	22.8	5.7	28.5	4.1	39.0	28.5
	太宰府西小学校区	187	5.9	38.0	22.5	3.2	27.8	2.7	43.9	25.7
	国分小学校区	140	5.0	37.1	21.4	5.0	27.9	3.6	42.1	26.4
	わからない	48	4.2	20.8	25.0	6.3	39.6	4.2	25.0	31.3
無回答		13	15.4	15.4	23.1	23.1	23.1	-	30.8	46.2

6. 民間施設の弱者への配慮(問 23)

● 民間施設の弱者への配慮について『否定派』は 39.5%で、『肯定派』(26.2%)よりも高い。

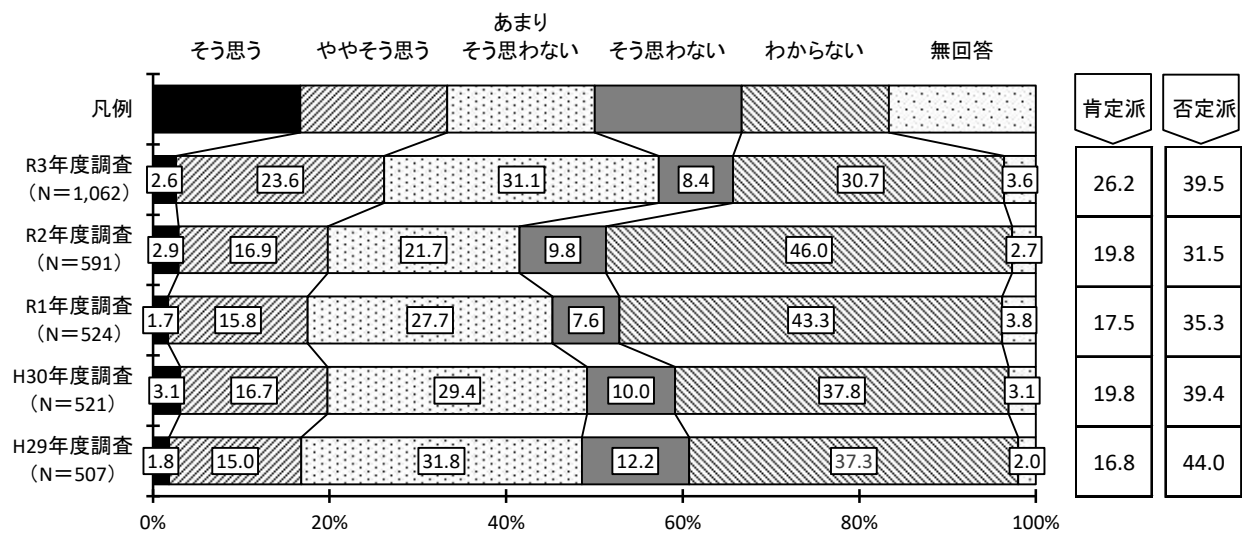
民間施設の弱者への配慮について、『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計) は 26.2% となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計) は 39.5%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

性別にみると、『肯定派』は女性 (26.9%) の方が男性 (25.6%) より高くなっている。

年代別にみると、20 歳代～30 歳代を除くすべての年代で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

問 23. あなたは市内の民間施設が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。
(○は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定派	否定派
全体		1,062	28	251	330	89	326	38	279	419
		100.0	2.6	23.6	31.1	8.4	30.7	3.6	26.2	39.5
性別	男性	484	1.7	24.0	34.3	8.1	30.0	2.1	25.6	42.4
	女性	569	3.3	23.6	28.1	8.6	31.6	4.7	26.9	36.7
	無回答	9	11.1	11.1	44.4	11.1	11.1	11.1	22.2	55.6
年代別	20歳代	78	3.8	35.9	23.1	3.8	30.8	2.6	39.7	26.9
	30歳代	107	4.7	24.3	19.6	6.5	42.1	2.8	29.0	26.2
	40歳代	201	2.0	26.9	28.4	10.4	27.9	4.5	28.9	38.8
	50歳代	201	2.0	23.4	28.9	7.5	31.3	7.0	25.4	36.3
	60歳代	200	2.0	20.0	39.5	10.5	26.0	2.0	22.0	50.0
	70歳代以上	272	2.9	20.2	35.7	7.7	31.3	2.2	23.2	43.4
	無回答	3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	183	4.4	21.3	36.6	8.7	22.4	6.6	25.7	45.4
	太宰府東小学校区	112	3.6	24.1	35.7	8.0	26.8	1.8	27.7	43.8
	太宰府南小学校区	122	0.8	27.0	32.8	11.5	23.8	4.1	27.9	44.3
	水城小学校区	134	-	21.6	33.6	8.2	35.1	1.5	21.6	41.8
	水城西小学校区	123	0.8	26.0	27.6	6.5	35.0	4.1	26.8	34.1
	太宰府西小学校区	187	4.3	24.6	29.4	5.9	33.2	2.7	28.9	35.3
	国分小学校区	140	3.6	25.0	25.0	7.9	35.7	2.9	28.6	32.9
	わからない	48	-	18.8	20.8	12.5	41.7	6.3	18.8	33.3
無回答		13	7.7	7.7	30.8	23.1	30.8	-	15.4	53.8

7. 交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況(問 24)

● 移動手段の確保について『否定派』は 52.6%で、『肯定派』(23.4%)よりも高い。

交通弱者にとって必要な移動手段の確保状況について、『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は 23.4%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は 52.6%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

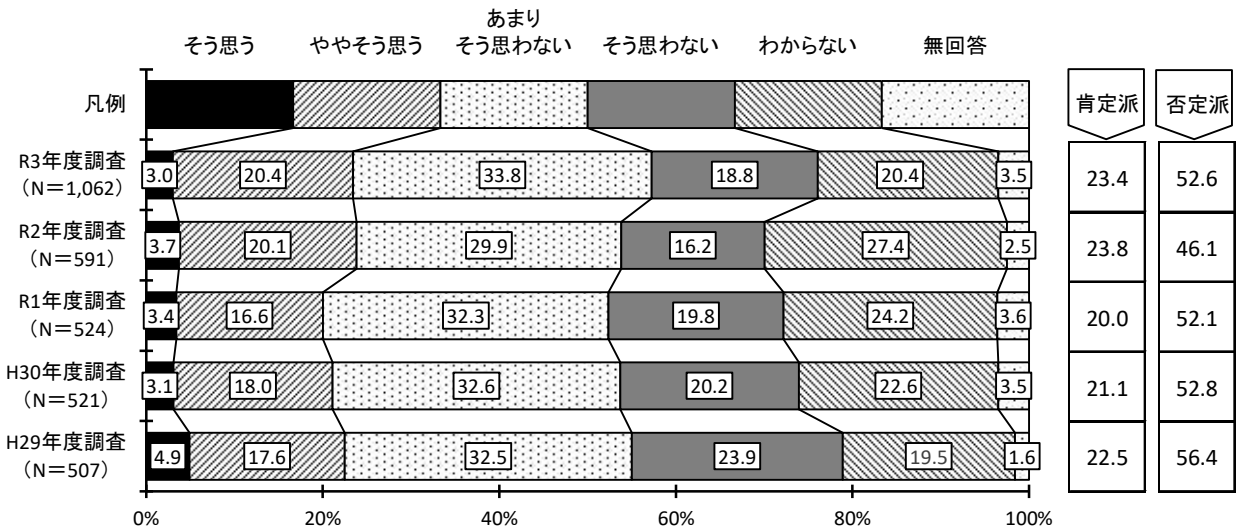
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から 0.4 ポイント減少しており、『否定派』は 6.5 ポイント増加している。

性別にみると、『否定派』は男性 52.3%に対して女性 52.9%と、男女ともほぼ同程度となっている。

年代別にみると、すべての年代で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

問 24. あなたは本市では高齢者や障がい者などの交通弱者にとって必要な移動手段が確保されていると思いますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	わからない	無回答	肯定派	否定派
全体		1,062	32	217	359	200	217	37	249	559
		100.0	3.0	20.4	33.8	18.8	20.4	3.5	23.4	52.6
性別	男性	484	3.3	21.7	35.1	17.1	20.7	2.1	25.0	52.3
	女性	569	2.6	19.5	32.5	20.4	20.4	4.6	22.1	52.9
	無回答	9	11.1	11.1	44.4	11.1	11.1	11.1	22.2	55.6
年代別	20歳代	78	7.7	29.5	29.5	12.8	17.9	2.6	37.2	42.3
	30歳代	107	1.9	29.9	26.2	12.1	27.1	2.8	31.8	38.3
	40歳代	201	3.0	19.9	36.3	17.4	18.9	4.5	22.9	53.7
	50歳代	201	2.5	16.9	29.4	19.9	24.4	7.0	19.4	49.3
	60歳代	200	2.5	16.5	39.0	24.0	16.0	2.0	19.0	63.0
	70歳代以上	272	2.9	19.9	36.0	19.5	19.9	1.8	22.8	55.5
	無回答	3	-	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	183	3.8	18.6	34.4	20.2	16.4	6.6	22.4	54.6
	太宰府東小学校区	112	0.9	18.8	38.4	22.3	17.9	1.8	19.6	60.7
	太宰府南小学校区	122	4.1	18.9	32.8	23.8	16.4	4.1	23.0	56.6
	水城小学校区	134	0.7	19.4	32.8	21.6	23.9	1.5	20.1	54.5
	水城西小学校区	123	2.4	19.5	35.0	16.3	22.8	4.1	22.0	51.2
	太宰府西小学校区	187	4.8	26.2	33.2	13.9	19.3	2.7	31.0	47.1
	国分小学校区	140	2.1	23.6	32.9	16.4	22.1	2.9	25.7	49.3
	わからない	48	2.1	12.5	35.4	14.6	31.3	4.2	14.6	50.0
無回答		13	15.4	7.7	7.7	30.8	38.5	-	23.1	38.5

8. 地域福祉の促進状況(問 25)

● 地域での福祉活動が活発に行われているかについて『否定派』が 60.7%で、『肯定派』(35.0%)より高い。

地域福祉の促進について、『肯定派』(「そう思う」と「ややそう思う」の合計)は35.0%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計)は60.7%で、『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から 4.6 ポイント減少しており、『否定派』は 6.0 ポイント増加している。

性別にみると、男女とも、『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で、『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。なお、『肯定派』は 40 歳代 (38.8%) が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっている。

問 25. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。(〇は1つ)



9. 健康状態(問 26)

● ここ数週間の健康状態は『健康』は 84.0%、『不調』は 12.6%となっている。

ここ数週間の健康状態について、『健康』（「健康である」と「健康な方である」の合計）は 84.0% となっている。一方、『不調』（「健康ではない」と「あまり健康ではない」の合計）は 12.6%で、『健康』が 8 割以上となっている。

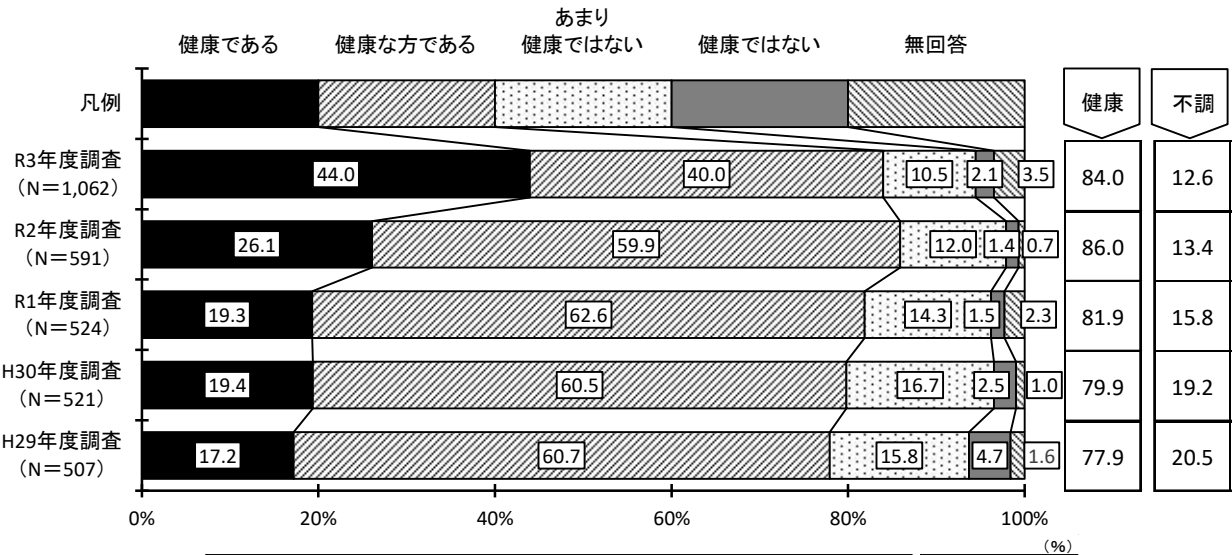
過去の調査結果と比べると、『健康』は前回調査から 2.0 ポイント、『不調』は 0.8 ポイント減少している。

性別にみると、『健康』は男性 84.3%に対して女性 83.7%と、男女ともほぼ同程度となっている。

年代別にみると、『健康』はすべての年代で 8 割を超えている。

小学校区別にみると、『健康』はすべての小学校区で 8 割を超えている。

問 26. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。（○は 1 つ）



		標本数	健康である	健康な方である	あまり健康ではない	健康ではない	無回答	健康	不調
全 体		1,062	467	425	111	22	37	892	133
		100.0	44.0	40.0	10.5	2.1	3.5	84.0	12.6
性別	男 性	484	46.7	37.6	11.6	2.1	2.1	84.3	13.6
	女 性	569	41.7	42.0	9.7	2.1	4.6	83.7	11.8
	無回答	9	44.4	44.4	-	-	11.1	88.9	-
年代別	20歳代	78	52.6	34.6	9.0	2.6	1.3	87.2	11.5
	30歳代	107	55.1	35.5	3.7	2.8	2.8	90.7	6.5
	40歳代	201	49.3	34.8	10.0	0.5	5.5	84.1	10.4
	50歳代	201	51.2	28.9	10.4	2.5	7.0	80.1	12.9
	60歳代	200	38.5	46.0	12.0	1.5	2.0	84.5	13.5
	70歳代以上	272	32.0	51.1	12.5	2.9	1.5	83.1	15.4
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	-	-	66.7	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	183	40.4	41.0	10.4	2.2	6.0	81.4	12.6
	太宰府東小学校区	112	41.1	42.9	12.5	1.8	1.8	83.9	14.3
	太宰府南小学校区	122	44.3	42.6	8.2	-	4.9	86.9	8.2
	水城小学校区	134	47.0	43.3	9.0	-	0.7	90.3	9.0
	水城西小学校区	123	53.7	26.8	13.0	1.6	4.9	80.5	14.6
	太宰府西小学校区	187	46.5	36.4	10.2	4.3	2.7	82.9	14.4
	国分小学校区	140	40.0	47.9	7.9	1.4	2.9	87.9	9.3
	わからない	48	35.4	39.6	12.5	8.3	4.2	75.0	20.8
	無回答	13	30.8	38.5	30.8	-	-	69.2	30.8

10. 健康増進の取り組み状況(問 27)

● 健康増進のために取り組んでいるものが「ある」と答えた人は6割以上となっている。

健康増進のために日頃から取り組んでいるものについて、取り組んでいるものが「ある」と答えた割合は62.1%、「ない」と答えた割合は34.2%となっている。

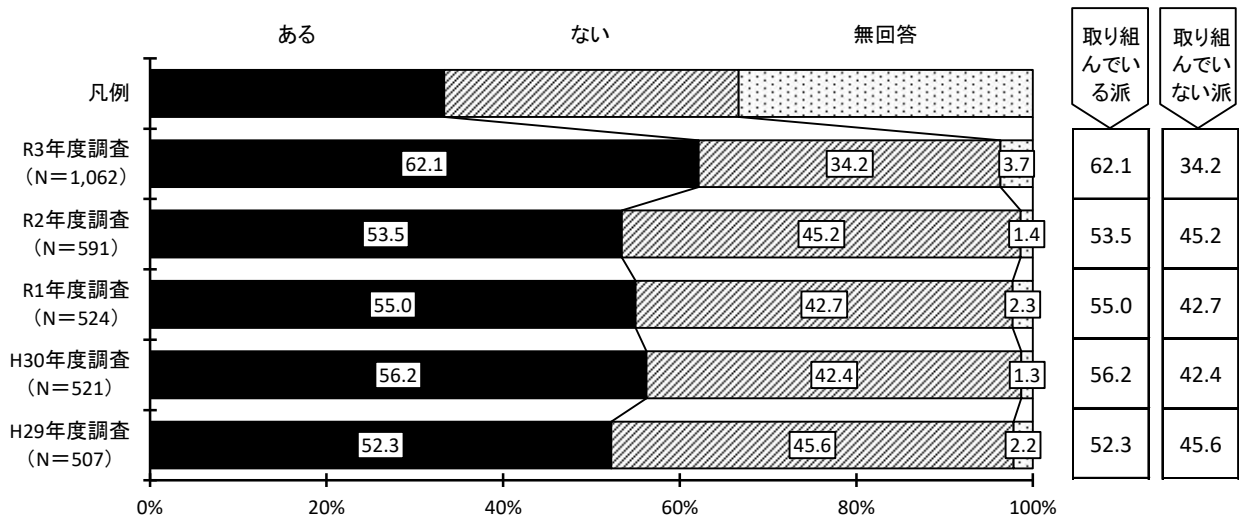
過去の調査結果と比べると、『取り組んでいる派』は前回調査から8.6ポイント増加しており、『取り組んでいない派』は11.0ポイント減少している。

性別にみると、『取り組んでいる派』は男性(66.5%)の方が女性(58.9%)より高くなっている。

年代別にみると、『取り組んでいる派』は70歳代以上(74.6%)が最も高くなっており、一方、『取り組んでいない派』は30歳代(53.3%)が最も高くなっている。

健康状態別にみると、『健康』な人ほど『取り組んでいる派』の割合が高く、健康状態と健康増進の取り組みで関連性がみられる。

問 27. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいることがありますか。(○は1つ)



		標本数	ある	ない	無回答
全 体		1,062	660	363	39
		100.0	62.1	34.2	3.7
性 別	男 性	484	66.5	31.4	2.1
	女 性	569	58.9	36.2	4.9
	無回答	9	33.3	55.6	11.1
年 代 別	20歳代	78	60.3	38.5	1.3
	30歳代	107	43.9	53.3	2.8
	40歳代	201	52.7	42.3	5.0
	50歳代	201	57.7	34.8	7.5
	60歳代	200	70.0	28.0	2.0
	70歳代以上	272	74.6	23.2	2.2
	無回答	3	33.3	66.7	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	65.6	28.4	6.0
	太宰府東小学校区	112	62.5	35.7	1.8
	太宰府南小学校区	122	63.1	32.0	4.9
	水城小学校区	134	56.0	42.5	1.5
	水城西小学校区	123	60.2	35.0	4.9
	太宰府西小学校区	187	68.4	28.3	3.2
	国分小学校区	140	62.1	35.0	2.9
	わからない	48	45.8	50.0	4.2
	無回答	13	53.8	46.2	-
健 康 状 態 別	健康である	467	67.7	32.1	0.2
	健康な方である	425	66.1	33.2	0.7
	あまり健康ではない	111	44.1	55.9	-
	健康ではない	22	59.1	40.9	-
	無回答	37	2.7	2.7	94.6

11. 健康診査の受診状況(問 28)

● この一年間の健康診査の受診率は6割以上となっている。

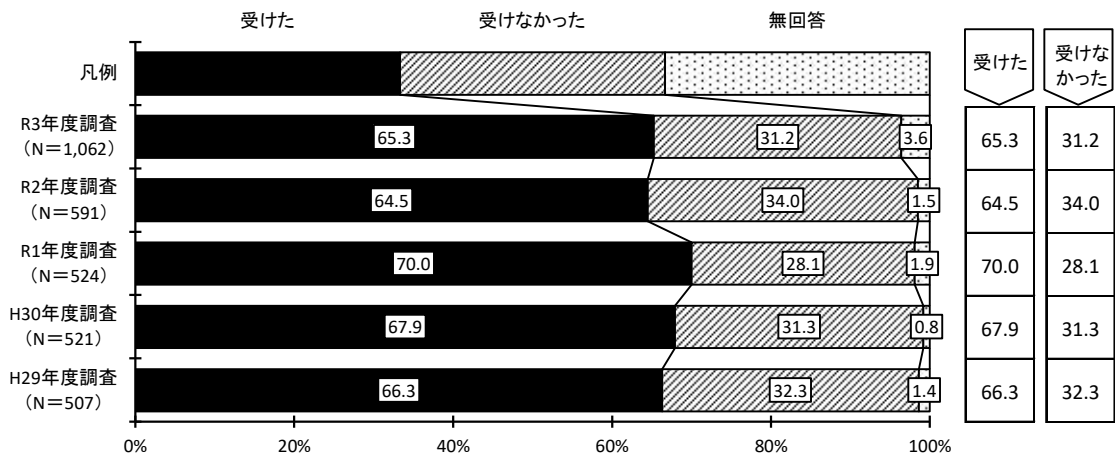
健康診査の受診状況について、一年間の健康診査の受診状況をみると、「受けた」が65.3%、「受けなかった」は31.2%となっている。

過去の調査結果と比べると、『受診率』は前回調査から0.8ポイント増加している。

性別・年代別にみると、男女ともにすべての年代で「受けた」の方が「受けなかった」より高くなっている。

健康状態別に受診率をみると、『健康』な人ほど「受けた」の割合が高く、健康状態と受診率の関連性がみられる。

問 28. あなたはこの一年間に、「健康診査」（がん検診、人間ドックを含む）を受けましたか。
（○は1つ）



		標本数	受けた	か受けたな	無回答
全 体		1,062	693	331	38
		100.0	65.3	31.2	3.6
性別	男 性	484	69.2	28.7	2.1
	女 性	569	62.2	33.0	4.7
	無回答	9	44.4	44.4	11.1
性別・年代別	男性: 20歳代	32	53.1	46.9	-
	男性: 30歳代	45	62.2	35.6	2.2
	男性: 40歳代	86	74.4	23.3	2.3
	男性: 50歳代	81	72.8	22.2	4.9
	男性: 60歳代	98	75.5	23.5	1.0
	男性: 70歳代以上	142	65.5	33.1	1.4
	女性: 20歳代	45	55.6	42.2	2.2
	女性: 30歳代	62	53.2	43.5	3.2
	女性: 40歳代	115	60.0	33.9	6.1
	女性: 50歳代	117	66.7	23.9	9.4
	女性: 60歳代	101	66.3	29.7	4.0
	女性: 70歳代以上	127	63.0	35.4	1.6
小学校区別	無回答	11	54.5	36.4	9.1
	太宰府小学校区	183	66.7	26.8	6.6
	太宰府東小学校区	112	66.1	32.1	1.8
	太宰府南小学校区	122	68.0	27.0	4.9
	水城小学校区	134	64.2	35.1	0.7
	水城西小学校区	123	65.0	30.1	4.9
	太宰府西小学校区	187	65.8	31.0	3.2
	国分小学校区	140	63.6	34.3	2.1
	わからない	48	62.5	33.3	4.2
健康状態別	無回答	13	46.2	53.8	-
	健康である	467	70.9	28.5	0.6
	健康な方である	425	66.1	33.9	-
	あまり健康ではな	111	62.2	37.8	-
	健康ではない	22	45.5	54.5	-
	無回答	37	5.4	-	94.6

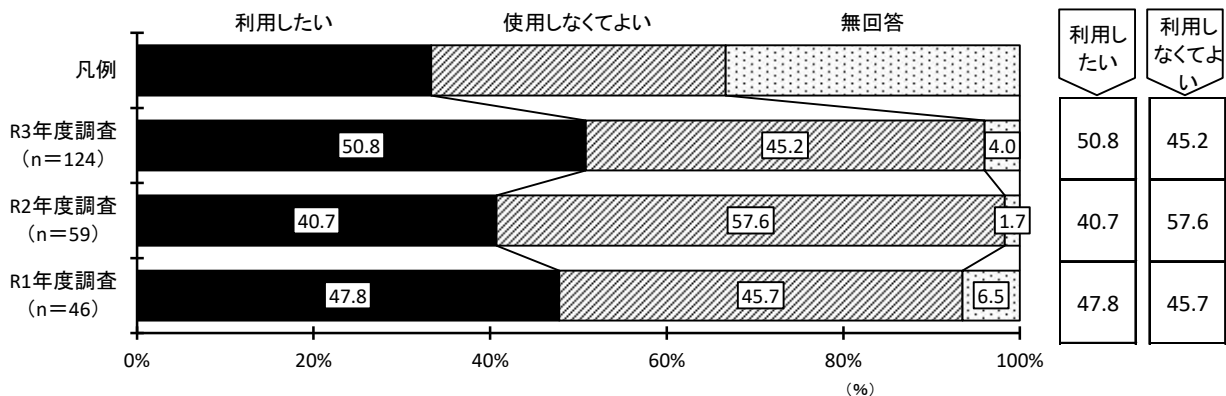
12. 市が健康診査(集団健診)を行った場合の利用意向(問 29)

● 健康診査(集団健診)を行った場合の利用意向は 50.8%となっている。

市が健康診査(集団健診)を行った場合の利用意向について、「利用したい」と答えた割合は50.8%、「利用しなくてよい」と答えた割合は45.2%となっており、「利用したい」の方が「利用しなくてよい」よりも高くなっている。

性別にみると、「利用したい」と答えた割合は男性(53.4%)の方が女性(47.1%)より高くなっている。

問 29. 【75 歳以上の方だけにおたずねします。】医療機関が行う健康診査(個別健診)のほかに、本市が行う健康診査(集団健診)があれば、そちらを利用したいですか。(○は1つ)



		標本数	利用したい	て利用しなく	無回答
全 体		124	63.0	56.0	5.0
		100.0	50.8	45.2	4.0
性別	男 性	73	53.4	43.8	2.7
	女 性	51	47.1	47.1	5.9
	無回答	-	-	-	-
小学校区別	太宰府小学校区	25	60.0	36.0	4.0
	太宰府東小学校区	20	60.0	40.0	-
	太宰府南小学校区	15	60.0	33.3	6.7
	水城小学校区	15	33.3	66.7	-
	水城西小学校区	6	50.0	50.0	-
	太宰府西小学校区	23	52.2	43.5	4.3
	国分小学校区	11	36.4	54.5	9.1
	わからない	6	50.0	33.3	16.7
健康状態別	無回答	3	-	100.0	-
	健康である	32	37.5	56.3	6.3
	健康な方である	65	53.8	44.6	1.5
	あまり健康ではない	22	68.2	27.3	4.5
	健康ではない	4	25.0	75.0	-
	無回答	1	-	-	100.0

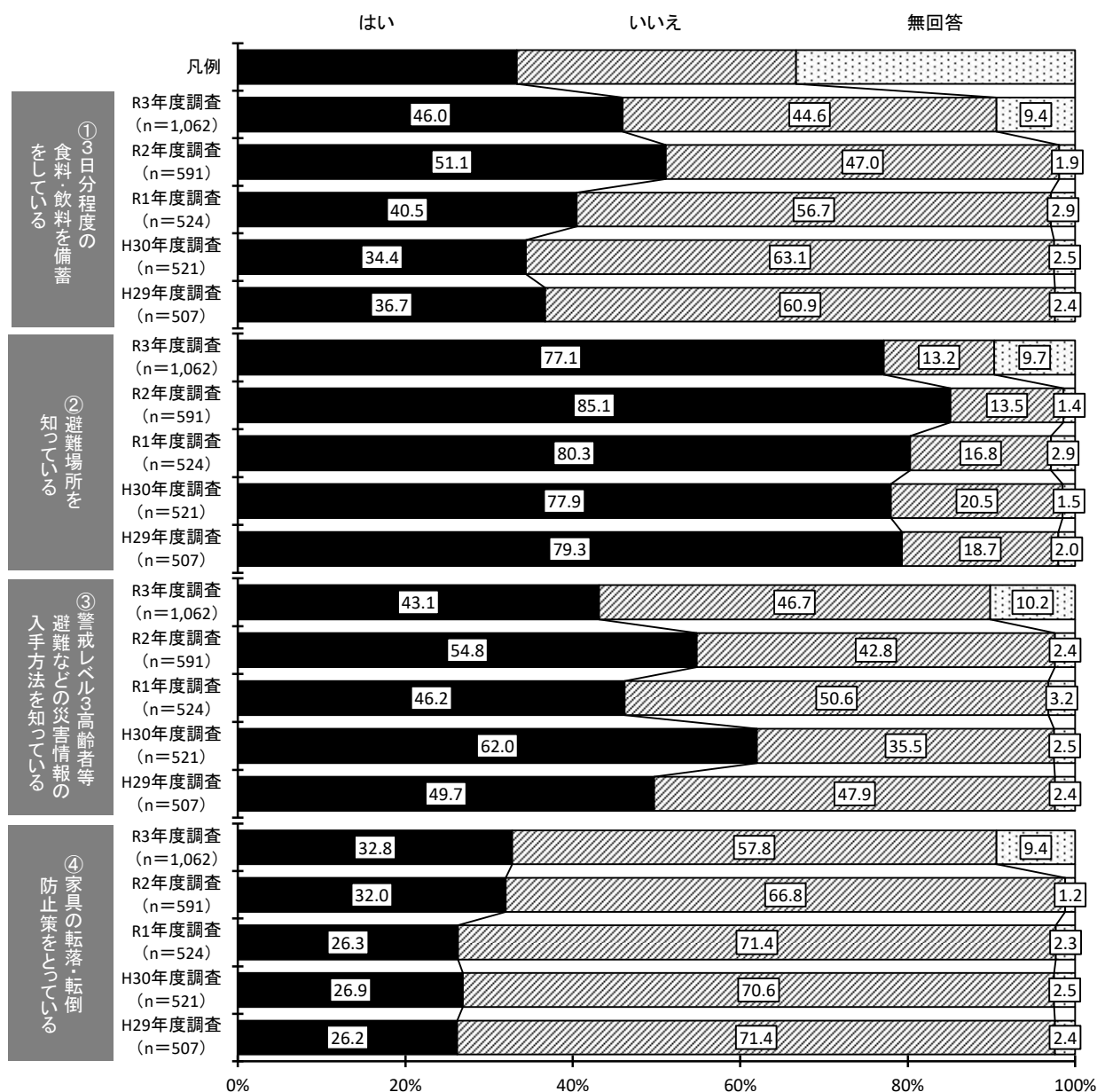
13. 災害に対する日頃の備え(問 30)

- 日頃の災害に対する備えができていないのは「②避難場所を知っている」、「①食料の備蓄」、「③災害情報源の認知」、「④家具の転倒防止策」の順となっている。

防災・消防体制の整備充実について、実施率（「はい」の割合）をみると「②避難場所を知っている」（77.1%）が最も高く、次いで「①食料の備蓄」（46.0%）、「③災害情報源の認知」（43.1%）、「④家具の転倒防止策」（32.8%）の順となっている。なお、備えができていない人（「いいえ」と回答した人）ができていない人（「はい」と回答した人）より高いのは、「③災害情報源の認知」（46.7%）、「④家具の転倒防止策」（57.8%）の2項目である。

過去の調査結果と比べると、実施率は「④家具の転倒防止策」を除いたすべての項目で前回調査から減少している。

問 30. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。（○はそれぞれ1つずつ）



性別にみると、実施率は、「③災害情報源の認知」を除くすべての項目で女性の方が男性より高くなっている。

年代別にみると、実施率は、すべての年代で「②避難場所を知っている」が最も高くなっており、70歳代以上（82.4%）では他の年代より高くなっている。

小学校区別にみると、「③災害情報源の認知」の実施率（「はい」の割合）は、国分小学校区（52.9%）では5割を超え高くなっている。

(%)

		標 本 数	①3日分程度の食料・飲料の備蓄をしている			②避難場所を知っている			③高齢者等避難などの災害情報の入手方法を知っている			④家具の転落・転倒防止策をとっている		
			はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答	はい	いいえ	無回答
全 体		1,062 100.0	488 46.0	474 44.6	100 9.4	819 77.1	140 13.2	103 9.7	458 43.1	496 46.7	108 10.2	348 32.8	614 57.8	100 9.4
性 別	男 性	484	45.7	46.3	8.1	74.8	16.5	8.7	44.6	46.5	8.9	30.8	61.2	8.1
	女 性	569	46.4	43.1	10.5	79.3	10.2	10.5	42.0	46.7	11.2	34.3	55.2	10.5
	無回答	9	33.3	55.6	11.1	66.7	22.2	11.1	33.3	55.6	11.1	44.4	44.4	11.1
年 代 別	20歳代	78	33.3	60.3	6.4	74.4	17.9	7.7	43.6	48.7	7.7	35.9	57.7	6.4
	30歳代	107	44.9	50.5	4.7	79.4	15.9	4.7	44.9	50.5	4.7	28.0	67.3	4.7
	40歳代	201	40.3	47.8	11.9	76.1	11.4	12.4	45.8	41.8	12.4	34.3	53.2	12.4
	50歳代	201	43.8	45.3	10.9	75.1	13.9	10.9	37.3	51.2	11.4	32.8	56.2	10.9
	60歳代	200	47.0	40.0	13.0	73.5	14.0	12.5	40.5	46.0	13.5	30.0	57.0	13.0
	70歳代以上	272	55.5	38.2	6.3	82.4	10.7	7.0	46.7	45.6	7.7	34.2	59.6	6.3
	無回答	3	-	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	33.3	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	47.5	41.0	11.5	73.8	13.1	13.1	47.0	39.9	13.1	35.0	52.5	12.6
	太宰府東小学校区	112	50.0	46.4	3.6	87.5	8.9	3.6	48.2	47.3	4.5	28.6	67.9	3.6
	太宰府南小学校区	122	45.1	45.9	9.0	81.1	9.8	9.0	41.8	49.2	9.0	30.3	60.7	9.0
	水城小学校区	134	38.1	51.5	10.4	71.6	17.9	10.4	42.5	47.0	10.4	29.1	60.4	10.4
	水城西小学校区	123	39.8	49.6	10.6	77.2	12.2	10.6	41.5	47.2	11.4	35.8	53.7	10.6
	太宰府西小学校区	187	50.3	38.0	11.8	76.5	11.8	11.8	35.3	52.4	12.3	33.7	55.1	11.2
	国分小学校区	140	46.4	47.9	5.7	86.4	7.9	5.7	52.9	40.0	7.1	37.1	57.1	5.7
	わからない 無回答	48 13	47.9 61.5	39.6 30.8	12.5 7.7	54.2 46.2	33.3 46.2	12.5 7.7	31.3 30.8	56.3 61.5	12.5 7.7	25.0 38.5	62.5 61.5	12.5 -

14. 消防団の認知度(問 31)

● 消防団の認知度は 87.0%となっている。

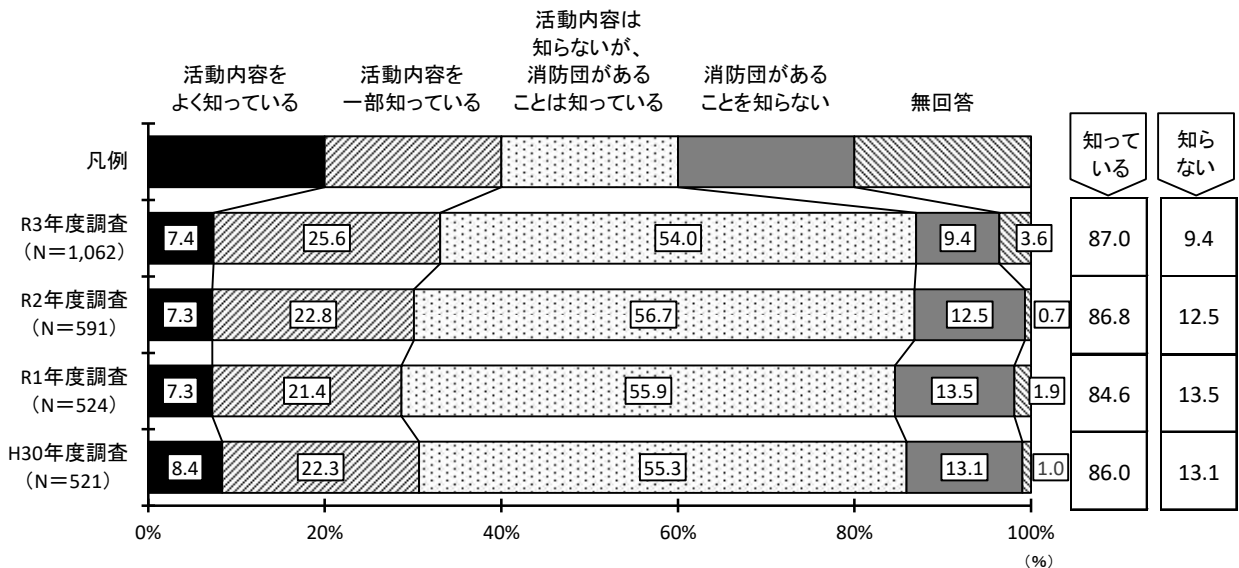
消防団の活動内容の認知度について、『知っている』（「活動をよく知っている」と「活動内容を一部知っている」と「活動内容は知らないが、消防団があることは知っている」の合計）と答えた割合は 87.0%、「知らない」と答えた割合は 9.4%となっている。

性別にみると、『知っている』の割合は男性（88.0%）の方が女性（86.5%）より高くなっている。

年代別にみると、『知っている』が最も高いのは 40 歳代（90.5%）となっている。

小学校区別にみると、『知っている』の割合が最も高くなっているのは国分小学校区（93.6%）となっている。一方、『知らない』の割合が最も高くなっているのは太宰府南小学校区（13.9%）となっている。

問 31. あなたは消防団という団体の活動内容を知っていますか。（○は1つ）



		標本数	よく活動内容を 知っている	活動内容を 一部 知っている	活動内容は 知らないが、 消防団がある ことは 知っている	消防団がある ことを知らない	無 回 答	知 っ て い る	知 ら な い
全 体		1,062	79	272	573	100	38	924	100
		100.0	7.4	25.6	54.0	9.4	3.6	87.0	9.4
性 別	男 性	484	10.7	27.3	50.0	8.7	3.3	88.0	8.7
	女 性	569	4.6	24.4	57.5	9.8	3.7	86.5	9.8
	無回答	9	11.1	11.1	44.4	22.2	11.1	66.7	22.2
年 代 別	20歳代	78	7.7	25.6	53.8	10.3	2.6	87.2	10.3
	30歳代	107	2.8	28.0	58.9	8.4	1.9	89.7	8.4
	40歳代	201	4.0	27.4	59.2	6.5	3.0	90.5	6.5
	50歳代	201	7.0	23.4	54.2	10.4	5.0	84.6	10.4
	60歳代	200	9.5	21.0	54.0	10.0	5.5	84.5	10.0
	70歳代以上	272	10.7	28.7	47.8	10.3	2.6	87.1	10.3
	無回答	3	-	-	66.7	33.3	-	66.7	33.3
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	8.2	29.0	47.0	8.7	7.1	84.2	8.7
	太宰府東小学校区	112	8.9	20.5	58.0	10.7	1.8	87.5	10.7
	太宰府南小学校区	122	0.8	25.4	55.7	13.9	4.1	82.0	13.9
	水城小学校区	134	6.0	25.4	53.7	12.7	2.2	85.1	12.7
	水城西小学校区	123	9.8	25.2	52.8	9.8	2.4	87.8	9.8
	太宰府西小学校区	187	10.2	23.0	58.3	6.4	2.1	91.4	6.4
	国分小学校区	140	7.9	30.7	55.0	4.3	2.1	93.6	4.3
	わからない	48	2.1	27.1	50.0	12.5	8.3	79.2	12.5
無回答		13	15.4	7.7	53.8	15.4	7.7	76.9	15.4

15. 防犯の推進(問 32)

● 防犯面について『安心派』は 66.1%、『不安派』は 30.3%となっている。

防犯面の安心度について、『安心派』（「安心している」と「どちらかといえば安心している」の合計）は 66.1%となっている。一方、『不安派』（「不安である」と「どちらかといえば不安である」の合計）は 30.3%で、『安心派』の方が『不安派』よりも高くなっている。

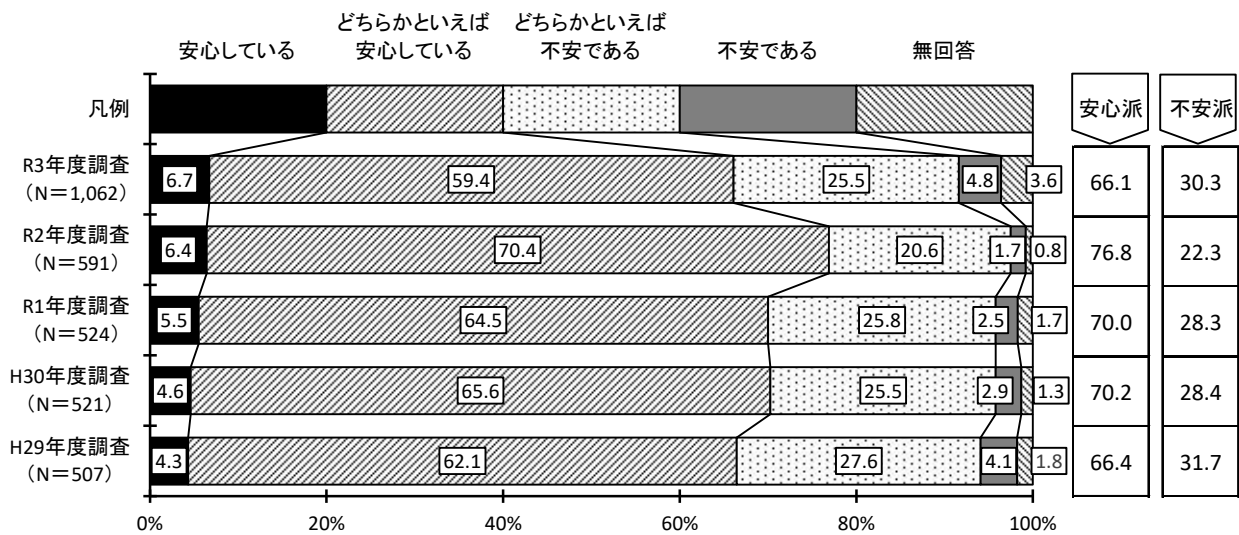
過去の調査結果と比べると、『安心派』は前回調査から 10.7 ポイント減少しており、『不安派』は 8.0 ポイント増加している。

性別にみると、『安心派』は男性（68.8%）の方が女性（63.8%）より高くなっている。

年代別にみると、『安心派』はすべての年代で 6 割を超えており、20 歳代では 71.8%と特に高くなっている。

小学校区別にみると、『安心派』の割合が最も高くなっているのは太宰府西小学校区（77.0%）となっている。

問 32. あなたは市内に住むうえで防犯の面で安心していますか。(○は1つ)



		標本数	安心している	どちらかといえば安心している	どちらかといえば不安である	不安である	無回答	安心派	不安派
全体		1,062	7.1	63.1	27.1	5.1	3.8	70.2	32.2
		100.0	6.7	59.4	25.5	4.8	3.6	66.1	30.3
性別	男性	484	8.5	60.3	24.2	3.7	3.3	68.8	27.9
	女性	569	4.7	59.1	26.7	5.8	3.7	63.8	32.5
	無回答	9	33.3	33.3	22.2	-	11.1	66.7	22.2
年代別	20歳代	78	6.4	65.4	19.2	6.4	2.6	71.8	25.6
	30歳代	107	9.3	53.3	29.0	6.5	1.9	62.6	35.5
	40歳代	201	6.5	58.2	28.4	4.0	3.0	64.7	32.3
	50歳代	201	6.5	60.2	22.9	6.0	4.5	66.7	28.9
	60歳代	200	5.0	55.0	27.5	6.5	6.0	60.0	34.0
	70歳代以上	272	7.4	63.6	24.3	2.2	2.6	71.0	26.5
	無回答	3	-	66.7	33.3	-	-	66.7	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	183	7.1	56.3	24.6	4.9	7.1	63.4	29.5
	太宰府東小学校区	112	6.3	53.6	33.9	4.5	1.8	59.8	38.4
	太宰府南小学校区	122	7.4	57.4	27.9	3.3	4.1	64.8	31.1
	水城小学校区	134	4.5	60.4	28.4	3.7	3.0	64.9	32.1
	水城西小学校区	123	2.4	61.0	29.3	4.9	2.4	63.4	34.1
	太宰府西小学校区	187	11.2	65.8	17.6	3.2	2.1	77.0	20.9
	国分小学校区	140	6.4	59.3	25.0	7.1	2.1	65.7	32.1
	わからない	48	2.1	62.5	16.7	10.4	8.3	64.6	27.1
	無回答	13	15.4	46.2	30.8	7.7	-	61.5	38.5

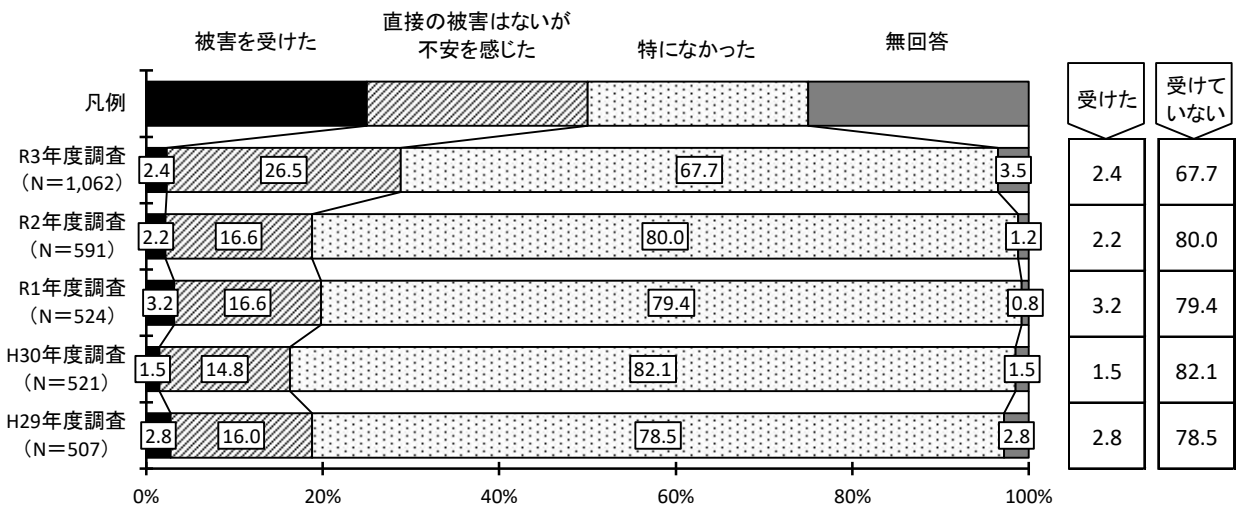
16. 安全な消費生活の推進(問 33)

● 不当請求や不適正な取引行為の被害を受けたのは2.4%、被害はないが不安を感じたのは26.5%となっている。

不当請求や不適切な取引行為の被害状況について、この1年間に架空・不当請求や不適正な取引行為の「被害を受けた」は2.4%、「直接の被害はないが不安を感じた」は26.5%となっている。なお、「特になかった」は67.7%であった。

過去の調査結果と比べると、「被害を受けた」は前回調査から0.2ポイント増加している。
小学校区別にみると、すべての小学校区で被害を受けた人がみられる。

問 33. あなたやあなたの家族が、この1年間に架空請求・不当請求や不適正な取引行為（点検商法やキャッチセールス等）の被害を受けたり、被害にあいそうな不安を感じたことがありますか。（○は1つ）



		標本数	被害を受けた	被害を受けたが不安を感じない	特になかった	無回答
全体		1,062	25	281	719	37
		100.0	2.4	26.5	67.7	3.5
性別	男性	484	2.5	27.7	66.7	3.1
	女性	569	2.3	25.1	68.9	3.7
	無回答	9	-	44.4	44.4	11.1
性別・年代別	男性: 20歳代	32	6.3	25.0	65.6	3.1
	男性: 30歳代	45	2.2	13.3	80.0	4.4
	男性: 40歳代	86	1.2	29.1	67.4	2.3
	男性: 50歳代	81	2.5	27.2	65.4	4.9
	男性: 60歳代	98	4.1	31.6	60.2	4.1
	男性: 70歳代以上	142	1.4	29.6	67.6	1.4
	女性: 20歳代	45	2.2	31.1	64.4	2.2
	女性: 30歳代	62	3.2	24.2	72.6	-
	女性: 40歳代	115	1.7	30.4	64.3	3.5
	女性: 50歳代	117	2.6	28.2	65.0	4.3
	女性: 60歳代	101	2.0	18.8	72.3	6.9
	女性: 70歳代以上	127	2.4	21.3	73.2	3.1
	無回答	11	-	36.4	54.5	9.1
小学校区別	太宰府小学校区	183	2.2	26.8	64.5	6.6
	太宰府東小学校区	112	0.9	23.2	74.1	1.8
	太宰府南小学校区	122	2.5	28.7	64.8	4.1
	水城小学校区	134	3.7	28.4	64.9	3.0
	水城西小学校区	123	0.8	30.1	66.7	2.4
	太宰府西小学校区	187	3.2	24.6	70.1	2.1
	国分小学校区	140	1.4	30.0	66.4	2.1
	わからない	48	4.2	8.3	79.2	8.3
	無回答	13	7.7	30.8	61.5	-

17. 人権侵害の経験の有無(問 34)

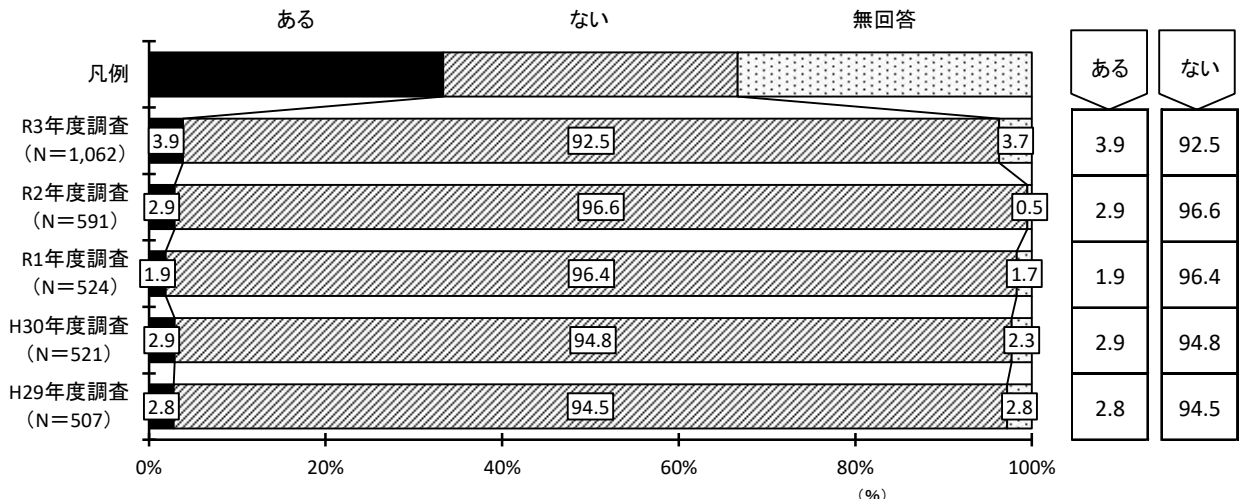
- 人権を侵害されたことが「ある」は 3.9%となっている。

人権侵害の経験の有無について、この1年間に人権を侵害されたことについては、「ない」と答えた人が 92.5%と大半を占めている。なお、「ある」と答えた人は 3.9%となっている。

過去の調査結果と比べると、「ない」と答えた人が9割を超えている傾向は変わらない。

属性別にみると、すべての属性において、「ない」と答えた人が大半を占め、高くなっている。

問 34. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。(○は1つ)



		標本数	ある	ない	無回答
全 体		1,062	41	982	39
		100.0	3.9	92.5	3.7
性 別	男 性	484	3.1	93.6	3.3
	女 性	569	4.6	91.6	3.9
	無回答	9	-	88.9	11.1
年 代 別	20歳代	78	3.8	93.6	2.6
	30歳代	107	1.9	96.3	1.9
	40歳代	201	4.5	92.0	3.5
	50歳代	201	5.0	90.0	5.0
	60歳代	200	2.5	92.0	5.5
	70歳代以上	272	4.4	93.0	2.6
	無回答	3	-	100.0	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	4.4	89.1	6.6
	太宰府東小学校区	112	3.6	94.6	1.8
	太宰府南小学校区	122	2.5	93.4	4.1
	水城小学校区	134	2.2	94.0	3.7
	水城西小学校区	123	6.5	91.1	2.4
	太宰府西小学校区	187	2.7	94.7	2.7
	国分小学校区	140	5.7	92.1	2.1
	わからない	48	2.1	89.6	8.3
無回答		13	7.7	92.3	-

18. 市内での人権の尊重(問 35)

● 人権が『尊重されている派』は 78.1%、『尊重されていない派』は 14.7%となっている。

太宰府市での人権の尊重について、『尊重されている派』（「尊重されている」と「どちらかといえば尊重されている」の合計）は 78.1%となっている。一方、『尊重されていない派』（「尊重されていない」と「どちらかといえば尊重されていない」の合計）は 14.7%で、『尊重されている派』が約 8 割と高くなっている。

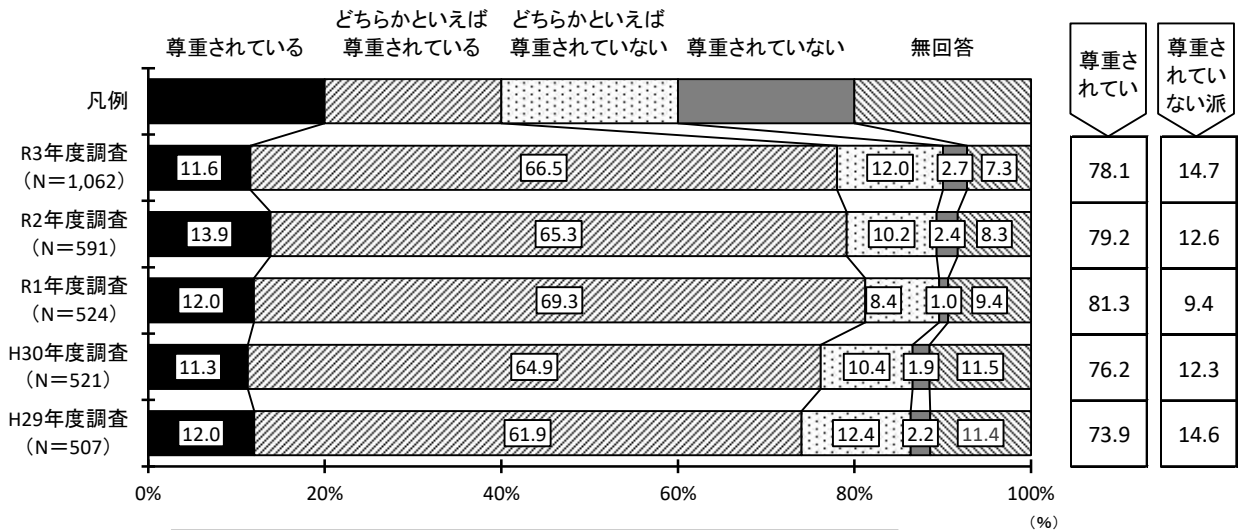
過去の調査結果と比べると、『尊重されている派』は前回調査から 1.1 ポイント減少している。
性別にみると、『尊重されている派』は、男性（81.4%）の方が女性（75.7%）より高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で『尊重されている派』は 7 割を超えており、40 歳代（83.1%）は、他の年代に比べて最も高くなっている。

小学校区別にみると、『尊重されている派』が最も高いのは、水城小学校区（83.6%）となっている。一方、『尊重されていない派』が最も高いのは、大宰府小学校区（17.5%）となっている。

.....

問 35. あなたは市内で同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。
（○は 1 つ）



		標本数	尊重されている	どちらかといえば尊重されている	どちらかといえば尊重されていない	尊重されていない	無回答	尊重されている派	尊重されていない派
全体		1,062	123	706	127	29	77	829	156
		100.0	11.6	66.5	12.0	2.7	7.3	78.1	14.7
性別	男性	484	14.0	67.4	9.3	3.1	6.2	81.4	12.4
	女性	569	9.3	66.4	13.7	2.5	8.1	75.7	16.2
	無回答	9	22.2	22.2	44.4	-	11.1	44.4	44.4
年代別	20歳代	78	17.9	61.5	12.8	2.6	5.1	79.5	15.4
	30歳代	107	13.1	64.5	15.9	4.7	1.9	77.6	20.6
	40歳代	201	9.5	73.6	10.0	2.5	4.5	83.1	12.4
	50歳代	201	10.9	65.2	13.9	1.5	8.5	76.1	15.4
	60歳代	200	9.0	66.5	10.5	4.0	10.0	75.5	14.5
	70歳代以上	272	13.2	64.7	11.0	1.8	9.2	77.9	12.9
	無回答	3	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	183	9.3	61.2	12.6	4.9	12.0	70.5	17.5
	太宰府東小学校区	112	8.0	75.0	12.5	0.9	3.6	83.0	13.4
	太宰府南小学校区	122	17.2	60.7	13.9	2.5	5.7	77.9	16.4
	水城小学校区	134	9.7	73.9	9.0	3.7	3.7	83.6	12.7
	水城西小学校区	123	8.9	69.9	11.4	0.8	8.9	78.9	12.2
	太宰府西小学校区	187	14.4	67.4	9.1	1.6	7.5	81.8	10.7
	国分小学校区	140	12.9	67.1	14.3	1.4	4.3	80.0	15.7
	わからない	48	10.4	56.3	14.6	6.3	12.5	66.7	20.8
	無回答	13	15.4	30.8	23.1	15.4	15.4	46.2	38.5

19. 固定的な役割分担に対する考え方(問 36)

- 固定的な役割分担に『非同感派』(73.7%)の方が、『同感派』(22.7%)よりも高い。

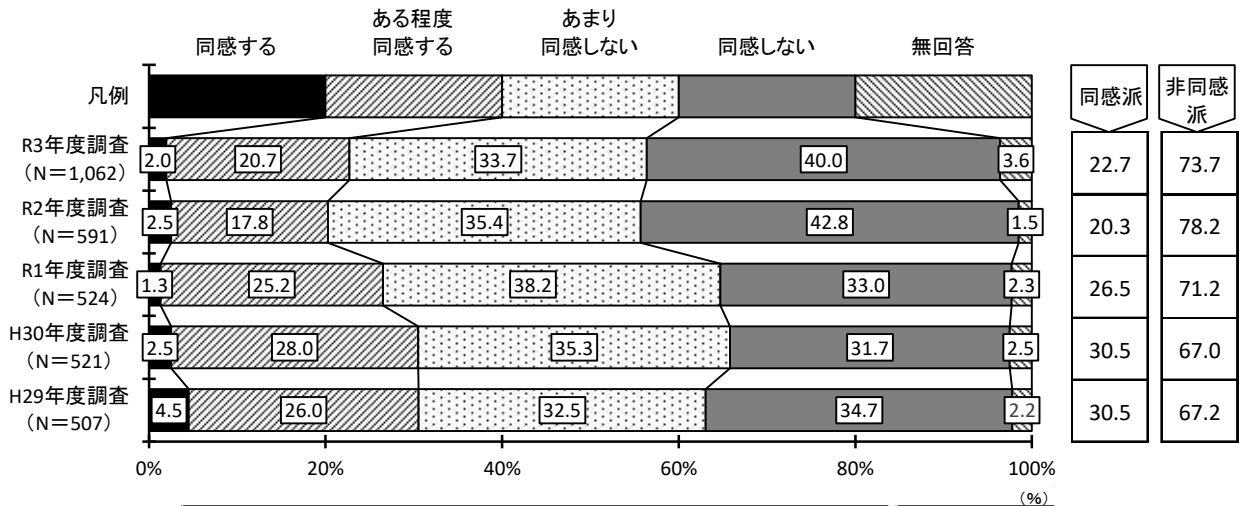
固定的な役割分担に対する考え方について、「男は仕事、女は家庭」という性別役割分担意識に、『同感派』(「同感する」と「ある程度同感する」の合計)は22.7%となっている。一方、『非同感派』(「同感しない」と「あまり同感しない」の合計)は73.7%で、『非同感派』の方が『同感派』より高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『同感派』は前回調査から2.4ポイント増加している。

性別・年代別にみると、『非同感派』は、20歳代と40歳代を除く年代で女性の方が男性より高い傾向がみられる。

小学校区別にみると、『非同感派』が最も高いのは、国分小学校区(79.3%)となっている。

問 36. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(〇は1つ)



		標本数	同意する	ある程度同意する	あまり同意しない	同意しない	無回答	同感派	非同感派
全体		1,062	2.1	22.0	35.8	42.5	3.8	24.1	78.3
		100.0	2.0	20.7	33.7	40.0	3.6	22.7	73.7
性別	男性	484	2.7	24.6	32.6	37.0	3.1	27.3	69.6
	女性	569	1.2	17.6	34.6	42.7	3.9	18.8	77.3
	無回答	9	11.1	11.1	33.3	33.3	11.1	22.2	66.7
性別・年代別	男性:20歳代	32	6.3	18.8	28.1	43.8	3.1	25.0	71.9
	男性:30歳代	45	-	28.9	20.0	46.7	4.4	28.9	66.7
	男性:40歳代	86	2.3	15.1	26.7	53.5	2.3	17.4	80.2
	男性:50歳代	81	2.5	29.6	25.9	37.0	4.9	32.1	63.0
	男性:60歳代	98	2.0	20.4	34.7	38.8	4.1	22.4	73.5
	男性:70歳代以上	142	3.5	30.3	43.7	21.1	1.4	33.8	64.8
	女性:20歳代	45	-	26.7	22.2	48.9	2.2	26.7	71.1
	女性:30歳代	62	3.2	6.5	30.6	59.7	-	9.7	90.3
	女性:40歳代	115	1.7	14.8	40.0	40.0	3.5	16.5	80.0
	女性:50歳代	117	0.9	12.8	35.0	46.2	5.1	13.7	81.2
	女性:60歳代	101	-	17.8	27.7	47.5	6.9	17.8	75.2
	女性:70歳代以上	127	1.6	26.8	40.2	28.3	3.1	28.3	68.5
小学校区別	無回答	11	9.1	9.1	45.5	27.3	9.1	18.2	72.7
	太宰府小学校区	183	3.3	23.5	30.6	36.1	6.6	26.8	66.7
	太宰府東小学校区	112	0.9	20.5	36.6	40.2	1.8	21.4	76.8
	太宰府南小学校区	122	1.6	19.7	34.4	40.2	4.1	21.3	74.6
	水城小学校区	134	2.2	16.4	32.1	47.0	2.2	18.7	79.1
	水城西小学校区	123	1.6	23.6	34.1	38.2	2.4	25.2	72.4
	太宰府西小学校区	187	1.1	22.5	35.3	39.0	2.1	23.5	74.3
	国分小学校区	140	1.4	16.4	35.0	44.3	2.9	17.9	79.3
	わからない	48	4.2	22.9	27.1	37.5	8.3	27.1	64.6
無回答		13	7.7	23.1	46.2	15.4	7.7	30.8	61.5

20. DVを受けた経験がある場合の相談経験(問 37)

● DV の「相談をした」は 2.2%、「DV を受けたことはない」は 85.4%となっている。

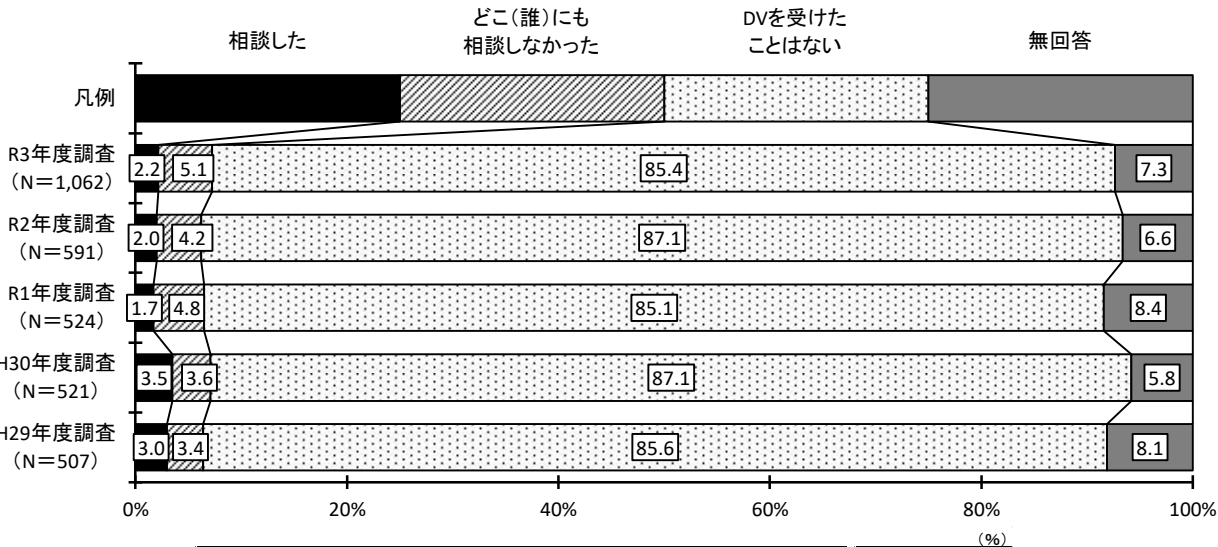
DVを受けた経験がある場合の相談経験について、相談したかについてみると、「DVを受けたことはない」と答えた人が 85.4%と大半を占めている。なお、「相談した」と答えた人は 2.2%となっている。

過去の調査結果と比べると、「DVを受けたことはない」は前回調査から 1.7 ポイント減少している。

性別・年代別にみると、男性 20 歳代を除くすべての年代で「DVを受けた」経験があると回答している。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「DVを受けた」経験があると回答している。

問 37. 配偶者（元配偶者も含む）や交際相手からDVを受けた経験がある場合、どこ（誰）かに相談をしましたか。〔※DVには身体的・精神的・性的・経済的な暴力を含む〕（○は1つ）



		標 本 数	相 談 し た	なにかも つた相談し ない(誰)にも 相談しなかつ た	いたことを受 けなけ	無 回 答	受 け た	は受 けな いこ と
全 体		1,062 100.0	23 2.2	54 5.1	907 85.4	78 7.3	77 7.3	907 85.4
性別・ 年代別	男性:20歳代	32	-	-	90.6	9.4	-	90.6
	男性:30歳代	45	-	6.7	84.4	8.9	6.7	84.4
	男性:40歳代	86	-	3.5	94.2	2.3	3.5	94.2
	男性:50歳代	81	-	3.7	88.9	7.4	3.7	88.9
	男性:60歳代	98	-	2.0	87.8	10.2	2.0	87.8
	男性:70歳代以上	142	-	2.8	90.8	6.3	2.8	90.8
	女性:20歳代	45	-	4.4	91.1	4.4	4.4	91.1
	女性:30歳代	62	4.8	6.5	85.5	3.2	11.3	85.5
	女性:40歳代	115	6.1	7.0	81.7	5.2	13.0	81.7
	女性:50歳代	117	6.0	10.3	75.2	8.5	16.2	75.2
	女性:60歳代	101	4.0	5.9	79.2	10.9	9.9	79.2
	女性:70歳代以上	127	1.6	5.5	85.0	7.9	7.1	85.0
無回答	11	-	-	72.7	27.3	-	72.7	
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	1.1	3.3	84.2	11.5	4.4	84.2
	太宰府東小学校区	112	1.8	3.6	89.3	5.4	5.4	89.3
	太宰府南小学校区	122	0.8	8.2	85.2	5.7	9.0	85.2
	水城小学校区	134	3.0	6.0	83.6	7.5	9.0	83.6
	水城西小学校区	123	2.4	5.7	87.0	4.9	8.1	87.0
	太宰府西小学校区	187	2.1	4.8	86.6	6.4	7.0	86.6
	国分小学校区	140	2.9	5.0	87.9	4.3	7.9	87.9
	わからない	48	6.3	4.2	75.0	14.6	10.4	75.0
無回答	13	-	7.7	69.2	23.1	7.7	69.2	

21. 生涯学習活動の取り組み状況(問 38)

● 生涯学習の『週1回以上の実施率』は27.9%となっている。

生涯学習活動の取り組み状況について、『週1回以上の実施率』（「ほぼ毎日取り組んでいる」と「週に1回程度取り組んでいる」の合計）は27.9%となっている。一方、「ほとんど取り組んでいない」は41.8%で、4割以上となっている。

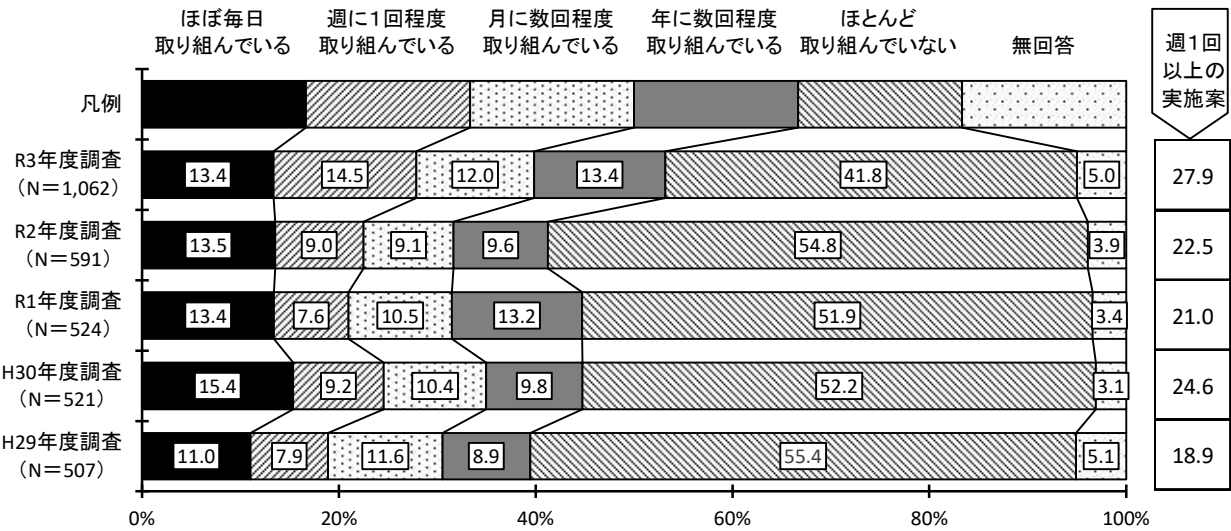
過去の調査結果と比べると、『週1回以上の実施率』は前回調査から5.4ポイント増加している。

性別にみると、『週1回以上の実施率』は、男性（30.6%）の方が女性（25.8%）より高くなっている。

年代別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは、20歳代（50.0%）となっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは太宰府東小学校区（30.4%）となっている。

問 38. あなたは日頃から自発的に学習に取り組んでいますか。（○は1つ）



		標 本 数	組 ほ ん ぼ ど 毎 日 取 り 組 む	週 に 1 回 程 度 取 り 組 む	月 に 数 回 程 度 取 り 組 む	年 に 数 回 程 度 取 り 組 む	組 ほ ん と で ん ど 取 り 組 ま な い	無 回 答	実 週 施 1 回 以 上 の 率
全 体		1,062	142	154	127	142	444	53	296
		100.0	13.4	14.5	12.0	13.4	41.8	5.0	27.9
性 別	男 性	484	15.9	14.7	11.6	13.4	40.1	4.3	30.6
	女 性	569	11.4	14.4	12.5	13.5	42.7	5.4	25.8
	無回答	9	-	11.1	-	-	77.8	11.1	11.1
年 代 別	20歳代	78	26.9	23.1	7.7	5.1	33.3	3.8	50.0
	30歳代	107	12.1	12.1	9.3	18.7	45.8	1.9	24.3
	40歳代	201	11.9	13.9	12.4	17.9	40.3	3.5	25.9
	50歳代	201	9.0	11.9	13.4	15.4	43.8	6.5	20.9
	60歳代	200	14.0	14.5	11.5	12.5	40.5	7.0	28.5
	70歳代以上	272	14.0	15.4	13.2	9.6	43.0	4.8	29.4
	無回答	3	-	-	-	-	66.7	33.3	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	12.6	15.8	11.5	13.7	38.3	8.2	28.4
	太宰府東小学校区	112	13.4	17.0	11.6	13.4	42.0	2.7	30.4
	太宰府南小学校区	122	15.6	13.9	15.6	16.4	34.4	4.1	29.5
	水城小学校区	134	14.2	13.4	14.9	15.7	37.3	4.5	27.6
	水城西小学校区	123	9.8	18.7	9.8	8.9	49.6	3.3	28.5
	太宰府西小学校区	187	12.8	12.3	11.2	13.9	45.5	4.3	25.1
	国分小学校区	140	12.1	16.4	12.1	15.0	41.4	2.9	28.6
	わからない	48	20.8	2.1	8.3	6.3	54.2	8.3	22.9
無回答		13	23.1	7.7	-	-	38.5	30.8	30.8

22. 運動・スポーツの取り組み頻度(問 39)

● 運動・スポーツの『週1回以上の実施率』は47.7%となっている。

運動・スポーツの取り組み頻度について、『週1回以上の実施率』（「ほぼ毎日行っている」と「週に3回程度行っている」、「週に1回程度行っている」の合計）は47.7%となっている。

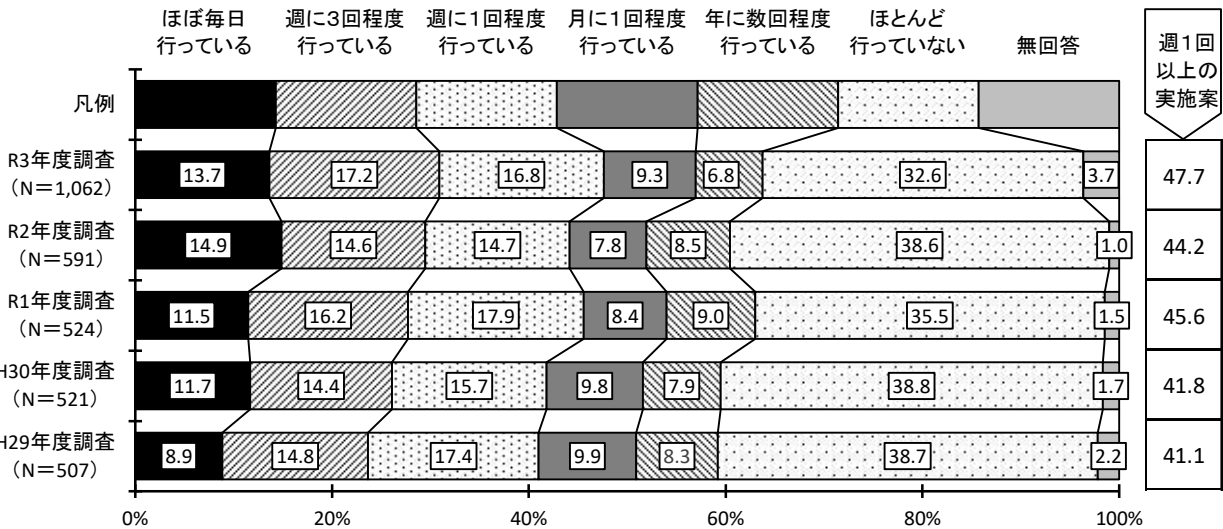
過去の調査結果と比べると、『週1回以上の実施率』は前回調査から3.5ポイント増加している。
性別にみると、『週1回以上の実施率』は男性（53.7%）の方が女性（42.9%）より高くなっている。

年代別にみると、『週1回以上の実施率』は70歳代以上（61.4%）が最も高く、次いで20歳代（53.8%）の順となっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の実施率』が最も高いのは太宰府西小学校区（55.1%）となっている。一方、最も低いのは水城西小学校区（39.0%）となっている。

.....

問 39. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。（○は1つ）



		標本数	ほぼ毎日行っている	週に3回程度行っている	週に1回程度行っている	月に1回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	の週実1施回率以上
全 体		1,062	145	183	178	99	72	346	39	506
		100.0	13.7	17.2	16.8	9.3	6.8	32.6	3.7	47.7
性別	男 性	484	16.1	19.2	18.4	10.1	6.2	26.9	3.1	53.7
	女 性	569	11.8	15.8	15.3	8.8	7.4	36.9	4.0	42.9
	無回答	9	-	-	22.2	-	-	66.7	11.1	22.2
年代別	20歳代	78	14.1	21.8	17.9	11.5	10.3	21.8	2.6	53.8
	30歳代	107	8.4	9.3	17.8	9.3	13.1	40.2	1.9	35.5
	40歳代	201	10.0	11.4	17.9	10.9	9.0	38.3	2.5	39.3
	50歳代	201	10.9	14.4	17.9	9.5	5.0	37.8	4.5	43.3
	60歳代	200	11.0	19.5	16.0	10.5	6.5	31.0	5.5	46.5
	70歳代以上	272	22.4	23.9	15.1	6.6	3.3	25.4	3.3	61.4
	無回答	3	-	-	-	-	-	66.7	33.3	-
小学校区別	太宰府小学校区	183	10.9	23.5	19.1	9.3	6.0	24.0	7.1	53.6
	太宰府東小学校区	112	13.4	17.0	14.3	9.8	8.9	34.8	1.8	44.6
	太宰府南小学校区	122	11.5	14.8	23.0	9.0	8.2	29.5	4.1	49.2
	水城西小学校区	134	14.2	10.4	17.2	9.0	9.7	36.6	3.0	41.8
	水城西小学校区	123	10.6	13.8	14.6	10.6	8.9	39.0	2.4	39.0
	太宰府西小学校区	187	16.6	23.0	15.5	7.5	4.8	29.9	2.7	55.1
	国分小学校区	140	17.1	16.4	16.4	12.9	5.0	30.7	1.4	50.0
	わからない	48	12.5	10.4	12.5	4.2	2.1	50.0	8.3	35.4
無回答		13	23.1	7.7	-	7.7	-	53.8	7.7	30.8

23. 文化芸術活動の取り組み状況(問 40)

● 文化芸術活動について「ほとんど行っていない」が5割以上を占めており、実施していても「年に数回程度」が中心である。

文化芸術の振興について、日頃から文化芸術活動をしているかどうかをたずねたところ、『月数回以上の実施率』（「ほぼ毎日行っている」と「週に1回程度行っている」、「月に数回程度行っている」の合計）は16.5%となっている。なお、「年に数回程度行っている」は27.0%、「ほとんど行っていない」は52.7%となっている。

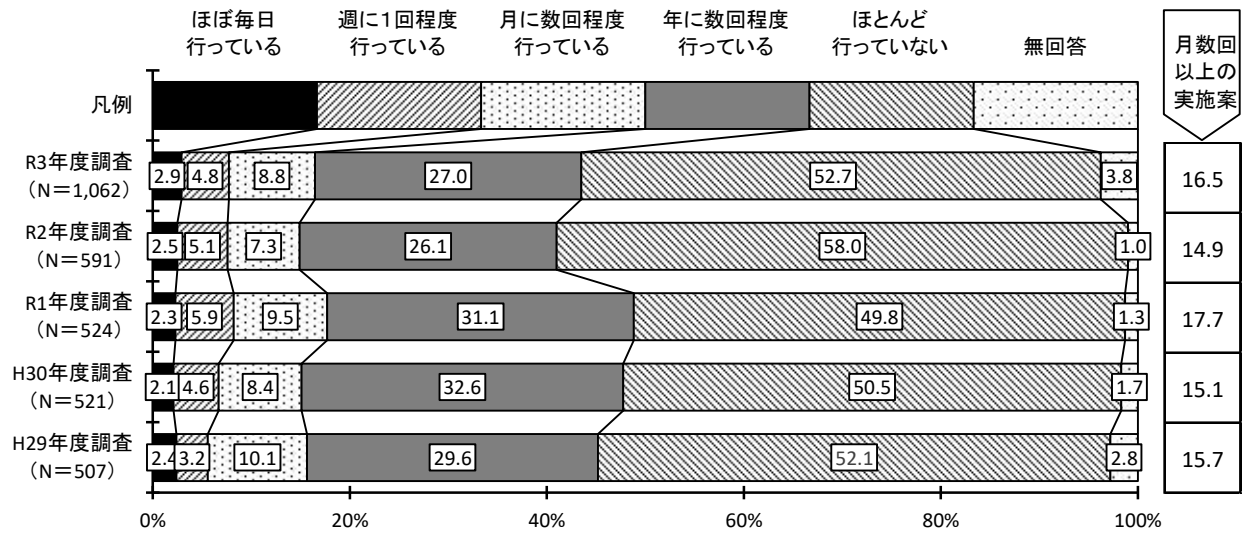
過去の調査結果と比べると、『月数回以上の実施率』は前回調査から1.6ポイント増加している。

性別にみると、『月数回以上の実施率』は男性16.9%に対し女性16.3%で、男女ともほぼ同程度となっている。

年代別にみると、『月数回以上の実施率』が最も高いのは、20歳代（29.5%）となっている。

小学校区別にみると、『月数回以上の実施率』が最も高いのは、太宰府小学校区（23.0%）となっている。

問 40. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）



		標本数	ほぼ毎日行っている	週に1回程度行っている	月に数回程度行っている	年に数回程度行っている	ほとんど行っていない	無回答	月数回以上の実施率
全体		1,062	31	51	93	287	560	40	175
		100.0	2.9	4.8	8.8	27.0	52.7	3.8	16.5
性別	男性	484	3.9	5.6	7.4	23.3	56.6	3.1	16.9
	女性	569	2.1	4.2	10.0	30.1	49.4	4.2	16.3
	無回答	9	-	-	-	33.3	55.6	11.1	-
年代別	20歳代	78	11.5	6.4	11.5	23.1	44.9	2.6	29.5
	30歳代	107	2.8	-	9.3	24.3	61.7	1.9	12.1
	40歳代	201	2.0	3.5	4.5	29.4	58.2	2.5	10.0
	50歳代	201	2.0	3.0	8.5	27.4	54.2	5.0	13.4
	60歳代	200	2.5	6.0	8.5	26.5	50.5	6.0	17.0
	70歳代以上	272	2.2	7.7	11.4	27.9	47.8	2.9	21.3
	無回答	3	-	-	-	-	66.7	33.3	-
小学校区別	太宰府小学校区	183	2.7	6.0	14.2	27.3	42.6	7.1	23.0
	太宰府東小学校区	112	3.6	6.3	5.4	26.8	56.3	1.8	15.2
	太宰府南小学校区	122	2.5	4.1	4.9	27.9	56.6	4.1	11.5
	水城小学校区	134	1.5	6.7	9.7	26.1	53.7	2.2	17.9
	水城西小学校区	123	2.4	0.8	5.7	33.3	55.3	2.4	8.9
	太宰府西小学校区	187	3.2	4.3	9.1	28.9	51.3	3.2	16.6
	国分小学校区	140	5.0	6.4	11.4	21.4	54.3	1.4	22.9
	わからない	48	2.1	2.1	4.2	22.9	60.4	8.3	8.3
	無回答	13	-	-	-	15.4	69.2	15.4	-

24. 地域の環境マナーの順守状況(問 41)

● 地域の環境マナーについて『守られている』は 72.3%、『守られていない』は 24.3%となっている。

地域の環境マナーの順守状況について、『守られている』（「守られている」と「ある程度守られている」の合計）は 72.3%となっている。一方、『守られていない』（「守られていない」と「あまり守られていない」の合計）は 24.3%で、『守られている』が『守られていない』を 48.0 ポイント上回っている。

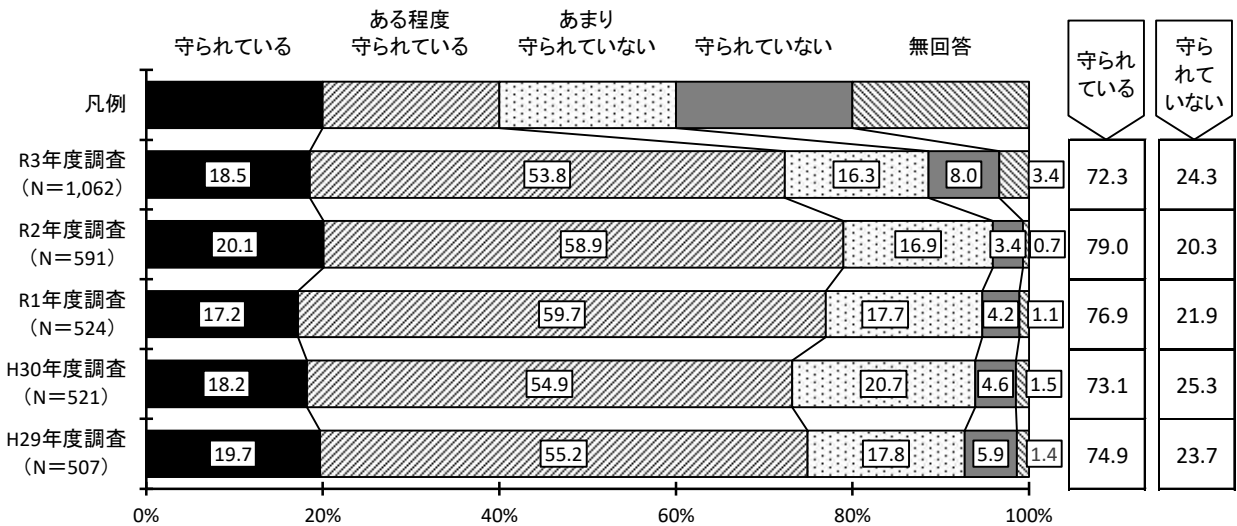
過去の調査結果と比べると、『守られている』は前回調査から 6.7 ポイント減少している。一方、『守られていない』は 4.0 ポイント増加している。

性別にみると、『守られている』は男性 72.7%に対し女性 72.2%で、ほぼ同程度となっている。

年代別にみると、30 歳代を除くすべての年代で『守られている』は 7 割以上と高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区を除くすべての小学校区で『守られている』は 7 割を超えている。

問 41. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草などあき地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。
（○は 1 つ）



		標本数	て守らる	て守らる程	いて守らる	いて守らる	無回答	て守らる	いて守らる
全 体		1,062	19.7	55.2	17.8	5.9	1.4	74.9	23.7
性 別	男 性	484	19.6	53.1	16.3	7.9	3.1	72.7	24.2
	女 性	569	17.9	54.3	16.3	8.1	3.3	72.2	24.4
	無回答	9	-	55.6	11.1	11.1	22.2	55.6	22.2
年 代 別	20歳代	78	16.7	55.1	23.1	2.6	2.6	71.8	25.6
	30歳代	107	20.6	46.7	18.7	12.1	1.9	67.3	30.8
	40歳代	201	16.9	54.2	15.9	10.4	2.5	71.1	26.4
	50歳代	201	18.4	53.7	15.4	7.5	5.0	72.1	22.9
	60歳代	200	18.5	54.0	14.5	7.5	5.5	72.5	22.0
	70歳代以上	272	19.5	56.3	15.4	6.6	2.2	75.7	22.1
	無回答	3	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3	66.7
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	20.2	47.0	15.3	10.9	6.6	67.2	26.2
	太宰府東小学校区	112	12.5	60.7	17.0	8.0	1.8	73.2	25.0
	太宰府南小学校区	122	29.5	43.4	18.9	4.1	4.1	73.0	23.0
	水城小学校区	134	17.2	53.0	17.9	9.7	2.2	70.1	27.6
	水城西小学校区	123	13.8	61.0	14.6	8.1	2.4	74.8	22.8
	太宰府西小学校区	187	22.5	54.0	16.6	4.8	2.1	76.5	21.4
	国分小学校区	140	13.6	63.6	16.4	5.0	1.4	77.1	21.4
	わからない	48	10.4	50.0	10.4	18.8	10.4	60.4	29.2
無回答		13	30.8	30.8	15.4	23.1	-	61.5	38.5

25. 地域の美化活動への参加状況(問 42)

● 地域の清掃活動に『参加している派』は 71.4%、『参加していない派』は 25.1%となっている。

地域の美化運動への参加状況について、『参加している派』（「いつも参加している」と「たまに参加している」の合計）は 71.4%となっている。一方、「参加していない」は 25.1%で、『参加している派』が『参加していない派』を 46.3 ポイントと大幅に上回っている。

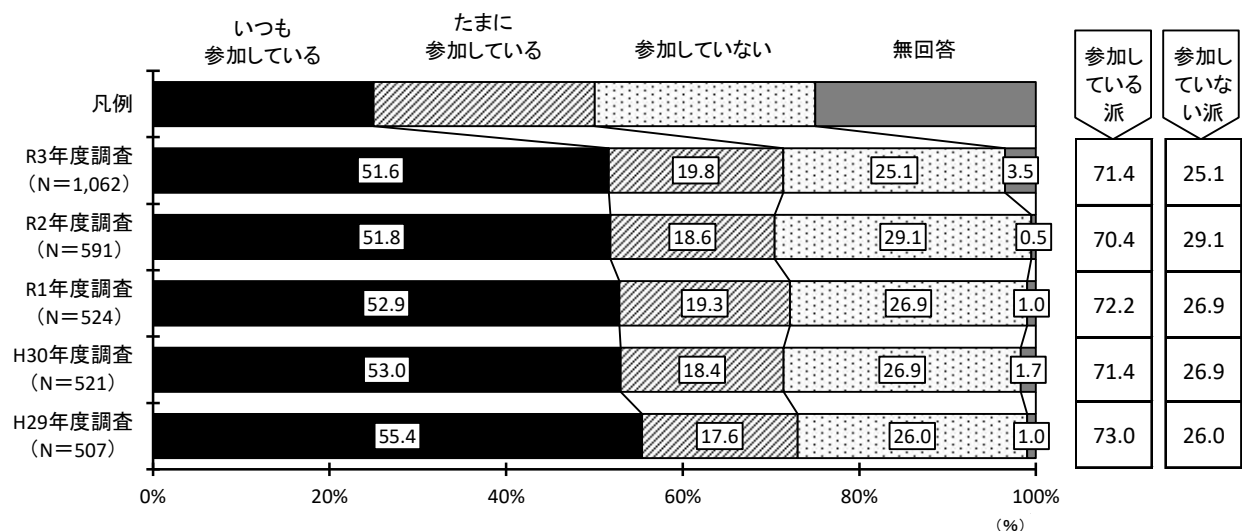
過去の調査結果と比べると、『参加している派』は前回調査から 1.0 ポイント増加している。

性別にみると、『参加している派』は、女性（74.7%）の方が男性（67.8%）より高くなっている。

年代別にみると、『参加している派』が最も高いのは、70 歳代以上（80.9%）となっている。

小学校区別にみると、『参加している派』が最も高いのは、太宰府南小学校区（84.4%）となっている。一方、『参加していない派』が最も高いのは水城小学校区（37.3%）となっている。

問 42. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。（〇は 1 つ）



		標本数	る加いしつてもい参	る加たしまてにい参	い参な加いし	無回答	い参る加いし	い参な加いし
全 体		1,062	548	210	267	37	758	267
		100.0	51.6	19.8	25.1	3.5	71.4	25.1
性 別	男 性	484	45.7	22.1	28.9	3.3	67.8	28.9
	女 性	569	56.6	18.1	21.8	3.5	74.7	21.8
	無回答	9	55.6	-	33.3	11.1	55.6	33.3
年 代 別	20歳代	78	24.4	21.8	51.3	2.6	46.2	51.3
	30歳代	107	29.0	26.2	43.0	1.9	55.1	43.0
	40歳代	201	39.8	29.4	28.4	2.5	69.2	28.4
	50歳代	201	49.8	20.9	24.9	4.5	70.6	24.9
	60歳代	200	62.5	17.5	14.5	5.5	80.0	14.5
	70歳代以上	272	70.2	10.7	16.2	2.9	80.9	16.2
	無回答	3	66.7	-	33.3	-	66.7	33.3
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	50.3	21.9	21.3	6.6	72.1	21.3
	太宰府東小学校区	112	58.9	19.6	19.6	1.8	78.6	19.6
	太宰府南小学校区	122	61.5	23.0	11.5	4.1	84.4	11.5
	水城小学校区	134	38.1	22.4	37.3	2.2	60.4	37.3
	水城西小学校区	123	54.5	20.3	22.8	2.4	74.8	22.8
	太宰府西小学校区	187	54.5	18.7	23.5	3.2	73.3	23.5
	国分小学校区	140	58.6	17.9	22.1	1.4	76.4	22.1
	わからない	48	14.6	6.3	70.8	8.3	20.8	70.8
無回答		13	46.2	15.4	38.5	-	61.5	38.5

26. 市内の自然の豊かさについて(問 43)

● 自然の豊かさについて『肯定派』は 87.2%、『否定派』は 9.2%となっている。

市内の自然の豊かさについて、『肯定派』（「そう思う」と「ややそう思う」の合計）は 87.2%、一方、『否定派』（「そう思わない」と「あまりそう思わない」の合計）は 9.2%で、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。

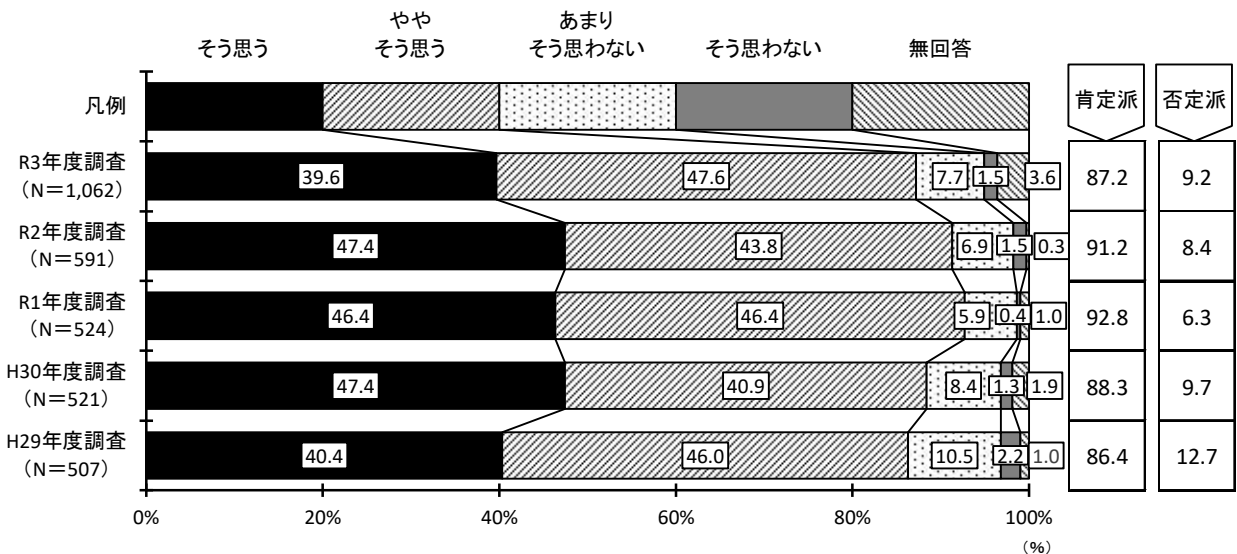
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から 4.0 ポイント減少している。

性別にみると、『肯定派』は女性（88.2%）の方が男性（86.4%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは、40 歳代（91.0%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は水城小学校区と水城西小学校区と国分小学校区で 9 割を超えている。

問 43. あなたは市内の自然は豊かと感じますか。(〇は1つ)



		標本数	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全 体		1,062	421	505	82	16	38	926	98
		100.0	39.6	47.6	7.7	1.5	3.6	87.2	9.2
性別	男 性	484	39.0	47.3	8.7	1.7	3.3	86.4	10.3
	女 性	569	40.4	47.8	7.0	1.4	3.3	88.2	8.4
	無回答	9	22.2	44.4	—	—	33.3	66.7	—
年代別	20歳代	78	41.0	43.6	11.5	1.3	2.6	84.6	12.8
	30歳代	107	32.7	48.6	13.1	2.8	2.8	81.3	15.9
	40歳代	201	47.8	43.3	5.0	1.5	2.5	91.0	6.5
	50歳代	201	42.8	44.8	6.5	1.5	4.5	87.6	8.0
	60歳代	200	31.5	54.0	8.5	1.0	5.0	85.5	9.5
	70歳代以上	272	40.1	48.9	7.0	1.1	2.9	89.0	8.1
	無回答	3	—	33.3	—	33.3	33.3	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	183	48.1	38.3	6.6	1.1	6.0	86.3	7.7
	太宰府東小学校区	112	31.3	56.3	9.8	0.9	1.8	87.5	10.7
	太宰府南小学校区	122	41.8	45.1	7.4	1.6	4.1	86.9	9.0
	水城小学校区	134	38.8	52.2	6.0	1.5	1.5	91.0	7.5
	水城西小学校区	123	43.9	46.3	6.5	0.8	2.4	90.2	7.3
	太宰府西小学校区	187	35.8	53.5	7.5	0.5	2.7	89.3	8.0
	国分小学校区	140	42.1	47.9	5.7	2.1	2.1	90.0	7.9
	わからない	48	25.0	41.7	18.8	4.2	10.4	66.7	22.9
無回答		13	23.1	23.1	23.1	15.4	15.4	46.2	38.5

28. 生ごみ堆肥化の取り組み状況(問 45)

● 生ごみ堆肥化の取り組みについて『実践派』は 19.9%で、『非実践派』(76.4%)の方が多い。

生ごみ堆肥化の取り組み状況について、『実践派』(「取り組んでいる」と「ときどき取り組んでいる」の合計)は 19.9%となっている。一方、『非実践派』(「取り組んでいない」と「あまり取り組んでいない」の合計)は 76.4%で、『非実践派』が7割以上を占め、高くなっている。

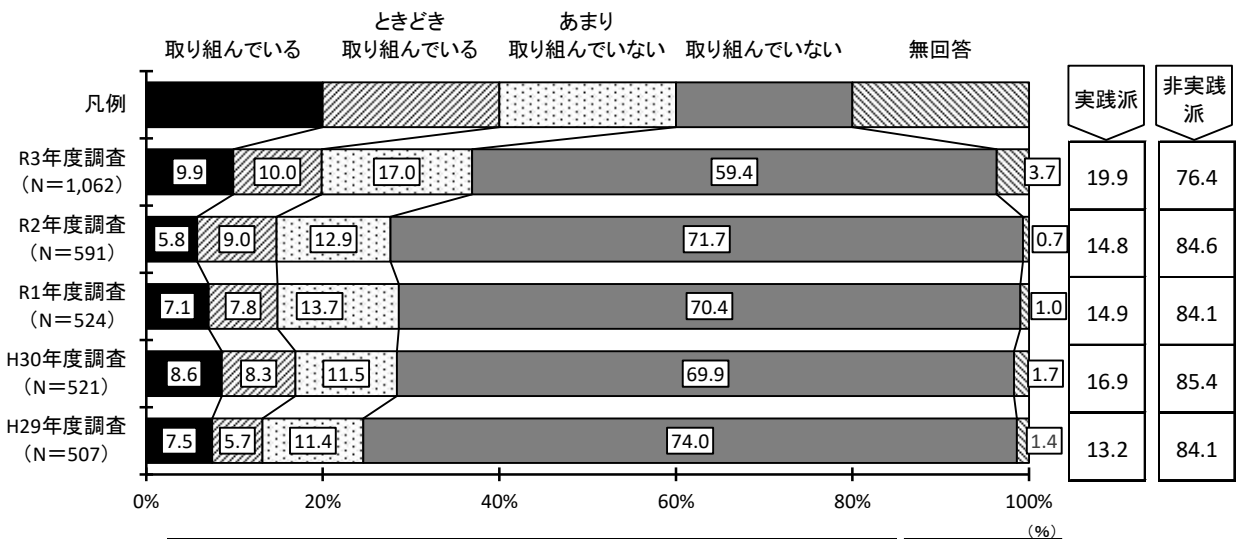
過去の調査結果と比べると、『実践派』は前回調査から 5.1 ポイント増加している。

性別にみると、『実践派』は男性 (20.7%) の方が女性 (19.0%) より高くなっている。

年代別にみると、『非実践派』は 70 歳代以上を除くすべての年代で7割を超えている。

小学校区別にみると、『実践派』が最も高いのは国分小学校区 (26.4%) となっている。

問 45. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。(○は1つ)



		標本数	で取 い り 組 ん	で取 い り 組 ん き	いりあ な組ま いんり で取	で取 い り な 組 い ん	無 回 答	実 践 派	非 実 践 派
全 体		1,062	105	106	181	631	39	211	812
		100.0	9.9	10.0	17.0	59.4	3.7	19.9	76.4
性 別	男 性	484	10.3	10.3	14.5	61.4	3.5	20.7	75.8
	女 性	569	9.5	9.5	19.3	58.2	3.5	19.0	77.5
	無回答	9	11.1	22.2	11.1	33.3	22.2	33.3	44.4
年 代 別	20歳代	78	7.7	14.1	26.9	48.7	2.6	21.8	75.6
	30歳代	107	6.5	6.5	19.6	65.4	1.9	13.1	85.0
	40歳代	201	6.0	6.0	14.4	71.1	2.5	11.9	85.6
	50歳代	201	7.0	10.0	10.0	68.7	4.5	16.9	78.6
	60歳代	200	9.0	10.5	19.5	56.0	5.0	19.5	75.5
	70歳代以上	272	17.3	12.9	18.8	47.4	3.7	30.1	66.2
	無回答	3	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	33.3
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	8.7	9.8	18.0	56.3	7.1	18.6	74.3
	太宰府東小学校区	112	9.8	12.5	19.6	56.3	1.8	22.3	75.9
	太宰府南小学校区	122	10.7	9.8	24.6	50.8	4.1	20.5	75.4
	水城小学校区	134	9.7	9.0	14.2	65.7	1.5	18.7	79.9
	水城西小学校区	123	7.3	4.1	7.3	78.9	2.4	11.4	86.2
	太宰府西小学校区	187	11.2	10.2	20.3	55.6	2.7	21.4	75.9
	国分小学校区	140	10.7	15.7	15.0	57.1	1.4	26.4	72.1
	わからない	48	4.2	2.1	14.6	68.8	10.4	6.3	83.3
無回答		13	38.5	23.1	15.4	7.7	15.4	61.5	23.1

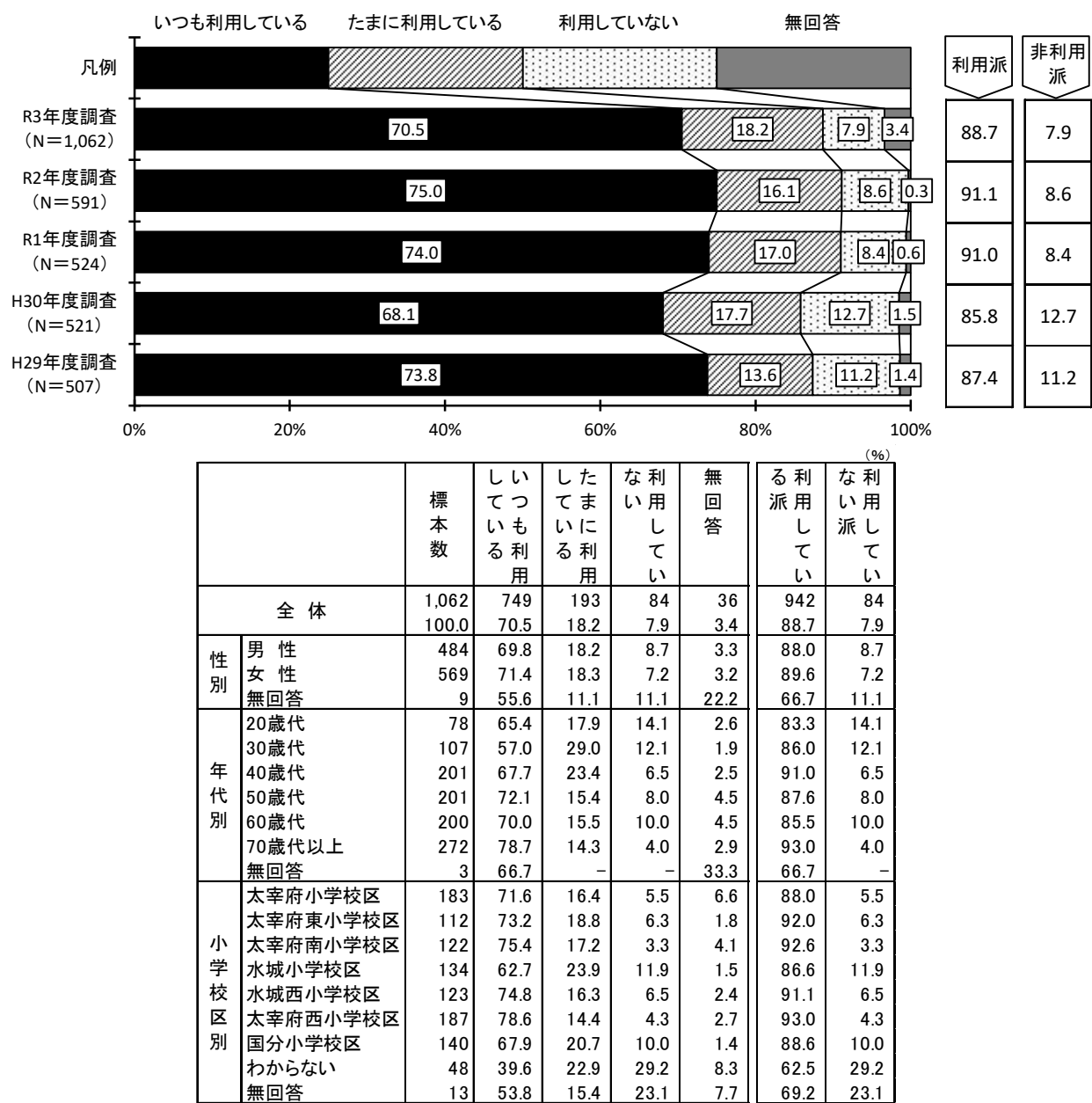
29. 不要な紙類及び古布の資源回収の利用状況(問 46)

● 不要な紙類及び古布の資源回収の利用状況について『利用している派』は 88.7%、『利用していない派』は 7.9%となっている。

不要な紙類及び古布の資源回収の利用状況について、『利用している派』（「いつも利用している」と「たまに利用している」の合計）は 88.7%となっている。一方、『利用していない派』は 7.9%で『利用している派』が約 9 割を占め、高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『利用している派』は前回調査から 2.4 ポイント減少している。
性別にみると、『利用している派』は、女性（89.6%）の方が男性（88.0%）より高くなっている。
年代別にみると、『利用している派』が最も高いのは、70 歳代以上（93.0%）となっている。
小学校区別にみると、『利用している派』は太宰府西小学校区（93.0%）が最も高くなっている。

問 46. あなたは、不要な紙類（新聞紙・雑誌及び雑紙・ダンボール）及び古布の資源回収を利用していますか。（○は 1 つ）



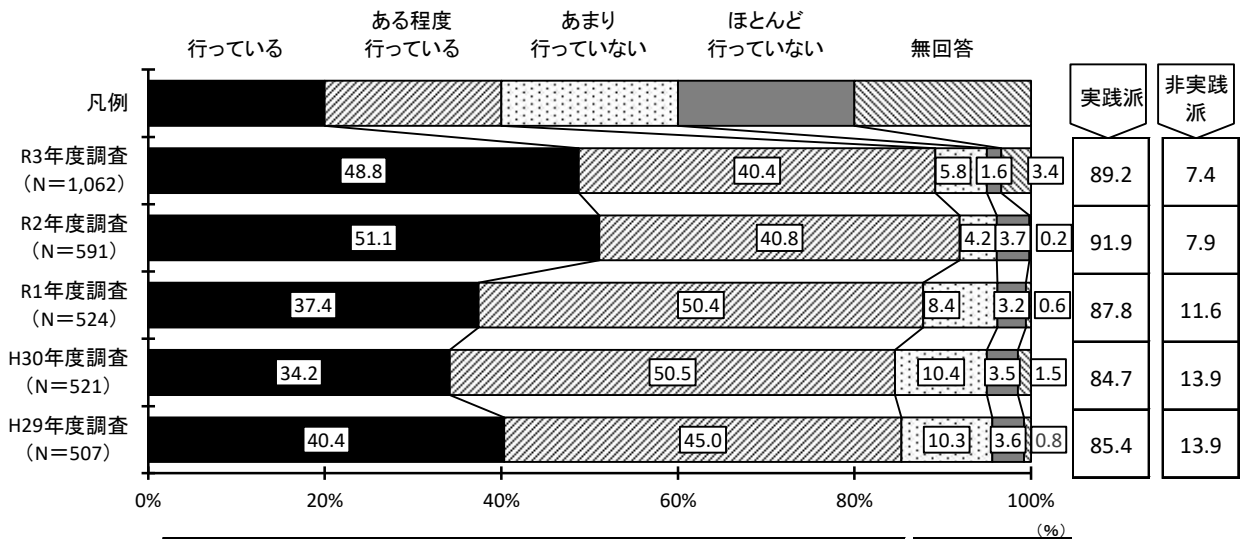
30. 省エネルギー・省資源の活動状況(問 47)

● 省エネルギー・省資源の活動について『実践派』は 89.2%、『非実践派』は 7.4%となっている。

低炭素社会の構築について、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）の『実践派』（「行っている」と「ある程度行っている」）の合計は 89.2% となっている。一方、『非実践派』（「ほとんど行っていない」と「あまり行っていない」）の合計は 7.4% で、『実践派』が約 9 割と高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『実践派』は前回調査から 2.7 ポイント減少している。
性別にみると、『実践派』は、女性（91.2%）の方が男性（87.2%）より高くなっている。
年代別にみると、『実践派』が最も高いのは、70 歳代以上（91.5%）となっている。
小学校区別にみると、『実践派』が最も高いのは、水城小学校区（94.0%）となっている。

問 47. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動（節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど）を行っていますか。（○は1つ）



		標本数	行っている	ある程度行っている	あまり行っていない	ほとんど行っていない	無回答	実践派	非実践派
全体		1,062	518	429	62	17	36	947	79
		100.0	48.8	40.4	5.8	1.6	3.4	89.2	7.4
性別	男性	484	43.4	43.8	7.9	1.9	3.1	87.2	9.7
	女性	569	53.8	37.4	4.2	1.4	3.2	91.2	5.6
	無回答	9	22.2	44.4	-	-	33.3	66.7	-
年代別	20歳代	78	41.0	42.3	12.8	1.3	2.6	83.3	14.1
	30歳代	107	43.0	45.8	2.8	6.5	1.9	88.8	9.3
	40歳代	201	47.8	40.3	8.0	1.5	2.5	88.1	9.5
	50歳代	201	48.8	41.3	4.5	1.0	4.5	90.0	5.5
	60歳代	200	51.0	38.0	6.0	0.5	4.5	89.0	6.5
	70歳代以上	272	52.6	39.0	4.4	1.1	2.9	91.5	5.5
	無回答	3	33.3	33.3	-	-	33.3	66.7	-
小学校区別	太宰府小学校区	183	48.1	36.6	7.1	1.6	6.6	84.7	8.7
	太宰府東小学校区	112	51.8	42.0	2.7	1.8	1.8	93.8	4.5
	太宰府南小学校区	122	50.0	40.2	4.1	1.6	4.1	90.2	5.7
	水城小学校区	134	51.5	42.5	3.7	0.7	1.5	94.0	4.5
	水城西小学校区	123	44.7	45.5	5.7	1.6	2.4	90.2	7.3
	太宰府西小学校区	187	48.7	40.1	7.5	1.6	2.1	88.8	9.1
	国分小学校区	140	50.0	38.6	7.9	2.1	1.4	88.6	10.0
	わからない	48	37.5	41.7	8.3	2.1	10.4	79.2	10.4
無回答		13	61.5	30.8	-	-	7.7	92.3	-

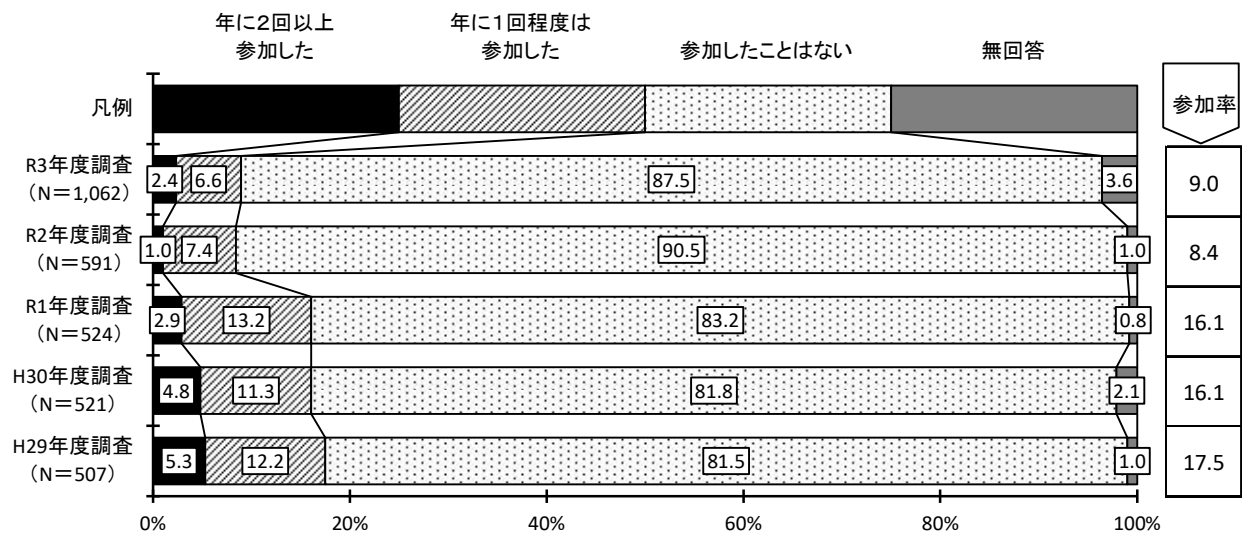
31. 環境に関する学習会等の参加状況(問 48)

● 環境に関する学習会や講習会に参加したことがある人は 9.0%となっている。

環境教育・学習の推進について、環境に関する学習会や講習会に参加したことがある、『参加率』（「年に2回以上参加した」と「年に1回程度は参加した」の合計）は 9.0%となっている。一方、「参加したことはない」は 87.5%で、8割を超え、高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『参加率』は前回調査から 0.6 ポイント増加している。
性別にみると、『参加率』は、男性（10.3%）の方が女性（7.9%）よりも高くなっている。
年代別にみると、『参加率』が最も高いのは、70 歳代以上（12.1%）となっている。
小学校区別にみると、『参加率』が最も高いのは、国分小学校区（11.4%）となっている。

問 48. あなたはこの 1 年間で、環境に関する学習会や講演会、イベントに参加したことがありますか。（〇は 1 つ）



		標本数	上年に 参加2 回以上 した人	今年に 参加1 回以上 した人	参加 したこ とはない	無 回 答	参 加 率
全 体		1,062	25	70	929	38	95
		100.0	2.4	6.6	87.5	3.6	9.0
性 別	男 性	484	3.1	7.2	86.6	3.1	10.3
	女 性	569	1.8	6.2	88.4	3.7	7.9
	無回答	9	-	-	77.8	22.2	-
年 代 別	20歳代	78	1.3	2.6	93.6	2.6	3.8
	30歳代	107	0.9	1.9	95.3	1.9	2.8
	40歳代	201	2.0	8.0	87.6	2.5	10.0
	50歳代	201	2.0	7.5	86.6	4.0	9.5
	60歳代	200	4.0	4.5	87.0	4.5	8.5
	70歳代以上	272	2.6	9.6	84.2	3.7	12.1
	無回答	3	-	-	33.3	66.7	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	2.7	6.6	83.6	7.1	9.3
	太宰府東小学校区	112	2.7	7.1	88.4	1.8	9.8
	太宰府南小学校区	122	0.8	4.1	91.0	4.1	4.9
	水城小学校区	134	3.7	6.7	87.3	2.2	10.4
	水城西小学校区	123	0.8	8.1	88.6	2.4	8.9
	太宰府西小学校区	187	2.1	8.0	87.7	2.1	10.2
	国分小学校区	140	3.6	7.9	87.1	1.4	11.4
	わからない	48	2.1	-	89.6	8.3	2.1
無回答		13	-	-	84.6	15.4	-

32. 市内の歴史的景観の美しさに対する評価(問 49)

● 歴史的な景観が美しいと感じている人は 87.3%となっている。

市内の歴史的な景観の美しさに対する評価について、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は87.3%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえば思わない」の合計)は8.9%で、『肯定派』が8割以上と高くなっている。

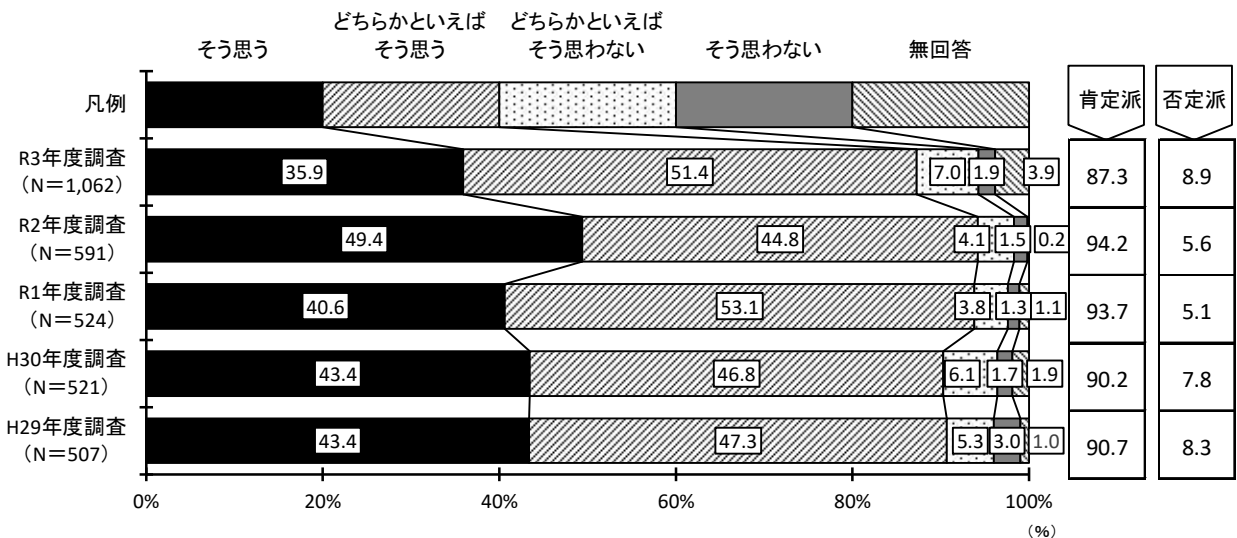
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から 6.9 ポイント減少している。

性別にみると、『肯定派』は、女性 (88.2%) の方が男性 (86.4%) より高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で『肯定派』が8割以上を占めている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『肯定派』が8割以上を占めている。

問 49. あなたは市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえば思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全 体		1,062	381	546	74	20	41	927	94
		100.0	35.9	51.4	7.0	1.9	3.9	87.3	8.9
性別	男 性	484	36.2	50.2	7.9	2.3	3.5	86.4	10.1
	女 性	569	35.9	52.4	6.3	1.6	3.9	88.2	7.9
	無回答	9	22.2	55.6	-	-	22.2	77.8	-
年代別	20歳代	78	44.9	43.6	5.1	3.8	2.6	88.5	9.0
	30歳代	107	32.7	54.2	8.4	1.9	2.8	86.9	10.3
	40歳代	201	42.8	47.3	6.0	1.5	2.5	90.0	7.5
	50歳代	201	37.8	51.2	4.0	3.0	4.0	89.1	7.0
	60歳代	200	22.5	63.0	8.0	1.0	5.5	85.5	9.0
	70歳代以上	272	38.2	47.4	9.2	1.5	3.7	85.7	10.7
	無回答	3	-	33.3	-	-	66.7	33.3	-
小学校区別	太宰府小学校区	183	36.6	44.8	7.7	3.3	7.7	81.4	10.9
	太宰府東小学校区	112	33.9	53.6	8.9	1.8	1.8	87.5	10.7
	太宰府南小学校区	122	38.5	50.8	4.9	1.6	4.1	89.3	6.6
	水城小学校区	134	35.8	50.0	11.9	0.7	1.5	85.8	12.7
	水城西小学校区	123	36.6	55.3	4.9	-	3.3	91.9	4.9
	太宰府西小学校区	187	35.8	56.1	5.3	0.5	2.1	92.0	5.9
	国分小学校区	140	37.1	51.4	5.7	4.3	1.4	88.6	10.0
	わからない	48	27.1	54.2	6.3	2.1	10.4	81.3	8.3
無回答		13	30.8	30.8	7.7	7.7	23.1	61.5	15.4

33. 居住地区のまちなみに対する評価(問 50)

● 住んでいる地区のまちなみが良好だと思う人は 82.5%となっている。

居住地区のまちなみに対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 82.5%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は 13.8%で、『肯定派』が 8 割以上を占め、高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から 4.0 ポイント減少している。

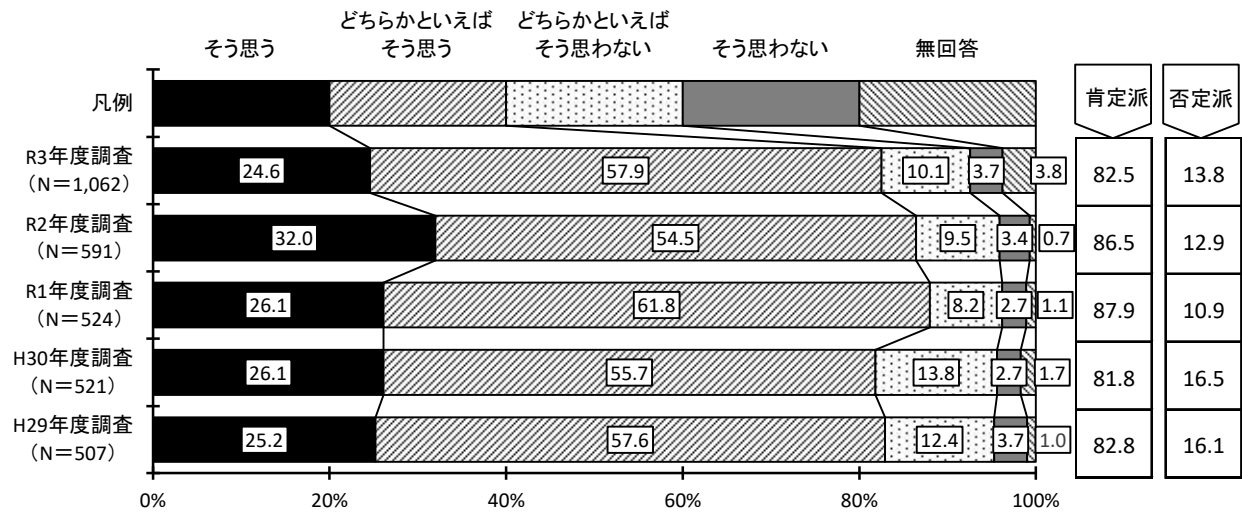
性別にみると、『肯定派』は、女性（83.8%）の方が男性（81.0%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は、20 歳代（87.2%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区を除くすべての小学校区で、『肯定派』が 8 割を超えている。

なお、『肯定派』が最も高いのは、太宰府西小学校区（89.8%）となっている。

問 50. あなたがお住まいの地域は、良好なまちなみだと思いますか。（○は 1 つ）



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全 体		1,062	261	615	107	39	40	876	146
		100.0	24.6	57.9	10.1	3.7	3.8	82.5	13.8
性別	男 性	484	23.6	57.4	12.0	3.7	3.3	81.0	15.7
	女 性	569	25.3	58.5	8.6	3.7	3.9	83.8	12.3
	無回答	9	33.3	44.4	-	-	22.2	77.8	-
年代別	20歳代	78	32.1	55.1	9.0	1.3	2.6	87.2	10.3
	30歳代	107	22.4	57.0	11.2	6.5	2.8	79.4	17.8
	40歳代	201	29.9	55.7	8.0	4.0	2.5	85.6	11.9
	50歳代	201	25.9	57.2	9.0	4.0	4.0	83.1	12.9
	60歳代	200	15.0	63.5	11.5	5.0	5.0	78.5	16.5
	70歳代以上	272	25.7	57.4	11.4	1.8	3.7	83.1	13.2
	無回答	3	-	33.3	-	-	66.7	33.3	-
小学校区別	太宰府小学校区	183	21.3	55.7	13.1	3.3	6.6	77.0	16.4
	太宰府東小学校区	112	17.0	67.9	8.0	5.4	1.8	84.8	13.4
	太宰府南小学校区	122	27.9	54.9	10.7	2.5	4.1	82.8	13.1
	水城小学校区	134	23.9	59.0	12.7	1.5	3.0	82.8	14.2
	水城西小学校区	123	26.0	60.2	8.9	2.4	2.4	86.2	11.4
	太宰府西小学校区	187	32.6	57.2	6.4	1.6	2.1	89.8	8.0
	国分小学校区	140	25.0	56.4	9.3	7.9	1.4	81.4	17.1
	わからない	48	14.6	52.1	16.7	6.3	10.4	66.7	22.9
無回答		13	15.4	46.2	-	15.4	23.1	61.5	15.4

34. 住環境の快適さに対する評価(問 51)

● 都市基盤が整備され快適な住環境であると思う人は 72.5%となっている。

住環境の快適さに対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 72.5%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は 23.4%で、『肯定派』が 7 割以上を占め、高くなっている。

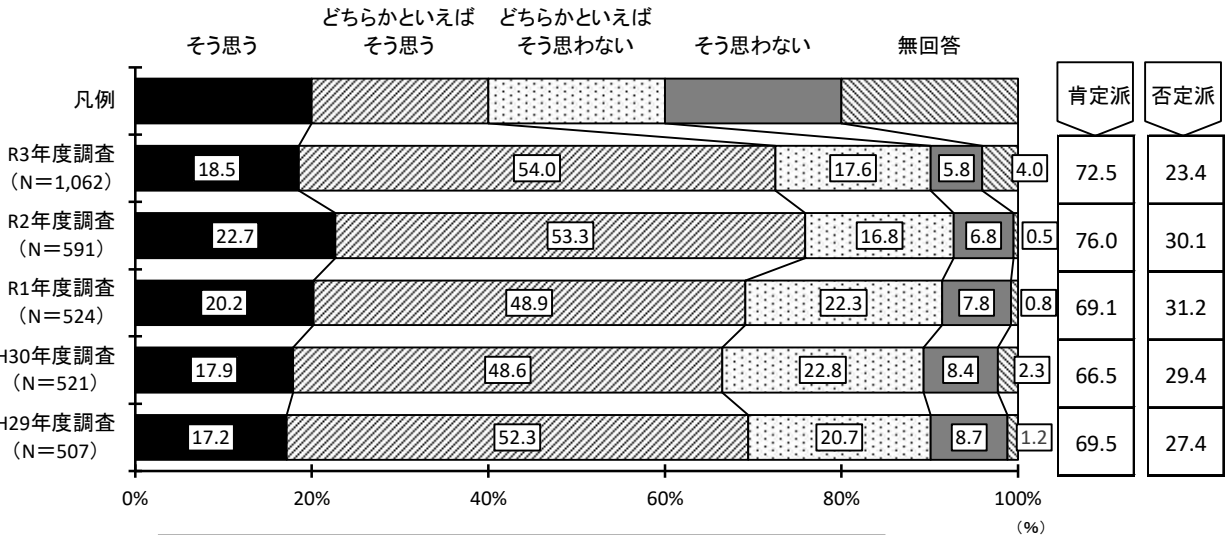
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から 3.5 ポイント減少している。

性別にみると、『肯定派』は、女性（73.6%）の方が男性（71.3%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』が最も高いのは 20 歳代（76.9%）となっている。一方、『否定派』が最も高いのは 30 歳代（30.8%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は、太宰府西小学校区（84.5%）が最も高くなっている。一方、『否定派』が最も高いのは、太宰府小学校区（33.3%）となっている。

問 51. あなたがお住まいの地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思いますか。（○は1つ）



		標 本 数	そ う 思 う	い ど え ち ら ば そ う と	い ど え ち ら ば そ う と	い そ う 思 わ な	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		1,062	197	573	187	62	43	770	249
		100.0	18.5	54.0	17.6	5.8	4.0	72.5	23.4
性 別	男 性	484	18.2	53.1	18.0	7.0	3.7	71.3	25.0
	女 性	569	19.0	54.7	17.4	4.9	4.0	73.6	22.3
	無回答	9	11.1	55.6	11.1	-	22.2	66.7	11.1
年 代 別	20歳代	78	24.4	52.6	14.1	6.4	2.6	76.9	20.5
	30歳代	107	15.9	50.5	23.4	7.5	2.8	66.4	30.8
	40歳代	201	21.4	51.2	20.9	4.0	2.5	72.6	24.9
	50歳代	201	18.9	55.2	15.4	6.0	4.5	74.1	21.4
	60歳代	200	10.5	61.5	14.0	8.5	5.5	72.0	22.5
	70歳代以上	272	21.7	51.5	18.4	4.4	4.0	73.2	22.8
	無回答	3	-	33.3	-	-	66.7	33.3	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	8.7	49.7	22.4	10.9	8.2	58.5	33.3
	太宰府東小学校区	112	17.9	57.1	16.1	7.1	1.8	75.0	23.2
	太宰府南小学校区	122	18.0	63.1	12.3	1.6	4.9	81.1	13.9
	水城小学校区	134	19.4	57.5	17.2	4.5	1.5	76.9	21.6
	水城西小学校区	123	21.1	55.3	17.9	3.3	2.4	76.4	21.1
	太宰府西小学校区	187	32.1	52.4	11.2	1.6	2.7	84.5	12.8
	国分小学校区	140	13.6	52.9	23.6	8.6	1.4	66.4	32.1
	わからない	48	12.5	41.7	25.0	10.4	10.4	54.2	35.4
無回答	13	15.4	30.8	15.4	15.4	23.1	46.2	30.8	

35. 商業施設等の利便性に対する評価(問 52)

● 商業施設等が周辺にあり、生活をするうえで便利と感じている人は 67.8%となっている。

商業施設等の利便性に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 67.8%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は 28.5%で、『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。

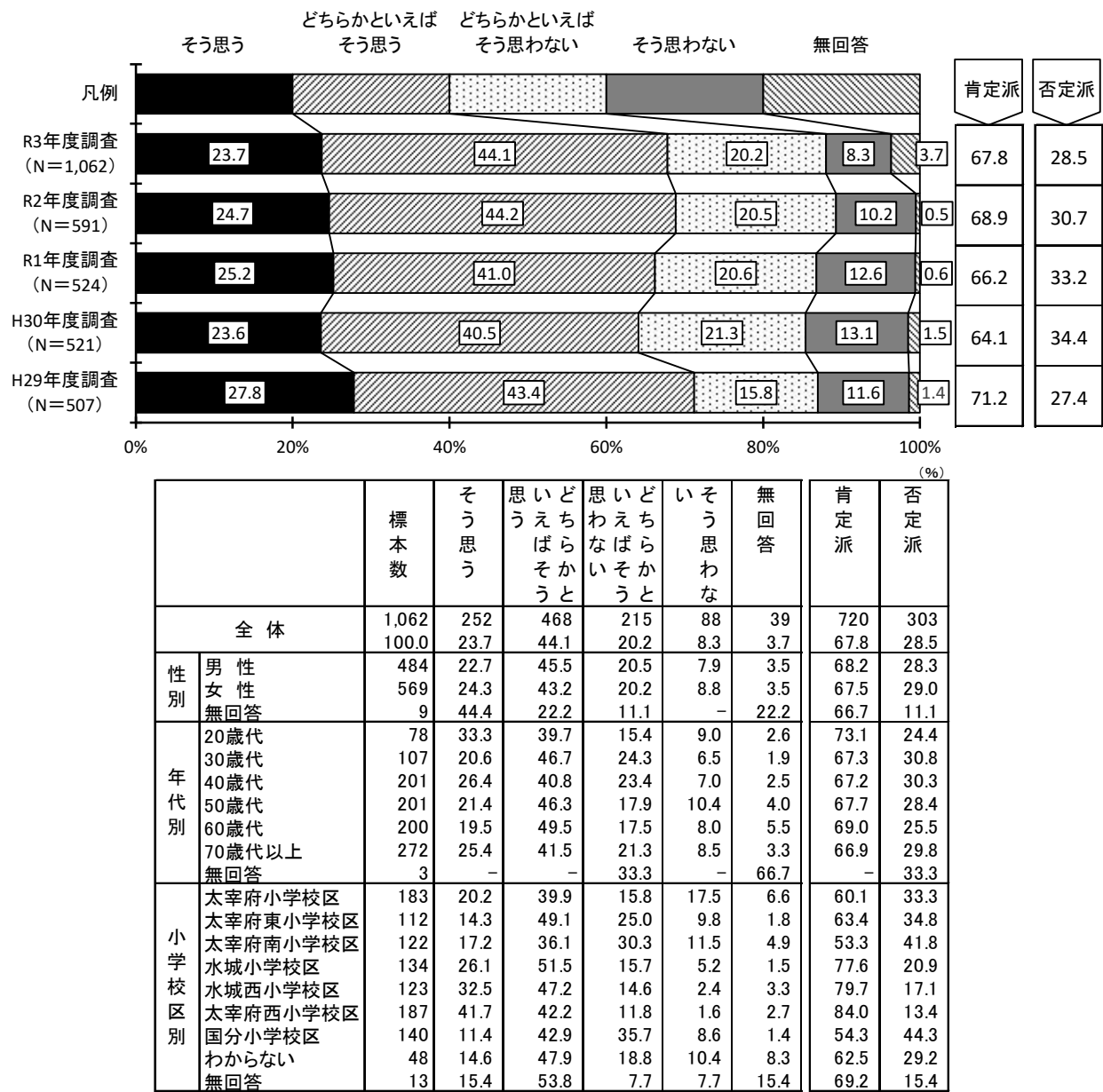
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から 1.1 ポイント減少している。

性別にみると、『肯定派』は男性 68.2%に対し女性 67.5%で、ほぼ同程度となっている。

年代別にみると、『肯定派』は 20 歳代（73.1%）が最も高くなっている。一方、『否定派』が最も高いのは 30 歳代（30.8%）となっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は、太宰府西小学校区（84.0%）が最も高くなっている。一方、『否定派』が最も高いのは国分小学校区（44.3%）となっている。

問 52. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。
(○は1つ)



36. 市内のバスの利便性に対する評価(問 53)

● バスの利便性について『肯定派』は 41.6%、『否定派』は 27.9%となっている。

市内のバスの利便性に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 41.6%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計）は 27.9%で、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。なお、「バスを利用しないのでわからない」は 27.0%となっている。

過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から 1.5 ポイント減少している。

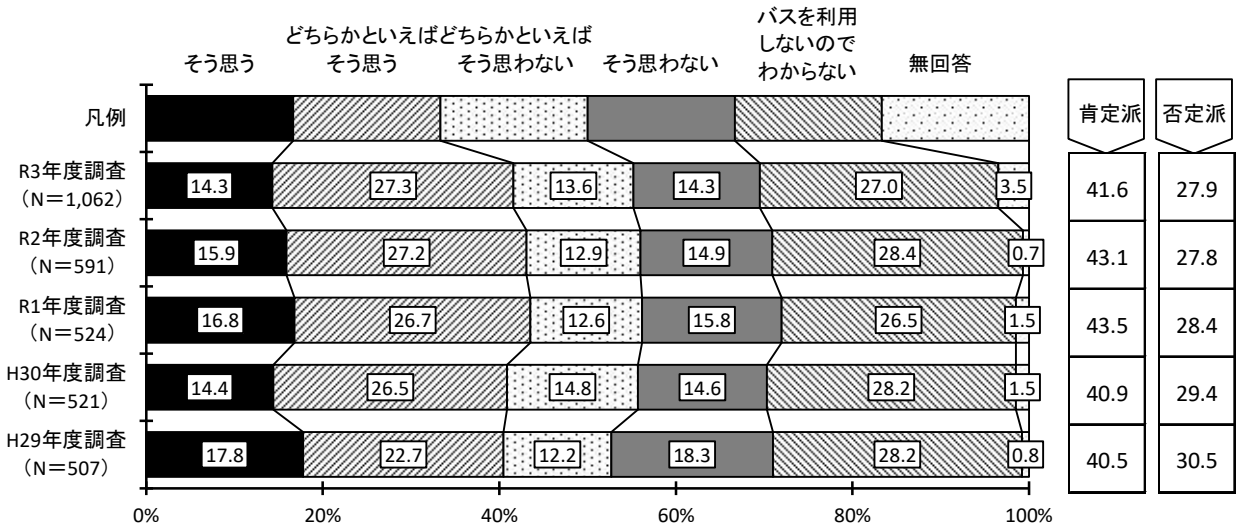
性別にみると、『肯定派』は男性（43.6%）の方が女性（40.6%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は 70 歳代以上（45.6%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。

なお、『肯定派』が最も高いのは太宰府西小学校区（50.8%）が最も高くなっている。

問 53. あなたは市内のバスは便利だと思いますか。（〇は 1 つ）



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	バスを利用しないのでわからない	無回答	肯定派	否定派
全体		1,062	152	290	144	152	287	37	442	296
		100.0	14.3	27.3	13.6	14.3	27.0	3.5	41.6	27.9
性別	男性	484	15.7	27.3	12.2	12.8	28.7	3.3	43.0	25.0
	女性	569	13.0	27.6	14.9	15.6	25.5	3.3	40.6	30.6
	無回答	9	22.2	11.1	—	11.1	33.3	22.2	33.3	11.1
年代別	20歳代	78	17.9	24.4	6.4	16.7	32.1	2.6	42.3	23.1
	30歳代	107	9.3	32.7	14.0	13.1	29.0	1.9	42.1	27.1
	40歳代	201	12.9	25.9	15.9	19.4	23.4	2.5	38.8	35.3
	50歳代	201	8.0	29.4	12.9	17.9	27.9	4.0	37.3	30.8
	60歳代	200	12.5	31.0	16.0	11.0	25.0	4.5	43.5	27.0
	70歳代以上	272	22.4	23.2	12.5	10.3	28.3	3.3	45.6	22.8
	無回答	3	—	—	—	—	33.3	66.7	—	—
小学校区別	太宰府小学校区	183	16.4	23.5	12.0	10.9	30.6	6.6	39.9	23.0
	太宰府東小学校区	112	13.4	33.9	15.2	15.2	20.5	1.8	47.3	30.4
	太宰府南小学校区	122	15.6	25.4	10.7	21.3	23.0	4.1	41.0	32.0
	水城小学校区	134	11.9	26.9	12.7	8.2	38.8	1.5	38.8	20.9
	水城西小学校区	123	13.0	22.8	13.8	18.7	29.3	2.4	35.8	32.5
	太宰府西小学校区	187	16.6	34.2	15.0	8.6	23.5	2.1	50.8	23.5
	国分小学校区	140	13.6	27.1	17.1	21.4	19.3	1.4	40.7	38.6
	わからない	48	10.4	22.9	4.2	14.6	39.6	8.3	33.3	18.8
無回答		13	7.7	7.7	30.8	15.4	15.4	23.1	15.4	46.2

37. コミュニティバスの利用頻度(問 54)

● コミュニティバスの『週1回以上の利用率』は4.2%となっている。

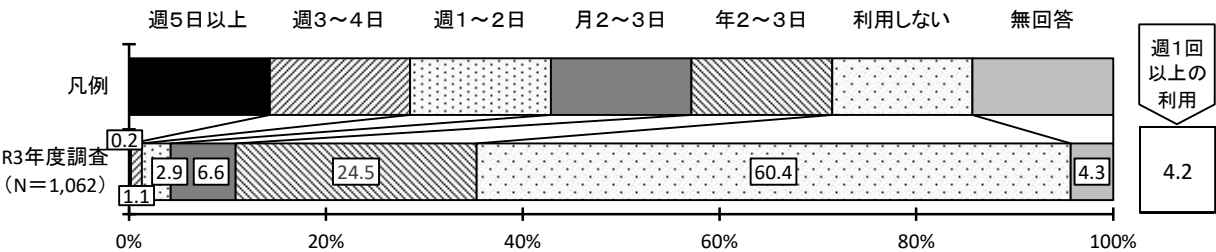
コミュニティバスの利用頻度について、『週1回以上の利用率』（「週5日以上」と「週3～4日」、「週1～2日」の合計）は4.2%となっている。

性別にみると、『週1回以上の利用率』は女性（5.1%）の方が男性（2.9%）より高くなっている。

年代別にみると、『週1回以上の利用率』は70歳代以上（8.1%）が最も高く、次いで20歳代（3.8%）の順となっている。

小学校区別にみると、『週1回以上の利用率』が最も高いのは太宰府小学校区（10.9%）となっている。

問 54. 市内のバスの中でコミュニティバス「まほろば号」についておたずねします。あなたはまほろば号をどの程度の頻度で利用しますか。（〇は1つ）



		標本数	週5日以上	週3～4日	週1～2日	月2～3日	年2～3日	利用しない	無回答	の週利1回利用率以上 (%)
全体		1,062	2	12	31	70	260	641	46	45
		100.0	0.2	1.1	2.9	6.6	24.5	60.4	4.3	4.2
性別	男性	484	—	0.6	2.3	6.0	23.6	62.6	5.0	2.9
	女性	569	0.4	1.4	3.3	7.2	25.5	58.7	3.5	5.1
	無回答	9	—	11.1	11.1	—	11.1	44.4	22.2	22.2
年代別	20歳代	78	1.3	1.3	1.3	7.7	16.7	67.9	3.8	3.8
	30歳代	107	—	0.9	1.9	4.7	26.2	64.5	1.9	2.8
	40歳代	201	0.5	—	2.0	4.0	25.4	65.2	3.0	2.5
	50歳代	201	—	0.5	3.0	5.0	25.4	60.7	5.5	3.5
	60歳代	200	—	0.5	2.0	6.5	27.0	59.0	5.0	2.5
	70歳代以上	272	—	2.9	5.1	10.3	23.2	53.7	4.8	8.1
	無回答	3	—	—	—	—	—	66.7	33.3	—
小学校区別	太宰府小学校区	183	1.1	2.2	7.7	9.3	22.4	50.3	7.1	10.9
	太宰府東小学校区	112	—	—	—	4.5	26.8	67.0	1.8	—
	太宰府南小学校区	122	—	0.8	0.8	4.9	9.8	78.7	4.9	1.6
	水城小学校区	134	—	—	0.7	9.0	21.6	67.2	1.5	0.7
	水城西小学校区	123	—	—	1.6	4.9	26.0	64.2	3.3	1.6
	太宰府西小学校区	187	—	2.1	2.7	5.3	32.6	52.4	4.8	4.8
	国分小学校区	140	—	1.4	4.3	5.7	30.7	55.0	2.9	5.7
	わからない	48	—	2.1	2.1	8.3	25.0	52.1	10.4	4.2
無回答		13	—	—	7.7	15.4	—	69.2	7.7	7.7

38. コミュニティバスの運賃や利便性に対する評価(問 55)

● コミュニティバスの運賃や利便性について現行のままで良いと思っている人は 32.6%となっている。

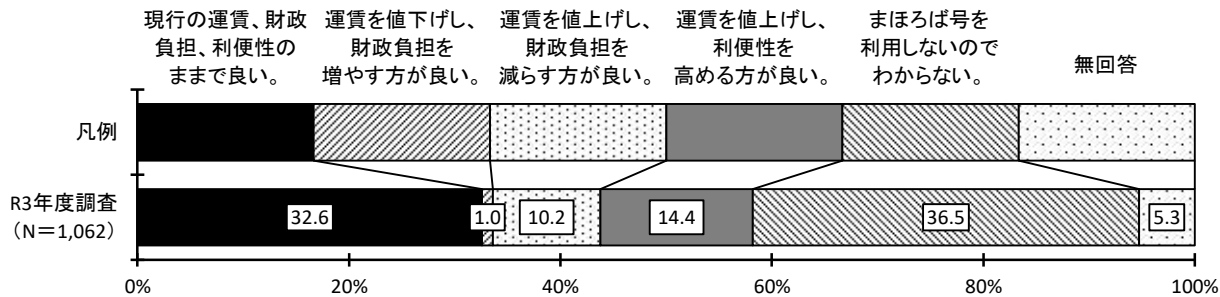
コミュニティバスの運賃や利便性について、「まほろば号を利用しないのでわからない」(36.5%)が最も高く、次いで「現行の運賃、財政負担、利便性のままで良い」(32.6%)、「運賃を値上げし、利便性を高める方が良い」(14.4%)の順となっている。

性別でみると、「現行の運賃、財政負担、利便性のままで良い」は、男性 32.0%に対し女性 33.0%で、ほぼ同程度となっている。

年代別でみると、「現行の運賃、財政負担、利便性のままで良い」は 30 歳代 (36.4%) が最も高く、次いで 50 歳代 (34.3%) の順となっている。

小学校区別にみると、「現行の運賃、財政負担、利便性のままで良い」が最も高いのは国分小学校区 (42.1%) となっている。

問 55. まほろば号は運行費用を運賃収入（年間約5千万円）と本市の財政負担（年間約1億5千万円）で運行しており、一律運賃 100 円でご利用いただいています。あなたは運賃や利便性についてどのように思いますか。（○は1つ）



		標本数	まほろば号の利便性の財政負担	現行の運賃、利便性の財政負担	運賃を値下げし、財政負担を増やす	運賃を値上げし、財政負担を減らす	運賃を値上げし、利便性を高める	まほろば号を利用しないのでわからない	無回答
全体		1,062	346	11	108	153	388	56	
		100.0	32.6	1.0	10.2	14.4	36.5	5.3	
性別	男性	484	32.0	1.4	11.0	12.8	36.8	6.0	
	女性	569	33.0	0.7	9.7	16.0	36.2	4.4	
	無回答	9	33.3	-	-	-	44.4	22.2	
年代別	20歳代	78	26.9	-	6.4	19.2	42.3	5.1	
	30歳代	107	36.4	-	11.2	16.8	33.6	1.9	
	40歳代	201	31.8	2.0	11.4	12.9	37.8	4.0	
	50歳代	201	34.3	1.0	7.5	16.9	34.3	6.0	
	60歳代	200	33.0	1.5	12.0	13.5	34.5	5.5	
	70歳代以上	272	32.0	0.7	10.3	12.1	38.2	6.6	
	無回答	3	-	-	33.3	-	33.3	33.3	
小学校区別	太宰府小学校区	183	35.5	2.2	10.9	9.8	33.3	8.2	
	太宰府東小学校区	112	20.5	0.9	17.9	22.3	36.6	1.8	
	太宰府南小学校区	122	26.2	-	9.8	16.4	42.6	4.9	
	水城小学校区	134	31.3	1.5	11.9	9.0	43.3	3.0	
	水城西小学校区	123	34.1	-	8.1	17.1	35.8	4.9	
	太宰府西小学校区	187	35.3	1.1	9.1	13.9	35.3	5.3	
	国分小学校区	140	42.1	-	7.1	17.1	30.0	3.6	
	わからない	48	27.1	4.2	4.2	14.6	39.6	10.4	
	無回答	13	30.8	-	7.7	-	38.5	23.1	

39. 市内の鉄道の利便性に対する評価(問 56)

● 鉄道の利便性について『肯定派』は64.5%、『否定派』は19.0%となっている。

市内の鉄道に対する利便性について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は64.5%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計）は19.0%で、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。

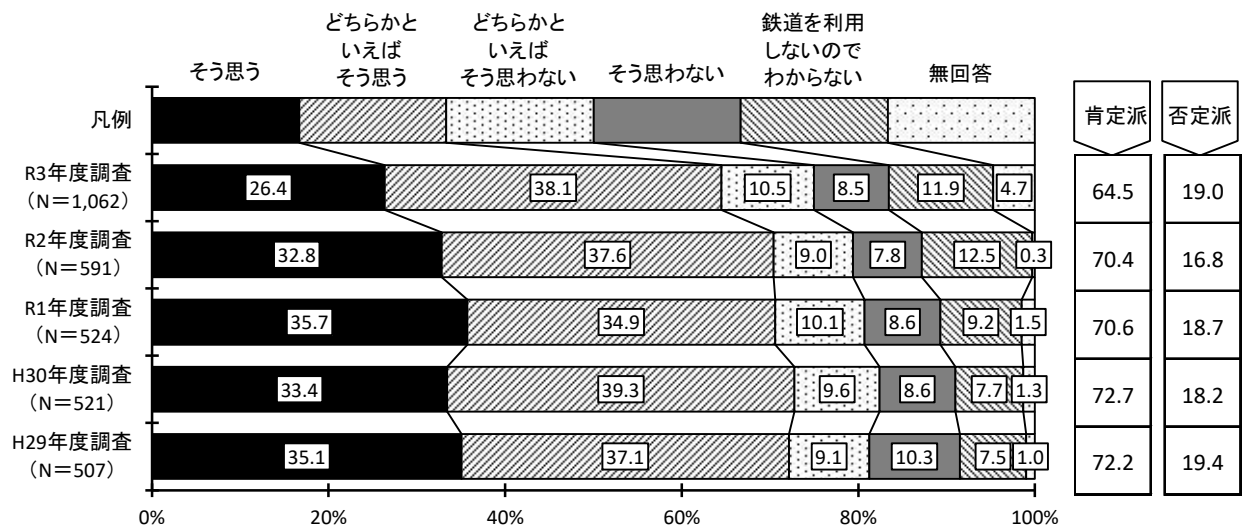
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から5.9ポイント減少している。

性別にみると、『肯定派』は女性（66.8%）の方が男性（62.2%）より高くなっている。

年代別にみると、『肯定派』は70歳代以上を除いたすべての年代で、6割を超えている。なお『肯定派』が最も高いのは、50歳代（69.2%）となっている。

小学校区別にみると、すべての小学校区で『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、『肯定派』が最も高いのは、太宰府東小学校区（76.8%）である。

問 56. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。（○は1つ）



		標本数	そう思う	えど ばち そう か 思 う い	な え ど ば ち そ う か 思 わ い	そ う 思 わ な い	ら な 鉄 道 を で 利 用 か し	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		1,062	280	405	111	90	126	50	685	201
		100.0	26.4	38.1	10.5	8.5	11.9	4.7	64.5	19.0
性 別	男 性	484	25.8	36.4	9.9	9.5	13.0	5.4	62.2	19.4
	女 性	569	26.9	39.9	11.1	7.6	10.7	3.9	66.8	18.6
	無回答	9	22.2	22.2	-	11.1	22.2	22.2	44.4	11.1
年 代 別	20歳代	78	26.9	41.0	9.0	7.7	11.5	3.8	67.9	16.7
	30歳代	107	27.1	33.6	14.0	4.7	18.7	1.9	60.7	18.7
	40歳代	201	29.9	38.3	11.9	9.0	8.0	3.0	68.2	20.9
	50歳代	201	27.4	41.8	10.4	9.0	6.0	5.5	69.2	19.4
	60歳代	200	20.0	44.0	9.5	7.5	14.0	5.0	64.0	17.0
	70歳代以上	272	27.6	32.4	8.8	10.3	14.7	6.3	59.9	19.1
	無回答	3	-	-	33.3	-	33.3	33.3	-	33.3
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	28.4	36.6	9.3	6.6	10.9	8.2	65.0	15.8
	太宰府東小学校区	112	32.1	44.6	9.8	5.4	6.3	1.8	76.8	15.2
	太宰府南小学校区	122	23.8	32.8	15.6	10.7	12.3	4.9	56.6	26.2
	水城小学校区	134	35.8	40.3	9.0	4.5	9.0	1.5	76.1	13.4
	水城西小学校区	123	35.0	39.8	8.9	8.1	4.9	3.3	74.8	17.1
	太宰府西小学校区	187	16.0	33.2	12.8	12.8	19.8	5.3	49.2	25.7
	国分小学校区	140	18.6	44.3	10.0	12.1	12.9	2.1	62.9	22.1
	わからない 無回答	48 13	25.0 30.8	37.5 23.1	6.3 -	4.2 -	14.6 30.8	12.5 15.4	62.5 53.8	10.4 -

40. 市内の道路の円滑性に対する評価(問 57)

● 道路の円滑性について『肯定派』が 52.3%で、『否定派』(39.2%)より高い。

市内の道路は円滑に移動できるかについて、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は 52.3%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は 39.2%で、『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。

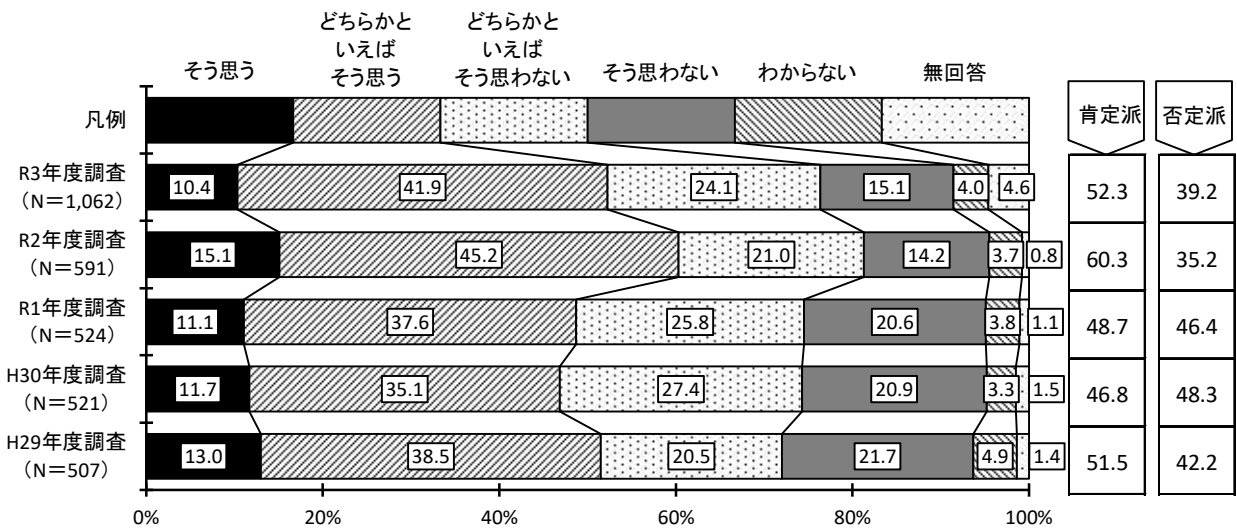
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から 8.0 ポイント減少している。

性別にみると、『肯定派』は女性 (55.5%) の方が男性 (48.6%) より高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で『肯定派』の方が『否定派』より高くなっている。なお、『肯定派』が最も高いのは 40 歳代 (59.2%) となっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区と太宰府東小学校区を除くすべての小学校区で『肯定派』の方が『否定派』よりも高くなっている。なお、『肯定派』が最も高いのは、太宰府西小学校区 (66.8%) である。

問 57. あなたは市内の道路全般について、円滑に移動できると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	えどち ばち そう か 思 う い	なえど いばち そう か 思 と わ い	そう 思 わ な い	わ か ら な い	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		1,062	110	445	256	160	42	49	555	416
		100.0	10.4	41.9	24.1	15.1	4.0	4.6	52.3	39.2
性 別	男 性	484	11.0	37.6	26.0	17.6	2.5	5.4	48.6	43.6
	女 性	569	9.8	45.7	22.5	13.2	5.1	3.7	55.5	35.7
	無回答	9	11.1	33.3	22.2	-	11.1	22.2	44.4	22.2
年 代 別	20歳代	78	14.1	38.5	23.1	16.7	3.8	3.8	52.6	39.7
	30歳代	107	10.3	39.3	24.3	15.9	8.4	1.9	49.5	40.2
	40歳代	201	11.9	47.3	23.4	12.9	1.5	3.0	59.2	36.3
	50歳代	201	11.4	41.8	22.9	14.4	3.0	6.5	53.2	37.3
	60歳代	200	8.0	39.0	26.5	17.5	3.5	5.5	47.0	44.0
	70歳代以上	272	9.2	42.6	24.3	14.3	4.8	4.8	51.8	38.6
	無回答	3	-	-	-	33.3	33.3	33.3	-	33.3
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	4.4	25.1	29.0	31.1	3.3	7.1	29.5	60.1
	太宰府東小学校区	112	7.1	33.0	31.3	20.5	5.4	2.7	40.2	51.8
	太宰府南小学校区	122	14.8	43.4	20.5	13.1	3.3	4.9	58.2	33.6
	水城小学校区	134	11.9	45.5	25.4	9.0	5.2	3.0	57.5	34.3
	水城西小学校区	123	10.6	51.2	25.2	8.1	2.4	2.4	61.8	33.3
	太宰府西小学校区	187	16.6	50.3	18.2	6.4	3.2	5.3	66.8	24.6
	国分小学校区	140	7.1	50.0	22.1	15.7	2.9	2.1	57.1	37.9
	わからない 無回答	48 13	8.3 15.4	37.5 23.1	22.9 15.4	12.5 15.4	8.3 15.4	10.4 15.4	45.8 38.5	35.4 30.8

41. 外出時の移動手段(問 58)

● 日頃の外出時の交通手段は「自家用車」(65.2%)が最も高い。

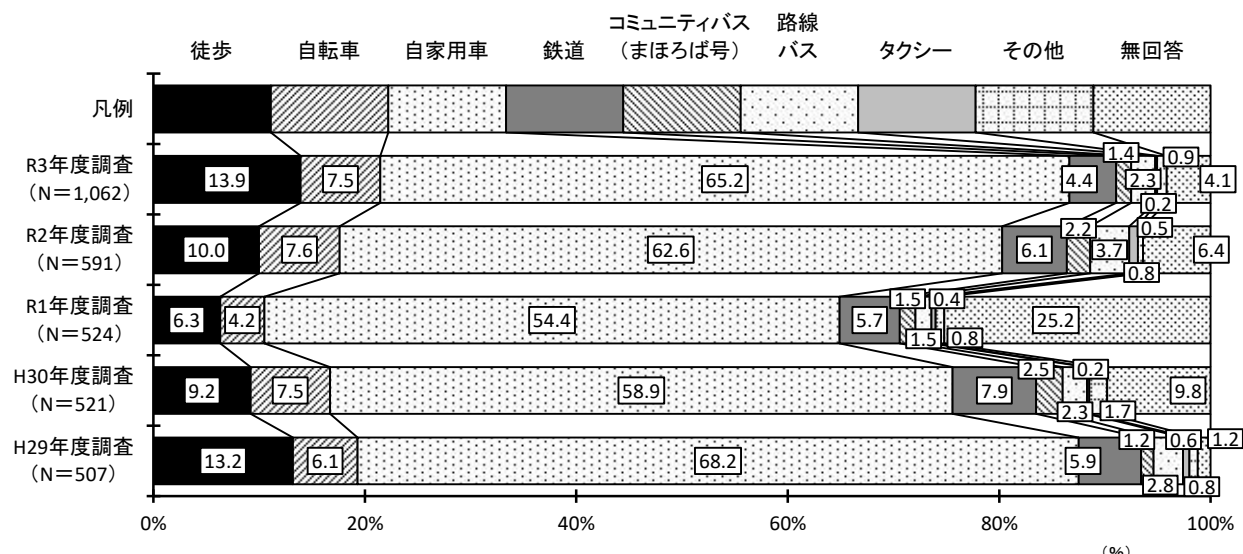
外出時の移動手段について、日頃の外出時における交通手段は、「自家用車」(65.2%)が最も高くなっている。次いで「徒歩」(13.9%)、「自転車」(7.5%)、「鉄道」(4.4%)の順となっている。

性別にみると、男女ともに「自家用車」が最も高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で「自家用車」が最も高くなっている。なお、「自家用車」が最も高いのは、30歳代(80.4%)である。

小学校区別にみると、すべての小学校区で「自家用車」が最も高くなっている。なお、「自家用車」が最も高いのは、国分小学校区(72.1%)である。

問 58. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(2 つ以上あるときは主なもの 1 つ)



		標本数	徒歩	自転車	自家用車	鉄道	コミュニティバス (まほろば号)	路線バス	タクシー	その他	無回答
全体		1,062	148	80	692	47	15	24	2	10	44
		100.0	13.9	7.5	65.2	4.4	1.4	2.3	0.2	0.9	4.1
性別	男性	484	12.0	6.6	71.5	2.7	0.6	1.0	-	0.8	4.8
	女性	569	15.5	8.3	60.1	6.0	2.1	3.3	0.4	1.1	3.3
	無回答	9	22.2	11.1	44.4	-	-	-	-	-	22.2
年代別	20歳代	78	16.7	21.8	51.3	3.8	-	2.6	-	-	3.8
	30歳代	107	9.3	1.9	80.4	4.7	-	0.9	-	0.9	1.9
	40歳代	201	9.0	8.5	69.7	7.0	0.5	2.0	-	0.5	3.0
	50歳代	201	11.9	7.5	66.2	6.0	-	0.5	0.5	2.0	5.5
	60歳代	200	16.0	5.0	67.5	2.5	0.5	2.0	0.5	1.0	5.0
	70歳代以上	272	18.8	7.0	57.4	2.9	4.8	4.4	-	0.7	4.0
	無回答	3	-	-	66.7	-	-	-	-	-	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	183	18.6	7.1	56.8	4.4	4.4	-	-	1.6	7.1
	太宰府東小学校区	112	12.5	5.4	67.0	5.4	-	8.0	-	-	1.8
	太宰府南小学校区	122	12.3	4.1	68.9	0.8	-	8.2	-	0.8	4.9
	水城小学校区	134	14.9	11.2	61.9	6.7	1.5	-	-	2.2	1.5
	水城西小学校区	123	10.6	11.4	69.9	4.1	-	-	0.8	0.8	2.4
	太宰府西小学校区	187	10.2	8.6	68.4	3.7	1.1	2.7	0.5	-	4.8
	国分小学校区	140	14.3	6.4	72.1	2.1	1.4	-	-	1.4	2.1
	わからない	48	14.6	4.2	54.2	14.6	2.1	-	-	-	10.4
無回答		13	46.2	-	38.5	7.7	-	-	-	-	7.7

42. 日頃の買い物場所(問 59)

● 日頃買い物する場所は「太宰府市」(60.1%)が最も高い。

日頃主に買い物する場所については、「太宰府市」(60.1%)が最も高く、全体の6割以上を占めている。次いで「筑紫野市」(20.7%)、「大野城市」(8.2%)の順となっている。

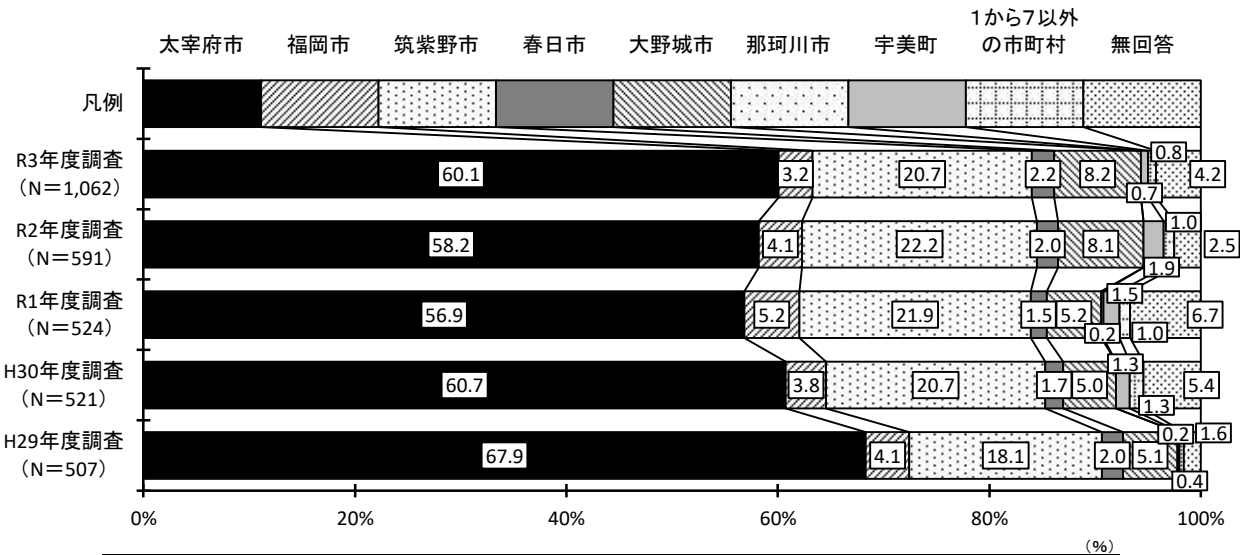
過去の調査結果と比べると、前回調査から「太宰府市」が1.9ポイント増加している。

性別でみると、「太宰府市」は、女性(60.8%)の方が男性(59.3%)より高くなっている。

年代別でみると、すべての年代で「太宰府市」が最も高くなっている。また、すべての年代で「筑紫野市」が2番目に高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府南小学校区を除くすべての小学校区で「太宰府市」が最も高くなっている。なお、太宰府南小学校区は「筑紫野市」(59.8%)が最も高くなっている。

問 59. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(〇は1つ)



		標本数	太宰府市	福岡市	筑紫野市	春日市	大野城市	那珂川市	宇美町	のそ市れ町以村外	無回答
全 体		1,062	638	34	220	23	87	-	7	8	45
		100.0	60.1	3.2	20.7	2.2	8.2	-	0.7	0.8	4.2
性 別	男 性	484	59.3	3.9	19.6	2.3	8.5	-	0.8	0.6	5.0
	女 性	569	60.8	2.6	21.8	2.1	7.9	-	0.5	0.9	3.3
	無回答	9	55.6	-	11.1	-	11.1	-	-	-	22.2
年 代 別	20歳代	78	53.8	9.0	23.1	2.6	5.1	-	-	2.6	3.8
	30歳代	107	57.0	3.7	24.3	2.8	7.5	-	0.9	1.9	1.9
	40歳代	201	56.7	3.5	20.4	2.5	11.9	-	1.0	1.0	3.0
	50歳代	201	55.2	3.0	22.9	3.0	9.5	-	-	0.5	6.0
	60歳代	200	63.0	2.0	19.5	2.0	7.0	-	1.0	0.5	5.0
	70歳代以上	272	67.3	2.2	18.4	1.1	6.3	-	0.7	-	4.0
	無回答	3	33.3	-	-	-	33.3	-	-	-	33.3
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	62.8	1.1	20.8	0.5	3.3	-	3.3	1.1	7.1
	太宰府東小学校区	112	61.6	4.5	32.1	-	-	-	-	-	1.8
	太宰府南小学校区	122	30.3	0.8	59.8	-	2.5	-	-	1.6	4.9
	水城小学校区	134	63.4	3.7	19.4	6.0	5.2	-	-	0.7	1.5
	水城西小学校区	123	67.5	2.4	12.2	2.4	11.4	-	0.8	0.8	2.4
	太宰府西小学校区	187	68.4	5.9	5.9	3.7	10.7	-	-	-	5.3
	国分小学校区	140	61.4	1.4	7.9	2.9	24.3	-	-	-	2.1
	わからない	48	58.3	8.3	14.6	-	4.2	-	-	4.2	10.4
無回答		13	53.8	7.7	23.1	-	7.7	-	-	-	7.7

43. 歴史・文化遺産に対する評価(問 60)

● 市の歴史・文化遺産を誇りに思っている人は 89.3%となっている。

歴史・文化遺産に対する評価について、『肯定派』（「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）は 89.3%となっている。一方、『否定派』（「そう思わない」と「どちらかと言えばそう思わない」の合計）は 6.3%となっており、『肯定派』が約 9 割を占め、高くなっている。

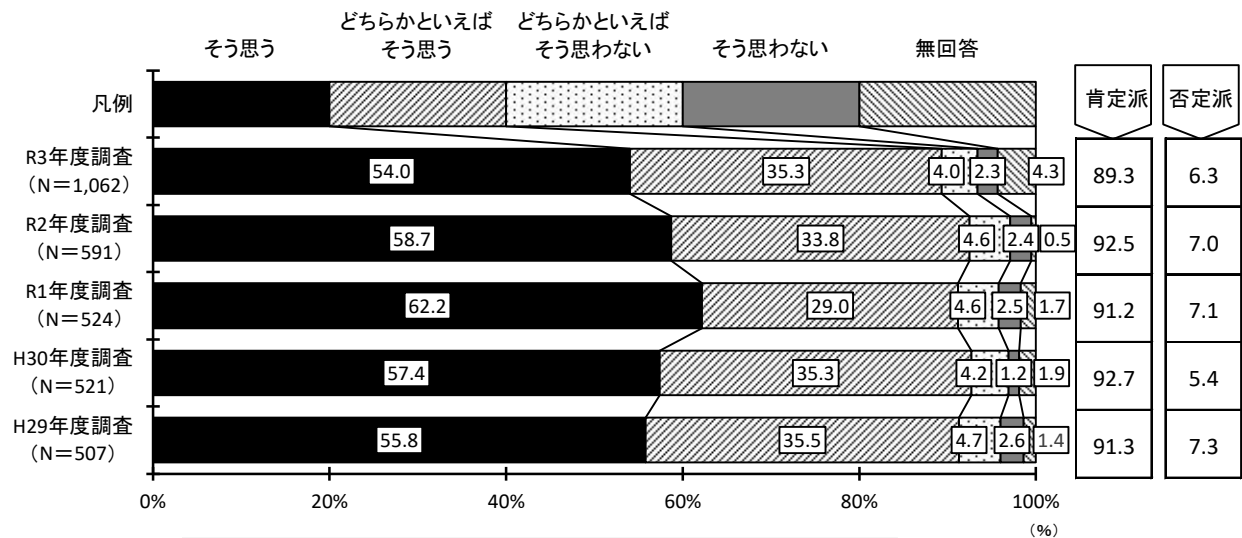
過去の調査結果と比べると、前回調査から『肯定派』が 3.2 ポイント減少している。

性別でみると、『肯定派』は、女性（91.4%）の方が男性（87.2%）より高くなっている。

年代別にみると、すべての年代で『肯定派』が 8 割を超えており、70 歳代以上（91.9%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『肯定派』は太宰府東小学校区（92.0%）が最も高くなっている。一方、『否定派』が最も高いのは水城西小学校区（8.1%）となっている。

問 60. あなたは市内の歴史・文化遺産を誇りに思いますか。(〇は 1 つ)



		標本数	そう思う	えど ばち そら うか 思と うい	なえど いばち そら うか 思と わい	そう 思わ ない	無 回 答	肯 定 派	否 定 派
全 体		1,062	574	375	43	24	46	949	67
		100.0	54.0	35.3	4.0	2.3	4.3	89.3	6.3
性 別	男 性	484	49.4	37.8	4.8	2.9	5.2	87.2	7.6
	女 性	569	58.0	33.4	3.5	1.8	3.3	91.4	5.3
	無回答	9	55.6	22.2	-	-	22.2	77.8	-
年 代 別	20歳代	78	60.3	26.9	2.6	6.4	3.8	87.2	9.0
	30歳代	107	42.1	41.1	9.3	5.6	1.9	83.2	15.0
	40歳代	201	56.7	34.3	3.5	2.0	3.5	91.0	5.5
	50歳代	201	55.7	32.8	3.5	2.5	5.5	88.6	6.0
	60歳代	200	51.5	38.0	4.0	1.0	5.5	89.5	5.0
	70歳代以上	272	55.9	36.0	3.3	0.7	4.0	91.9	4.0
	無回答	3	33.3	33.3	-	-	33.3	66.7	-
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	49.2	38.8	2.7	2.2	7.1	88.0	4.9
	太宰府東小学校区	112	59.8	32.1	5.4	0.9	1.8	92.0	6.3
	太宰府南小学校区	122	60.7	28.7	4.1	1.6	4.9	89.3	5.7
	水城小学校区	134	44.0	47.0	5.2	2.2	1.5	91.0	7.5
	水城西小学校区	123	54.5	35.0	3.3	4.9	2.4	89.4	8.1
	太宰府西小学校区	187	61.5	29.9	2.7	0.5	5.3	91.4	3.2
	国分小学校区	140	54.3	36.4	4.3	2.9	2.1	90.7	7.1
	わからない	48	41.7	35.4	6.3	6.3	10.4	77.1	12.5
	無回答	13	46.2	23.1	15.4	-	15.4	69.2	15.4

44. 本市の日本遺産や市民遺産に対する認知度(問 61)

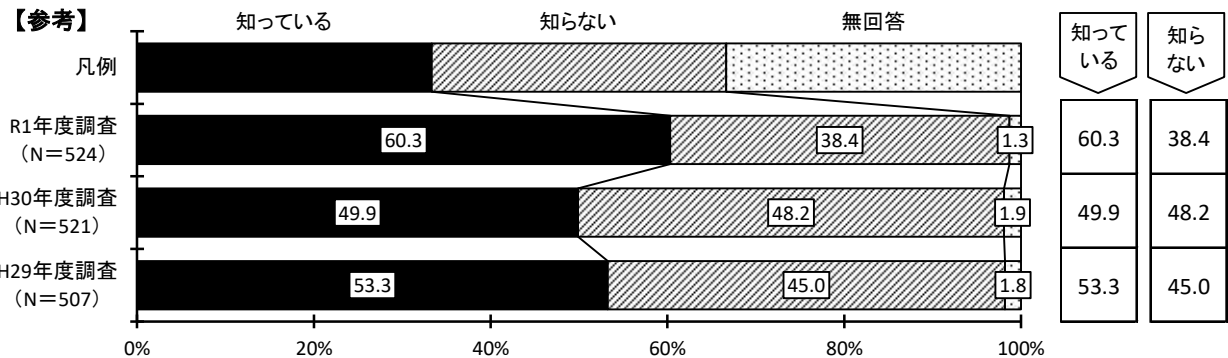
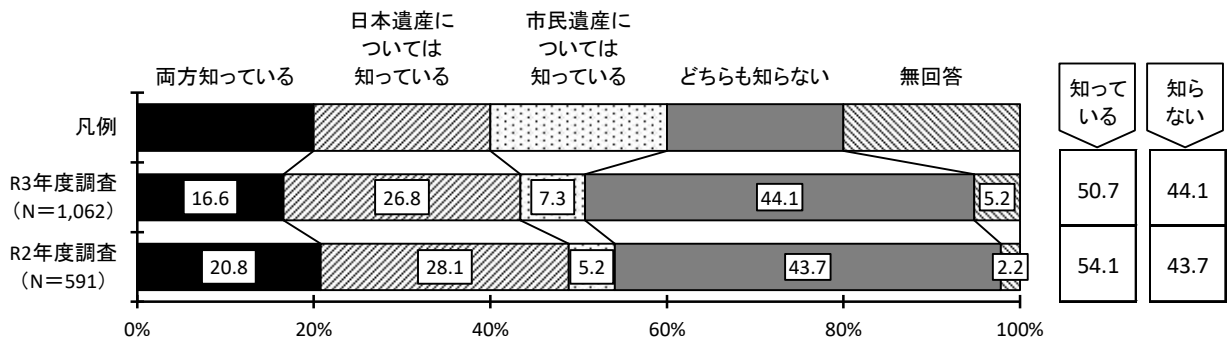
● 本市の日本遺産や市民遺産について知っている人は 50.7%となっている。

本市の日本遺産や市民遺産に対する認知度について、『知っている』（「知っている」と「日本遺産については知っている」と「市民遺産については知っている」の合計）は 50.7%となっている。一方、『知らない』は 44.1%となっている。

性別にみると、「両方知っている」は男性（18.2%）の方が女性（15.3%）より高くなっている。年代別にみると、「両方知っている」が最も高いのは、70 歳代以上（22.8%）となっている。

小学校区別にみると、「両方知っている」が最も高いのは、太宰府小学校区（20.2%）となっている。

問 61. あなたは本市の日本遺産や市民遺産についてご存知ですか。（○は 1 つ）



		標本数	両方知っている (%)	日本遺産については知っている (%)	市民遺産については知っている (%)	どちらも知らない (%)	無回答 (%)
全体		1,062	17.6	28.5	7.8	46.8	5.5
		100.0	16.6	26.8	7.3	44.1	5.2
性別	男性	484	18.2	26.4	6.2	44.2	5.0
	女性	569	15.3	27.6	8.4	43.6	5.1
	無回答	9	11.1	-	-	66.7	22.2
年代別	20歳代	78	15.4	28.2	6.4	46.2	3.8
	30歳代	107	12.1	29.9	1.9	54.2	1.9
	40歳代	201	14.9	25.9	5.5	50.2	3.5
	50歳代	201	13.4	27.4	4.0	49.3	6.0
	60歳代	200	15.5	27.5	8.5	43.0	5.5
	70歳代以上	272	22.8	25.4	12.9	32.0	7.0
	無回答	3	33.3	-	-	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	183	20.2	24.0	5.5	41.5	8.7
	太宰府東小学校区	112	17.9	25.9	13.4	40.2	2.7
	太宰府南小学校区	122	17.2	25.4	9.8	42.6	4.9
	水城小学校区	134	18.7	27.6	8.2	43.3	2.2
	水城西小学校区	123	14.6	26.0	4.1	51.2	4.1
	太宰府西小学校区	187	12.8	33.2	6.4	41.7	5.9
	国分小学校区	140	16.4	25.0	5.7	50.7	2.1
	わからない	48	10.4	27.1	6.3	43.8	12.5
	無回答	13	23.1	15.4	15.4	30.8	15.4

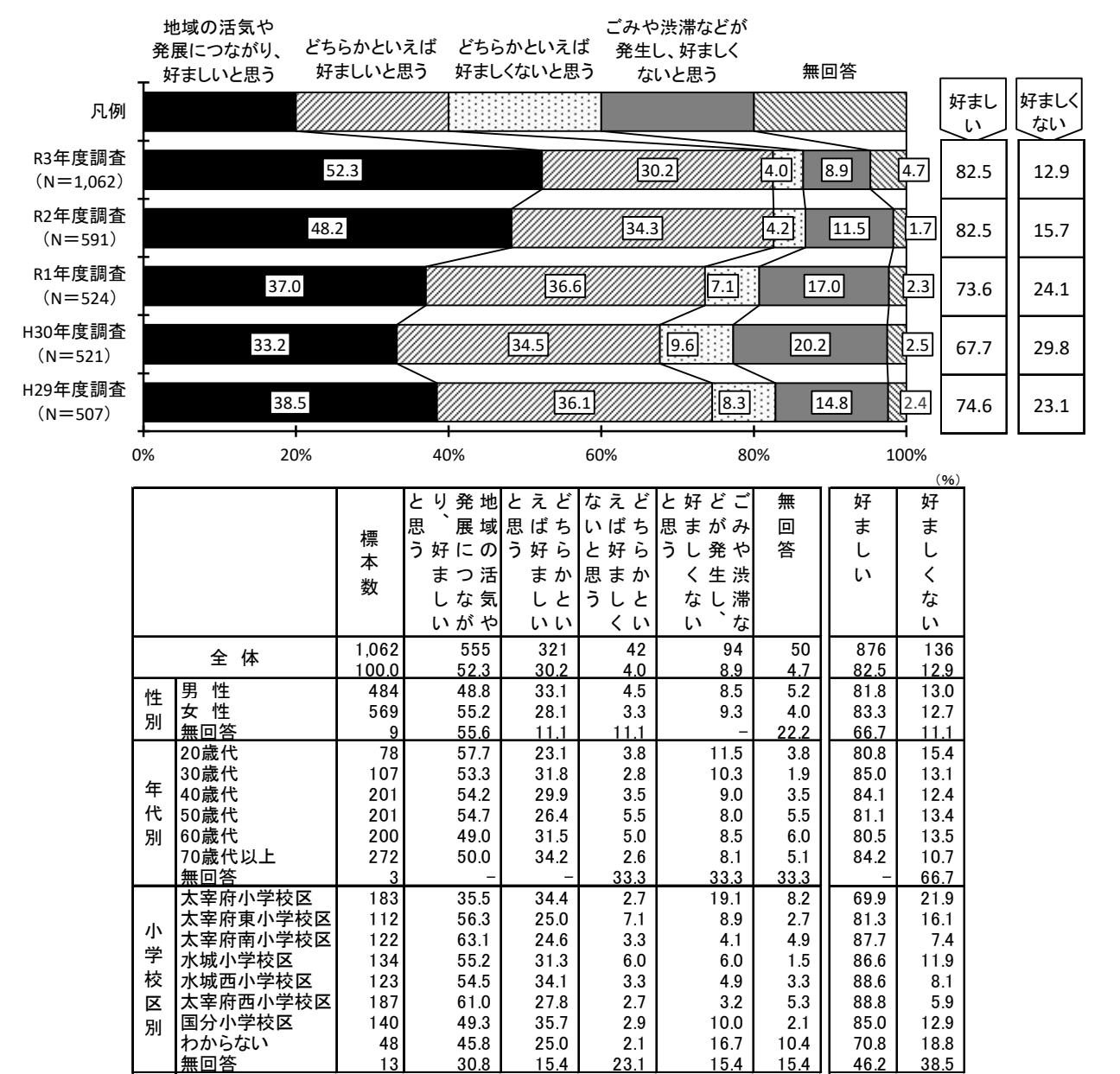
45. 観光客の来訪に対する評価(問 62)

● 観光客の来訪について好ましいと思っている人は 82.5%となっている。

観光客の来訪について、『好ましい』（「地域の活気や発展につながり、好ましいと思う」と「どちらかといえば好ましいと思う」の合計）は 82.5%で 8 割以上を占めている。一方、『好ましくない』（「ごみや渋滞などが発生し、好ましくない」と「どちらかといえば好ましくない」の合計）は 12.9%となっている。

過去の調査結果と比べると、『好ましい』は前回調査から変わらず、82.5%となっている。
性別にみると、『好ましい』は女性（83.3%）の方が男性（81.8%）より高くなっている。
年代別にみると、すべての年代で『好ましい』が 8 割以上を占めている。
小学校区別にみると、太宰府小学校区を除いたすべての小学校区で『好ましい』が 8 割以上を占めており、太宰府西小学校区（88.8%）が最も高くなっている。

問 62. あなたは市内に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。（○は 1 つ）



46. 本市の観光に必要なこと(問 63)

- 本市の観光に必要なことは、「道路整備」(43.5%)が最も高い。

本市の観光に必要なことについて、「道路整備」(43.5%)が最も高くなっている。次いで、「宿泊施設」(43.4%)、「飲食施設」(31.3%)、「駐車場整備」(27.0%)の順となっている。

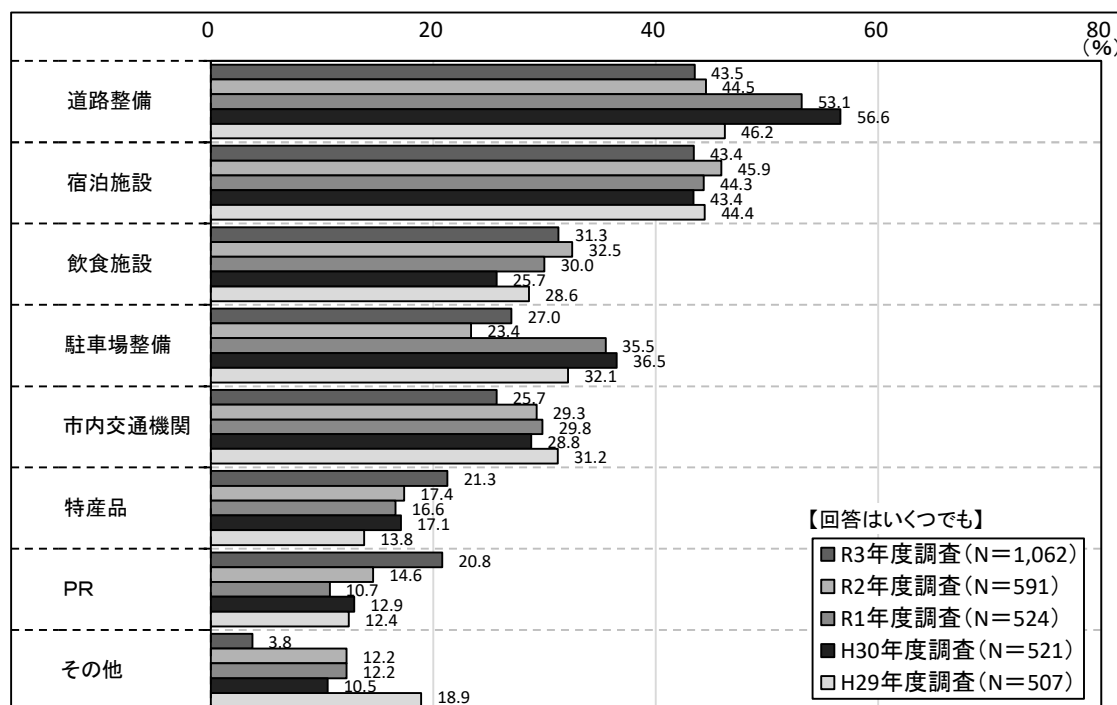
過去調査結果と比べると、「駐車場整備」は前回調査から3.6ポイント、「特産品」は前回調査から3.9ポイント増加している。

性別にみると、男性は「道路整備」(46.7%)が、女性は「宿泊施設」(42.2%)が最も高くなっている。

年代別にみると、20歳代と30歳代を除いたすべての年代で「道路整備」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、太宰府小学校区と太宰府東小学校区を除き、「宿泊施設」が最も高くなっている。

問 63. あなたは今後の本市の観光に何が必要だと思いますか。(〇はいくつでも)



		(%)								
		標 本 数	道 路 整 備	宿 泊 施 設	飲 食 施 設	備 駐 車 場 整	機 市 関 内 交 通	特 産 品	P R	そ の 他
全 体		1,062 100.0	462 43.5	461 43.4	332 31.3	287 27.0	273 25.7	226 21.3	221 20.8	40 3.8
性 別	男 性	484	46.7	44.8	28.1	27.3	19.6	22.3	23.1	4.5
	女 性	569	40.8	42.2	33.9	26.5	30.9	20.2	19.0	3.2
	無回答	9	44.4	44.4	33.3	44.4	22.2	33.3	11.1	-
年 代 別	20歳代	78	35.9	41.0	29.5	28.2	23.1	16.7	20.5	1.3
	30歳代	107	44.9	51.4	42.1	30.8	29.9	29.9	21.5	3.7
	40歳代	201	44.3	41.3	41.3	22.9	28.4	18.9	23.4	7.5
	50歳代	201	42.8	42.3	30.8	20.9	24.4	23.9	20.4	5.0
	60歳代	200	45.5	45.0	25.0	33.0	26.5	20.0	19.0	3.0
	70歳代以上	272	43.8	42.3	25.0	28.3	23.2	19.9	20.6	1.1
	無回答	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	-	33.3
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	62.3	30.1	28.4	20.8	25.1	15.3	13.1	4.4
	太宰府東小学校区	112	48.2	45.5	32.1	27.7	26.8	16.1	20.5	4.5
	太宰府南小学校区	122	36.9	42.6	26.2	23.0	28.7	15.6	22.1	2.5
	水城小学校区	134	41.0	48.5	37.3	30.6	22.4	21.6	21.6	1.5
	水城西小学校区	123	44.7	52.8	38.2	30.9	24.4	25.2	20.3	6.5
	太宰府西小学校区	187	31.6	46.5	23.5	33.2	27.3	28.3	26.7	3.2
	国分小学校区	140	40.7	42.9	36.4	26.4	25.0	26.4	25.0	5.0
	わからない	48	37.5	43.8	31.3	18.8	25.0	20.8	14.6	2.1
	無回答	13	38.5	38.5	38.5	23.1	30.8	7.7	7.7	-

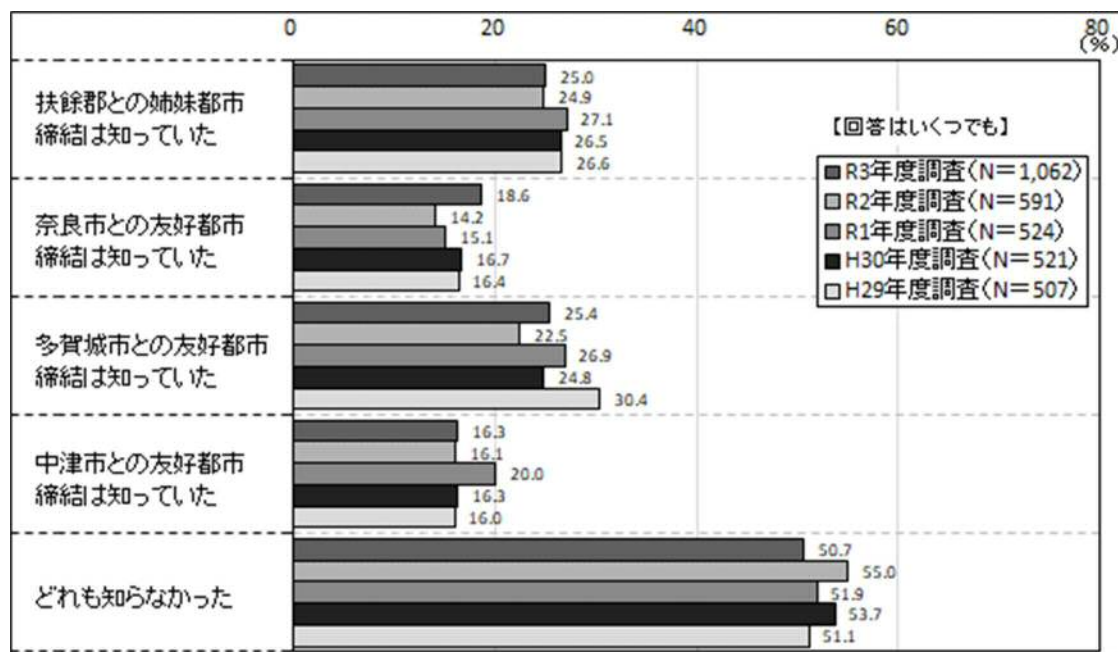
47. 姉妹都市・友好都市交流の認知度(問 64)

- 本市の姉妹都市・友好都市締結については約5割が「どれも知らなかった」と回答している。

本市の姉妹都市・友好都市締結の認知度について、「多賀城市との友好都市締結は知っていた」(25.4%)が最も高く、次いで「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」(25.0%)、「奈良市との友好都市締結は知っていた」(18.6%)、「中津市との友好都市締結は知っていた」(16.3%)の順となっている。なお、「どれも知らなかった」は50.7%となっている。

過去の調査結果と比べると、「どれも知らなかった」を除くすべての項目で増加しており、特に「奈良市との友好都市締結は知っていた」は前回調査から4.4ポイント、「多賀城市との友好都市締結は知っていた」は前回調査から2.9ポイント増加している。

問 64. あなたは本市が^{フ ヨ グ}大韓民国扶餘郡と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市および大分県中津市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。
(○はいくつでも)



性別にみると、男性は「多賀城市との友好都市締結は知っていた」(25.6%)、女性は「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」(26.7%)が最も高くなっている。

年代別にみると、50歳代と70歳代以上を除いたすべての年代で、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」が最も高くなっている。また50歳代と70歳代以上は「多賀城市との友好都市締結は知っていた」が最も高くなっている。

小学校区別にみると、「扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた」は太宰府西小学校区(40.1%)が最も高くなっており、「多賀城市との友好都市締結は知っていた」は太宰府小学校区(35.5%)が最も高くなっている。

		標 本 数	知 つ て い た	妹 扶 餘 郡 と の 結 は 姉	知 つ て い た	好 都 市 と の 結 は 友	奈 良 市 と の 結 は 友	は 知 つ て い た	友 好 賀 市 と の 結 は 友	多 賀 市 と の 結 は 友	知 つ て い た	好 都 市 と の 結 は 友	中 津 市 と の 結 は 友	か ど つ れ も 知 ら な
全 体			1,062 100.0	266 25.0	198 18.6	270 25.4	173 16.3	538 50.7						
性 別	男 性	484	23.3	19.0	25.6	14.9	52.3							
	女 性	569	26.7	18.5	25.3	17.8	49.4							
	無回答	9	11.1	11.1	22.2	-	44.4							
年 代 別	20歳代	78	23.1	11.5	17.9	11.5	64.1							
	30歳代	107	17.8	10.3	9.3	11.2	69.2							
	40歳代	201	21.4	15.4	20.9	13.4	55.2							
	50歳代	201	18.4	22.4	28.4	13.9	49.8							
	60歳代	200	28.5	15.5	23.5	20.0	49.5							
	70歳代以上	272	33.8	26.1	36.4	21.0	37.9							
	無回答	3	-	-	33.3	-	33.3							
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	29.0	24.0	35.5	21.9	43.7							
	太宰府東小学校区	112	25.9	17.9	29.5	20.5	52.7							
	太宰府南小学校区	122	20.5	16.4	22.1	14.8	50.8							
	水城小学校区	134	14.9	15.7	20.1	15.7	61.2							
	水城西小学校区	123	30.9	18.7	22.8	12.2	52.8							
	太宰府西小学校区	187	40.1	19.3	27.3	16.6	36.9							
	国分小学校区	140	17.9	22.1	24.3	17.1	54.3							
	わからない	48	2.1	4.2	6.3	2.1	77.1							
無回答	13	-	7.7	15.4	-	61.5								

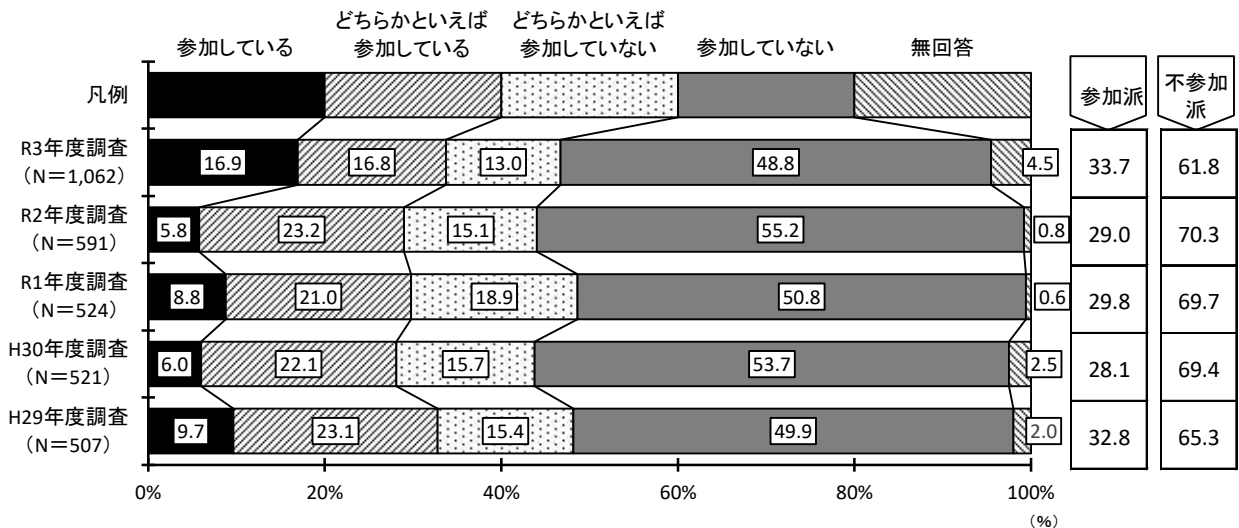
48. 自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況(問 65)

- 自治会活動に参加しているのは 33.7%となっている。
- 20 歳代は他の年代に比べて参加率が極めて低い。

自治会活動・校区自治協議会活動への参加状況について、『参加派』（「参加している」と「どちらかといえば参加している」の合計）は 33.7%となっている。一方、『不参加派』（「参加していない」と「どちらかといえば参加していない」の合計）は 61.8%で、『不参加派』の方が『参加派』より高くなっている。

過去の調査結果と比べると、『参加派』は前回調査から 4.7 ポイント増加している。
性別にみると、『参加派』は女性（36.0%）の方が男性（31.2%）より高くなっている。
年代別にみると、『参加派』は 70 歳代以上（41.2%）が最も高くなっている。また、20 歳代は『参加派』（7.7%）が極めて低くなっている。
小学校区別にみると、『参加派』は国分小学校区（45.0%）が最も高くなっている。一方、『不参加派』が最も高くなっているのは、水城小学校区（73.1%）となっている。

問 65. あなたは自治会活動及び小学校区自治協議会活動に参加していますか。(○は1つ)



		標 本 数	参 加 し て い る	し い ど ち ら か と い え ば 参 加 し て い る	し い ど ち ら か と い え ば 参 加 し て い ない	参 加 し て い ない	無 回 答	参 加 派	不 参 加 派
全 体		1,062	180	178	138	518	48	358	656
		100.0	16.9	16.8	13.0	48.8	4.5	33.7	61.8
性 別	男 性	484	13.6	17.6	12.8	52.5	3.5	31.2	65.3
	女 性	569	19.9	16.2	13.2	45.7	5.1	36.0	58.9
	無回答	9	11.1	11.1	11.1	44.4	22.2	22.2	55.6
年 代 別	20歳代	78	2.6	5.1	7.7	80.8	3.8	7.7	88.5
	30歳代	107	18.7	7.5	12.1	59.8	1.9	26.2	72.0
	40歳代	201	15.9	19.9	12.4	48.8	3.0	35.8	61.2
	50歳代	201	12.4	18.4	14.4	48.8	6.0	30.8	63.2
	60歳代	200	20.5	18.0	13.5	43.0	5.0	38.5	56.5
	70歳代以上	272	21.7	19.5	14.0	39.7	5.1	41.2	53.7
	無回答	3	33.3	-	-	33.3	33.3	33.3	33.3
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	24.0	15.3	10.4	42.6	7.7	39.3	53.0
	太宰府東小学校区	112	19.6	21.4	15.2	41.1	2.7	41.1	56.3
	太宰府南小学校区	122	17.2	13.9	18.9	45.1	4.9	31.1	63.9
	水城小学校区	134	11.2	12.7	8.2	64.9	3.0	23.9	73.1
	水城西小学校区	123	13.0	15.4	14.6	54.5	2.4	28.5	69.1
	太宰府西小学校区	187	16.0	20.9	14.4	44.4	4.3	36.9	58.8
	国分小学校区	140	22.1	22.9	11.4	40.7	2.9	45.0	52.1
	わからない	48	-	2.1	12.5	77.1	8.3	2.1	89.6
	無回答	13	7.7	7.7	7.7	61.5	15.4	15.4	69.2

49. ボランティア活動への参加状況(問 66)

● ボランティア活動に参加しているのは 12.3%となっている。

ボランティア活動への参加状況について、『参加派』（「参加している」と「どちらかといえば参加している」の合計）は 12.3%となっている。一方、『不参加派』（「参加していない」と「どちらかといえば参加していない」の合計）は 83.1%で、『不参加派』が 8 割以上となっている。

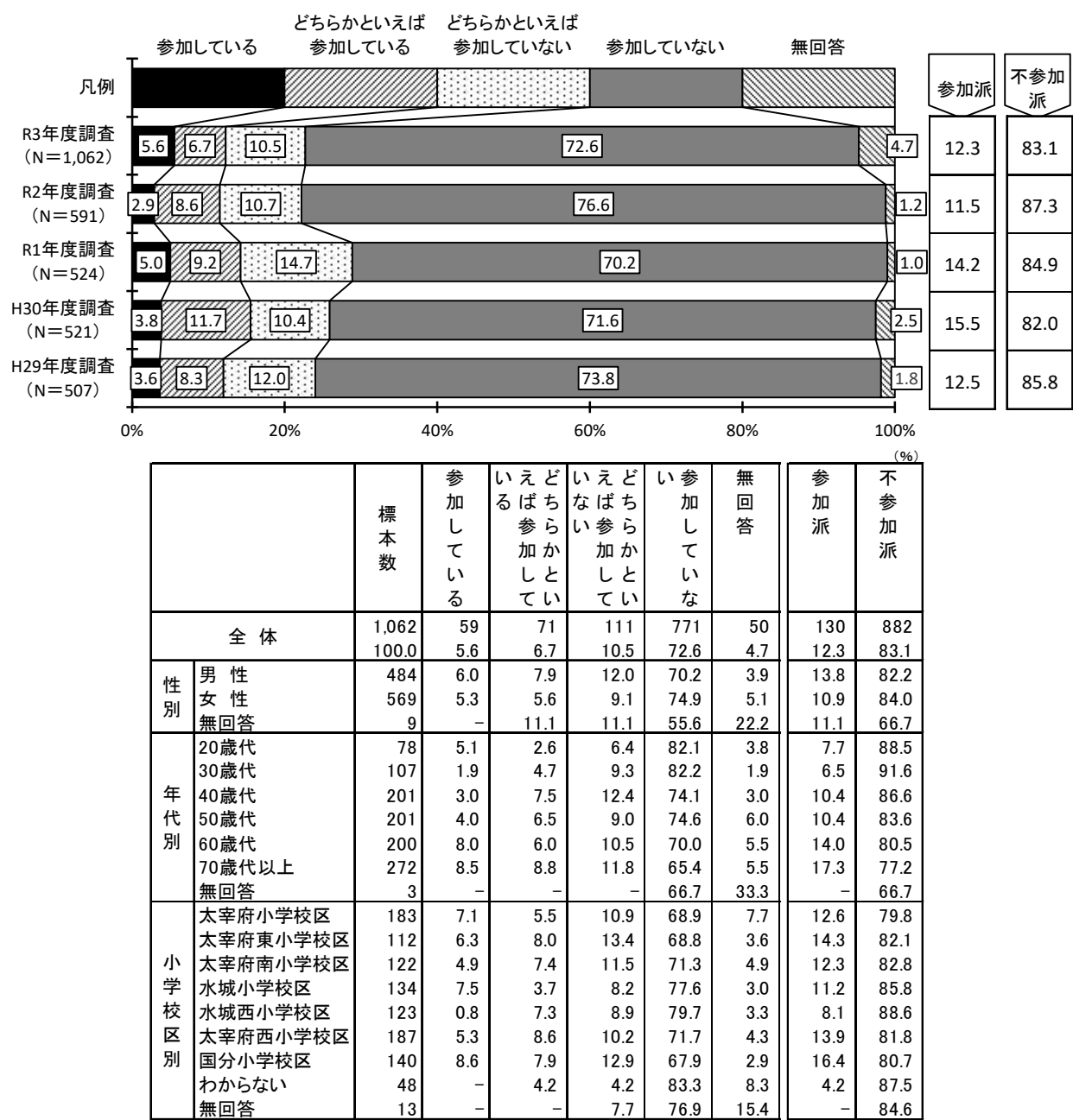
過去の調査結果と比べると、『参加派』は、前回調査から 0.8 ポイント増加している。

性別にみると、『参加派』は、男性（13.8%）の方が女性（10.9%）より高くなっている。

年代別にみると、『参加派』は 70 歳代以上（17.3%）で最も高くなっている。

小学校区別にみると、『参加派』が最も高いのは国分小学校区（16.4%）となっている。

問 66. あなたは自治会活動以外(問 65 以外)のボランティア活動に参加していますか。(○は1つ)



50. 市民と行政との情報共有(問 67)

● 市民と行政の情報の共有ができていないかについて『否定派』が 54.5%で、『肯定派』(39.7%)より多い。

市民と行政の情報共有について、『肯定派』(「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)は 39.7%となっている。一方、『否定派』(「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」の合計)は 54.5%で、『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。

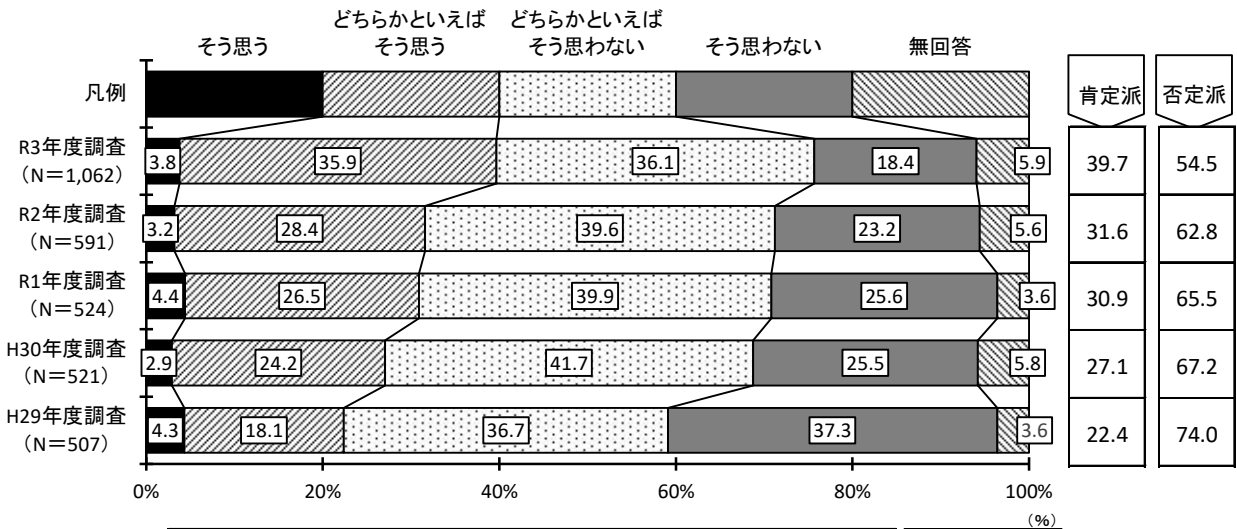
過去の調査結果と比べると、『肯定派』は前回調査から 8.1 ポイント増加している。

性別にみると、男女とも『否定派』の方が『肯定派』より高くなっている。なお、『肯定派』は男性 40.3%に対し女性 39.2%で、ほぼ同程度となっている。

年代別にみると、いずれも『否定派』の方が『肯定派』より高くなっており、『否定派』が最も高いのは 40 歳代 (62.2%) となっている。

小学校区別にみると、太宰府西小学校区を除いたすべての小学校区で、『否定派』の方が『肯定派』よりも高くなっており、『否定派』が最も高いのは水城小学校区 (65.7%) となっている。

問 67. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。(○は1つ)



		標本数	そう思う	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	無回答	肯定派	否定派
全 体		1,062	40	381	383	195	63	421	578
		100.0	3.8	35.9	36.1	18.4	5.9	39.7	54.5
性別	男 性	484	3.1	37.2	33.5	20.9	5.4	40.3	54.3
	女 性	569	4.4	34.8	38.7	16.2	6.0	39.2	54.8
	無回答	9	-	33.3	11.1	22.2	33.3	33.3	33.3
年代別	20歳代	78	5.1	38.5	32.1	20.5	3.8	43.6	52.6
	30歳代	107	0.9	36.4	35.5	24.3	2.8	37.4	59.8
	40歳代	201	2.5	32.3	44.8	17.4	3.0	34.8	62.2
	50歳代	201	3.5	36.3	32.8	20.9	6.5	39.8	53.7
	60歳代	200	3.0	34.0	35.0	20.5	7.5	37.0	55.5
	70歳代以上	272	6.3	39.0	34.2	12.5	8.1	45.2	46.7
	無回答	3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	66.7
小学校区別	太宰府小学校区	183	2.7	30.6	35.0	21.9	9.8	33.3	56.8
	太宰府東小学校区	112	6.3	30.4	42.0	17.0	4.5	36.6	58.9
	太宰府南小学校区	122	3.3	40.2	33.6	15.6	7.4	43.4	49.2
	水城小学校区	134	3.7	26.9	44.0	21.6	3.7	30.6	65.7
	水城西小学校区	123	0.8	40.7	38.2	16.3	4.1	41.5	54.5
	太宰府西小学校区	187	6.4	42.8	31.6	14.4	4.8	49.2	46.0
	国分小学校区	140	4.3	40.7	34.3	17.1	3.6	45.0	51.4
	わからない	48	-	33.3	29.2	27.1	10.4	33.3	56.3
無回答		13	-	23.1	30.8	30.8	15.4	23.1	61.5

51. 行政情報の接触状況(問 68)

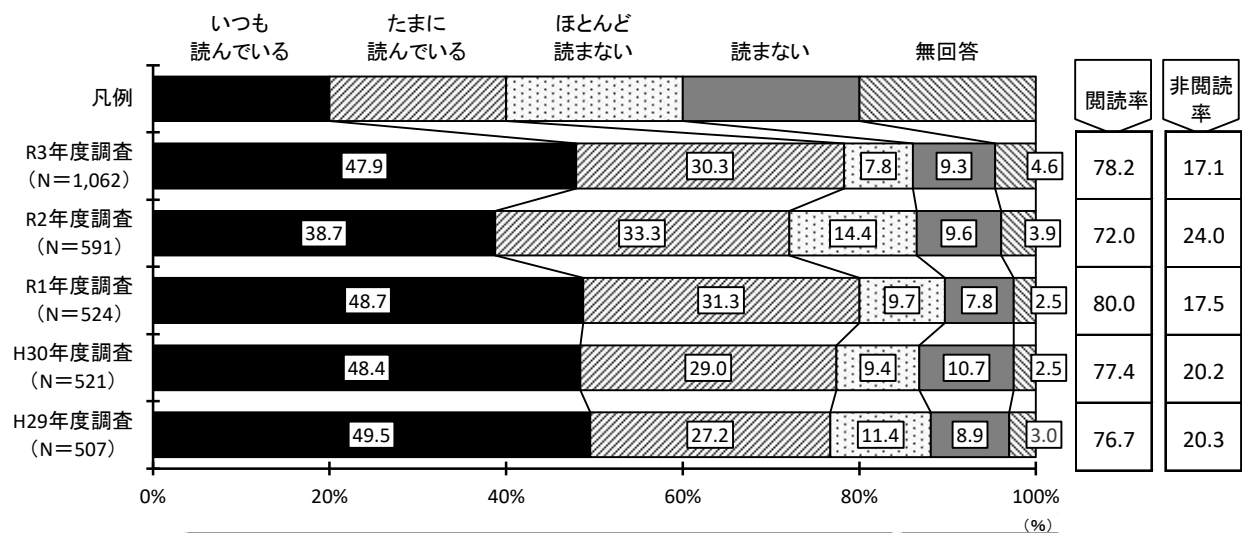
①「広報だざいふ」

● 「広報だざいふ」の閲読率は78.2%となっている。

「広報だざいふ」について、『閲読率』（「いつも読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計）は78.2%となっている。一方、『非閲読率』（「読まない」と「ほとんど読まない」の合計）は17.1%となっている。

過去の調査結果と比べると、『閲読率』は前回調査から6.2ポイント増加している。
性別にみると、『閲読率』は、女性（82.8%）の方が男性（73.3%）より高くなっている。
年代別にみると、20歳代を除くすべての年代で『閲読率』は6割を超えている。
小学校区別にみると、すべての小学校区で『閲読率』は7割を超えている。

問 68. あなたは「広報だざいふ」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市ホームページ」を見たりしていますか。（○はそれぞれ1つ）



		標本数	い づ れ も 読 む	た ま に 読 む	ほ と ん ど 読 ま な い	読 ま な い	無 回 答	閲 読 率	非 閲 読 率
全 体		1,062	509	322	83	99	49	831	182
		100.0	47.9	30.3	7.8	9.3	4.6	78.2	17.1
性 別	男 性	484	43.2	30.2	9.5	13.4	3.7	73.3	22.9
	女 性	569	52.0	30.8	6.5	5.6	5.1	82.8	12.1
	無回答	9	44.4	11.1	-	22.2	22.2	55.6	22.2
年 代 別	20歳代	78	21.8	26.9	12.8	34.6	3.8	48.7	47.4
	30歳代	107	32.7	33.6	15.9	15.9	1.9	66.4	31.8
	40歳代	201	44.8	35.8	6.0	10.4	3.0	80.6	16.4
	50歳代	201	43.8	34.8	8.0	7.0	6.5	78.6	14.9
	60歳代	200	53.0	27.0	10.0	4.5	5.5	80.0	14.5
	70歳代以上	272	63.6	25.0	2.9	3.7	4.8	88.6	6.6
	無回答	3	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3	33.3
小 学 校 区 別	太宰府小学校区	183	49.7	26.8	6.6	9.3	7.7	76.5	15.8
	太宰府東小学校区	112	52.7	26.8	8.0	8.9	3.6	79.5	17.0
	太宰府南小学校区	122	50.8	32.0	7.4	4.1	5.7	82.8	11.5
	水城小学校区	134	48.5	27.6	9.0	12.7	2.2	76.1	21.6
	水城西小学校区	123	48.0	27.6	15.4	6.5	2.4	75.6	22.0
	太宰府西小学校区	187	48.1	32.1	6.4	9.1	4.3	80.2	15.5
	国分小学校区	140	47.9	38.6	4.3	6.4	2.9	86.4	10.7
	わからない	48	29.2	31.3	8.3	22.9	8.3	60.4	31.3
無回答		13	15.4	30.8	-	38.5	15.4	46.2	38.5

②「太宰府市ホームページ」

●「太宰府市ホームページ」の閲覧率は48.7%となっている。

「太宰府市ホームページ」について、『閲覧率』（「いつも見ている」と「たまに見ている」の合計）は48.7%となっている。一方、『非閲覧率』（「見ていない」と「ほとんど見ていない」、「見る事ができない」の合計）は44.5%となっている。

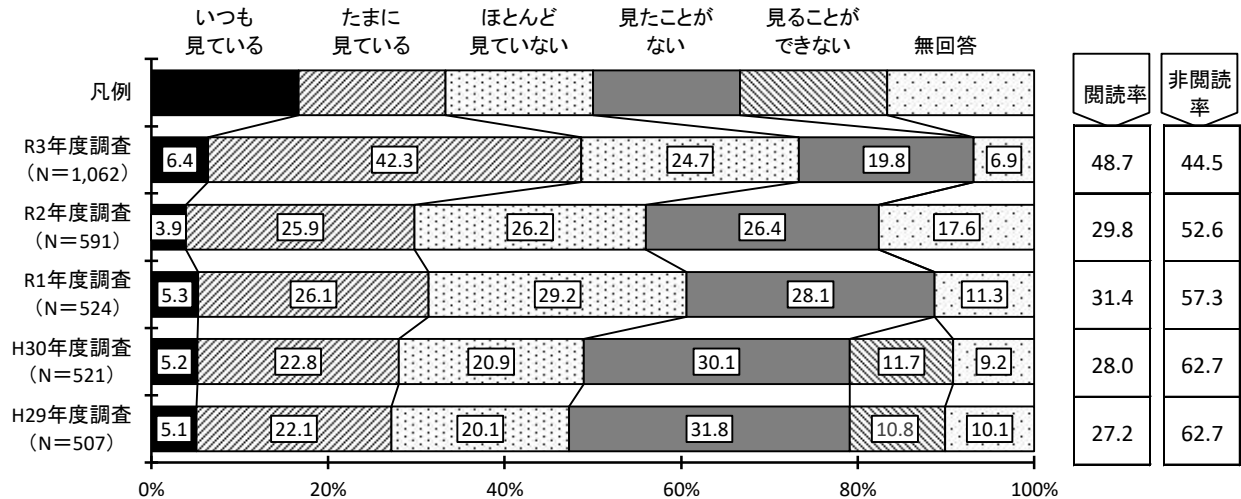
過去の調査結果と比べると、『閲覧率』は前回調査から18.9ポイント増加している。

性別にみると、『閲覧率』は、女性（50.1%）の方が男性（47.5%）より高くなっている。

年代別にみると、『閲覧率』は60歳代（54.5%）が最も高くなっている。一方、『非閲覧率』が最も高いのは20歳代（66.7%）となっている。

小学校区別にみると、『閲覧率』が最も高いのは、国分小学校区（55.0%）となっている。一方、『非閲覧率』が最も高いのは水城西小学校区（48.8%）となっている。

問 68. あなたは「広報だざいふ」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市ホームページ」を見たりしていますか。（○はそれぞれ1つ）



※「見る事ができない」は、R1年度調査より除外された項目

		標本数	いつも見ている	たまに見ている	ほとんど見ていない	見たことがない	見る事ができない	無回答	閲覧率	非閲覧率
全体		1,062	68	449	262	210	73		517	472
		100.0	6.4	42.3	24.7	19.8	6.9		48.7	44.5
性別	男性	484	6.2	41.3	27.3	19.0	6.2		47.5	46.3
	女性	569	6.7	43.4	22.7	20.4	6.9		50.1	43.1
	無回答	9	-	22.2	11.1	22.2	44.4		22.2	33.3
年代別	20歳代	78	-	29.5	38.5	28.2	3.8		29.5	66.7
	30歳代	107	-	49.5	29.0	18.7	2.8		49.5	47.7
	40歳代	201	2.5	46.3	34.3	13.4	3.5		48.8	47.8
	50歳代	201	7.5	45.8	27.9	10.9	8.0		53.2	38.8
	60歳代	200	10.5	44.0	17.5	20.5	7.5		54.5	38.0
	70歳代以上	272	9.9	36.4	14.7	28.7	10.3		46.3	43.4
	無回答	3	-	33.3	33.3	-	33.3		33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	183	9.3	33.9	19.7	26.2	10.9		43.2	45.9
	太宰府東小学校区	112	3.6	48.2	22.3	21.4	4.5		51.8	43.8
	太宰府南小学校区	122	4.1	49.2	28.7	12.3	5.7		53.3	41.0
	水城西小学校区	134	7.5	44.0	21.6	21.6	5.2		51.5	43.3
	水城西小学校区	123	2.4	44.7	31.7	17.1	4.1		47.2	48.8
	太宰府西小学校区	187	8.0	39.0	26.2	19.3	7.5		47.1	45.5
	国分小学校区	140	7.1	47.9	25.7	14.3	5.0		55.0	40.0
	わからない	48	8.3	33.3	18.8	27.1	12.5		41.7	45.8
	無回答	13	-	23.1	30.8	30.8	15.4		23.1	61.5

52. 市議会情報の接触状況(問 69)

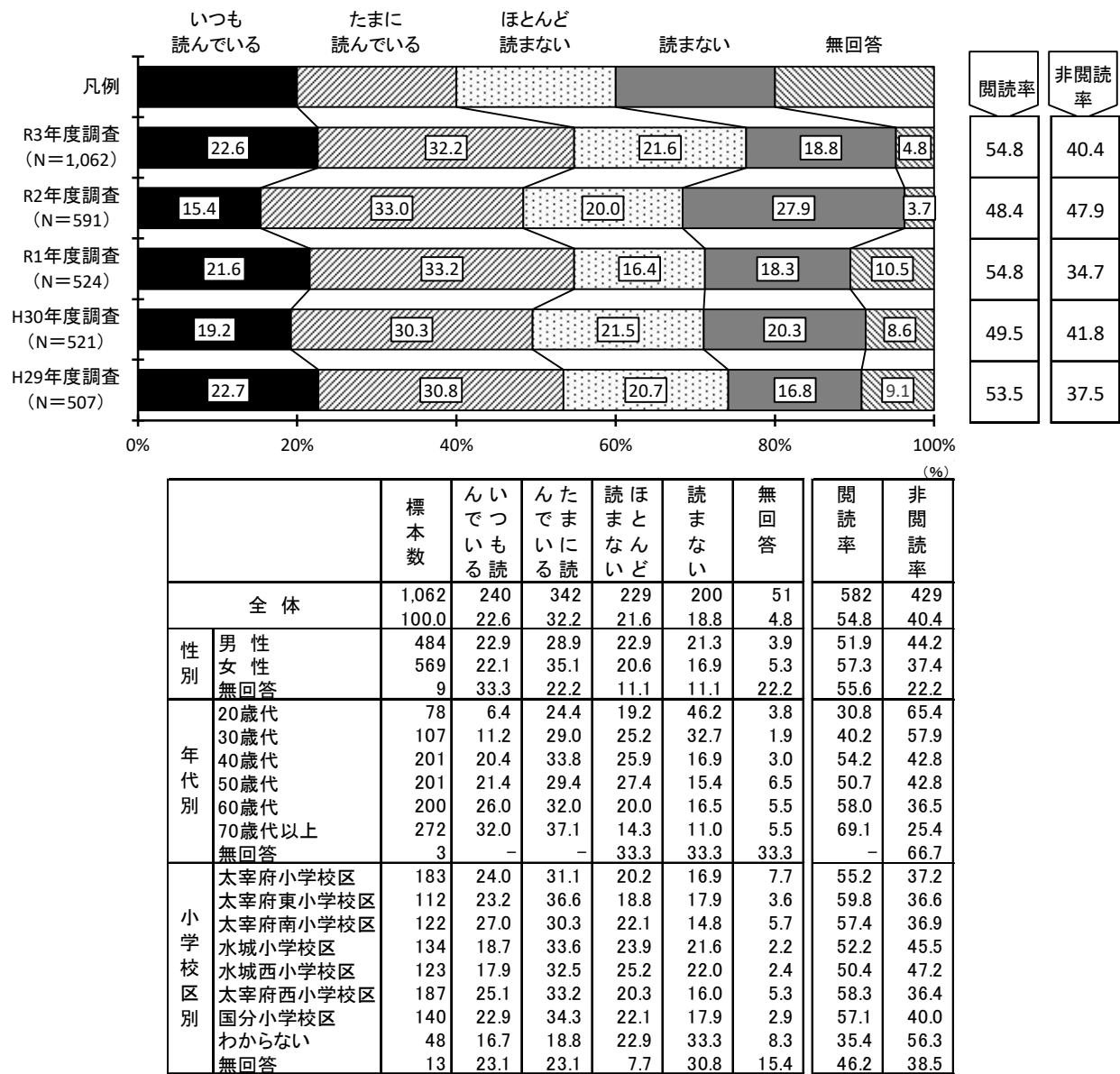
①「太宰府市議会だより」

● 「太宰府市議会だより」の閲読率は 54.8%となっている。

「太宰府市議会だより」について、『閲読率』（「いつも読んでいる」と「たまに読んでいる」の合計）は 54.8%となっている。一方、『非閲読率』（「読まない」と「ほとんど読まない」の合計）は 40.4%となっている。

過去の調査結果と比べると、『閲読率』は前回調査から 6.4 ポイント増加している。
性別にみると、『閲読率』は女性（57.3%）の方が男性（51.9%）より高くなっている。
年代別にみると、『閲読率』が最も高くなっているのは、70 歳代以上（69.1%）となっている。
小学校区別にみると、『閲読率』が最も高いのは、太宰府東小学校区（59.8%）となっている。一方、『非閲読率』が最も高いのは、水城西小学校区（47.2%）となっている。

問 69. あなたは「太宰府市議会だより」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市議会ホームページ」を見たりしていますか。
（○はそれぞれ 1 つ）



②「太宰府市議会ホームページ」

● 「太宰府市議会ホームページ」の閲覧率は17.1%となっている。

「太宰府市議会ホームページ」について、『閲覧率』（「いつも見ている」と「たまに見ている」の合計）は17.1%となっている。一方、『非閲覧率』（「見ていない」と「ほとんど見ていない」、「見ることができない」の合計）は75.7%となっている。

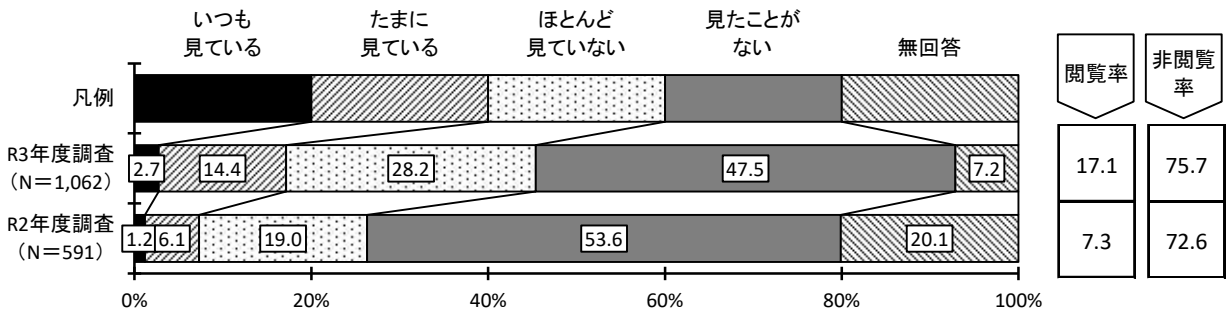
過去の調査結果と比べると、『閲覧率』は前回調査から9.8ポイント増加している。

性別にみると、『閲覧率』は、男性（21.3%）の方が女性（13.4%）より高くなっている。

年代別にみると、『閲覧率』は70歳代以上（21.7%）が最も高くなっている。

小学校区別にみると、『閲覧率』が最も高いのは、太宰府小学校区（19.7%）となっている。一方、『非閲覧率』が最も高いのは太宰府南小学校区（80.3%）となっている。

問 69. あなたは「太宰府市議会だより」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市議会ホームページ」を見たりしていますか。
（○はそれぞれ1つ）



		標本数	いつも見ている	たまに見ている	ほとんど見ていない	見たことがない	無回答	閲覧率	非閲覧率
全体		1,062	29	153	300	504	76	182	804
		100.0	2.7	14.4	28.2	47.5	7.2	17.1	75.7
性別	男性	484	4.5	16.7	32.0	40.5	6.2	21.3	72.5
	女性	569	1.2	12.1	25.5	53.8	7.4	13.4	79.3
	無回答	9	-	33.3	-	22.2	44.4	33.3	22.2
年代別	20歳代	78	-	10.3	23.1	62.8	3.8	10.3	85.9
	30歳代	107	0.9	6.5	28.0	61.7	2.8	7.5	89.7
	40歳代	201	1.0	13.4	29.9	52.2	3.5	14.4	82.1
	50歳代	201	1.0	16.9	27.4	46.3	8.5	17.9	73.6
	60歳代	200	8.0	12.5	29.5	41.0	9.0	20.5	70.5
	70歳代以上	272	2.9	18.8	28.7	39.7	9.9	21.7	68.4
	無回答	3	-	33.3	-	33.3	33.3	33.3	33.3
小学校区別	太宰府小学校区	183	4.4	15.3	23.0	48.1	9.3	19.7	71.0
	太宰府東小学校区	112	2.7	17.0	32.1	43.8	4.5	19.6	75.9
	太宰府南小学校区	122	1.6	12.3	34.4	45.9	5.7	13.9	80.3
	水城小学校区	134	3.7	13.4	27.6	49.3	6.0	17.2	76.9
	水城西小学校区	123	-	15.4	24.4	55.3	4.9	15.4	79.7
	太宰府西小学校区	187	2.1	15.5	32.1	41.7	8.6	17.6	73.8
	国分小学校区	140	3.6	12.9	27.9	50.0	5.7	16.4	77.9
	わからない	48	4.2	10.4	22.9	50.0	12.5	14.6	72.9
	無回答	13	-	15.4	23.1	38.5	23.1	15.4	61.5

第5節 まちづくりに対する自由意見

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進:45 件】			
太宰府西	女性	70 代以上	坂本神社→都府楼→観世音寺→太宰府天満宮→竈門神社への遊歩道及びサイクリング道路の整備。
水城	女性	30 代	税金を上手く使ってほしいです。観光に来た人が楽しめるように、宿泊施設や飲食店、特産品などがもう少し充実すると思います。
国分	男性	40 代	動線を考慮した遊歩道（エスカレーター）の整備。キャンプ場 - 坂本神社・政庁跡 - 天満宮-国博-竈門神社、中心は天満宮。
水城	男性	40 代	太宰府＝太宰府天満宮であれば、その周りをもっと環境整備すべきです。折角、遠方から来た方を太宰府天満宮だけで帰してるのが現状ではないかと思っています。少子化が進み学業祈願の参拝客も減っていきます。新たな観光地を打ち出すのも今ではないでしょうか。
太宰府南	女性	50 代	市民が参加できる文化財めぐりは充実していると思いますが、外部からの観光客も気軽に参加できるようなコース等あれば良いと思います。
太宰府東	男性	70 代以上	○観光客の回遊性 1 天満宮～観世音寺、戒壇院～政庁跡、坂本神社～水城間の歩道整備、休憩・軽飲食施設設置（これは同時に市民のウォーキングにも役立つ）。観世音寺宝物殿の大型仏像の PR を（奈良・京都でもみられない）。大野城、水城も太宰府（政庁）の歴史とかかわりのある人物の PR を。NHK 大河ドラマへの立候補。 2 天満宮～竈門神社のバス便強化。縁結びの神様を若い人達にもっと PR（春の桜と秋の紅葉シーズンにはシャトルバスで往復できるように）。 ○太宰府市民の森の PR・アクセス市民の認知度が低いのか、アクセスルート・入口がわかりにくいのか利用者が少ない。まほろば号のルートにできないか？（若干道路整備が必要かも・・・）市外の人達への PR を強化しては？（春先の梅と桜は立派）
太宰府	女性	70 代以上	天満宮参道周辺の活性化。もう少し店を増やして京都の様な町並に努力して欲しいです。
太宰府西	女性	50 代	太宰府は天満宮だけでなく、仏像は市内の人でも知らないー観世音寺や戒壇院等、アピール出来る名所があります。裏道を散策するのは丁度良い距離で、春や秋にスタンプラリー等を行い、若い親子やお年寄りまで集客できると思います。又、水城堤防のコスモスもアピール出来ると思います。滞在型を目指すには、宿泊施設が乏しく、九州は温泉地も豊富なので厳しいかと思っています。なので、通過型でも滞在時間を出来るだけ長くする工夫が必要です。天満宮付近では、インスタ映えのスイーツ店が人気のようで、例えば有名ショコラティエの開業誘致、食事処の充実等々あると思います。又、天満宮と竈門神社をセットにして、辻馬車を走らせるとか手があると思います。坂本神社だけでも注目されたのに、もっと素晴らしいものがあるのにそれに手を付けたいのはもったいないと思います。だいたい滞滞在時間の 2～3 時間を 5～6 時間にすると、収益は増えるはずですが、要所要所にキッチンカー誘地も良いかもしれません。ゴミのポイ捨て対策は必須ですが、福農生の作る食品をアンテナショップで販売も良いかもしれません。とても人気なので…。
太宰府	女性	50 代	太宰府に生まれ育ち、結婚後も住むようになって出身地を話すのに太宰府と言えば、日本人なら知らない人はいない位。そのわりに太宰府天満宮や国博のみで、普通に生活するには何も以前から変わらず、連休になれば交通は混みあうし、街並みは時代とともに新しくなって来てはいるけど、私たちの満足度を上げる様なサービスとかなない気がする。観光客もお参りしてすぐ帰るのももう少しホテルとか、星野リゾートとまでは言わないけど四王寺の山の所にあるホテルだけでは、ちょっと泊まって次の日に何かと、町には他にいく所もない。観光の促進をしてほしい。交通面も混むのは理解出来るが、天満宮がもう少しお金等を出して駐車場や回遊性の道路を考えればいいのか？！街並みなど太宰府には、他にない条例があるから、一応型は出来ていると思う。何か、もうひとつこれという企業が来れば活気が出る気がする。
水城西	男性	60 代	施設ごとに現地に説明板を設置。各史跡への交通ルートとバス停、行先、乗り換えの案内。上記パンフレットを市内の各店に配置。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進 つづき】			
太宰府	男性	40 代	市の財源を観光産業でもっと確保していくことが重要だと思います。観光資源が多くある市ですので、人が来るだけではなく滞在型で市内でお金を落としていく仕掛けが必要です。西鉄がやっている高級旅館とかではなく、普通の人泊まれる少し品のあるお宿とか、食事ができるところ、買い物(特産品)ができるところを整えていく必要があると思います。ある一部だけが利益を享受するのではなく市民全体に観光から得た利益が還元されるような市政を行って頂けたらと思います。
国分	女性	60 代	市内に、市民の森があるが、アピールが少ないと思う。市民や観光客に対しても歴史的遺産だけでなく、自然の豊かさを知らせてほしい。また、市民の森近くには高橋紹運の墓や岩屋城址などもあるので自然を満喫しながら歴史を辿るなどハイキングコース等の紹介もおもしろい企画だと思う。
国分	男性	40 代	太宰府市は全国的な知名度があるにも関わらず、その恩恵を最大限に受けることができていないと思う。観光客が滞在できるよう宿泊施設が必要だと思うが、新たに作るのは難しいので筑紫野市の温泉宿泊施設を利用してもらい昼間は太宰府で、夜は筑紫野で過ごすという回遊性を持たせると良いと思う。そのために太宰府天満宮だけではなく新たな観光スポットを創出し、宿泊し滞在したくなる仕組みづくりが必要だと思う。そうすることで太宰府市が全国トップレベルの観光地に近づくことができる。税金が増えることで、更なる環境整備が可能となり、持続可能なまちづくりを行い、魅力ある太宰府市にしていくという良い循環が生まれる。コロナ禍で観光業界が衰退している時だからこそ、来たるべき時のために今から検討をするべきである。
太宰府	男性	30 代	個人的には太宰府天満宮周辺の店舗や施設をもっと充実させてほしいと思います。しかし、その反面渋滞も何とかしてほしいのも事実です。
水城	女性	60 代	榎寺神社は太宰府天満宮よりも大切な場所なのに、PR 不足と整備がなされていない。坂本神社と榎寺神社を併せて PR するなど工夫してほしい(竈門神社も)。都府桜跡、榎寺など駐車場が足りない。
太宰府西	女性	30 代	色々と市のために考えてくれてありがとうございます。せっかく令和の・・を推しているから、もっと PR すべき。太宰府天満宮の周辺の店づくりが中途半端で統一感がない(金沢のひがし茶屋街くらいのまちづくりが必要では?)。古都感が無い。せっかくの竈門神社がもったいない。周辺のまちづくりを。メタバースを利用した仮想空間での参拝(コロナ禍)。世界からも認知。もっと大きい企業を誘致して財政を豊かに(仕事就職先を作る)。NIPPONIA のような宿をもっと! 星野リゾートとかは?
太宰府西	男性	60 代	宿泊施設が少ないため、素通り型の市になっている。宿泊を伴う観光を創造し市観光業社の収入増を施策の中心に置くこと。
太宰府南	女性	30 代	「令和」「坂本神社」に力を入れ観光業を盛んにしても市民への政策がされないと太宰府市離れが進むと思います。
水城	女性	50 代	県外の友人などが訪ねてきた時には県内の観光地として太宰府を訪れます。ゆっくりと食事ができるレストラン、和食のお店、古民家風宿が充実すると良いなと思っています。
水城西	男性	50 代	国際的遺産「太宰府天満宮」を生かしきれていない。国立博物館との連動を考慮し、一過性でなくリピートしたいと思ってもらえるような町づくりが必要。そのためには、「天満宮」のイメージに合った古民家的な宿泊施設、町歩きを楽しめるような回遊性のある道路、散策路の整備が必要ではないでしょうか。
太宰府東	男性	40 代	観光業も今ある史跡等を整備するだけでは、増収は望めない。外部コンテンツとの相乗効果が必要(例・竈門神社は鬼滅の刃で注目された)。太宰府に行けば楽しめるコンテンツをつくる必要がある。有名店を誘致(成功したと思う例・参道のスタバ)。有名スイーツ店やパン等呼び込む。坂本八幡宮や竈門神社が、令和や鬼滅の刃で有名になったが、観光客が定着するコンテンツがないので、一時の流行りで終わっているのもったいない。宝満山・四王寺山、登山客へのサービス(登山客は比較的马ナーがよく、自然を楽しみに来ているため過度な近代的サービスは必要ないので、コストがかからないサービスが提供できると思う)。もちろん民間を出店させる。
太宰府東	男性	70 代以上	観光を主体にすることも必要。
国分	男性	40 代	観光地として立寄る場所を増やす。
太宰府	男性	50 代	観光資源を有効活用し環境に配慮しつつ経済的に豊かな街を作ってほしい。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進 つづき】			
太宰府	男性	50 代	参道周辺を市民が憩いやリフレッシュ、散策を楽しめる様な歴史と優しさ、参拝・観光客との賑わいを楽しめる空間・街並みとしてもらいたい。
水城	女性	50 代	太宰府は歴史のまちです。天満宮と参道の賑わいは全国にも知られる観光名所です。政庁跡、坂本神社、戒壇院、観世音寺、四王寺山一帯は自然に溶け込む佇まいで、奈良のように美しく由緒ある史跡群です。これらの地域を今の姿で、観光につなげる工夫があれば、滞在する人が増えるのではないかと思います。由布市のように、観光が主となる市なので、それにふさわしいまちづくりをしてほしいと思います。道路、歩道の整備や河川の清掃等も必要だと思います。政庁跡周辺の川にはポイ捨てごみがたくさん浮いており悲しくなります。だれもが住みやすいまちづくりをすることで人口が増えていくことが市の発展につながると思います。
太宰府	女性	70 代以上	歴史遺産が多くある観光を、活性化させる市の方向、表現はよくできていると思うが実際によく現地を視察してみると大事なことが抜けている。政庁跡を見てみると、よく犬の糞がころがっている→多くの子どもたちが芝生に座り弁当を広げている。又、敷地内いたるところに穴ぼこだらけ→猪の仕業で歩行、回遊に危険。
太宰府東	男性	70 代以上	宝満山登山ロープウェイ、ケーブルカーを設置。
わからない	女性	40 代	まほろば号を利用した回遊ルートができれば、観光客だけでなく、市民もさらに利用し、幅がひろがる。太宰府は全国レベルの知名度のある市なので、できることが色々あると思います。観光に、体験にとリピーターをふやすことかと思っています。史実等にちなんだ特産品→昔の技術のままで作った服やおかし、もしくは（食べたらずくなる？等、DHA or 梅（クエン酸））など。天満宮あたりで、コスプレや和歌も詠む（たびと、タビット、れいわ姫のような）。静かに本を選べるスペース（参道あたり）。ハトバスのような観光バス（みんなでコスプレして、テーマにそった体験、バスの中の照明を変えるプロジェクトマッピングみたいに）。
水城西	女性	60 代	宿泊施設や食事処が少ないですね。
水城西	男性	50 代	JR の駅を誘致し、駅から各観光施設への道路、交通機関を整備。併せて宿泊施設を整備し、宿泊のできる観光都市を目指す。
太宰府	女性	40 代	年始と受験シーズンの太宰府天満宮の渋滞のため通勤にとっても困ることがあります。夏や秋に参拝する人が増えるようなイベントの企画などで分散させる対策があるとありがたいです。
国分	男性	60 代	「太宰府市文化会館」の新築事業と改革提案 いままでのイメージと HP 説明の改革プロジェクトの立ち上げ（太宰府天満宮（菅原道真）文化的で学問成就の町） 提案 1：菅原道真公伝説の散策ルート追加、榎社から天拝山散策ルート（京に向かって無実を天に訴える）、榎社から天満宮ルート（牛車到着ルート）。 提案 2：歴史建造物スマホ再生、バーチャルリアル画像作成。 ・平安時代の歴史的施設跡（政庁跡） ・観世音寺・戒壇院など平安時代の歴史的寺院 HP のお粗末さ（アリバイ的作品）の再構築、散策ルート地図をもう少し大きくリアルな地図を再構築させる（例：観光地が取り組む効果的な観光情報提供のための資料集 P10 まちめぐりナビプロジェクト（平成 20 年 3 月国土交通省総合政策局））。
わからない	女性	50 代	市民の森に新しく見やすい案内板ができて、よくなったと感じています。せっかく Dazaifu・・・と英語でタイトルを表しているのに内容は全て日本語。スペース的に英文を入れるのがムリでもせめて QR コードとかで英語の説明や案内があるといいのになと思います。岩屋城跡へあがる登山口に古い木の案内があるのですが読みづらくなったので、どなたかが上書きをされてひどい事になっています。市のものではないのかもかもしれませんが、何とかありませんか？

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進 つづき】			
太宰府	男性	70 代以上	西日本のブランド名を有するものの天満宮を少し出ると町が汚く整理されていない。 1 川沿いのプラスチックゴミ・紙くずが多く、何年たっても改善されていない。 2 太宰府小学校前（大駐車場）近くの竹林等は県外からの来客から見ても不評である。 何十年も手を加えていないがコストはかからないと思う。 3 主要道路前の民間駐車場の整理統合を指導するべきではないか（私権にかかわるけど）客引き行為も交通マヒの一因ではないか。 1～3 まで参道の業者、天満宮の協力を得て考えてほしい。※他の観光地に比べて大きく劣っている出雲、金沢に居た者として太宰府は美化が劣る。
太宰府	男性	70 代以上	梅ヶ餅「1コ100円」に改定！！→サイズは「小型」にして「100円」に希望。
国分	男性	70 代以上	太宰府天満宮の一人勝ちの様な気がします。何故、太宰府市はうまく絡まれないのですか！（案）太宰府天満宮の参道に「万葉の街」テーマパークを再現すれば観光客からのお賽銭がたまりますよ！
太宰府東	女性	30 代	観光客が太宰府市内で回遊しやすくするためには、二日市駅・五条駅・太宰府駅等にタイムズ等のWEB予約の無人レンタカーや、レンタサイクル等の整備し、回遊のしやすさをPRするのも一つの手ではないかと思う。
太宰府	女性	60 代	市（町）全体としての観光都市を構築し、多くの観光客が足を運び、市が潤うことができるようになるとよいと思う。
太宰府	女性	60 代	太宰府を観光都市として考えるなら、天満宮のみに頼るのではなく、他の所ももっと人気を集めるようにしなくてはいいと思う。坂本神社や政庁跡等も中途半端な活用の仕方では宝の持ち腐れという感じ。
太宰府東	男性	40 代	観光資源を活かす施策をお願いします。
水城西	男性	50 代	天満宮や国立博物館、その他歴史的遺産を観光にという市の政策は理解できますが、観光客が増えても、潤うのは天満宮や商店など観光に従事している人だけで、他の市民・住民は潤うどころか、交通渋滞やごみ問題などマイナス要素しかありません。観光客が増える＝広く市民全体が潤う政策を期待します。
太宰府西	男性	50 代	観光に力を入れすぎ。
太宰府	男性	10・20 代	参道の食べ歩き等を辞めさせてほしい。みっともないし、コロナ禍であるのに感染対策が全くされていない。観光客の制御をしてほしい。はっきり言って住みにくい。
国分	女性	50 代	観光都市を名乗るなら景観だけでなく市内全体、歩き煙草を禁止する条例をつくってほしいです。吸い殻やゴミのポイ捨ても罰することができるようにしてほしいです。外に煙が出ないように喫煙所の建物を作ってほしいです。灰皿が設置してあるだけの喫煙所では煙と臭いが好きではないので困ります。
【施策 02 地場みやげ産業の創出:6 件】			
太宰府	女性	60 代	特産品や産業に特別なものがあるわけではなく淋しい。
太宰府西	男性	10・20 代	若者向けの名産品など太宰府に少ないと思う。歴史も大切ですが新しい物を生み出してほしい。
太宰府西	女性	30 代	梅をもっと推して縁起物にするとか県外アピールを。
水城	女性	40 代	企業とコラボして梅を使ったポテトチップスや、太宰府デザインの甘酒が売られたりするの、嬉しいし、誇らしい。
太宰府東	男性	40 代	地域の特性を活かした特産品は必要ない（地域特産品で成功した話は聞いたことがない。元々有名な農産物等の特産品があるなら別であるが太宰府にはない）。ふるさと納税の返礼品を見れば一目瞭然。ゆるキャラもいらぬ。全国でやりすぎたので目新しさがない。既にある史跡や自然とコラボしたものをつくる。
水城	男性	70 代以上	土産、特産品の開発。太宰府市を代表するものが（梅ヶ枝餅）だけは寂しいですね。各地域に眠る特産品を発掘しましょう。
【施策 03 観光セールスプロモーションの促進:3 件】			
太宰府	男性	30 代	映画のロケ地として誘致するのもいいかもしれませんね。勝手なことばかり言ってますが…。愛する太宰府市の益々の発展を願っています。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 03 観光セールスプロモーションの促進 つづき】			
水城	女性	40 代	令和の里となり、このページの下にも印刷されているキャラクターも時々だが、色んな場面で見かけようになり嬉しいし、楽しい。沢山のキャラクターグッズなど出来て、出回るとよいと思う。まほろば号のナンバーが「7777」の物も、見れたら「ラッキー」と思えて1日楽しく過ごせるし、千梅ちゃんかわいいので好きです。以前、太宰府の病院でお薬手帳をもらおうと千梅ちゃんの表紙の物で嬉しかった。
太宰府西	男性	50 代	タビットより千梅ちゃん。
【施策 04 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成:16 件】			
国分	女性	40 代	住民だけが増え、企業が増えていないので税収もそこまで増えないと思う。住民だけが増えることにより元々の景観を損ない、車が増え不便になった。それならいっそのこと内山、北谷辺りに企業（工場等）を誘致し税収を増やした方が良い。不要な体育館運動場は廃止し、そこに企業を持って来た方が良い。
太宰府西	男性	10・20 代	近くの市に比べて企業誘致ができていないのか、周りの市の方が栄えている。
水城	女性	40 代	だざいふペイは、30%のお得度で、他の市町村では 20%の所が多かったので、さらにお得度を感じられてよいが、アプリをダウンロードして使うよりも以前の紙で手元に持っていて使う方が自分としては好みだった。
太宰府西	男性	60 代	企業誘致など積極的に行い、法人税等の増収計画など税収を増加し、政策の予算確保をすること。
太宰府東	男性	70 代以上	市民の税では先が見えている企業誘致、地場産業等による税の安定性。
太宰府南	女性	30 代	太宰府市は企業誘致が少なく税収が少ないと聞いたことがあります。鳥栖市などを例に挙げると、企業誘致が多く、市民への還元も多いです。子どものいる家庭なので少しでも住みやすい支援・環境づくりをお願いしたいです。
水城西	男性	40 代	企業誘致するなど法人税での収入を上げる方策を実施してほしい。
太宰府東	男性	40 代	若者が太宰府市内で出店・企業することを支援する。
太宰府東	男性	70 代以上	新たな施設（国・民間・その他）の誘致（条件の重要）。IT 関係開発企業の誘致（好条件の設定）他都市の調査研究。
太宰府	男性	50 代	須恵町の SUENOVA の取り組みも参考にしながら後継者不足等に対応するための外国人定着、多文化育成推進をいち早く進めてほしい。いつもありがとうございます。これからがんばってください。
水城西	女性	60 代	土地が狭いので企業誘致など難しいかもしれないけどその企業から税金が入れば最高ですよ。
太宰府南	女性	60 代	職があれば若い人もリターンすると思う。
太宰府西	女性	60 代	太宰府プレミアムポイントの件、今回始めてアプリをダウンロードしてプレミアムポイントを取得したかったのですが、短時間でなくなってしまい残念でした。1 人 5 万円としないで少ない額で多くの方が喜ぶ方法を考えていただきたいです。あと、使えるお店も増えると嬉しいです。今後ともよろしくお願いいたします。
水城西	男性	60 代	太宰府ペイが利用できる店が近所に少なくて残念だった。利用できる店が天満宮周辺に集中しており、市の周辺地域に住んでいる者には使いにくかった（全ての行政サービスが市の中心部に集中していて周辺地域の住民には使いにくいものになっているのではないかと疑ってしまう）。
太宰府南	男性	30 代	太宰府ペイはいいと思いましたが売切れるのが早すぎる。告知も弱く、かなり残念な気持ちになりました。筑紫野市と比べると負けてるなと思う点が多いです。もっと住みやすく太宰府天満宮しか自慢にならないのは少し残念です。がんばってください。
水城	男性	70 代以上	昨年の地域振興券が Pay だったので、携帯に不慣れな友人達は金券制にできなかった事を不満に思っています。年金生活の中でその 10%なりが生活費のうるおいになるはずでした。時代の流れに全て乗って、乗れない人は置いて進んで行きますか。
【施策 05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化:3 件】			
太宰府	女性	60 代	歴史の町であることに誇りを感じますが、天満宮や歴史に依存しすぎることなく何か 2 本立て、3 本立てとなるような特徴が欲しい。市内の学生さん（短大・大学）がイベント協力されていることなど嬉しく思うこともあり、そのあたりもっと伸ばして（広めて）欲しい。
太宰府	男性	50 代	市内の大学と連携をより一層深めるとして若年層の定着を進めてほしい。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 05 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化 つづき】			
太宰府	男性	60 代	学生（大学）の活用（教育・福祉に活用も）。学生が市内を利活用する街へ。学生の居住が増えることが大事。学生が実験的に運営するショップがあってもいい。学生が多く利用する店が増えてもいいと思う。いきいきセンターの空きスペースの利活用、短期安価で貸与（小区分化、新規立ち上げチャレンジスペースに）。
【施策 06 官民連携・庁内連携・機構改革の推進:16 件】			
国分	男性	60 代	市役所の中が暗い。
太宰府西	女性	60 代	市役所の人員（パート含む）多いと思う。窓口に 2～3 人は多い。
太宰府西	女性	50 代	生活はしやすいが、福岡市、春日市、大野城市など近隣の周辺都市と同レベルの行政サービスを実施してほしい。遅れているというイメージが先行する。
太宰府	無回答	60 代	これからも「広報ださいふ」楽しみにして毎月届くのを待っています。体調に気を付けて毎日をお過ごし下さい。
太宰府西	女性	30 代	市役所が薄暗い。どよーんとしている。活気がない（大野城くらいゆったりとした空間や係りの人のフランクさがほしい）。大野城みたいに各コミュニティから住民票等の打出しが出来るのが便利。市役所が太宰府（天満宮）感がない。
太宰府東	男性	40 代	公務員に利益追求の思考は出来ないので、民間との連携を模索して欲しい。
水城	男性	60 代	失礼かとは思いますが、行政等が何をされているのかよく理解していないこともあり、毎年同じようなことをしているようでお役所仕事と感じます。何が改善されているのでしょうか。市の施策等が市民に対して『目に見える化』『肌で感じる化』への行動や PR が、直接届いていないように感じます。市長は何を考え、市議会の本来の役割は。市の職員は。企業や商店は。そして、市民はどこに向かっているのでしょうか。太宰府市は常に他市町村に遅れ、様子を見ながら後からついていく状況に感じてなりません。
水城西	男性	70 代以上	太宰府市の PR を。
水城	男性	70 代以上	旧体の行政を見直し、市長、行政、特に議会の活性化を計る（議員活動、選挙、チェック機能の強化）。
太宰府	女性	30 代	楠田市長になってから市の魅力やコロナに関して（予防接種など）発信の仕方が上手く、素早いことが、太宰府以外の知人から言われる程評判になっております。今後も市政に携わる方々にはお力添えいただきますようお願い致します。
水城	女性	70 代以上	発信力を増す。
国分	女性	40 代	市役所もうす暗く、受付の方も冷たい態度の方が多いため市役所に行くのがとても嫌な気持ちになります。もう少し改善してほしいと思っています。
水城西	女性	30 代	生活支援の窓口に行くと呼べられたり、知り合いが多く恥ずかしいので改善してほしい。
水城西	女性	70 代以上	家族が亡くなった時に大変な手続きがあると聞いている。別府市では一度の手続きで全て完了すると聞いておりますが、太宰府市もそうなるしてほしいです。
太宰府	男性	70 代以上	近辺の山林道路の整備及び動・植物等の管理・点検補修などを連絡するが、市の担当者の方の返事はいつも同じで予算が無いとか、今後は時間を見て見廻りますと言われる。3～4 年経過しても改善される様子がなく、前向きに情報提供等の協力する意欲がなくなっていく。観光客の行動範囲だけでなく、住民の環境を良くする事も大事だと思います。
国分	男性	70 代以上	市民へのサービスが福岡市、春日市、大野城市より劣るのは何故ですか？どこに原因があるのですか？誰に原因があるのですか？古い体制を本当に脱却しようとしていますか？市長の新しい感覚を職員は支えようとしていますか？是非協力して頑張ってください。
【施策 07 人材育成・登用:5 件】			
太宰府	男性	50 代	窓口での対応が職員さんによって良い方と悪い方との差がありすぎると感じます。
水城西	男性	70 代以上	職員の活性化が重要。市民の発信力・職員への指導が重要。市民・職員の一体感が不可欠。市民（健康・障がい者・老人 etc）目線で常に考えて。
太宰府南	男性	70 代以上	市民サービス（窓口）も以前より良くなった。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 07 人材育成・登用 つづき】			
太宰府	男性	60 代	市民の意識を知るのも大切だが、市長をはじめ市役所職員が街を歩き（ほとんどの職員は車で通勤していると思うので）どこに問題があるか直に把握することが大切なのではないか。
国分	女性	50 代	市役所で何もしていない人をみかけるがなぜか。
【施策 08 ふるさと納税の拡充:2 件】			
太宰府東	女性	70 代以上	ふるさと納税でかなり成功している市もあると聞いております。太宰府市も創意工夫で、みんなが欲しいような返礼品をつくり、納税額アップをはかれるのではないのでしょうか。太宰府天満宮とコラボし、合格祈願パッケージをつくるなど、いろいろと工夫次第で納税額アップをはかれるのではないのでしょうか。
国分	男性	30 代	ふるさと納税では、年々寄付金は上がっているのですか。補填はあるみたいですが、減収はどれくらいあるのか分からない。
【施策 09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化:17 件】			
太宰府	男性	70 代以上	すばらしい歴史と伝統文化の町太宰府です。市民 1 人 1 人が協力して、知恵を出して心豊かに過ごしていける大好きな町につくり上げていきたいものです。
太宰府	女性	60 代	地域コミュニティ活動等々。子ども中心又は高齢者中心なのか、子どもがいない世帯、老人会参加者のいない世帯には情報が届かない。マンション住まいも情報が入りづらい要因か？管理会社が市外のせいか「クリーンデー」の取り決めがなしくずしになっている。
水城	女性	60 代	ボランティア活動したい気持ちはあるが、気軽に短期間など参加できそうな活動内容を提案してもらえれば役に立てると思う。
水城	男性	60 代	消防団のこと、ヘルスメイトのこと等々市民が『それ知っている』といえるような構図が欲しいですね。そこから繋がりができ『私たちは守られている』『お互い様』の精神が安心・安全な太宰府市に。新しく太宰府市に住居を構える人に『太宰府市は良いね』と言ってもらいたいです。市民参加型のまちづくりが出来ることを望みます。
水城西	男性	70 代以上	市民のリーダー力。
太宰府	女性	40 代	子どもからお年寄りまで笑顔があふれる安心安全の町づくりのカギは、子どもを中心とした明るいコミュニティづくりだと思います。未来を担う子どもたちの安全と健やかな成長を見守る「地域の絆」が、高齢者の生きがいになり、若い子育て世代との信頼関係の強化になり、お互いが思いやる事が出来る、住み良い町づくりにつながると思います。地域の見守り活動を担って下さっている方達を表彰したり、元気づくりポイント事業に取り込む等の行政の支援や、仕組みづくりが必要だと思います。
国分	女性	40 代	民生委員の方々がいろいろと情報をくれるのでとてもありがたいです。隣組の組長の時は、いろいろと参加しやすいのですが、組長でない時にもいろいろと参加できればもっと楽しくなるかと思えます。
国分	女性	40 代	近年、太宰府市が活気づいているのが広報で分かりとてもうれしく思います。これからの若い世代の方々が住みやすい環境をつくっていければ（何か協力ができることがあれば、やってみたい）もっともっといい街になると思います。いつもありがとうございます。
太宰府南	女性	40 代	連絡帳（小学校）を近所の人に預ける方式はやめるべきと思う（コロナ禍感染の心配、他者への情報漏えい、子どもが中身をみるなど）。
国分	男性	40 代	古紙回収、古着回収の開催日時がわからない。回収に出したい。過去に市役所に問い合わせたところ子供会に入っている人がやっているとのことだった。賃貸集合住宅居住で子なし世帯なので利用を断念した。私達のような世帯に対して市などからの生活情報が極端に少なく疎外感を感じる。
水城	女性	70 代以上	イベントを増やす（市民参加の）。
水城西	男性	60 代	クリーンデーのマンション住民の参加推進について。地域の清掃（クリーンデー）には毎回、参加している。この地域には、大きなマンションがあり、マンション住民が、クリーンデーに参加して地域の草取をしている人はいない。犬などを連れて散歩している人は、絶対的にマンション住民が多く、道端でフンをさせている。しかし、クリーンデーには出てこない。不公平である。許せない。隣組の問題かもしれないが、市として、マンション住民にもクリーンデーに参加するよう指導してほしい。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 09 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化 つづき】			
水城	男性	60 代	応募制の行政参画ができるようなシステムにしてほしい。議会や自治会などの代表者は、必ずしも行政への代表意見を発していないと思います。
太宰府西	女性	60 代	現在高齢者施設勤務中です。今後、主人と共に高齢となり安心して太宰府で老後生活を送るつもりです。不安もありますが、地域に貢献しながら老後生活を送りたいものです。仕事を辞めたら地域活動にも参加したいと思っています。どのような活動があるのか？知りたいと思っています。
わからない	女性	50 代	コロナが終息すれば、色々なイベントやボランティアに参加したいと思っています。
国分	男性	60 代	今回のアンケートに回答して思った事。いかに自治活動に参加していなかったかを思い知った。今後の広報誌に注意する思いです。
水城	女性	30 代	問 46 の資源回収について「太宰府市ゴミ出しガイド」に自治会や子供会に尋ねるように記載がありますが、現在コロナで活動がないので、尋ねる方法がありません。それぞれの自治会でどのような物をどのようにして回収しているかなどの詳細も記載していただけるとより、リサイクルに協力できるため助かります。
【施策 10 子育て・教育環境の充実:53 件】			
太宰府	女性	30 代	小学校などもっとオンラインを活用した方がいいと思う。タブレットも始めは使っていたが、今は全く持って帰ってくることはなく、他の市と差があると思う。
太宰府西	女性	40 代	いつも住みやすい地域等、心配り大変かと思います。小、中学生の子を持つ親です。移住してきましたが、大変住みやすく安心して子育てをできる環境をありがたく感じています。ただ、給食センターがあればもっと住みやすいと感じる方は多くなるのではないのでしょうか。子どもの人数が多い程、家計等、負担に感じる部分はあります。宜しくお願いします。
水城西	男性	40 代	学校で教育に力を入れて学問（教育）のまちというポジションをとれば良いと思う。せっかく太宰府天満宮があるんだし、福岡県内で一番になればベッタウンということもあり、子育て世代は住みたくなると思う。第一線で活躍する人をどんどん呼んでくれば良い。
太宰府東	男性	30 代	市内の公立中学校の給食実施はなぜ実現できないのか。長年声は上がっていると思うが、実現出来ない理由があるのであれば広報誌で知らせてほしい。観光業は実績充分な反面、教育面で長年課題に挙がっていることを積極的に改善してほしい。
水城西	男性	40 代	小学校、中学校の wi-fi 環境があまりよくないみたいです。
太宰府	女性	40 代	全国的に見て、これだけ中学校の給食がすすんでいないのは恥ずかしい事と思います。どの職場でも驚かれます。食育の面でもやらなければならないことです。
太宰府東	女性	40 代	中学校の制服を変えるとかより、給食にして欲しい。福岡で中学校がお弁当の所は3校しかないと聞いて驚きました。
水城西	男性	40 代	中学校の給食を充実させて欲しい。
太宰府西	女性	40 代	とても住みやすいので特に不満はありませんが中学校が給食になると嬉しいです。
水城	女性	30 代	早く、中学校の給食をどうにかして下さい。すぐに無理でも全員ランチサービスデーをつくるなど。クラスでランチサービス、お弁当と別れると、子どもが待ったり子どもなりに大変らしいのでクラス全員ランチサービスの日など冬は温かいご飯、クラスみんなで味わってほしい。夏はみんなでカレーなど。あと、中学校は食べる時間が短いみたいでゆとりのある、少しでも楽しみのある食事をしてほしいです！
太宰府西	女性	40 代	早く中学校給食にして下さい。
水城西	男性	50 代	早く中学校で給食制度を整えるべきだと思います。
太宰府東	女性	30 代	福岡市のように子ども医療費の改正を検討願います。
水城西	女性	40 代	給食センターは造るべきだと思う。子どもの為です。
太宰府南	女性	30 代	子育て世帯なので、兵庫県明石市のように子育て支援に力を入れてもらいたい。何か一つに特化して移住者を増やし、活性化させる等、強みをつくってほしい。中学校の完全給食を早く実現させてほしい。
水城西	男性	40 代	待機児童の数を減らす取り組みをもっとしていただきたいです。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 10 子育て・教育環境の充実 つづき】			
太宰府南	女性	40 代	大学の学祭やイベントを楽しみにしていて、子どもが小さかった時は一緒に行っていました。コロナが落ち着いたら、また参加したいと思っています。市のイベントにも学生が参加していると、こちら子どもを連れて参加しやすく感じていました。年配の方々の子育て論を聞くのが苦手だったということもありましたが…すみません。
水城	女性	50 代	大学や近隣の市町村と連携し、多様な観点からの子育てのできる街づくりが必要だと思う。義務教育の子ども達には、文化芸能の授業を取り入れて世代や異年齢、性別を超えて対話をすることができる学びの場所を使ってはどうかと思う。また、不登校の生徒などにも教員と市政、保護者が協力しやすい体制を整えてほしいと思う。
水城	男性	40 代	中学校に給食を導入してほしい。
水城西	女性	40 代	中学校の完全給食を早く実現していただきたいです。共働きですので朝からお弁当を作ることは、かなりの負担になっています。子ども達にとっても、親が作るもの以外の食事に接する事は大切だと考えます。ランチサービスは、女子には量が多すぎて頼む事はできません。よろしくお願いします。
水城	女性	30 代	中学校完全給食を熱望します。そうすればもっと子育て世代の定住が進むのではないかと思います。
水城	女性	30 代	認可の保育園が少ないので困りました。
太宰府東	男性	70 代以上	中学校の完全給食を実施してほしい。小学、中学のパソコン教育を強化して欲しい。
太宰府	女性	70 代以上	子育てする環境重視。特に保育園の不足。働きたくても働けない事実。待機児童の多さにびっくりしています。
太宰府西	女性	30 代	紀州では妊活サプリで梅を活用。太宰府でも出来ないか？子作り支援で子どもをのぞんでいる夫婦の誘致出来ないか？子育て支援もよいが今、晩婚化で高齢での妊活が多い現状を知るべき。不妊治療に対する太宰府市独自の助成が必要。不妊治療は精神的にとってもツライもの→メンタルケア、不妊相談窓口を。不妊を支える団体とのコラボ。
太宰府東	男性	50 代	中学校は給食ありません。筑紫野市ができて、太宰府市ができない理由は何でしょうか？ずっと住んでいますが、かなり不満に思っています。
国分	女性	40 代	太宰府市の端に住んでいますが、バス通学や自転車通学ができるようにならないと子ども達に、ここに住んでと言えない。柔軟な学校教育をこれから先願います。
国分	男性	40 代	小・中学校の完全給食化。小学校までの通学距離が1.5km 以上ある地域へのスクールバスの配備。
国分	女性	40 代	中学校の給食を本当に何とかしてほしい。給食を食べて育ったので（福岡市）中学で給食が無いのが信じられない。弁当を作りたくないとかではなく、必ずしも皆がバランスの良い弁当を毎日食べられるとは思えないので、差を無くす為にも体が大きく成長する中学での給食が一番大事だと思う。太宰府に引越すか悩む子持ち家庭には絶対お勧めしない。選挙で給食推進派が、多く当選しているのに何年も改革が進まないのがおかしい。何故賛成多数で進まないのか？選挙の時の口約束にしか見えない。いい加減本気で取り組んでほしい。 子育て世帯への臨時給付金について、児童手当の特例給付世帯に給付金がないのはおかしい。子どものお金は皆同じようにかかっているはず。何なら貰っている世帯以上に税金を納めているのに。その税金で太宰府市の運営が出来ているのではないのでしょうか？そういう世帯により多く住んで貰った方が太宰府市にとっても良いはず。子育て支援を積極的にしかも皆平等にする太宰府市をアピールする絶好の機会だった。子どものいるすべての世帯に給付を発表した市は全国から評価されていてたし、子育てしやすい市として移住の候補地にもなったはず。今後税収を上げていくうえでも収入が多い子育て世帯を蔑ろにするのは得策ではないと思う。西日本新聞ヘルスセンター跡地に何ができるか分からないが、あの広さに住宅が出来ると相当数の人が引越してくるはず。小学校、中学校の教室は足りるのか？ゆとりある教育ができるか心配。
太宰府西	女性	70 代以上	中学校の完全給食の実施（いつまでも待たせない）。市長の公約一迫力ある行政運営で早期実現を！！

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 10 子育て・教育環境の充実 つづき】			
水城	男性	70 代以上	給食問題の早期解決を図る（子どもは財産）。
太宰府南	男性	70 代以上	高齢者としての意見ですが子ども達、若者の教育が不安に思えます。これからの日本を支えるのは子どもたち、若者だと思います。
太宰府西	男性	40 代	ずっと改善して欲しかったが、給食がないので子育てにはあまり向いていない。
水城	女性	30 代	中学校の給食について、我が家の子どもが小さな頃からお話を聞いていましたが、現在も実現できていないことをとても残念に思います。町のことも大事ですが、これからの将来のある子どもたちにもっともっと支援していただけると嬉しいです。
太宰府	女性	50 代	中学校の給食問題がなかなか進まない。以前から給食センター、中学校給食を保護者はお願ひしてきたがいまだにできない。違う建物はできるのになぜ一番保護者が願う給食センターはできないのでしょうか？
太宰府西	女性	30 代	事件や災害なども少なく住みやすいため、結婚後も大好きな太宰府に住んでいます。高齢者には福祉が充実しているなど感じますが、子どもを育てていく上で不満が多くあるのも確かです。子どもの医療費負担や、児童館などの施設が無い。中学校の給食化が未だに進まないなど。もっと子どもを育てやすい環境をつくってあげれば、住民から発信する情報をもとに、若い世代の転入も増え太宰府市の活性化につながると思います。
国分	男性	30 代	早急に中学校の給食を実現してほしい。何年かかっているのか、いつまでにできるのか、できないのかも分からない。
水城	女性	50 代	保育園や子育て支援を充実させること。
水城西	女性	50 代	少しずつ良くなっているが、乳幼児医療費の問題。学校司書の充実。保育士の就労改善。中学校給食の実施（他市の方から給食がないのを驚かれる）。育ちざかりの子どもの身体への影響（栄養の偏り）。長い間問題になり、実施にむけて動いている人達もいるのに、なぜまだ実施できないのか理解に苦しむ。おえらい方が、真剣に考えられてないと思えない。都合が悪い事があるのか？本当に子どもの未来を考えてくれているのか。
太宰府西	女性	40 代	中学校に給食を！
太宰府	女性	40 代	太宰府市内の中学校での給食の実現をお願いします。
太宰府東	女性	30 代	高齢者へのサービスや配慮が多くて子どもなどにはあまり優しくない市だと感じています。いつになったら中学校の給食が始まるのですか？始める気はあるのか知りたい！選挙の公約になっているにすぎない。やらないなら期待させないでほしい。誰もランチサービスなんて望んでいない。普通の給食を出すのがそんなに難しい事なんですか。他市を見習って下さい。
太宰府	女性	50 代	給食くらい早く導入したらいいのに。
太宰府	男性	50 代	子どもは皆、平等ではないのか？なぜ、所得制限を設けるのか？不平等ではないのか？
水城西	女性	30 代	保育園の土曜に預けるのは悪な空気をどうにかしてほしい。ひとり親にもう少し優しいまちになってほしい。
太宰府南	男性	50 代	他市に比べ、子育てや高齢者福祉の支援が遅れている。周知が不足している。もっとアピールをしてほしい。市民や外部支援団体と共働活動で活性化を。
太宰府西	男性	10・20 代	高齢者ばかりに施策等が偏っているように感じる。若い人たちを守る施策がもっと増えてほしい。
国分	男性	30 代	子どもが生活しやすい、子育てがしやすい環境をつくってほしい。出産手当の充実・医療費の負担無・学校費の負担等出産しやすい、子育てしやすい環境をぜひご検討よろしくお願いします。
太宰府東	男性	70 代以上	子育て世代への厚遇。
わからない	女性	40 代	「高齢者」優遇施策を全廃し、「子ども・若者」優遇施策へ転換して下さい。
水城	男性	60 代	恒常的な市の財政確保策と中学校給食の早期実現。
太宰府東	女性	30 代	子育て世代支援として、子育て支援センターを土日祝日にも利用できるようにしてもらいたい（都会では土日祝日も開放されるところは多い）。
太宰府西	男性	50 代	子育て支援関係の施策が他自治体や他県と比べ極端に少いため、若い世代の子育て世代が生活しにくい。特に他から転入してくる世帯は不便さを強く感じる。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりに対する自由意見
【施策 11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充:19 件】			
太宰府	男性	40 代	お年寄りが暮らしやすい社会を周囲が自然と支えている仕組み。まほろば号もお年寄りには無料にしてあげたい。
太宰府南	男性	70 代以上	福利厚生について（車の免許返納恩典）高齢者の車の事故率が非常に高く、免許返納が一つの手段で有り対策の一つとしてその為の恩典があればかなり状況がかわって来ると思われます。病院、買物等の交通機関の一部負担（バス、電車、タクシーのチケット一部補助）等。ちなみに私、以前太宰府市役所に電話で車の免許返納について恩典の有無を尋ねた際に職員の方より「太宰府は一際有りません」との返事でした。その際、「福岡、北九州地区では有るのですよ」と告げていた。何卒、宜敷くお願い致します（太宰府の一市民として）。
太宰府東	男性	70 代以上	老人世帯で障がいもあり、やはり金銭的に一番困っている場合が多いです。補助金等をもっと増やして頂ければ、大変助かります。よろしくお願いします。
太宰府南	女性	40 代	高齢者が多い割に車がないと生活しづらいと思う地区が多い。普段の買い物や銀行など近くにないのにキャッシュレス化が進んでいない現状。近所の1人暮らしを狙ったしつこい勧誘などの対処をどこに相談するのか。このまま高齢になれば怖いと思う環境が多いと思う。
太宰府	無回答	60 代	私も障がい者なのですが、道路の段差をできるのであれば減らしてほしいです。段差につまずいて何回か転倒した事もありました。足と目も悪いので、外出する時は特に注意しています。歩く時はいつもツエを持って移動しています。障がい者に対して市役所の方々は配慮されていると思います（トイレ（障がい者用）も改装され、使いやすくなり）。
太宰府南	女性	50 代	太宰府は高齢者が多いのに、社協や地域包括支援センターが全く機能していないのではないですか。他都市の住民と話すときけなくなります。高齢者・障がい者にやさしい街はみんなにやさしい街だと思います。社協とセンターの改革をお願いします。
太宰府南	男性	70 代以上	市は高齢者対策に厚く手を延べられています。
太宰府	女性	30 代	障害者福祉サービス・高齢者福祉サービスの充実に対して、もう少し力を入れていただきたいと思います。他市に比べ手当てや道路整備が（具体的には段差が多く車イスの方が通りにくいのではないかと。道幅がせまい。歩行者、車イス専用の道をつくる。街灯が少ないもしくは弱い。その他街灯の光が弱い）まだまだ不十分だなと思う事があります。またコロナ禍にて子ども手当では手厚いですが、本当に困っている障がい者・高齢者・生活困窮者に対して手厚い対応をお願い致します。
太宰府	女性	50 代	独居老人に対する対応不満。
水城	女性	50 代	独居の高齢者の支援などに力を入れてほしいです。
無回答	男性	70 代以上	障がい者の名簿は出来ているのでしょうか。民生委員とは何をされるんですか。何をされるかわからず言ったと言っているようです。
太宰府東	男性	70 代以上	高齢者対策。福岡市を見習って欲しい。
国分	女性	50 代	障がい児を抱えているが、子どもへの福祉があまりにもないので驚愕したまま 15 年経った。市政も市の職員も謂わゆる古い体制をどうにかしたい。
太宰府東	男性	70 代以上	シルバー人材の活用を促進してほしい。シルバー人材センターに依存し過ぎていないか？剪定草刈りの仕事ばかりでは今のシルバー人材は活用できない。
太宰府西	男性	50 代	病院数やグループホームなど、困った人の受け皿が後回しになり、天満宮や令和関係の観光ばかりが重要視され、税収に重きをおいている姿勢しか見えない所が今の市長に対する不満です。
無回答	女性	70 代以上	敬老の日の御祝いを頂けます事、大変ありがたく思っておりますが、このご時世ですのでできましたら太宰府市の店舗に還元出来るような商品券等をして頂けたらと思っております（品物を拝見しますと、地元のを頂いていますが）。
水城	男性	70 代以上	一人暮らしなのでもう少し目を向けてほしい。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 11 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充 つづき】			
水城西	女性	70 代以上	年寄りが多い中で（今からも増えると思う）税金などの調整（水道代、市県民税等）。大体がみんな年収 200 万以下で暮らしていると思うが、私共は 2 人合わせてやっと暮らしていけている。歳になれば病院とか行く回数が増えてお金もままならない。特に歯科で入れ歯とかする時に大変お金がかかります。いったん払って 3 か月後とか 4 か月後とかにしか戻ってきません。どうかしてください。それと敬老の日のお祝い金は 80 才過ぎたら最低 5000 円ぐらいくれないと！いまだき 3000 円なんて話にならん！お祝いだから奮発して下さい。
太宰府南	女性	40 代	高齢者用にタクシー券配布や、ネットスーパー特設、灯油の配送などライフラインを充実させるべき。
【施策 12 健康寿命の延伸:8 件】			
太宰府東	男性	70 代以上	市民のウォーキングロードづくり（元気づくり歩こう会事業と連同して） 1 当面は既存道路を利用するとして、安心安全なコース設定をいくつかつくってほしい。 2 五条から五条坂へ向かう道路の歩道が狭く電柱があつたりして極めて危険で歩きにくい所が 2 ヶ所ある。何とかしてほしい。
水城	女性	60 代	自然を感じながらウォーキングできる道を何コースか整備してもらえると健康にいい（歴史スポーツ公園は、暗くて防犯面が不安）。
水城	女性	40 代	まほろば令和体操が出来た事を太宰府の LINE で知りました。うどん体操のあきらさんが太宰府出身とは知りませんでした。まほろば令和体操が皆に知られるとよいですね。
太宰府南	女性	50 代	アビスパ福岡（サッカー）のフレンドリータウンになって、介護予防事業のひとつに組みこむのも良いと思います。
水城西	男性	40 代	健康促進のための運動施設を増やしてほしい。
水城	女性	50 代	健康づくり、仲間づくりをしたいのだが、とても高額な費用、参加費がかかるものが多く、なかなかできない。
太宰府東	女性	60 代	ポイントカードの付加は健康意識向上にはいいと思います。私も毎日歴史公園や政府跡、石穴神社とか四季を楽しんでいます。太宰府市民プールも手ごろに楽しめて良い。他市民からもうらやましがられています。
水城	女性	70 代以上	私も今年は 76 才になりますが、いつまでサークル活動に出席出来るか不安もあります。集合住宅に住んでいますが、80 才以上の方々もおられ近くの一戸住宅の方々も高齢者が多く、ディサービスに出かけている方々もそんなに多くなく、多分ですがお部屋で、テレビをみる時間が多いのでは（運動不足及び外部の人々との会話交流不足）。それで、高齢者の人々の自由に集まれる場所があり、その場所で手作り出来るコーナー、音楽鑑賞（歌う事も含む）や、いろんな踊りの出来る方達を招いたり、ボランティア活動をしている方々の力を借りたら楽しいひとときを過せる場所になるのでは…と思います。コロナが終息したらぼちぼちと歩いて、又進んでゆきたいものです。失礼致しました。
【施策 15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興:4 件】			
国分	男性	60 代	スポーツだけでなく、音楽・演劇の練習場が必要。体育館ばかりでなく、後は使用できる音楽等防音のついた大、中、小の練習室があると芸術文化も他市へ流れないと思います。
太宰府東	男性	70 代以上	歴史はあるけど、文化は無いなと筑紫野の知人が言ってました。
太宰府	女性	60 代	コロナが落ち着いたら無料や低価格の講座や催しを開いてほしい。
水城西	女性	40 代	カルチャー講座も利用したいですが、週末には開催されないので、平日働いている人が参加できない。
【施策 16 スポーツ振興:4 件】			
太宰府南	女性	40 代	子どもの少年団のあり方（土日が全部つぶれるが、この地域は団体スポーツはほとんど少年団なので）。なかなか参加しづらいので、団体競技など習い事の誘致。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 16 スポーツ振興 つづき】			
太宰府西	男性	70 代以上	体力作り等でスポーツを推進するのに、テニスコート等（スポーツ施設等の立派なもの）が北谷にありますか？県のものであるかも知れませんが、あの様な立派なものが、日頃、簡単に使用できずに存在するのが不思議です。太宰府市の真ん中にあれば子どもから老人まで使用できるのと思いました。各地区には、学校以外に体力作りで一般のスポーツクラブがあり、学校の日曜日のテニスコートや運動施設を輕易に使えるようにすると、かなりの数のクラブチームが喜ぶのではないのでしょうか（市が把握できてないクラブチームは多々あり）。
太宰府西	女性	60 代	各スポーツのイベントや教室も、皆グループが出来ている様で入りづらみたいです。
太宰府	男性	50 代	スケートボードパークの設立を願っております。春日公園や、古賀スケートパーク、筑後広域スケートパーク等、市が管理したパークを設立してほしい。どこにいても「スケートボード禁止」と書かれている為、子ども達の行き場がありません。過去の跡地も大切ですが、未来ある子ども達の事をもっと考えてほしいです！！切に願います。スケートボード人口を調べてみてください…。
【施策 17 空家活用の推進:4 件】			
太宰府西	男性	70 代以上	まちを歩いているといつのまにか空家になっているお家を見かけます。国・県と連携して空家の再生活活用策を考え取り組んだらいいかでしょうか？課題が多いと思いますが必要なことと考えます。
国分	女性	70 代以上	おばあさんの夢、今空家が問題になっています。その空家を貸して頂けないでしょうか。私は市民農園と個人の畑で野菜を作ってます。無農薬でとれたての野菜で作ったファミリーレストランには無い、昔ながらの料理を食べさせてあげたい。一人暮らしの人の集まる場所をつくってあげたい。子育て中の若い人達に総菜を作り、食事作りの大変さを少しだけ手伝ってあげたい。お仕着せの老人福祉より、何か人の為になる喜んでもらえる事ができる事が、生きがいになると思います。太宰府市は観光がメイン。外面も大切だけど内面も、みんな助け合って仲良く、いきいきできる町づくりをお願いします。
水城	女性	50 代	空家が増えています。防犯上も心配です。空家を減らす取り組みがあるとよいと思います。安価に借りることができれば、若い人たちが転入してくれるのではないかと思います。
太宰府	女性	50 代	2 年程前、空屋が解体され空地になっていて、雑草が茂り道路との境もくずれている。
【施策 18 全世代交流型施設の検討:2 件】			
太宰府西	女性	40 代	以前篠栗に住んでいました。温泉のある公共施設でお年寄りや子ども達がゆっくり集える環境がありました（志免にもありますのでそこも利用しました）。未就園児も遊べる室内での集まりも盛んでした。太宰府の公園は古く小さな子どもにキケンな遊具も多く少し不満に思った記憶があります。地域の方々はとても良い方々で小学生の時は見守りなど助かりましたが、是非、気軽に集まれる（小さな乳幼児の親やお年寄りの方々）場所があると嬉しいです。
太宰府	女性	40 代	北谷とか内山あたりに、高齢者施設を核にした温泉やスポーツ施設、子育て拠点、文化施設（図書館など）が入った施設ができれば嬉しい。武雄や六本松のように蔦屋書店のような民間企業にプロデュースを手伝ってもらえたら最高。空家を利用して、高齢者やハンディのある方向けのグループホームをつくって高齢者に移住してもらう。太宰府市は高齢化が問題とされているがそれを逆手にとって、高齢者が安心して余生を過ごせるまちにし、旅立ちまで心安らかに過ごす施設や仕組みに力を入れてみたらどうか。高齢者に優しいまちづくりは、すなわち市民全体が住みやすいまちづくりだと思う。高齢者福祉にまつわる企業の誘致や移住の受け入れ、空家の活用など、市の活気につながれば。
【施策 19 人権尊重のまちづくりの推進:2 件】			
水城西	女性	50 代	差別の問題（平等性）。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 19 人権尊重のまちづくりの推進 つづき】			
わからない	女性	40 代	こども寮、こども食堂設置（あまり予算をかけず、職員、市民が汗をかく）。親の許可なく、子どもの意志だけで入居できる施設を造って下さい。子どもは未来の宝。単に虐待だけでなく、知らず知らずに親と学校にしいたげられる子どもを守る施設の必要性。罰則規定付包括的差別禁止条例の制定を！
【施策 20 史跡指定 100 年とこれからの保存・活用:17 件】			
水城	女性	60 代	史跡地の草刈りがあまりされていない。
太宰府東	男性	70 代以上	折角の文化遺跡が生かされていない。政庁の再現、大野城跡、天満宮、都府楼、天拝、水城等の面展開、二次元、三次元の展開が必要。分散（バラマキ）予算ではなく重点予算化。
太宰府西	男性	10・20 代	大宰府政庁を再建してほしい。
太宰府	男性	40 代	市税をかけて市役所の玄関前に立派な屋根を付けているが、近くにはド派手なカラオケ店や倒壊寸前の家屋。しかも新規出店もあるので、景観を大切にしているのかいないのか一貫性が感じられない。
太宰府東	男性	40 代	水城館のような利用者がたいして見込めない官による施設はつくらないで欲しい。維持費がもったいない。つくるなら天満宮か政庁跡などに一括したものをつくればいいと思う（最小限度の施設）。こういった施設で全国どこを見てもにぎわっているものは見たことがない。文化保存のために必要と言うなら、利益と維持費が両立できるようなものを考える必要がある（施設内に有名カフェ店を併設するとか）。
太宰府	女性	30 代	「客館跡」について、広々、芝生で気持ちは大変良い。ですがあまり芸がない。客館跡の解説・案内設備位は必要と思われるが、他のスペースはもっと活用できるのではないのでしょうか。例えば野外音楽堂、もっと言えば「道の駅」に一部を貸し出すとか。長いこと西鉄の社有地だったと思い込んでいたので、商業施設が出来ればなどど期待はしていました。市有地だったとは！事前の市民コンセンサス等の把握はされたのですか？今後何かプランでもありそうな気もしていますが。今のままだと寒々しい感じですよ。
太宰府	女性	60 代	道沿いの建物、看板、新築の場合、色など古都を意識してもう少しきびしく規制したらいいと思う。
太宰府	男性	50 代	古都大宰府の景観を将来にわたり守って伝えてほしい。
国分	男性	70 代以上	古都らしい街並が感じられない。天満宮のみの街の感じがする。もう少し落ち着いた街にして欲しい。
太宰府西	女性	60 代	この前、水城跡の施設に行ってみて、ビデオや係の方が親切で良かったです。歴史や史跡をもっと利用して、市内、ウォークラリーを大々的に行って町の散策スタンプラリー等行ったら？前に愛媛県の松山で、町をあげて、ウォークラリーの様におもしろいイベントをしていた。色々な都市に聞いてみたら色々な事やってますよ!!
太宰府西	男性	50 代	現在、単身赴任中でコロナ禍で2年以上帰省していないわたしがこのアンケートを答えるのは忍びないが、単身赴任先で「家族は太宰府です」と言っても「ピン」と来る人は少ない。せいぜい天満宮と言う人がちらほら。わたしも10数年前に転居してきたときは、天満宮しかわからなかった。わたしは歴史、戦国時代が好きだが、高橋紹運の墓を訪れた時も「こんなに粗末なのか」と消沈した記憶があります。高橋紹運よりも立花宗茂の方がわかる人にはわかるのだろうが、宗茂と関連付け歴女たちを意識するのも一考かも。大宰府はそういった意味では(近代を除き)長い歴史のどの部分を切り取っても、意味・価値がある土地柄なので、それらをうまくアナウンスできないかと考えている。我々の様な民間の知恵を提供できないかと。
わからない	女性	40 代	太宰府らしい学問にかかわることを売りにしてPRしていけば良いと思う。
国分	女性	40 代	文化的な教育が、単発なものが多いと思います。大宰府はそもそも、外交や軍事、地方政治においてとても重要視され、最先端の都市国家だったと考えています。素晴らしい政治や文化が花開いていた土地柄だと知るとなると、太宰府市に住んでいることに誇りを持つようになりました。市民の皆さんにも、大宰府が当時の日本にとってどんな役割を果たしていたのか、そういう誇れる歴史や文化を知る教育をしていくことで、文化継承もなされ、土地への愛着や人とのつながりも増すと素晴らしい市になると思います。興味の有無に関わらず、そういう歴史を自分事として感じ、市民に愛される市であることを願います。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 20 史跡指定 100 年とこれからの保存・活用 つづき】			
太宰府	男性	50 代	歴史的跡地について何も現存していない広大な跡地を残して何の意味があるのか？もっと有効活用するべきではないのか？
国分	女性	50 代	毎年毎年同じ催し物しかない文化ふれあい館の在り方を考える。
太宰府	女性	50 代	小さな意見を取り入れ、無駄が多く良いと思えない。太宰府館前の川の整備…子どもが落ちて網でまかれ景観損なう。以前のままでよかったなど。
太宰府西	男性	50 代	文化財史跡が多数存在していますが、史跡の保存は必要最小限とし、住宅地にも活用できるよう国との調整も含め、方法を十分検討してください。
【施策 21 国・県・国内外自治体との連携の推進:6 件】			
太宰府	女性	70 代以上	太宰府には、たくさんの宝物があります。もう少し、グローバルな視点から、これらを見直していくと、もっと太宰府の価値が上がりそうです。外部の目でそれを生かして欲しいです。
水城西	男性	60 代	他の市町村より高い評価を得ようとは思えないでもらいたい。普通に市活動を行いながら、他の自治体と共感しつつ、連携してもらいたい。
水城西	男性	50 代	福岡県全体としての整備の取り組みが遅れている他の都市との連携が出来ていない。地の利を生かしてもっと発展できる可能性があると思う。福岡、九州、中国地方の中心となるようなランドデザインを描いていくようなプランをたてて欲しい。
太宰府西	女性	30 代	太宰府は買い物するところがルミエールくらいしかない。大野城、筑紫野はイオン、春日はモールがあるので近くの市と協力していけたらと思います。
太宰府東	男性	40 代	筑紫野市との連携。JR 二日市駅付近の開発や同駅から直通で太宰府天満宮などの観光地へ行けるバスなどの運行。JR 利用者はいちいち西鉄電車に乗り換えなければならない現状がある。JR 利用者がもっと楽に訪れることができれば、自家用車利用の観光者による渋滞を緩和できるのでは・・・筑紫野イオンやゆめタウンからの臨時バス発着。買い物と史跡巡りを一体化。
国分	男性	70 代以上	本市には貴重な歴史遺産があるが生かしきれていない。1. 白村江の戦いや菅公の一代を題材として新子供神楽の創設（テーマ毎、小学校区毎）。2. 過去太宰府は日中韓三軍が激突する戦場になる可能性があった。そのことを逆手に取って、日中韓融和を目的とした日中韓三国友好大学の設置誘致（大学を利用して）など。
【施策 22 交流人口・関係人口の拡大:3 件】			
太宰府東	男性	70 代以上	太宰府（政庁や観世音寺）の歴史教育。地元の小学生が歴史遺産に誇りを持てる教育を！
太宰府東	男性	70 代以上	若手芸術家等の定住（好条件の設定）。他都市の調査研究。
太宰府南	男性	40 代	税金を減税し住みやすい町、新規移住などに取り組んでほしい。
【施策 23 交通環境の向上:132 件】			
国分	男性	60 代	「まほろば号」を利用して乗り継ぎも利用しています。できれば運転手さんの意見を重要視していただければよりよい運行ができると思います。御苦労様です。
太宰府	男性	70 代以上	五条交差点の信号で時差又は右折指示方向を着けてほしい。時間帯によっては1～2台しか右折できない時あり（市役所方面より五条駅方面行）。
わからない	男性	30 代	観光等を活用化させることは大事だが、主要道路等の渋滞の緩和にも力を入れて欲しい。
わからない	男性	60 代	道路の渋滞をなくしてほしい。
水城西	男性	70 代以上	○「まほろば号」の運営について値上げしても他市との共同乗入れを希望します（現コースは不便である）。都府楼中心のコースでなく、西鉄「下大利」駅経由・JR「大野城」駅経由・JR「二日市」駅経由のコース便を早急に実現せよ！！ ○JR「太宰府」駅構想が以前有りましたが、こちらも早急なる JR との交渉に入り実現すべきである。
国分	女性	40 代	洗出交差点の渋滞について。混雑時間帯に無理な右・左折が目立ち危険を感じます。
水城	女性	10・20 代	洗出の交差点を時差信号 or 矢印信号にして欲しい。
太宰府西	男性	60 代	家の前が直線道路でスピードを出す車両が多い。スピードを制限出来る様道路に工夫をして欲しい（通学路でもある）。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 23 交通環境の向上 つづき】			
太宰府	女性	70 代以上	今いろいろと大変な時ですがよろしく願います。健康面など細やかな管理 etc をしていただき、心強く感じられありがとうございます。今は職場などで検診を受けていますが勤務できるのはあと少しですので、その後は市の検診を受けさせていただきたいと思っています。川のそばの桜がとてもきれいで毎年楽しみに歩いています。道や岸が安全に通れるのもっともっと良いのですが…。年数が経ってちょっと危険かなと思われる場所があるように思います。
太宰府西	男性	60 代	春日から久留米方面への道路の混雑が激しく、不満を持っている。高架道路の建設など多方面に渡り検討願いたい。特に大佐野交差点を中心に混雑がひどく信号機の運用に課題があると思っている（赤信号から青信号になかなか切り替わらないなど）。
太宰府	男性	10・20 代	観光産業で成り立っているのは分かっているので、そこを伸ばすのはもちろんのこと観光事業に関係のない住民が滞りなく生活できるよう最速で道路環境を整えていただきたいです。
太宰府	女性	70 代以上	観光都市を目指すのであれば、又、防災の面からも道路整備を最優先に考えて頂きたいと考えます。
太宰府	男性	10・20 代	観世 5.6 丁目から中心部への道路網の整備を希望。
水城	女性	30 代	車を運転しているときミラーが古いのか、くもって見えづらい場所が多いと感じます。
水城西	男性	30 代	警察と協力し、通学路等の安全確保を。一時停止線や標識、点滅信号、取り締まり強化。
水城	男性	60 代	交通量が増え、道路がせまく、自転車が走りにくい危険な所が多い。
太宰府	男性	10・20 代	交通渋滞を緩和していただきたいです。
国分	女性	50 代	国分寺前の交差点が国分台通りから来た時に青信号の時間が短かく、とくに朝の時間、夕方の時間は渋滞するので改善してほしい。
水城西	女性	70 代以上	このアンケートに応じて、自分が市政に関心だと痛感しました。あらためて関心を持っていこうと思いました。まほろば号について高齢者は免許を返納という流れのなか本数も少なく、ルートも不便。利用しやすいようにして頂ければ幸いです。
太宰府	男性	40 代	この街を誇りに思い、ずっと住み続けるつもりです。観光が主力の太宰府市ですが、特に太宰府天満宮周辺の渋滞解消に対する施策が足りないと思います。近隣住民は渋滞すると時間が奪われます。地元住民が渋滞によるデメリットを受けるのはおかしいと思います。地元住民が渋滞によるデメリットがないように対応願います（三条辺りから君畑ぐらいまでの住民用バイパスの設置等）。
太宰府西	無回答	70 代以上	コミュニティバスの利便性を上げてほしい。大野城市、春日市のコミュニティバスの交互路線を作成。
太宰府西	女性	50 代	自宅前の歩道が近所の高校（武蔵台）の通学路になっており、自転車が交通法を守らないので大変危険な目にあっている。以前から事故も数回あり対策として市役所や警察、高校に話しましたが何も変わらず。昔から住んでいるものとして大変遺憾に思う。下校時間は散歩もできず、通学路を歩く小中学生が危険で可哀想だ。早急に改善してもらいたい。もし事故で歩行者に死亡者が出たら、市の行政としてどう責任を取るのか聞きたい。このままでは安心して住めない。
太宰府西	男性	50 代	正月にどうしても水城からのルートが混雑する。それを少し無くすために高雄あたりから筑紫野インターを通して来るルートを造ってほしい。そのために高雄周辺に道の駅太宰府をつくりそちらに回遊するようにしてほしい。
太宰府南	女性	40 代	太宰府南小学校、登下校道路について星ヶ丘保育園より高雄台中央公園の道路は昨年より整備されていますが、星ヶ丘保育園より 1 つ目の交差点は児童が横断する際、危ない場所です。横断歩道の設置をお願いしたいです。上からカーブのためスピード出している車が多いです。高雄台中央公園の交差点も点滅信号を設置してほしいです。優先道路がわからず混雑し、登下校時、危険箇所だと思います。よろしくお願いいたします。
無回答	男性	50 代	太宰府天満宮周辺の渋滞をどうにかしてほしい。県道 5 号線の 4 車線化事業はどうなっているのか?筑紫野市は進んでいるのに太宰府は全然進んでいない！

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 23 交通環境の向上 つづき】			
太宰府	男性	40 代	太宰府天満宮周辺が渋滞することがあり、不便に感じる時がある。渋滞解消する政策を希望します。
太宰府	女性	60 代	カイヅカブロックのため、雨が降ったりしたら子どもたちはカサをさして車道に出て学校に行っている。
太宰府	男性	50 代	天満宮周辺において一部の駐車場の収入のためにあたり前のように住民の車が渋滞に巻き込まれていることに不満を感じている。
国分	女性	50 代	道路、街路樹の草とり等、歩道、自転車の通行の確保。観光目的とは関係なく、生活する上で整えてほしいところはたくさんあります。大変だと思いますがよろしくお願いいたします。
水城	女性	40 代	道路が狭く、歩道もない。車がすれ違うこともできない道が多すぎると思います。緊急車両すらしっかり通れるのか不安です。観光で人を呼び込むのであればまず、日々の生活が安全におくれる状態をつくって頂き、その上で人や車の流れを受け入れてほしいです。
太宰府南	男性	60 代	まほろば号、路線バス、西鉄大牟田線、太宰府線、JR など連携が取れていないと思う。ダイヤの接続、路線の補完など利用しやすいとはいえない。高齢化が進むと公共交通機関が重要になると思う。市役所に行くには、最寄駅から歩くしかない。バス停はあるが接続していなかったり、遠回りになったりする。まほろば号に関しても、都府楼起点のため、利用しにくい。また、都府楼から直接市役所へ行く手段がほとんどない。もっとまほろば号の路線を再考したほうが良いと思う。
太宰府西	女性	40 代	まほろば号が水城駅や下大利駅まで運行してくれたらとても便利なのだと思います。
水城西	女性	10・20 代	まほろば号のバス停や走行ルートをもっと増やしてほしい。幸都、大字吉松地区に住んでる人にとっては不便だと思う。
国分	男性	30 代	まほろば号の本数など、もっと増やしてもいいと思う。信号機なども、交通量が多い時間帯の場所などにも増やして欲しい。
太宰府	男性	40 代	もっと渋滞の解消をしてほしい。朝の通勤ラッシュでの渋滞がいやだ。
わからない	男性	40 代	観光客を招きたい気持ちはよくわかりますが、市民としては渋滞や路上駐車などが非常に迷惑。正月は仕方ないと割り切れますが、日常的に渋滞するのは困りますね。
国分	男性	50 代	西鉄大牟田線都府楼前駅付近の踏切での交通渋滞を緩和する策はないもののでしょうか。
太宰府南	男性	50 代	先の渋滞を見越した道路整備をお願いします。高雄の交差点は病院が出来たことで拡張も出来ず、自転車が危ないし、渋滞もひどくなった。非常に残念です。
わからない	男性	40 代	他県から引越して参りましたが、健康を考え御笠川沿いでマラソンをしていると歩道で（自転車は車道との小さな看板が目立たないよう）で）高校生の自転車に衝突されたことがあります。歩道と車道をわかりやすくするなどまた、車優先の道路づくりが多く歩いて買い物も怖くネットや天神で買い物をしております。まちづくりの向上に期待しております。
水城西	女性	50 代	太宰府市の吉松の土井踏み切りに行くまでの道路が狭く交通量も多いし、歩行者・自転車に乗っている人で歩道があってない様なもので凄く危ないのでどうかして欲しいです。検討して下さい。
太宰府南	女性	40 代	太宰府市梅ヶ丘に 70 歳の母と住んでいます。母は免許を返納したのでバス移動が必要ですが、バスの本数が少なく時間通りに来ないなど公共交通機関が不便です。梅ヶ丘は高齢者が多いので多くの方も同じ思いをしているのではないかと感じています。高雄の交差点から九州博物館に向かう県道ですが、住宅街なのに工業用の大型トラックが頻繁に通るので危ないし騒音がします。
太宰府	女性	10・20 代	朝の通勤時間帯、土日・祝日など渋滞しやすいので渋滞緩和に向けた取り組みを行なってほしいと思います。まほろば号などよく利用してるのでとても助かってます。これからもよろしくお願いいたします。
国分	女性	10・20 代	道路についてとびうめアリーナ前の道路が信号と西鉄、JR の踏み切りに挟まれているため電車量、交通量の多い時間帯はほとんど進まず渋滞になりやすい為、渋滞にならない為の方法はないのか？
太宰府	男性	60 代	梅大路と五条交差点の右折を交通渋滞の原因とならない様、検討してほしい。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 23 交通環境の向上 つづき】			
太宰府西	男性	60 代	問 63 について五条の交差点の構造変更を早くしてほしい。他県から来た知り合いが渋滞と道の細さに怒っていた。観光都市として胸を張る町にするならここから始めるべきでは？5 年後、10 年後、それ以降の事を考えた次世代の為の観光都市構想を期待します。
太宰府南	女性	50 代	高雄交差点で事故が多いのが気になっています。3 号線に入る時に右折信号があれば良いのと思います。
太宰府	無回答	60 代	「まほろば」のバスは本当に助かっています。100 円でいろんな所をまわれるので便利だと思ってます。この「まほろば」のバスをいつまでもずっと続けてほしいと思ってます（1 市民の願いです）。
太宰府	男性	40 代	政庁通りの凍結・転倒しやすい瓦板状の舗装がずっと変わらない。歩道にもかかわらず車いすは凹凸で困り、冬場は凍結・夏は灼熱の路面。ただでさえ距離のある天満宮・観世音寺・都府楼の主要地を観光客は盾をしかめて耐え歩いている。政庁通りでこの有様。正月の交通規制はかえって一部区画を陸の孤島と化し、歴史歩道として指定してる細い道路を無案内な参拝客の車が高速で抜けてゆく。何十年と見てきて未だ変わらない。何度も伝えた。
水城	女性	60 代	まほろば号の運賃について、高齢者などは 100 円でもいいが、通勤・通学や観光（他の市町村からの）の為に利用している人が多いので、その人たちは、値上げして構わないと思う。
太宰府南	女性	50 代	まほろば号があることはありがたいし、格安で利用できることも感謝している。ただ本数が少なく使いたくても使えないところもある。100 円→150 円に値上げして、シニアには割引するのはどうでしょうか。たとえば台湾では 65 才以上には、電車・バスが毎月上限約 1,700 円分無料になるバスがあるそうです。これは翌月に持ち越されないの、使わないと損だと高齢者の外出促進と、公共交通機関の利用増につながっているとか。良い方法があればと思います。
太宰府東	女性	70 代以上	狭すぎる歩道。歩く人に全く親切ではない、そういう道路が多過ぎるように思います。歩道を広げる努力をお願いします。情けない一言。これだとあまりにも観光都市にはなれない。誰にやさしい街をつくりたいのか？IT 企業誘致等夢物語をする前に足元からの改革を。
太宰府	女性	60 代	まほろば号は都府楼駅での乗り換えが少しめんどうだ。観光用にももっと PR して、乗客数を増やして便数が増えればと思います。
国分	女性	40 代	今も朝は坂本 2 丁目の交差点へ向かう交差点でなかなか進まないのに、水城幼稚園への送迎の車や坂本の方から来る車が交差するクリーニング店前でも酷い渋滞になると思われる。その反動で国分寺前の交差点も渋滞がひどくなる。何とかヘルスセンター跡地内に坂本の方に抜ける道をこの機会に是非作ってほしい。
太宰府	女性	50 代	高齢者にも、もっと優遇をお願いしたい。車の免許証を返納した等、全ての高齢者にまほろば号のパス（3,000 円分位とか）などを渡してもらえたら負担も少なく、まほろばに乗れると思います。何かと病院やどこやらに行くのにパスを配ってもらえると年金生活者にはとてもありがたい限りです。
水城	女性	50 代	お正月 3 ヶ日の交通規制について、私の地域では通行許可証の取得が必要です。毎年お願いしておりますが、なぜ住民が市役所まで足を運び、資料をそろえ、動かなくてはならないのですか。車検証の提出は特に意味が分かりません。市役所の窓口でたずねると、きちんと車検を受けているのか確認するためと言われました。まるで犯罪者扱いです。こちらは被害者だと思います。理解に苦しみます。該当する家庭は、わずかだと思います。もっと役所の方が動いてほしいです。このコロナの中、高齢者の方は特に大変だと思います。一部の市民はこんな扱いを受けています。これが太宰府市のめざす市政ですか？この実状を市民の皆さんに発信したいです。今年の年末は期待しております。一部の市民を切り捨てるのか、寄り添っていただけるのかしっかり見せていただきます。
太宰府	女性	50 代	交通量、人の使用量・時間帯などに対応した信号機。体育館とかではなく、安全にウォーキングができる道（外灯や自転車用側道）。ライブカメラの設置。
太宰府西	女性	60 代	市内の交通機関は良くても春日大野城市への行き来が 100 円バスの路線からはずれて、タクシーや車がないと他市へは行きづらいです。水城駅や下大利駅に行きづらい。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 23 交通環境の向上 つづき】			
太宰府	女性	70 代以上	観世音寺外周東側のあぜ道はよく人の散策するところだが、これがでこぼこで高齢者は歩きにくい。舗装までとは言わないが歩きやすい様に整備したいものだ。 駐車場と車渋滞・混雑→個人駐車場が道路沿いに多くある為、これへの出入りで混雑している→大駐車場の立体化を進めたい。ここへ関屋から直通の高架道路を建設する。市長をはじめ市議員が知恵をしぼって前に進めましょう。
太宰府	男性	60 代	街づくりに大切な幹線道路の整備が遅れているのは何故ですか？筑紫野市と宇美町は進んでいる様に思いますが？県や国に予算要請はされているのですか？国博入口から未整備なので市が国博に不協力的にしている様に思われています。
太宰府	男性	60 代	大型企業誘致が難しい太宰府市、道路交通網の整備による天満宮近辺の渋滞を減らすことが大事で、天満宮自体からの寄付をつのるのもよいと思われます。
太宰府東	男性	70 代以上	御笠川をカバーして、道路を確保する。
水城西	女性	50 代	子どもが自転車で移動するのに危ない道が多いと思う。
わからない	女性	40 代	まほろば号を現在ご利用されている年代は高齢の方が多いので、買い物や、通院等に配慮した運行が良いし、市民も行きたいと思ってもなかなか行けないスポットが数多くある。理由は交通手段と、どこにそのスポットがあるかわからない事、市内の道路混雑等、せっかくの良いところが活かせてないのを残念に思う。自分自身も行きたいのに行っていないことを反省している。
太宰府	男性	60 代	道路の狭さで車の運転が大変である。観光する人達も道路を歩く人が多い。歩行者レーンをつくってほしい。
水城西	女性	60 代	ハワイにあるトロリーバスのように太宰府市の買物や、病院、銀行など車がなくても自由に行けるようになればいいなと思います。天満宮に遊びに行きたいなと思っても車だと駐車場代もかかるし電車だと不便。近くに住んでいても年に1回も行けません。年をとってくると思いと行動がともなわないです。
太宰府西	女性	70 代以上	まほろば号の延伸又は運行経路の変更。ダイヤ改正（何年もしないコトは問題アリ！）。
水城西	女性	40 代	まほろば号を利用したいですが、バス停、本数が少ない。行きたい所に1ルートで行けないなど使い勝手が悪いので見直してほしいです。
無回答	女性	40 代	道が悪いガタガタ。天満宮や都府楼跡近くはきれいだが他はきたない道。桜の木も同様→ここだけある。太宰府全体をきれいにし、桜の木を植えて下さい。外灯も古い物もあればすごいきれいなシャンデリアのようなのをしてある。端から端まで見て下さい。よくして下さい。祈ります。
太宰府東	女性	60 代	年齢的に車の免許返納の時期に近づいてきましたが、その後の移動手段に対する不安があり、もう少し買い物難民や医療難民にならないような強い対策が欲しい。
太宰府西	女性	50 代	県道 31 号線の年中渋滞を一刻も何とかして欲しい。街灯の LED 化（増やして欲しい）。JR 水城駅周辺道路の（踏切含む）安全化。
太宰府西	女性	40 代	まほろば号 30 分に1本、反対わり無しは学生には使えない。
太宰府	女性	40 代	内山の T 字路は渋滞している時に道をふさがないように直進が道をあけていると、竈門神社からの客が多い時など左折がずっと入ってくるため進めないことがあります。信号で管理してもらえると助かります。
太宰府南	男性	70 代以上	観光を考える中で道路整備が大事で特に政庁から天満宮間の渋滞対策を考えてほしい（バイパス建設や交通規制など）。
太宰府東	女性	30 代	駅前（五条）の周辺道が狭くて歩行者にとって危険だと思います。観光客より市民を優先してほしい！
太宰府南	女性	60 代	国道 3 号の騒音と振動がすごい。転入すぐは、家の揺れに毎回ドキドキした。何とかして欲しい。歩行がきつくなったら買物が大変そうと思う。
国分	女性	10・20 代	市内を移動する交通手段がない。まほろば号の便をもっと多くして欲しい。1 時間に 1 本では利用しにくい。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 23 交通環境の向上 つづき】			
太宰府東	女性	70 代以上	少子高齢化は全国どこでもあることですが、特に本市は高齢化がすすんでいて、親が亡くなり、家があってもその子ども世代が親が残した家に住まないで空家になっている。それは、市内で働く職場があまり無い事と近隣の市に通勤しようとしても、朝・夕の通勤の混雑が激しく、現役世代は本市に住みにくい交通環境にあると思う。高齢者の利便性ばかりではなく、現役世代が通勤し易い交通環境を整備し、住まいを本市に構えても良いと思えるような環境づくりをした方が良いと思います。
無回答	男性	70 代以上	まほろば号がもっと多ければ五条に買い物に行けるのに。タクシーを使わざるを得ない。必要な時に 1 日 4.5 本ですよ。なんの役に立ちます？そんな予算どこにかためて使っているのですか。かたよりのない使い方をしてほしい。
水城西	男性	10・20 代	まほろば号の運行が収入に見合っていないと始めて知りました。ですが高齢者は免許証を返納した後、100 円程度の料金で利用できなければ困ると思います。高齢者、障がい者、子ども達、悩みや不安をかかえている弱者の方達に寄り添う優しい市であってほしいと思います。もっと無駄を見直して、まほろば号は従来通り維持できる様にお願いしたいです。
国分	女性	70 代以上	まほろばのバスが下大利（西鉄）までできることを希望します。
太宰府	男性	50 代	令和になり一段と太宰府の名が広がり、観光客も増えうれしいこともありますが、やはり道路の渋滞はかわらず、ナビがあるため県外ナンバーもいつもは静かな住宅街に迷い込んで来たり…人が集まるとおしゃれな店も増えたりしたことはよいと思います。
太宰府	女性	40 代	渋滞がひどい時があり生活はしにくいとおもう反面、観光業は盛り上がって欲しいです。地域のみなさんは理解して協力していると思いますが、時々マナーのない方も見かけます。
太宰府南	女性	50 代	信号機(矢印)の見直し(つけてほしい箇所を市民に聞いて欲しい)、停止線が消えている所を早急に治してもらいたい。回覧板で毎年、要望をあげているのにも関わらずまったく改善されない。事故が起こりそうで怖いです。太宰府市は高齢者が多く、何度も危ない目にありました。高齢者が免許を返納しても困らないような政策をして欲しいです。
太宰府南	男性	60 代	太宰府市内に大型商業施設が無く、買い物は筑紫野市まで行っているが高齢化して車に乗れなくなるとバスの利便性が悪い(コミュニティバス etc)。筑紫野市、大野城市のコミュニティバスと共同で買物バスを週に何本か走らせる(ゆめタウンやイオンモール、春日フォレスト etc)。
水城	男性	70 代以上	環境について観光バスが通る市役所周辺、雑草が生い茂りなんとも悲しいかぎりです。以前聞いた話に、県道だから整理しないと。観世音寺地区の人々が以前は有志でしていたと聞きました。他県の主なる街路地には、特産を植えている所も有ります。例えば輪島では漆の木々を、長野ではバスから手が届きそうな林檎を。太宰府市では梅の木でしょうか。
水城	男性	70 代以上	まほろば号について安価で回数も多く助かっております。今回の年間の数字を初めて知りびっくり致しました。財政逼迫の市の事を考えますと、何とか考えないといけません。 イ、巡回する場所に無駄は無い(ほとんど数人の所も) ロ、運行の回数間引き(時間帯によっては減らす) ハ、運賃の値上げ(わずかでも構わない)
水城西	女性	50 代	JR 都府楼南駅にはエレベーターも設置されていない。都府楼団地の高齢化も進んでいる。便利なのに電車に乗るのを躊躇しなければいけないのはとてももったいないと思う。是非 JR に働きかけて頂きたいです。
太宰府東	男性	70 代以上	西鉄都府楼駅外の公衆トイレ設置。「令和ゆかりの地」と謳われているが、公衆トイレが無く市外からの訪問者が困っている姿を見かけた。まほろば号のバスセンター的な位置づけでもあるので必要ではないか。
太宰府西	男性	70 代以上	太宰府天満宮周辺の交通緩和策を考えて欲しい。地元住民の生活に多少支障をきたしている。楠田市政になってから明るく開かれた太宰府市になってきたと思います。
太宰府西	男性	60 代	電車の早期高架橋化。
太宰府西	男性	30 代	洗出の踏切のところの信号に右折信号を付けて欲しい。都府楼前駅から来る左折車が多いし、信号の変わり目でも譲ってくれなくて右折が出来ないし、踏切が閉まってひどい時は 10 分くらい曲がれない状態になる。前から議題に上がっているのに何の対策もないのはなぜですか？とぶうめアリーナにお金使うくらいなら他に使ってほしかったです。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 23 交通環境の向上 つづき】			
太宰府	無回答	70 代以上	まほろば号は大変良いです。
わからない	女性	50 代	大きな道路以外の道では歩道の狭いところの道がガタガタで、足元の悪いところもあちこちあるように感じます。高齢者の散歩やカートを引いての買い物など大変そうです。
国分	女性	50 代	道路に水がたまることがあるので大雨の日はびしょびしょになります。自転車に乗る人のレーン造りはしないのですか？どこも道が狭いから難しいとは思いますが。バスは乗り換えるのがめんどくさい。わかりにくい、時間できちんと来ないから乗りつぎで時間がかかる！
太宰府	女性	50 代	太宰府駅前のおしゃれな舗道タイルは割れまくっている。コーティングしたらいいのに。五条駅前、駅裏どちらも道路・歩道が狭い。
国分	女性	50 代	道路は段々とキレイにしてもらえて助かる。
水城	男性	40 代	梅大路付近の道路状況の改善。交差点付近の歩道の整備（ガードレール）。3 号線バイパス舗装改善。
国分	男性	40 代	国分地区の主要道脇の生活道が通勤時や渋滞時に坂道になっており、かなりのスピードでせまい道を走りぬける車が多いので、構造的にスピードが出せない道路へと工事してもらいたい。小学生の通学時など恐怖を感じる。
太宰府西	男性	50 代	近くの外灯が LED 照明になって明るくなってすごくいいです。
水城	女性	70 代以上	道路整備。子どもが安全に暮らせる街。
太宰府東	男性	50 代	交通については、西鉄へのアクセスは便利ですが JR へのアクセスを改善していただきたい。まほろば号は観光客への投資と考え、料金は現状のままで JR 二日市や二日市温泉への乗り入れや西鉄とのフリーバスの発売などの活性化策を期待する。
国分	女性	40 代	まほろば号の日曜日の最終の時間が早過ぎる。平日も 22 時くらいまでにしてほしい。
水城西	男性	70 代以上	交通の充実、JR 都府楼南駅の整備。階段を長く登ったり降りたりが大変な為、年寄りの乗客が少なく、駅内の整理、整備をもう少ししないと歴史文化、観光の価値が全くない。バス路線を筑紫野市、太宰府市、大野城市一体化しなければ不便である。
太宰府東	男性	70 代以上	太宰府天満宮の交通影響対策。
わからない	女性	40 代	太宰府くらの田舎で渋滞はナンセンス！お金をかけずに渋滞を解消して下さい。例えば 65 号高雄交差点グッデイ前の車方向、右折車を道幅右側へ誘導する工夫でお金をかけずに渋滞解消できる。たとえば 112 号、J ポウル前、筑紫公証役場前、細い道を北から南に一方通行にすれば、右折車はその先からしか右折できないため、道幅が十分あり、直進車が通過できお金をかけずに渋滞解消、他にもたくさんアイデアを募集すればいい。
わからない	女性	60 代	内山入口の信号機ですが歩行者の押しボタン専用になっていて 578 号線から出て行く時、とても危険な場面を何度も見ました。時期によっては渋滞の原因にもなっていると思います。なので車にも対応する信号に変えてもらいたいと思います。宜しくお願いします。是非是非！
太宰府	男性	70 代以上	図書館前の川辺に柵に造ってほしい。学童の通学路に使えるようにして下さい。どんかん道路は交通量が大変多いので登下校が危ないです。朝夕の散歩に利用される方も多いので検討して下さい。
水城	男性	70 代以上	地元に着した市政をして欲しいし、観光客の増員の為、市の交通便が悪くならない様考えて頂きたいと思います。
国分	女性	70 代以上	住宅開発等は、ある程度土地が集まって道路等考え、市が主導して欲しい。行き当たりぱったりの計画ではなく、将来に向けたしっかりした都市計画をして欲しい。個々の家についても、建築基準をしっかりとチェックすべきだと思います。太宰府は道路環境が悪いと思います。
国分	男性	60 代	まず道路整備（特に歩道）大野城市から太宰府市に入ると極端に歩道が悪路となる。バス路線。水城地区に住んでいるのに下大利駅または白木原駅行きのバスがない。都府楼行きでは利用価値がない。20 年以上住んでいるが自宅前の道路が整備されたことがない。
太宰府西	男性	30 代	隣接市（大野城市、春日市）と比べ道路、上下水道整備が遅れていると感じます。
国分	女性	50 代	大野城市とも連携を取って 112 号線を走るバスがあれば良いのと思います。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 23 交通環境の向上 つづき】			
太宰府	女性	50 代	まほろば号…市内を回ることだけ考えられていてどこに行きたいの？市内に行きたいところがないのに、都府楼前駅って！利用者の利便性が欠けている。他市と連携して、二日市駅につなげたり済生会病院・福大筑紫病院・イオンなどに繋げるとか市内片道 250 円タクシーとか。取り組みが大変すぎてできないと思うので、今のままで税金の無駄遣いしないで税金下げて。
太宰府南	男性	70 代以上	比較的に住みやすい街だと思います。ただ、もう少し道路の整備とか雑草などの処理、住んでいない家屋の対策は遅れていると思います！
太宰府東	男性	70 代以上	青山通りの交通安全。車も自転車も歩行者も危険な道路です。
太宰府	女性	70 代以上	福岡市は高齢者には年収に応じて交通費が年間 8,000 円～12,000 円支給されていると聞く。せめてコミュニティバスくらい無料にしてほしい。
太宰府	男性	60 代	歴史と文化の環境税は全ての駐車場で徴収されているのですか。特別徴収義務者は適切に市に納入されているのですか。
水城西	男性	60 代	JR 線の踏み切りが狭くて危険なところがあるところがあるので、拡幅等の整備を更に進めて安全性を高めてほしい。
水城西	女性	50 代	街灯がないところがあるので減らしてってください。
太宰府	男性	60 代	電灯を増やしてほしい。特に通学路、裏道等。
太宰府南	男性	70 代以上	問 55・57・58 について、同じく税金を収めているのにコミュニティバスを利用している人は 100 円で路線バスを利用している人は五条駅まで 200 円かかるのは不公平である。特に高齢化になって免許証を返上した場合は、大問題だと思われる。
太宰府	男性	70 代以上	問 57 の改善を！
太宰府南	男性	60 代	道路整備にもっと力を入れて取り組んでもらいたい。通学路・歩道・車道の整備白線（消えかかっているところ）・水道・ガス工事のあとの凸凹状態・天満宮駐車場への直通バイパス道の整備、新設。
太宰府西	女性	60 代	道路のひび割れが気になります。
水城	女性	60 代	都府楼前駅から半田橋に行く歩道のつつじは、歩道側が広がるようにもう少し刈り込んでいただきたい。人と人がすれ違うとき、せまくて車道に降りて歩く人が多いので都府楼調剤薬局の前のつつじは、もう少し低くしていただきたい。川沿いの道から車で出ようとすると、石からの車が見えづらいので川沿いには犬のふんや、ごみのポイ捨てが多くそのままになっているのが残念です。
国分	女性	10・20 代	毎日国分寺周辺をウォーキングしている者です。市内散策の回遊道路として以前うす茶色の歩道になったところは、雨の日にすべりやすくなり少々怖い思いをしています。砂を混ぜるとかスリッパしないようにしてもらえませんか。
水城西	女性	10・20 代	雑草が伸び切った道路脇が目立つ。
国分	女性	50 代	参道の脇道にある（太宰府館付近）無意味な柵、人や車が通るのに凄く邪魔。転んで怪我をした方も知っている。撤去できないものか。
太宰府西	男性	50 代	自転車専用レーンを設けて欲しいです。自転車は近距離移動に便利で健康にもよく渋滞や環境にも効果的な移動手段で、市内の文化財施設を巡るのにも便利です。市内の駅は市内のどこからでもちょうどよい距離感だと思います。自転車を安全・安心に乗れるよう、自転車に配慮した道路にしてほしいです。
国分	男性	70 代以上	新興住宅街で街灯が整備されていない。
国分	女性	50 代	西鉄都府楼前駅の高架下にキッチンカーが停まれるスペースの整備をしてほしいです。
水城西	男性	10・20 代	年配の方、小学生への交通マナー教室などを開いて欲しい。道路の真ん中を歩いたり、自転車で走行しているのをよく見かけるのですがとても危険だと思う。カーブミラーが意味をなしていない所が何ヶ所もある。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 24 防災力の強化:5 件】			
太宰府南	男性	70 代以上	自然災害などの多発は、今や 50 年に 1 回とか 100 年に 1 度の予知し得ない災害であったなどと逃げ口上が許される状況ではない。それにもかかわらず当アンケートはほとんどそのことにふれていないようです。不思議です。例えば「まちづくり」をうたうならば景観についての観点からの質問はありましたが緊急時にこの景観は安全なのでしょう。具体的に挙げますと、空に張り巡らされそれを支える電信電線と電柱。一揺れで倒れるとは考えられませんが、もし切断倒壊するようなことがあればたちまち逃げれることは出来ないと思います。景観からも安全上からも「地下埋設」を考えてはいかがでしょうか。
太宰府	女性	60 代	災害時避難所で気になったこと（避難体験したわけではありません。ペットもいませんが）。ペット避難所が松川体育館であることにどなたも？を感じられないのでしょうか。風水害時等から避難するような状況下、松川までどのようにして行けば良いのでしょうか。ペット可が 1 か所のみであることはしかたないこととして、であるなら出来るだけ市内各方面から利用しやすい場所を設定すべきではないでしょうか。「太宰府市はペット可の避難所もあります」という対外的に形だけのよう感じます。松川に行くまでに被災しそうです。
太宰府	女性	60 代	長い目で高齢者世帯（70 才以上）にパルスオキシメーターを無償で配布又は購入の際、半額市負担を考えてほしい。 プライバシーを守る為に一世帯ごとにパーテーションの様な物を準備してほしい（とびうめアリーナ）。
国分	女性	70 代以上	水城ヶ丘団地の砂防ダム内の雑木を整備（伐採）してほしい。穴がふさがれていて水が流れない時がある（梅雨時の大雨の時）。災害につながる恐れがあります。
太宰府南	男性	70 代以上	自然災害時に対する事前対策はまだ駄目だと思います。
【施策 25 市街地の活性化:37 件】			
国分	男性	60 代	大型ショッピングセンターの誘致。飲食店を増やす。
水城	女性	70 代以上	商店が少なく買い物に不便。街の魅力がない。
太宰府東	女性	50 代	スーパーが閉鎖し、買い物が不便。
太宰府	女性	70 代以上	太宰府は史跡も多く緑豊かで、多くの方が観光に来られる魅力あるところであると思いますが、実際生活している市民にとって不便な点があります。それは、日々の買物において少しこだわった商品や特別な日の贈り物等、本市では揃わない事。スーパーは 1 軒閉店し、飲食店も次々に閉店したままになっています。元気な活気あふれる太宰府になり若い子育て中の家庭が増える事を願っています。
太宰府東	男性	40 代	生まれた頃から太宰府市在住だが、昭和／平成の境をピークに特に西鉄五条駅前の活気が年々失われている。近年では、いきいき情報センター内にあったマミーズの閉店で駅前の人の流れも減少し、駅前周辺のお店もコロナ禍の影響もあるだろうが閉店が見られ、益々活気を失っている。五条駅前の閑散とした雰囲気はお隣、筑紫野市の中央通り商店街が廃れていった様子に似ている。これで学生も減ったら同じく元の活気溢れた駅には戻らない。まずは空きスペースのままのマミーズの代わりになる商業施設の誘致を急いでもらいたい。
太宰府	無回答	60 代	太宰府は好きな街です。ですが、、、宿泊施設、飲食施設を増やしてほしい（太宰府の参道以外の所に）。特産品も増やせばもっとにぎやかになるのでは、、、と思っています。
太宰府東	男性	70 代以上	地元の人が、食事に行く所が無い（少ない）。駐車場を持った店が少ない。昼飯を仲間と家族と食べに行く所が無い。
太宰府	女性	10・20 代	太宰府天満宮の参道以外にも飲食店を増やしてほしい。
太宰府東	女性	70 代以上	当地区は後期高齢者がほとんどの為に体が不自由な人が多いので毎日買い物に不自由しています。業者を委託して週一程度訪問配達が出来るように手配してほしい。
太宰府東	女性	10・20 代	マミーズの閉店で買い物困難者が増え、賑わいもなくなり周辺団地も高齢者も買い物に不便で地域の衰退になっています。五条地区の再開発の基盤整理を是非お願いいたします。
水城	女性	60 代	銀行、買いものが不便。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 25 市街地の活性化 つづき】			
太宰府南	女性	50 代	周辺に高齢者が多く住んでいるが、近くのスーパーや商店が次々と閉店し、足もなく、オンラインでの買い物もできず、買い物難民が多いと感じる。対策を検討してほしいと思います。
太宰府西	男性	60 代	天満宮への観光で、たくさんの人が太宰府に来られるのに買物は参道の方に偏っています。太宰府は自然も多く良い所です。道の駅などの大型産直市場があればもっと活気づくし、収入も見込めます。市民である私達も知人、親類宅への手土産や宅配を使う場合、こういう店があると買いやすく助かります（参道で買いたいと思う時もあるのですが、駐車場代もかかり、混んでいる時期は、たどり着くのが大変です）。
太宰府東	男性	70 代以上	五条周辺のスーパー進出（いきいきセンター1F 全フロア使って）。
太宰府東	男性	50 代	とにかく不便です。大きなショッピングセンターも病院ありません。働く場所がありません。
水城	女性	50 代	都府楼前駅周辺にスーパーがないので買い物が不便だと思います。
太宰府西	女性	40 代	長年住まわせてもらっている所以他市と比べることもなく、全てが当たり前です。きっと住みやすく好きなので出ることなく住みついているんだと思います。最近、地域の高齢化で活気がなくなってきたところ、ちびっ子の声が増えてきたように思います。昔、小さな商店がちよこちょこっとあってワザワザ車にのって買い物に行かずともよかったのですが…さびれかけた流れでしょうか。店がない！クリーニング屋さんなんて20年の中で3つ消えました。配達もあるし、なんとかかなるといえるのですが、ご高齢の方はそういったサービスも苦手だったりして…買い物難民も多いのではないかと考えています。車がないと生活が厳しい市になっていっていると思います。車の運転免許を返納するのをためらわなくていいようになるといいなあ…と自分の親を見ていても思います。 コロナ禍で大変な毎日ですが皆様もくれぐれもお気を付け下さいね。 太宰府 LOVE!
太宰府東	男性	70 代以上	山手の開発（用地確保）。
国分	男性	40 代	市内で買い物が出来る場所を増やす。
太宰府	男性	50 代	JR 太宰府駅の話が昔あったが今一度、市長にチャレンジしてもらいたい。あの周辺の街や空き地、畑を地域財産としてまとめてもらいたい。小さな改善もよいが、誰一人まとめられなかった（まとめる意欲もなかった）ことを市長実績として成果を作してほしい。市議も「〇〇はどうなっているのか」「〇〇を問う」のも良いが、もう一歩進み「根拠をもって〇〇したらよい」との提言や、先述の JR 太宰府駅周辺の開発にも貢献いただきたい。いきいき情報センター（五条駅降）の再活性化、JR 太宰府駅や市民がわくわくする市政方針を示してもらいたい。期待しております。
わからない	女性	40 代	住みはじめて本屋さんが少ないことがとても残念だった。
太宰府西	女性	70 代以上	五条駅、都府楼前駅の広場整備。
太宰府西	女性	40 代	JR の新しい駅（水城の横）をつくってほしい。
国分	女性	10・20 代	太宰府に大型スーパーを開業して欲しい。天満宮、五条あたりは利便性があるが、その他の地区は利便性が乏しい。都府楼駅の廻りあたりを、もっと利便性よくして欲しい。大型スーパーが欲しい。自家用車が必要な生活手段は将来が不安。
太宰府	男性	70 代以上	太宰府の未来まちづくり構想 税収の拡大確保として大規模投資まちづくりと交通の W 玄関開発 （案）1. 西鉄二日市北エリアの大規模開発太宰府東エリアの玄関交通アクセスの改善と人口増加。 （案）2. 都府楼駅の北方への移設。太宰府北、南エリアの玄関口へ集約大規模、集合住宅の誘致（向佐野エリア）IT 企業等の誘致の為環境づくり。
太宰府東	女性	50 代	西鉄五条駅周辺→交通の便が悪い。渋滞酷い。大きな商業施設が無くてつまらない。美味しいうどん屋さんが無い。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 25 市街地の活性化 つづき】			
国分	男性	70 代以上	周辺の市町村に比べて文化施設（図書館体育館研修施設等）が分散していて非常に利用しづらい。財政等の問題が大きいことは理解できるが、これからの市民生活を考えると文化施設や運動施設をある程度集約していくまちづくりに取り組んでいく必要を感じます。個人的には他の市の文化施設を利用せざるを得ない現状があり市の発展をさまたげ人口増につながらないと思う。現在のとびうめアリーナ付近を中心に今後の公共施設の再検討を図ったらどうでしょうか。将来的に JR の太宰府駅の新設も考慮して！！（西鉄は下大利、JR は大野城の各駅を利用せざるを得ないのが現状）
太宰府	男性	70 代以上	病院が遠い。いきいき情報センターに一刻も早く「スーパー」出店希望。太宰府駅近郊に「スーパー」設置希望。
太宰府東	男性	60 代	太宰府にも道の駅のような物があればと思います。
水城	女性	70 代以上	道の駅をつくる。
国分	男性	70 代以上	太宰府市と大野城市の境界付近が水城地区ですが、15 年前に大野城市大城地区は民間（大手ゼネコン他）にマスタープランとなる道路計画やそれに伴う宅地開発の建設を依頼しました。10 年計画で建設を行ない、出来た箇所を大野城市が検査を行ない、合格すれば建設資金を支払う方式でした。そのお陰で大城地区は、都市化に成功し、商業施設で盛えています。この地区に近い太宰府水城ヶ丘～水城台地区民は誰もが買物等にお世話になっています。以上の様に太宰府市政では大野城市の様に積極性は無く、ある時には※ドーナツ現象とまで言われてました（※ドーナツ現象 福岡都市圏のベッドタウン地域は太宰府市を通り越えて筑紫野市や鳥栖市となった。）。大規模開発を行なうには、文化財調査への補助金制度等で協力すれば新規顧客も現れるのではないですか？
太宰府東	女性	30 代	西鉄二日市駅東口に大規模な駐車場を整備してもらいたい（車だけでなく駐輪場も）。西鉄提携の駐車場はいつもほぼ満車で大変不便（一方、JR 二日市駅は常に駐車場が空いているため利用しやすい）。働く世代の若者が太宰府市をベッドタウンとしての利便性を認識して転入してくるためには、公共交通機関へのアクセスのしやすさは重要。西鉄バスやまほろば号の現在のバスの利用者が多くないのは利便性が高くないために、そもそもあてにしていなくて利便性が向上すれば利用者も増える可能性があるのではないかと思います。
水城西	男性	70 代以上	吉松区が、市で一番区画整理が遅れています。大野城市、福岡に隣接している訳ですから早く整備して下さい。
太宰府南	女性	60 代	買物や病院は筑紫野市を利用しているが、太宰府市内で利用したい。
国分	男性	70 代以上	私が住む居住区では、多くの宅地造成が進んでおります。平行しインフラ整備は進んでおりますか？
水城	女性	70 代以上	最近里山の樹木が伐採され、住宅地の造成が目立っています。私の住んでいる近くだけでも 3 ヶ所あります。自然の保全や治水の面から考えてもこれ以上の自然破壊は止めて欲しいものです。
水城	男性	30 代	太宰府市には若い人向けの娯楽施設が少ないですね。
【施策 26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し:30 件】			
国分	女性	50 代	「いきいき情報センター」に行く機会も多いのですが出入り口があまりにも不便だと思います。駐車場からのアクセスも迷路の様でいつも悩みます。プラムカルコアのホールが古いので、日田市のパトリアホールの様な大中小と市民の使いやすいホールを作ってほしいです。絶対に文化活性につながります。
国分	女性	50 代	とびうめアリーナの年間維持費を考慮すると、必要な建物なのか疑問です。今後、大きな建物を造る際は慎重に検討してほしいと考えています。
水城西	男性	70 代以上	県の保健環境事務所がみやま市に移転する。その跡地を譲渡してもらい、アリーナ施設と一体的に整備してほしい。例えば、いきいき情報センターのような学びの施設があってもよいのでは。現在は、拠点が市役所付近に集中している。アリーナの有効活用。昼間に高齢者中心を対象にした学びの場などの充実が必要。現在は、施設の活用が悪い。活用されていない時間が多い。
太宰府	女性	40 代	公園の整備を切に願います。
太宰府	女性	70 代以上	団地内で子ども達が楽しくのびのびと遊べる広場なり、公園があったらと思う。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し つづき】			
わからない	男性	70 代以上	図書館をよく利用しますが新刊が少ない。予算がほかの市に比べて少ないのではないかな。
太宰府東	男性	40 代	いきいき情報センター1 階空きスペースの貸し出し。※太宰府の史跡や自然の景観を損なわないルールを作り、民間企業を誘致すれば、太宰府ブランドが高まっていくと思う。
太宰府西	女性	70 代以上	図書館の充実化。情報センターの充実化（図書館を移設する etc）。教育センターの改修。他市に負けない公共施設（ホール etc、古くて改修を望む）。
太宰府西	女性	40 代	とびうめアリーナ、大野城市のようにコミュニティセンターの要素を入れて欲しい。市役所にわざわざ行くのが面倒だし本を返す場所も欲しい。
太宰府西	女性	60 代	「公共総合施設館（仮称）」を市内の地理的中心地あたりの例えば都府楼前駅付近につくって下さい。「ルミナス」「いきいき情報センター」「文化ふれあい館」「ブルム・カルコア太宰府」等を一体化させた様な建物をお願いします。昨年に「文化ふれあい館」に筑紫美術協会展を観に行きましたが、せっかくの展示が毎年あっていても、アクセスが悪かったりしてほとんど人が来られていませんでした。わたし自身も文化ふれあい館には今まで2 度しか行っていません。芸術作品は、人に観ていただいて完成と習いました。本当にいい事だと思います。他の所にもアクセスが悪かったり、CM が届きにくかったりしてほとんど行っていません。ぜひ市の中心部あたりに、集中させて展示や、その他の催しができる様な建物ををお願いします。広大な土地の確保や、道路の整備、交通整理等考えると大変な費用もかかるでしょうが、このような案がある事も今後一考としてお願いします。
水城	男性	70 代以上	公共施設について（文化施設含む）豊かな文化と言われますが、他市に比べて公共施設が少ないと思います。情報センターがワクチン接種会場に使用され、主たる施設はブルムカルコア太宰府だけです（公民館等は人数制限や使途的に利用しづらい面あり）。将来に向け、せめてもう一施設つくって頂きたいと強く希望致します。
水城西	女性	50 代	図書館の整備を是非してほしい。学問の神様と言われている道真公ゆかりの地として学問の入り口ともなる読書をすすめる場として立派な図書館を造ることで観光客も呼び込むことが可能ではないかと思ひます。武雄市の図書館の様なものを造ってほしいです。
太宰府東	男性	70 代以上	いきいき情報センター1 階の有効活用。現在、いきいき情報センターの1 階は一部利用されていますが、空いている部分もあり市民が使えるようにならないか。曜日によっては、2F の会議室の数では不足しているように感じる。また、ワクチン接種会場として使えば2 階の利用ができると思う。
太宰府西	男性	70 代以上	いきいき情報センターをきれいにしたい。市民の活動拠点として人が集まる場所としては少し整備が不十分だと思います。
太宰府西	男性	60 代	公共施設（いきいき情報センター等）での授乳室の設置。
太宰府西	男性	30 代	とびうめアリーナ1 つ造るよりコミュニティセンターを複数造ってほしかった。施設を利用したくても、予約出来ても、支払いに行くのが面倒で個人利用しづらい。
太宰府	無回答	70 代以上	高齢者用に体を動かせる施設があれば良いと思う。公民館以外で交通が駅かバス停の近くに！
国分	女性	40 代	今ある施設を（特に公民館）一旦今ある役割でなくゼロベースで考えて、市民のためにどう役立てるといいかを考える必要があると思います。固定概念でやると、施設をいくらつくっても足りないと思います。あと、施設だけでなく、有名か無名かに限らず、もっと今ある人財や歴史財を活かすことに目を向けるといいと感じます。
太宰府	男性	70 代以上	いきいき情報センターで現在、コロナ注射を実施中。別な場所でやって欲しい（新聞が読みたい。学習がしたい）。
太宰府西	男性	50 代	図書館の本を充実させて欲しい。建物が古くてがっかりする。トイレの流す音やペーパーの巻きとり音がはっきり聞こえてびっくりしました。
太宰府西	男性	30 代	とびうめアリーナのサテライト市役所機能を拡充し、南ヶ丘コミュニティへ流出している太宰府市民の取り込みにも期待します。
太宰府東	男性	70 代以上	太宰府文化ふれあい館は多くの市民、特に子供たちが利用している。かつ市の埋蔵品も収納保管されているが、私設エリアが禁煙になっていない。子供たちへの受動喫煙対策、防災対策を含めてエリア内全面禁煙にすべき。
水城西	女性	10・20 代	公園が多くあるのはありがたいけど、駐車場が無いところが多いのでなかなか行けない。コインパーキングなどを近くに造るなどしてほしい。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 26 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し つづき】			
太宰府	男性	30 代	梅林アスレチックスポーツ公園などにキャンプ場を併設するとかどうでしょう。
水城西	男性	40 代	自然を活用した公園、キャンプ場などの施設を充実させて欲しい。
太宰府東	女性	60 代	公園のトイレ等高齢者や障がい者には使いにくいと思う。
太宰府東	女性	30 代	近隣公園のトイレが汚すぎて使用できない。一方、高雄公園はいつもキレイなこの差は何ですか？
太宰府南	女性	30 代	小学生、中学生の子どもたちが”思い切り体を動かせる場所”があまりにも少なすぎると思います。このコロナ禍の中、子どもたちは私たち大人が感じている以上の制限を理解しようと努め、実行しながら生活している現状です。マスク必須の日常、音楽の授業の中止、社会科見学断念、運動会短縮、、、挙げればキリがありません。これらの環境が子どもの心と身体にどんな影響を与え、どう作用していくのか想像するだけで不安でいっぱいです。それなのに、子どもたちには思い切りあそべる場所が太宰府市には少なすぎます（特に南小校区）。南小校区で唯一広いと思われる高雄公園もキャッチボールをするだけで注意”早く帰ればいいのに”と高齢者の方に捨てゼリフを言われる次第です。自転車の補助を外す練習をしても、ここで自転車に乗るなど注意をされます。高齢者のウォーキングのみが優先されている公園の現状。どうかもう一度良くご考慮して頂けると幸いです。
太宰府東	男性	60 代	私は、10 才の孫と梅林公園へよく遊びに行きます。孫は、駐車場から木のつり橋を渡って、大きな滑り台を滑り、山の上のローラー滑り台で遊ぶのを楽しみにしていました。しかし、ここ数年、人気のあったローラー滑り台が無くなり、木のつり橋も老朽化で通れなくなり、公園としての魅力が半減しているように思います。私としては、人が造った建物や遊具にしてもメンテナンスをしっかりと行なえば、安全性や資産価値は減らないと思っています。是非、ローラー滑り台の復活と木のつり橋の修復をお願い致します。
水城	女性	30 代	公園の充実(草が生え遊べないことがあります)。
【施策 27 諸団体の強化、再編、補助金等改革:1 件】			
水城	男性	70 代以上	各団体への交付金の見直し等を計る（見える化、財政の見直し）。
【施策 28 地域コミュニティの強化、再編:9 件】			
太宰府西	女性	60 代	ひとつひとつの自治会がしっかり手を結び互いを尊重し連携が取れていることが大事だと思います。
太宰府東	男性	70 代以上	自治会長の手当を全額自治会費から出している。市の業務の代行をしているのだから、市も負担すべきである。800 世帯あって、年間 36 万円では、おかしいです。
水城西	男性	60 代	隣組長を一年していますが、緊急連絡網を提示できず困っています。住民の意思を確認すると個人情報だから配布禁止と言われ、公民館では各隣組の責任でと言われます。どうすべきかは市役所で判断指示徹底すべきでは？
太宰府	女性	60 代	公民館に関して市役所に問い合わせても管轄外のように公民館は不在で・・・公民館はどのように運営・利用されているのか。
太宰府	男性	40 代	自治会のあり方を見直してほしいです。自治会役員の負担が大きく引き受ける人も少ないです。夏祭り、敬老会、運動会などの行事より、美化・防災に特化した活動にシフトした方が良いと思います。婦人会や子供会も前時代的と感じます。ネットや SNS を使った自治会情報掲示板など、もう少し情報共有のやり方を考えてほしいです。幅広い世代がいる中で、自治会単位で改革するのは難しい部分もあると思うので、市が旗振りをして、無駄を省いた活動・時代に合ったデジタル化を推進してほしいです。
国分	男性	40 代	町内会・子供会の入会を任意にする。
太宰府	無回答	70 代以上	公民館が古いので災害時対応できないと思う。対応できる施設にして欲しい。
太宰府南	男性	50 代	子ども達の居場所をつくる。コロナが落ち着いたらもっと、子ども達が集まれるように公民館を活用できればと思う。
国分	女性	無回答	自治会に加入していない人がいるが、強制力がないので加入を強制させられないと言うが、自由参加で今後自治会を維持できるのか？市の条例で加入を定めるくらいの検討を行えないのなら将来的に自治会のない姿も構想していかなければいつか自治会のシステムそのものが行き詰まるのではないのか？（不公平感から、自治会の退会を検討中）

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 29 ごみの削減を始めとする環境負荷低減:18 件】			
水城	女性	70 代以上	ごみの分別について、他県よりこちらに転居。分別が楽ですが、まだ見直す必要あると思う。なれるまでは大変ですが、生ゴミが少なくなりますよ。
水城	女性	40 代	以前は、紙のリサイクルのための回収ボックスがあったのに無くなったのが残念。また復活すると良いと思う。
太宰府	女性	50 代	ベットの排せつ物が残ったり自宅前にされる。道路にゴミ捨て多い。
太宰府東	女性	60 代	ゴミの出し方でプラスチックゴミを分別して出しリサイクルしてほしい。我が家で一番多いのがプラスチックゴミであり家庭内での分別は可能です。
水城	女性	70 代以上	太宰府市では、数年前からプラスチックごみの収集を止められましたが、SDGs が叫ばれている今日もっと積極的に取り組んでいただきたいです。
わからない	女性	50 代	プラゴミの分別は再開されないのでしょうか。
太宰府	男性	60 代	犬のフンを片付けない人が多い。せつかくの川沿いの道が「うんこ道路」になっている。どうにかしてほしい。
国分	女性	50 代	ゴミ捨ての件で近所の方がいつも下水道にたばこの吸い殻を捨てているので 1 回注意してほしい！罰金制度を設けてほしい。
太宰府	女性	50 代	食品包装のプラ回収をやめてしまったのが残念。可燃ゴミに出すのが罪悪感。牛乳パックも少し遠いスーパーの回収 Box へ持って行っている。不便。SDGs をもっと意識して欲しい。観光地にゴミが落ちている。カラスも多い。街角の落書を発見したらすぐ消して欲しい。
水城	男性	40 代	ゴミ分別表の更なる細分化をお願いします！
水城	女性	70 代以上	公園の木を虫が発生するからと住民からの要望で切ったりしないでほしい。太宰府は夏は気温が高くなるので温暖化防止の為にも緑はふやしてほしい。プラスチック類の回収もやってもらいたい。ゴミの量も減らせるし、限りある資源を大切に。生ゴミを減らす為に庭で処理していますが「ボカシ」をもっと安く購入できるように。
わからない	男性	50 代	五条 1 丁目の水路にゴミを置いている業者がある。空家から駐車場に変わった所を貸りている業車がある（霊柩車が置いてある）。そこが壁の向こう側（水路側）にゴミを置いていくので、何とかしてほしい（ホイール等）。市役所に相談しようと思ったが調べてもどこに相談していいかわからなかった。市役所から注意してもらいたいです。雨期は危ないと思います。
太宰府西	男性	50 代	住宅街での薪ストーブ、野焼きを規制して下さい。個人の趣味で煤煙を吸わせられる近隣住民は我慢し続けるしかない。直接言ってもやめない、換気も出来ない。一方的過ぎてお互い様のレベルを超えており、この 10 年泣き寝入り状態。引越するか、死ぬまで続くと考えると精神的に堪える。助けて欲しい。
国分	女性	無回答	家が山側のため、カラスや猫がゴミをあさりゴミ回収日の後でゴミが散乱する時がある。市役所にネットなどで対策してよいか問い合わせたら業者との取り決めで出来ないと言われたが（業者が散らかったゴミも回収するルールになっている）実際、ゴミの散乱は毎回の様に発生している。ネットが出来ないルールより、山あいの地域はネットなどで対策する様なルールにして欲しい。
水城西	男性	60 代	ネコのフンについて。この地域では野良ネコが歩き回っている。敷地内に入り、フンをしていく。動物愛護か何か知らないが、こちらが被害者なのは間違いない。市として、野良ネコの対策をしっかりとってほしい。
太宰府南	女性	30 代	家の庭に毎日猫が（首輪あり）フンをしていきます。自治会のおたよりに「飼い猫の放し飼いはやめましょう」と何度かは載っていましたが、改善はされていません。
わからない	女性	40 代	犬の「ふん」何とかありませんか。
太宰府南	男性	40 代	野良猫をどうにかしていただきたい。家の敷地内に産んでいた事があり、対策をしますが、野良猫も生きる為に必死なのでしょうが…計 3 回ありました。猫の尿や糞も臭くて困ってますが、子猫の頭だけかじってある死骸があった時は、ほんとにどうにかしてほしいと思いました。発情期には早朝、夜中関係なしに鳴きまくるので、うるさくて眠れません。何か対策をお願いします。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 30 ICTの活用推進、働き方改革:12 件】			
太宰府東	女性	60 代	太宰府市の LINE に加入しているが使い道や情報の取り方がわかりづらい。
水城西	男性	40 代	LINE で太宰府市とお友達です。私の太宰府市の情報は LINE からの「市長の日記」や「陽性者情報」が主になってます。そこで市長、がんばってるなぁと思うこともあります。できればその情報に【今月の太宰府市イベント情報】【今月の太宰府市で使えるクーポン】【今、こんな施設考えてます】【明日は燃えるゴミを捨てる日です】【今週の太宰府市知識一問一答】【市役所でお仕事体験始めます】などなど「太宰府市と LINE 連携するとおもいろいなー便利だなー」と連携することで楽しみを持たせ、それがゆくゆく太宰府若人に広がり、市の活性化にならないだろうかと常々考えていたのので、ここで意見させていただきました。
水城西	男性	60 代	情報のデータベース化と情報端末を使った効率化。
太宰府	女性	60 代	ハザードマップやべんり帳のような冊子は有難く思います。更新されていることも嬉しく思います。高齢者の多い太宰府、当分はデジタル化だけでなくアナログ（活字等）情報発信も続けていただきたい。
太宰府西	女性	30 代	SDGs を推進していく中で広報誌の「だざいふ」は紙での発行を希望者のみ有料で届けるようにした方がいいと思います。今後の市政に期待してます！
国分	男性	30 代	太宰府市の Twitter も見えています。SNS の活用にさらに期待してます。
太宰府西	男性	50 代	デジタル化（DX ではなくその前段階の）は、太宰府に限らず、行政が一番遅れているので先行して取り組んでほしい。（特に単身赴任者には往生することが多い）。
太宰府南	男性	70 代以上	納税のキャッシュレス化及び文書の削減を考えてほしい。「市政だより」が豪華で紙面を省略化し紙感も落とし軽費削減を図ってほしい（福岡市を模倣）。
国分	男性	60 代	太宰府市行政業務改革とデジタル化 改革例：転出転居手続き時の関連課（水道課等）への転出連絡は受付窓口で処理完結！住民票・印鑑証明などの受付発行業務のデジタル化、タブレット又は上記手続き用画面を用意し受付完了させる。
太宰府東	男性	70 代以上	公衆 WiFi の利活用推進。「ICT の活用」を謳われているが、いきいき情報センターやその他主要施設の室内では公衆 WiFi の電波が弱く一部しか使えない。室内で公衆 WiFi を使えるよう業者に交渉できないか。市内の大学では、室内で公衆 WiFi が使えると聞いている。
太宰府西	男性	70 代以上	メディアをもっと有効に利用する。
水城	男性	40 代	キャッシュレス普及（公共料金特に水道。夜間動く人や若年層には助かる）。
【施策 31 持続可能なまちへの取組:27 件】			
太宰府西	女性	70 代以上	高齢者のみならず市民が安全に安心して生活できる「まちづくり」とは、パフォーマンスだけでは駄目ではないでしょうか、例えば地域の行事についてもいつも疑問に思います。市民が安心して生活できる「まちづくり」よろしくお願いします。※太宰府に暮らしてよかった！と思える”まちづくり”の実現を願って元気で居たいと思います。
太宰府東	男性	40 代	「太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を見たが、やりたいことを全て羅列しているだけで何を優先的に進めたいかわからない。優先順位を示した方がいいと思った。高齢化社会に向かっていることから、若い世代が住みたいまちづくり、民間企業と連携した観光業などを推進して、税収を増やすことが優先であると思う。税収を増やさなければ、長生き時代の福祉は充実できない（私自身は長生きせず、健康で出来るだけ納税できる老後でありたい。長生きしても寝たきりであれば、楽しくないし自分の子どもに迷惑がかかるから）。
水城	男性	60 代	高齢化率が 30%程度の太宰府市にとって高齢者に対して、どのような行動を起こされているのですか。市内にはまだまだマンションが増える傾向にあり、当然人口も増加傾向です。といえは若い方や子どもの割合も増えます。結果、高齢化率は下がるかも知れませんが、高齢者人口が減少するわけではありません。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 31 持続可能なまちへの取組 つづき】			
太宰府西	男性	70 代以上	私は昭和 52 年に太宰府に住み始めたが、その頃に比べれば人口は増加したが、街づくりに対する情熱は減少した様に思います。行政は事なかれ、住民は声を発せられない諦めの気持ち。もうそろそろ若い人達の声の吸い上げる仕組みを市のトップが本気で構築してもらいたい。
水城	男性	70 代以上	新しい人口増に市政を明確に示す。
太宰府南	男性	70 代以上	太宰府は日本のどこにもない新しいシステムづくりを開始してほしいです。
太宰府	女性	70 代以上	70 才過ぎても、まだ現役で仕事をしているので、自治会活動やボランティア活動に参加する機会はないのですが、改めてアンケートに記入しながら、自分の住んでいる街を見なおしてみると、いろんな事が見えてきました。自宅廻りの景観や道路状況、太宰府という観光地でありながら交通の不便さ、一歩なかに入ると空家が目立ったり、雑草がおおい繁ったり、防災、防犯等の面で不安になったりもします。高齢者にとっても、子ども達にとっても安全で安心できる住みよい街づくりに多いに期待しています。
国分	女性	40 代	目標に対する満足度をはかる基準を明確に具体化すると、官と市民の共通理解や認識がはかれ、具現すると思います。具現化にあたり、今回のような市民調査をする姿勢は素晴らしいと感じました。ただ、データを取るだけでなく、市民の今回のどういう意見をこう活かしたという具体的な実行と変化、その報告を広く知ってもらうことを大事にしてほしいです。調査に参加した側として、こう変わって意見が反映されたりすると甲斐があり、市政へ意識が向くと感じます。
国分	女性	40 代	施策を充実させるために、すべての施策を網羅した上で項目の優先順位を明確にし、全て官から市民に案をおろすのではなく、SNS なども活用して双方向のコミュニケーションをとると、市民レベルでもっと面白いアイディアや具体策が出てくると思います。よく地方自治体がやっている、ゆるキャラ頼みやフェス、総選挙のような一時的な策でなく、もっと継続できる文化的実践的な策を打ち出していく必要があると感じます。
水城	男性	50 代	歴史の有る町で有るゆえに維持・継続する上でより生活のしやすい便利な町づくりをもっと目指して行政は取り組んでほしい。市民の生活を第 1 に考える行政を求める。以上!!
太宰府東	男性	50 代	まちづくりビジョンは日本の市町村に普遍的な部分と、太宰府市特有の課題とに整理すべきと思う。まちづくりビジョンの内容は尤もであるが、問題は実行するか、どのような方法で解決するかである。行政も議会も汗をかいていただきたいと思います。
太宰府東	男性	60 代	まちづくりビジョンについて (A) 重要度は良いのですが (B) 満足度の意味が判りません。太宰府市にとって 31 の施策は、どれを取っても重要である事項ばかりで、掲げた 31 の施策に対しての満足度とは、何なのでしょう？満足度を問うのであれば、31 の施策の主な実施項目とその実行度を表わして、それに対する満足度を問うべきです。そして、このまちづくりビジョンをもっと実現に近づける為、「広報だぎいふ」で実施項目実行度を掲載して、市民へ周知すべきだと思います。
太宰府西	男性	30 代	高齢化と子育てのバランスを図るため、若い世代が移り住み易い観環を望みます。
太宰府	男性	40 代	子育て世代でかつ、高齢者介護の仕事をしておりますが、太宰府市はどちらかと言うと伝統や歴史などがある分、新しい価値観や変化することが苦手なように思います。歴史と併せて「すぐ近くにある自然環境の良さ」は太宰府市の魅力だと思います。自然を活かしたまちづくりを期待しています。
太宰府	男性	40 代	高齢者と若い世代の格差が気になります。おそらく、今の高齢者が受けている社会保障は、今の子ども世代は将来、受けることはできないでしょう。受けられないどころか、その借金を抱えていくことになります。せめて、将来を担う子どもが親の能力に影響されずに平等に教育の機会を持つことができるように、家庭の自己責任で片付けずに社会で支える太宰府市になってほしいと思います。そう発信することで、若い世代を呼び込むことができるし、発信することで何か動き出すのではないのでしょうか？
太宰府	男性	70 代以上	大きな町、発展した町ではなくていいので、心静かにやさしい人と生きていく。そんな町をつくってほしい。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【施策 31 持続可能なまちへの取組 つづき】			
太宰府西	女性	50 代	春日市の白水公園を散歩すると、大きな整備された公園の中で猫が市民と行政のボランティア活動の協力で、自由に生活している姿をみて、心が和みます。人間だけが住みやすいのではなく、自然と動物も生きやすい環境こそ豊かな街に思えます。人を見て逃げる事なくのんびりと日の当たる所で毛づくろいをしている姿は、平和を感じます。野良猫を地域で育てる太宰府市になれば、優しい土地にやがて人も集まってくるのではないのでしょうか。太宰府市の発展を心より祈っています。
太宰府西	女性	40 代	子どもたちがのびのび活動できるようにしてほしい（インフルエンザワクチンの補助など）。若い人たちが太宰府に住みたいと思うように歴史ばかりにこだわらず、現代の人向けにアピールしていったほうが良いと思います（少し古い感じがします）。
太宰府南	女性	40 代	様々な規制をなくし人や土地・産業が活発に活動しやすい魅力ある街になってほしい。子どもを育てていても近隣市に比べ数年以上遅れていると思います。
国分	男性	30 代	自然も多く、緑のある公園も多いので満足。日頃の生活で忙しく太宰府がどういう取り組みをしてくれているのかよくわからないことが多かった。今後も住みやすいまちづくりの為に積極的に HP 等を活用していきたい。
太宰府西	男性	70 代以上	少子高齢化による将来人口減少化の施策は。
国分	男性	30 代	太宰府は住みよい町です。高齢者にやさしい町であってほしいと思います。交通や医療、生活する上で利便性は大切ですが、他にはない歴史のある太宰府も大切にしてほしいと思います。歴史の町＝観光＝産業という意味でまちおこしのように言われますが、何よりも住んでいる人の暮らしと歴史の町を大切に思います。
太宰府西	男性	40 代	地域活動が盛んで環境も整備されており、大変満足している。今後、少子高齢化が進むため、効率的になる大胆な案をどんどん実施してほしい。
太宰府	女性	60 代	母親、女性を育てていく努力がいると思う。そこが育てば、まちはよくなる。
太宰府西	男性	30 代	若い人から高齢者まで住みやすいまちづくりにしたいです。
太宰府	女性	70 代以上	太宰府の経済を上昇させるためには、市の人口を増加させる事が一番だと考えます。封建的な見方や考え方が多い様に思え、これが一番のマイナス点ではないのでしょうか。
太宰府南	男性	30 代	市が中心となり、賑わいを創出し、観光都市として確立することが重要と考えます。
【その他:109 件】			
水城西	男性	60 代	年度予算を繰り越しできるように（不慮の災害対応）。コロナで税金を上げずに済んだはず。今更ですがお役所仕事が多い。
太宰府東	男性	70 代以上	市財源をいかに確保するかについて、市長、議員の任期を超えた長期的視点で考える必要がある。
水城	女性	50 代	税金の無駄がないか、検証して翌年にいかすシステムを構築してほしいです。
水城	男性	40 代	他市へふるさと納税をせずに全額太宰府市に納税しているが、独身世帯には全くと言っていいほど恩恵がないので、家族持ちや高齢者、非課税世帯等だけでなく、独身世帯への政策も考えて実施してほしい。
太宰府東	男性	70 代以上	財政の有効活用。
わからない	女性	40 代	借金をせず身のたけの事業推進（職員、市民が汗をかく）。
国分	女性	60 代	市議会はもう少し市民目線での提案を強化してほしい。何でも政局化して所属政党や自己保身ばかりで見苦しい。特に前市長時の議会運営は恥ずかしい限りである。
国分	男性	60 代	市議の活動内容がわからない。人数が多すぎる。
国分	男性	70 代以上	水道料金が他市に比べて高すぎる。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【その他 つづき】			
水城西	女性	50 代	「令和3年度子育て世帯への臨時特別給付金」の手続きについて、年明け早々に手続き書類を送っていただき処理しようと思って内容を確認したら、別居、単身で住んでいる主人の市町村で申請するとのこと。その時の太宰府市役所の職員さんの対応がとてもわかりやすく丁寧でした。そして、太宰府市ではその書類を早々と送ってくれてこちらもすぐに対応申請しようと思いましたが主人の住んでいる市町村では、書類の申請からすべて自分たちで手配するようになっており、提出してから振込処理も1ヶ月かかりました。このような対応の違いにあらためて太宰府市はすぐに動いてくれているのだということを知りました。とてもありがたく嬉しく思いました。手続き事はたまにしか発生せずに慣れないことが多いので、今後ともよろしくお願いします。
水城西	男性	50 代	このアンケートについて ○選択肢に「分からない」が必要なのでは？問 12、13、25、35 ○あなたはという個人の質問ではなく、あなたを含む家族がという問いの方がいいのでは？質問内容は家族単位で行うことではないでしょうか？問 42、45、46 基本目標に関して ○施策 12、13、16 は、果たして市が行うことでしょうか？個人もしくは国の施策だと思えます。 ○全体的にみて、総花的で何でもかんでもというように思えます。もう少し選択と集中を進めてはいかがでしょうか？例えば、4つの基本目標から、重点目標として特に1つに絞るなど ○抽象的で何をしたいのか良くわからない。もう少し具体性がほしい。施策 5、6、18、21、26、27、28、31 私は太宰府市が好きです。太宰府市に何の縁もありませんでした、引越して良かったと心から思っています。
太宰府南	男性	40 代	市議会議員定数が多いため、削減してほしい（活動内容が見えない）。
水城	男性	30 代	動物（サル・イノシシなど）不審者が何時頃出ましたと学校からメールが来るが、捕まりましたなど来ないとずっと不安。動物に関しては出た、出たとばかりで、どうなったんだろう？見つけて市は捕獲するのだろうか？と疑問に思った。不審者も日中に出たり子どもたちの安全な生活が出来ていない。登下校時はパトロールしてるボランティア、保護者等いるが、為になっているのか？もっと強化した方がよい。政庁跡の芝も伸びきって遊びづらい時があったので常に刈ってほしい（伸びたら）。
太宰府西	女性	60 代	まちづくり天神など中心部に花がたくさん植えられています。太宰府も市役所前から太宰府駅の付近まで道沿いに花が咲いてると良いと思います。（プランターで置くなど）
太宰府	男性	60 代	街の美化推進について。松川交差点付近の樹木の剪定を定期的 to 実施すべき。太宰府の入り口にふさわしくない（見苦しい）。市の境界付近は特に注意すべきでは。
水城西	男性	60 代	アンケートなので選択肢が極端なのは仕方ないと思うが、市民生活および環境等を良くしたい為に、市からの広報手段が誰にでもわかる（認識できる）ようにできないものかと思う。現在の環境は良いと思うが、高齢化により共有思考などが薄れてきている感がある。世の中の流れとはいえ「ありがとう」「こんにちは」と簡単なあいさつができる町内だと良いと思う。頑張ってください。失礼しました。
太宰府西	男性	60 代	アンケートに参加する機会を得て、改めて自分の住んでいる太宰府市をどう見ているか再認識できてよかったと思います。行政は人が人に向けて行われるものだと思っているので良くも悪くも百点満点はあり得ないと思っていますから、この様なアンケートはもっと多くの方々に機会が増えるといいと思います。有難うございました。
水城西	女性	70 代以上	アンケートは、75 才以上は最後までなのか、よくわかりませんでした。
太宰府西	女性	70 代以上	以前、大阪に住んでいてこちらへ引越して来ましたが、水道代が倍になりました。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【その他 つづき】			
太宰府西	男性	40 代	環境問題、コロナ騒ぎについてが特にそうですが、あまりにも非科学的な方向のみに行政が動いていて、狂っているようです。国の政治もですが…。とにかくテレビ等メディアが力を持ちすぎて「そのウソホント」の時代が長いです。ここ2年は、暴政といっても良いくらい歴史上類をみない非常な状況に変になりそうです。多くの人が心を失っています。私だけが正しいわけではありませんが、今は戦事中のように恐くて何も言えないくらい自由を奪われています。（マスク、ワクチンなどの半強制は1番の恐怖です。）本当に、本当に、日本の大人が正気を保たないと未来は暗いです。子どもたちに「良い日本」を残してあげたいと願ってます。よろしくお願いします。
無回答	女性	70 代以上	期限迄に提出出来なくて、大変申し訳なく思っております。市役所の皆様の対応の優しさに、とてもありがたく思っております。道をお聞きしても、わざわざご丁寧に出で来て下さって説明をして下さいまして、とてもありがたいと同時に嬉しく思っております。皆様の笑顔とご親切に、これからも市役所に行くのが楽しみでございます。
水城西	女性	30 代	木や花・緑をふやす事はいい事だと思いますが、手入れがされておらず、夏場は最悪です。とくに都府楼などの歩道に並んである木は、夏はのびっぱなしで、となりの筑紫野市にくらべ、虫が多く困っております。年に1度ほど、木の手入れは行われていますが、夏などセミが多すぎて騒音にも困っているし、歩道を歩くのもイヤになります。手入れ等に税金をかけるくらいならば、いっそ歩道の木をすべて切ってしまうて公園等子ども達がよくおとずれる場所のみに緑をふやすべきと思います。
太宰府	女性	10・20 代	行政についてはあいまいなところが多い。切り貼にした様な街づくりで全体図はみえない。公園は多くても雑草だらけ。今は外国人の団体とかが来ないから良いけどマナーも悪くゴミだらけになる。車が混むから外に出られない(年末年始・長期連休とか) 議員さんは何の仕事しているのか不明。選挙の時だけお願いに来るけど私達の願いは聞いてくれない。というか、会わないしお金の流れも不明な点が多いと思う。破綻しない事を祈るばかりです…と母が言う。
太宰府	男性	70 代以上	楠田市長、職員の方々が世の人の為、市の為、市民の為に力を出し尽くして下さい。よろしくお願いします。
水城西	男性	60 代	現状に満足している。
水城西	男性	50 代	高齢者にかたよったアンケートだと思う。
太宰府	男性	40 代	コロナで過剰な自粛を強いられ、経済が止められています。厳しい状況は、飲食業だけではなくありません。他、多業種の支援、給付金等の対策を早急にやって頂きたいのです。
国分	女性	40 代	コロナワクチンの3回目の接種券がまだ来ません。基礎疾患があるので早く来ないかなあと心待ちにしております。オミクロン株が増えているのでこわいです。
太宰府	女性	10・20 代	コロナ禍でお忙しいと思いますが、よろしくお願いいたします。いつもありがとうございます。
国分	女性	30 代	さる、イノシシ、アナグマ、どうにか退治できませんか？いつも「出ましたので気をつけて下さい」のメールのみで、実際見かけてしまってからこわいです。
太宰府東	男性	70 代以上	自治会等には妻が参加している。水道代の値下を検討してほしい。
太宰府西	男性	70 代以上	市長の2期目で、1期目で基礎が出来た様なので！更に新しいことを考えていただいて、市民に近い行政をつくっていただきたい。
太宰府西	男性	40 代	質問の選択肢が足りない。人権を大事にしなければいけないと示唆する質問があったが、最初の性別を選択な項目にトランスジェンダーのそれが見受けられない。例を出しての質問もしてほしかった。抽象的すぎて答えにくい箇所もあった。個人情報につながる直接的な質問は控えてほしかった。ビジネスは大事だけれども住民の満足格差を埋めるアイデアの紹介をして、それにとまなう質問をしてほしかった。質問が啓発につながっていない。交通弱者、生活困窮者などあらゆる弱者の教育的持続的伴走型支援がない限り物事は進まない。市政や市経済などの目線ばかりで生活者としての視野が乏しい。利便性を増やすことと、弱者支援が一体化しないと真のメリットは今後も得られない。場所中心ではなくもっと事柄にしてほしい。
水城	男性	50 代	質問欄が多すぎます。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【その他 つづき】			
太宰府西	女性	70 代以上	自分の身を守る事だけで精一杯で何も考えられません。すみません。
太宰府西	女性	70 代以上	市役所でワクチンの予約を心よくしてくださり大変助かりました。ありがとうございました。
太宰府東	男性	70 代以上	住民の住民の為のまちづくりをする為には、予算を後たてに考えねばならない。市議員任せではいけない（市議会が力がない）と思うが、議員はそれが仕事だから（対価として高給をもらっている）頭を知恵をしぼって、勉強して責任を全うしてほしい。
国分	女性	40 代	所得制限で給付金がもらえなかった家庭にも市の決断で配布してほしい。住民税、所得税等、高額納付しているのに税金で給付される子育て世帯への援助が受けられないのは納得できない。また、中学卒業までは福岡市のように医療費の自己負担金額を下げたい。観光集客の前に今住んでいる住民が住み心地の良い、満足度の高い市にするべきではないか。外面のよい、体裁ばかりを気にかけている政策が多い。コロナの自宅療養者への支援も度を越していてパフォーマンスにしか見えない。
国分	男性	60 代	新型コロナウイルスワクチン接種会場への移動手段の為、バス利用券 2 枚同封されてきました。使用はしませんでした。他市町村にはないサービスだったのではないのでしょうか。交通弱者には良い配慮だったと思います。
太宰府西	男性	70 代以上	新型コロナの感染情報について、居住地がすべて太宰府市の表記は無駄では？校区ぐらゐは表示して良いのではないですか。
太宰府東	男性	70 代以上	住みやすい良い市だと思っています。
太宰府西	女性	70 代以上	他県から転勤で来てこちらに住み始めて 17 年立ちます。周りの環境も良くとても気に入っています。仕事を持っている為なかなか、地域の活動に参加出来ないのですが、もっと太宰府の事を知りたいと思っています。
太宰府	男性	30 代	タコスキッド議員の注目度は高いので、上手く PR 活動をして欲しい。
太宰府	女性	50 代	太宰府は全国的にも有名な観光地であるので、観光客が多いことは地域の活気につながっているので大切にすべきだと思います。ですが、コロナ禍で最近では海外からの観光客も減り、それ程心配もなくなりましたが、以前、観光客に近所の小学生が写真を撮られたり、声をかけられたりしたことがあり不安・心配なことも多いです。観光事業と平行して、市民が安心して生活できる環境づくりが大切だと思います。
太宰府	女性	40 代	太宰府市の一部は下水道がまだ通っていない山間部井戸水なのでとても不便です。砂がたまりやすいので特に洗濯機が数年でこわれているので、早く井戸水じゃないように、行政で取り組んで欲しいです。
太宰府西	女性	60 代	太宰府は全国的に名前も知られて素晴らしい町だと思います。
水城	男性	60 代	太宰府市内、少し山があるところ、草むらにイノシシが多すぎる。前、家の前を小イノシシが 10 列にならんで歩いてた（子ブタぐらい）。いつも私は夜 10～11 時頃ネコと散歩するが恐ろしく足が震える（ただ向こうからおそってこないのになんとかありますが 10 匹の子イノシシがいるということは、増える一方では）。※ちなみに昼でも、親と子イノシシの写真をとっています。※太宰府はイノシシの宝庫です。
太宰府	女性	60 代	天満宮周辺だけでなく、太宰府市全体の美化に努めて欲しい。公園、河川等見苦しい。危険な場所が多く感じられます。
水城	男性	60 代	登山道の整備。周辺の都市の登山道の整備に比べ心もとない太宰府市（四王寺、宝満）特に四王寺ベンチの設置等健康づくりに配慮した安全な登山道の整備をお願いしたい。
太宰府西	女性	70 代以上	長い間、太宰府に住んでいるけれど知らない事ばかりだと思いました。（アンケートを書いてみて）サークルなどいろいろ参加して友人も多いけれど市政などについて話すことはほとんどないです。少し関心を持たなくてはと思いました。
太宰府西	男性	50 代	日本の歴史上、大事な遺産がある都市であり、そういう意味では誇りに思う。以前は福岡市に住んでいたの税金をやや高く感じるのは仕方ない部分か。
太宰府西	女性	50 代	ほぼ 1 年前まで仕事をしており、これまでの市政やまちづくりに目を向けていませんでした。これからは太宰府市民としての自覚と誇りを持って生活していこうと思いますのでどうぞよろしくお願い致します。
国分	女性	50 代	若者のマナーが出来ていない。ゴミを捨てていく。道路がせまいので事故が多い。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【その他 つづき】			
太宰府南	女性	40 代	環境も良くとても住みやすい街です。
太宰府東	男性	50 代	財政逼迫と言う割に公務員の給与水準が高すぎる。
太宰府西	女性	40 代	市役所のみなさんも、コロナ禍のなか、頑張っておられると思います。どうか、ご無理されませんように。
太宰府南	女性	30 代	税金が凄く高いのにそこまで住みやすくない。一部の人がしか利用出来ないシステムが多い。他の市に比べて色々遅い。
国分	女性	50 代	凡人にはわからないことばかり。これから素晴らしい市長の知恵で太宰府市を住みよい街にしてください。
太宰府	女性	70 代以上	川の整備がされていなくてもう一度太宰府（特に天満宮、筑紫台高校周辺）全部見て整備お願いいたします。
太宰府	女性	10・20 代	朝、市役所付近の道でゴミ捨いをしてくれている方々にお礼をしたい。
太宰府南	女性	50 代	楠田市長には、これまでの太宰府市の「ムラ体質」を変えていただきたく期待しています。
太宰府西	男性	60 代	こういうアンケートについて、謝礼として 500 円程度のクオカードを送ってはどうか。忙しい中、これだけの質問に真剣に答えるのは結構大変です。このアンケートも途中でやめてしまいました。ちょっとした謝礼があれば頑張って協力する気にもなれます。
太宰府	男性	50 代	市会議員の普段の市民（住民）との接し方が悪い。選挙前だけ良い人が多すぎます。
太宰府東	女性	70 代以上	太宰府、街にもっと花を増やす。グリーン化と言っても太宰府は振り向けば山かもしれないですが、街に花壇がもっとあればと思います。
太宰府	女性	60 代	川沿いの桜並木が毎年美しくとても楽しみです。何年も前にこの企画を考えてくださった方に感謝しています。長い年月かかるかもしれませんがこのような心がいやされる景観づくりがまた企画されるといいですね。
太宰府西	女性	70 代以上	水道料金の高騰が心配。良質な水道水の定供給確保。
水城	男性	70 代以上	投票率の UP を計る（議員選挙は、50%以下では？）。
太宰府	女性	50 代	財政にもいろいろな都合はあると思いますがきちんとした無駄のないお金の使い方をして頂きたい！私達は市民税をきちんと支払ってます。大事に大切なことに使ってもらいたい！！天満宮周辺の個人の駐車場の方々がカラー棒を持ち、車の出し入れをされているが、きちんとした指導を受けての事なのか？とても不思議に思います。本来は指導許可を受けないと道にまで出て他の車を止めたりすることはできないはずですが。
太宰府	女性	50 代	住んでいて楽しくない。
太宰府	男性	50 代	市議選時のお願いで駅前に立つのもよいが、何をしたら記憶に残らない市議が多すぎる。
太宰府西	男性	50 代	生活面では、大きな不満はないが(家族からは直接聞いてないが)水道代が全国 1300 のうち 1014 位という高さ。事情はなんとなく理解するが、光熱水は身近なものだけに、早急な抜本的な検討を是非ともお願いしたいところ。太宰府市まちづくりビジョンを改めて読んだが、若い市長だけあって、VISION・KPI を明確に打ち出している点は評価します。記述された項目の具体化はこれからだと期待します。全国どこの人からも「大宰府？あー！あそこね。〇〇が有名ね」と言われる街に是非ともなることを単身赴任ながら一市民として強く期待と応援し、できることは協力したいと考えています。
太宰府	男性	60 代	市長の露出が多く、市の印象を下げていませんか？
太宰府	男性	60 代	駐車場の多さで運転しづらい（特に駐車場経営されている人が車をまねき入れる際、危なくてしかたがない）。
太宰府南	男性	70 代以上	楠田市長の行政に取り組む姿勢が素晴らしい。国政に出ずこのまま市長を続けてほしい（少なくとも 3 期）。
水城西	男性	10・20 代	市議会の活動等まんねりしている感じがおり、議員の数がこんなに必要なのかと思う事もあります。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【その他 つづき】			
太宰府	男性	50 代	市長が若い楠田さんになり市が何をしているのか、市長が何をしているのかがよく見えるようになり私はとてもよいことだと思います。今まではちょっとおじいさんのような人ばかりで、ちっとも変わり映えない太宰府でしたが、若い市長のおかげで重く感じる太宰府がちっとずつ明るく軽くなった気がします。いつまでも昔ながらのものばかりひきずらず変化していくのも大事だと思います。楠田市長さん頑張ってください。応援しています。
太宰府	女性	40 代	子育ての面では公園が少なく、道路も狭いので育てづらさを感じます。ただ、市の支援センターや保健課の方々とはとてもよくしていただき、そういった面で子育てしやすいと感じます。地域のみなさんが、困らないようなまちづくりをしていただければと思います。引越して数年ですが、太宰府市民の方々は本当によい方が多いので、市民の方が安心して暮らせる市になれば嬉しいです。
国分	男性	60 代	情報公開の徹底（福岡・春日・大野城市は HP 公表）。公共機関（小中学校コロナ関連）の情報公開（学級閉鎖等）をすべき。
水城	男性	70 代以上	市議員について各地域民の声を選挙の時だけでは無く、自分の公約を守ってほしいものです。税金泥棒と呼ばれる議員多すぎます。私たちも本当に民の為、市の為に働いてくれる人を選出する確かな目をもつべきです。
太宰府東	女性	50 代	他と比べて税金等が高い太宰府ですが、そのお金を使うなら他の市に比べて（公園等の数はありますが）内容が中途半端な気がして、世代を問わず楽しめ、ウォーキングなどの運動や自然に触れ合える場がない気がしています。わざわざ他市まで行く事もあります。一つの体育館でいろんな運動、音楽等が出来る様にすれば、いろんな大会とかも出来、県外からも人が来るのでは？
わからない	女性	50 代	太宰府が大好きになり市内で転居して、住み続けています。老後に収入が減ったら市営住宅とか・・・と思ったら市内に保証人もない我が家には、なかなか厳しいそうです。福岡市とかと比べると厳しいように感じます。改善されるとありがたいです。歴史を大切にす本市に居住していただきたいので。
太宰府	男性	60 代	御笠川が汚い。ゴミも平気で捨ててある。どうにかして欲しい。
国分	女性	50 代	水道代が高い。コロナで収入が減って物価は上がるので市民税とか払うのが少し安くなればいいな。太宰府市に住みたい!! と思えるようになるといいですね。
太宰府	女性	50 代	水道メーターがダサイ。
国分	女性	50 代	水道代が高い。
太宰府	男性	70 代以上	「水道料金」高い。
太宰府東	男性	60 代	市議が本当に何をしているかが見えてこない。
太宰府西	男性	50 代	水道料金を何とか全国平均並みにして下さい。
水城西	女性	30 代	水道代が高い。
水城	女性	70 代以上	税収を増やす。医療費、水道代を安く。
太宰府西	男性	10・20 代	無利息のお金の貸し出しをコロナによって生活が苦しくなっている人に行ってほしい。いつか、太宰府市内で大型の音楽フェス、ライブ等のイベントが行われてほしい。絶対にだざいふ遊園地を守ってほしい。これから先も残してほしい。
国分	男性	30 代	夜の防犯パトロールを強化してほしい。非課税者に対してのコロナ対策など支援支給をしてほしい。
国分	女性	40 代	ワクチンの申し込み電話が繋がらなかったと親が言ってた。お年寄りにネット申し込みは無理なのでお年寄りには市から連絡する方がいいと思います。
水城	男性	40 代	年齢に関係なく、新型コロナウイルス感染症ワクチンを早期に接種できるよう整備してほしい。新型コロナウイルス感染症陽性者や濃厚接触者へ無料で物資の配送を行っていると思うが、最近は該当者が多くなり配達日数がかかると聞いた。しかしながら、本来自分で予め準備しておくものであり、そういったサービスを受けるなら有料で良いかと思う。その分、少しでも早く配達できるよう整備願いたい。
水城西	男性	70 代以上	現市長、1 期目の選挙時公約を実行していただきたい。

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【その他 つづき】			
太宰府西	女性	60 代	30 年ほど前に、私はこういうアンケート調査に回答した事があります。その当時、住んでいる大佐野地域には病院がなく、子育て中の私は、筑紫野市や大野城市の病院へ連れて行っていました。私は長崎から嫁いで来て、車の免許も持っていないくて、とても不自由にしていました。それで、このようなアンケートに、近くに病院村が欲しいと書きました。そしたら 30 年後、近くに病院村ができました。本当に感謝しています。ありがとうございました（私だけの案ではないと思いますが）。
太宰府西	女性	60 代	今、自分が 65 才になって思っている事は、太宰府も老人大国になっている現状です。知人の所の高雄地区や青葉台地区、つつじヶ丘地区、ひまわり台地区（上の方の住宅）、水城地区（上の方の住宅）の、ひとり住まいや夫婦ふたりの買い物難民の方が、たくさんいます。近くにスーパーがない所があります。大野城市のように 500 円のお弁当の配布など検討をお願いします（シルバー人材センターと公民館を活用したらいいがでしょうか？ヨロシクお願いします）。
わからない	女性	50 代	今まで何か所かの市（7 ヲ所）に住んだが太宰府はゴミも少なく、スーパーも多く、価格も安くとても住みやすいところだと思います（水道代は高いけど…）。地域のバスもあり、天神にも近く、自然も多くて好きな場所です。昔から太宰府に住んでる人はその良さをイマイチ感じてないようですが、よそからきた人は「良いところ」とみんな言ってます。図書館も見やすくて借りやすいと思います。空家が多いのが気になります（どこの地域もそうかもしれないけど）もっと活用したらいいのと思います。
わからない	女性	60 代	かなり前の事です都府楼政府跡の桜の木が台風で折れてしまいました。もう数本は無くなったと思いますが、その後植えられないままとなっていました。多分今もあんなにきれいな花を咲かせてくれるのに。もう少し小さなことにも気を配ってほしい。
太宰府	男性	70 代以上	御笠川の整備・川の中のゴミや草木の清掃をお願いいたします。⇒歴史の散歩道がきれいであってほしい。
水城	男性	10・20 代	子育て支援は、充実していてよかった。16 才～大学卒業までの子どもに一番お金がかかるのに支援がまったくない！！コロナで大学もほとんど行っていないのに支払は変わらず…親の収入は減るのに負担ばかりかけてしまっ大学をやめた友人は大勢いるのに何の対策もない。コロナで就職先も不安しかない。大学生は、授業料や税金・生活に不安しかないのを知っていますか？子育て支援老人ばかりではなくもっと全世帯のことを考えてほしい。これを記入してなんとかなるのかな？何も変わらないなら調査の意味はない。
国分	女性	40 代	コロナの時の支援物資がすぐに届き助かりました。しかし、賞味期限切れや期限切れ間近の物ばかりが多くびっくりしました。大野城市の支援物資のほうが、使いやすく食べやすい物ばかりでした。太宰府市だけではなく、となりの市や福岡市の取り組みなどももっと見て、住みやすくありがたい市になるといいと思います。
国分	女性	50 代	税金を増やす、税金の無駄な支出を減らす取り組みが必要だと思う。働かない市会議員を減らす。市民の特権、例えば年に 2 回の太宰府天満宮の駐車場の配付、月に一度の梅枝餅がもらえる券の配布等あったらうれしいです。
水城	女性	70 代以上	太宰府市はこじんまりとした町でまとまりやすい（どちらかと言えば）町だと思います。コロナ対策も高齢者施設等のワクチン接種、PCR 検査等も早く他の市の方々とのサークル活動で情報交換しますが、遅れておらず良い事だと思います。
国分	男性	50 代	太宰府市は大好きですが、他の地域の方へ自信を持って”太宰府市は良い所、住みやすい所”とは言えません。税金は高いし、水道料金も高い。法人税を徴収できる企業は少ないし、何年もアンケート等で記入していますが全然変わらないし、変わる期待も出来ません。”令和の町太宰府”と言う全国的に有名な市なのに 50 年程住んでいますが生活感はず変わらず、この先も期待出来ない感じです。このアンケートを送付されていますが回答だけで正直アンケートを出されても記入する気持ちもなくなりつつあります。市、行政市職員が真っ先に行動を起こし、市民が”よくやっているな”と思えるように願います。他の地域の方が”太宰府市に住みたい”と言える街にしてください。今後変わる見込みがなければアンケートはお断りします。記入しても意味がないので…

校区	性別	年齢	問 70. まちづくりについての自由意見
【その他 つづき】			
国分	女性	50 代	天満宮周りの駐車場からちゃんと税金を取るとか、天満宮依存をやめれるようにするなど色々あるが、税金を取れるところから取る。特定の地域と人への声だけが大きい市議会はおかしいと思う。
太宰府南	男性	70 代以上	コロナに対する接種対応をもう少し早く動いて欲しいものです。接種場所の対応等は良く頑張っていて感謝しています。
太宰府東	男性	60 代	コロナ禍が長期にわたり、国民の生活は疲弊しています。公共料金や生活物資の値上げが相次ぎ、給与はどちらかと言えば、減額の方です。特に低所得世帯の生活は窮地に立たされているように感じます。国や県、市町村は各種の救済措置を講じていますが、それにより生活が改善されていると感じる人はおそらく皆無でしょう・行政機関が真に市民の側に立ち、きめ細かなサービスをしているとは思われません。例えば「子ども食堂」について。開設されれば多くの子どもやその親たち、一般の市民までたくさんの方が利用しています。しかし、多くの自治体の様子を見ても、その開設は月に数回とか週に一回とか…。希望する人たちが多くにもかかわらず、そのニーズに応えることができていないのではないのでしょうか。一つの例を挙げましたが、このように行政、特に国の機関による住民救済は遅々として進まず、国民の暮らしは苦しくなる一方です。太宰府市の施策の実施は全国の中でも早いほうです。支援金の支給やワクチン接種など、とても素晴らしいと思います。しかし、肝心な生活支援について、予算を投じてきめ細かなサービスを実施している様子は感じられません。市のHP、LINE「市長の日記」等を毎日拝見しております。二期目に入られた楠田市長さんの行政手腕はとても素晴らしいものです。市民に向けて迅速かつ丁寧に情報を発信され、本当に市民の目線に立った市長さんであると安心し、常に応援しています。しかし、そのような素晴らしい市長さんでも、本当に市の各種機関を最大限動員し、市民の生活を支援されているのか、不安に感じることもあります。縦割り行政のせいであるのかは分かりませんが、いくら素晴らしい市長さんであられても役所の機構の全体をフル活用し、コロナ禍を乗り切っていくことが求められているように思います。そういう姿が目に見えてくれば、おそらく全ての市民が安心を抱き、行政への応援、協力もどんどん増えてくるでしょう。莫大な資産を持つ大企業等からの支援を求めて下さい。そのような施策を実現させてくださるよう、市長さんの英断に期待をしています。自民党政府は安定多数にあぐらをかき、とても国民の目線にたった政治を行っているようには思えません。森友問題や情報隠蔽をはじめ多くの不祥事が続き、物価の値上げに歯止めをかけることもできず、賃金の値上げもごくわずか。新しい政策もすぐに進まず、国民の多くは「いつ良くなるのかわからない」という半ば諦めの気持ちを抱えています。国会の野党は数で自民党に負け、マラソンに例えれば、トップはすでにゴールテープを切っているのに、まだ折り返し点にもついていないような有様です。少数野党がまとまればいくらかは政府への圧力となるかもしれませんが、野党か与党かも分からない政党ばかりでとても信頼できるものではありません。このようにコロナ禍の疲弊の中で、国民はこれからの国の針路は真っ暗闇で、この先の道筋を見つけることができないでいます。であるからこそ、地方自治体の力が今こそ求められているように感じます。国からの指導や支援は当然受けつつも、国に頼らない、独自の発想で市民の生活を守っていただきたいと思います。それが地方自治体の存在意義です。もはや「少しのきめ細かな配慮」という時代ではありません。すでに未曾有の危機に陥っている市民の生活に、大なたを振るった支援を施すことが必要な時代です。現在第六波の最中ですが、いつ平常に戻るかも分かりません。次の波が来ることも確かです。コロナの収束は誰にも分からず、世界中の人々が暗闇から抜け出すことができていないのです。「まちづくり」は市民と行政がお互いの信頼の元、協力しながら進めていくものです。生活に不安を抱えている市民たちに「協力しよう」という意志とそれを実行するだけの力が残されているのでしょうか。日々の苦しさから脱出できず夢も希望も失いかけている人々が本当に安心して生活できる環境を整え、力を与えてくれる、そのような思い切った手段を講じて欲しいと願っています。今後の太宰府市がさらに発展し、最も住みよい町になることを信じています。
太宰府東	男性	70 代以上	水道料金を下げて欲しい。少なくとも周辺自治体と同じ程度まで。

付属資料

付属資料＜使用した＞調査票

太宰府まちづくり市民意識調査 アンケートご協力のお願い

市民の皆様には日頃より市政運営にご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。

本市では「令和の都さらに羽ばたく太宰府！～課題解決先進都市を目指して～」を目標に掲げ、市民の皆様のご意見や市の取組についての考えをお聞きし、今後のまちづくりに反映させていきたいと考えています。

お忙しいところ誠に恐縮ではございますが、これからのまちづくりにとって非常に重要な調査となりますので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

令和 4 年 2 月

太宰府市長 楠田 大蔵

【実施概要】

- 1 調査対象：満 18 歳以上の市民の皆様から **2,000 人を無作為抽出**
- 2 回答方法：以下のいずれかの方法でご回答ください。
 - ①調査票にご記入いただき、**2 月 24 日（木）までに同封の返信用封筒により返送してください。（切手不要）**
 - ②パソコンやスマートフォンから web ページにアクセスいただき、**2 月 24 日（木）までに回答してください。**

<https://questant.jp/q/dazaifu202202>

※回答を途中で中断する場合は、保存されませんので、最後まで回答いただくか、改めて初めから回答をお願いいたします。



QR コードは(株)デンソー
ウェブの登録商標です

3 アンケートテーマ

- ①あなた自身についておたずねします
- ②まちの住みやすさについておたずねします
- ③本市の行政運営についておたずねします
- ④あなた自身の考えや日頃の暮らし、行動についておたずねします

【その他】

- 1 調査には**無記名**でお答えください。
- 2 あて名のご本人がお答えください
※ご本人が回答できない場合は、家族の方がお答えいただいても結構です。
- 3 ご記入は**鉛筆またはボールペン**でお願いします。
- 4 お答えは、あてはまる回答の番号に○印をつけてください。
- 5 アンケート結果は数字で統計処理いたします。回答結果をそのまま公表することはありませんので**個人情報の観点でご迷惑をおかけすることはありません。**

【お問合せ先】

太宰府市 総務部 経営企画課 企画政策係 電話 9 2 1 - 2 1 2 1 （内線 548）

＜①あなた自身についておたずねします＞

問1. あなたの戸籍上の性別についてお選びください。(○は1つ)

- 1. 男
- 2. 女

問2. あなたの年齢を次の中からお選びください。(○は1つ)

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 18～24 歳 | 6. 45～49 歳 | 11. 70～74 歳 |
| 2. 25～29 歳 | 7. 50～54 歳 | 12. 75 歳以上 |
| 3. 30～34 歳 | 8. 55～59 歳 | |
| 4. 35～39 歳 | 9. 60～64 歳 | |
| 5. 40～44 歳 | 10. 65～69 歳 | |

問3. あなたの世帯構成について次の中からお選びください。(○は1つ)

- 1. 単身世帯
- 2. 夫婦のみ
- 3. 2世代世帯（親と子）
- 4. 3世代世帯（親と子と孫）
- 5. 4世代以上
- 6. 兄弟姉妹のみ
- 7. その他（ ）

問4. あなたのご職業を次の中からお選びください。(○は1つ)

- | | |
|-----------------|--------------------------------|
| 1. 会社員 | 6. パート・アルバイトなど |
| 2. 農林水産業 | 7. 学生 |
| 3. 自営業（農林水産業以外） | 8. 無職 |
| 4. 団体職員・公務員 | 9. その他（ ） |
| 5. 家事専業 | |

問5. あなたの住んでいる小学校区を次の中からお選びください。(○は1つ)

- 1. 太宰府小学校区
- 2. 太宰府東小学校区
- 3. 太宰府南小学校区
- 4. 水城小学校区
- 5. 水城西小学校区
- 6. 太宰府西小学校区
- 7. 国分小学校区
- 8. わからない

問6. あなたは本市に住んで何年になりますか。次の中から選びください。(○は1つ)

1. 3年未満
2. 3年以上～5年未満
3. 5年以上～10年未満
4. 10年以上～15年未満
5. 15年以上～20年未満
6. 20年以上～25年未満
7. 25年以上

《②まちの住みやすさについておたずねします》

問7. あなたは本市が住みやすいまちだと思いますか。(○は1つ)

1. 住みやすい
2. どちらかといえば住みやすい
3. どちらかといえば住みにくい
4. 住みにくい
5. どちらともいえない

問8. 【問7で「1. 住みやすい」、「2. どちらかといえば住みやすい」と答えた方におたずねします。】

住みやすいと思う主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| 1. 友人・知人が多い | 10. 生涯学習・スポーツの事業が盛ん |
| 2. 自宅周辺の環境がよい | 11. 高齢者施設が充実している |
| 3. サークル活動が盛ん | 12. 子育てしやすい制度や環境が整っている |
| 4. まちづくりに参加しやすい | 13. 医療機関が多い |
| 5. 史跡や文化財が身近にある | 14. 教育・文化施設の整備が進んでいる |
| 6. まちの知名度が高い | 15. 健康づくりのための事業が充実している |
| 7. 大学・短大が多い | 16. 道路や上下水道の整備が進んでいる |
| 8. 通勤通学の交通の便がよい | 17. 公園や街路樹などの緑が多い |
| 9. 商店が多く買い物が便利 | 18. その他（ ） |

問 9. 【問 7 で「3. どちらかといえば住みにくい」、「4. 住みにくい」と答えた方におたずね
します。】

住みにくいと思う主な理由は何ですか。(○は3つまで)

- | | |
|-----------------|-------------------------|
| 1. 近所づきあいが苦手 | 10. 生涯学習・スポーツの事業が少ない |
| 2. 自宅周辺の環境が悪い | 11. 高齢者や障がい者の福祉施策が遅れている |
| 3. サークル活動が少ない | 12. 子育て支援の制度や環境が不十分 |
| 4. まちづくりに参加しにくい | 13. 大型総合病院がない |
| 5. 保険料や公共料金が高い | 14. 教育・文化施設の整備が不十分 |
| 6. 災害対策に不安がある | 15. 健診や健康づくり事業などが不十分 |
| 7. 通勤通学の交通の便が悪い | 16. 道路や上下水道の整備が遅れている |
| 8. 近所に商店が少ない | 17. 公園や街路樹などの緑が少ない |
| 9. 就職先が少ない | 18. その他 () |

《③本市の行政運営についておたずねします》

問 10. あなたは市政に関心はありますか。(○は1つ)

1. ある
2. どちらかといえばある
3. どちらかといえばない
4. ない

問 11. あなたは市政を信頼していますか。(○は1つ)

1. 信頼している
2. どちらかといえば信頼している
3. どちらかといえば信頼していない
4. 信頼していない

問 12. あなたは本市が効果的に行政運営を行っていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 13. あなたは本市職員の窓口での対応や日頃の仕事に対する姿勢について、満足していますか。(○は1つ)

1. 満足している
2. ある程度満足している
3. あまり満足していない
4. 満足していない

問 14. あなたは第2期太宰府市まち・ひと・しごと創生総合戦略(通称:まちづくりビジョン)を知っていますか。(○は1つ)

1. 内容を知っている
2. 読んだことがある
3. 聞いた(見た)ことがある
4. 知らない

問 15. 本市では、市民のニーズを的確に把握し政策へと反映させるまちづくりを進めています。そこで、本市が行っているまちづくりビジョンに掲げる次の1~31の施策についておたずねします。

(A) あなたはこの施策がどの程度重要だと思いますか。

(B) あなたはこの施策にどの程度満足していますか。

あなたのお考えにもっとも近いものを、項目ごとにそれぞれ1つ選んで、数字に○印をお付けください。

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
(A) 重要度、(B) 満足度のそれぞれに、○印を1つずつつけてください										
記入例	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標 1 太宰府の底力総発揮構想(成長戦略)										
施策01 回遊ルートの整備、滞在型観光の促進 (回遊ルートの充実、宿泊飲食施設等の滞在向け施設の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策02 地場みやげ産業の創出 (地域の特性を活かした特産品等の検討など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
施策０３ 観光セールスプロモーションの促進 (官民一体となった観光セールスプロモーション、PRキャラクターの活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策０４ 企業誘致、起業・創業支援、地場産業育成 (企業誘致の実現、起業や創業支援事業の拡充など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策０５ 宗教法人、学校法人、九州国立博物館等との連携強化 (市内宗教法人や学校法人、九州国立博物館との連携など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策０６ 官民連携・庁内連携・機構改革の推進 (民間企業や団体との連携、市役所組織体制の整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策０７ 人材育成・登用 (外部人材との交流による市役所組織の活性化、時代に即した人材の育成など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策０８ ふるさと納税の拡充 (ふるさと納税返礼品の充実、企業版ふるさと納税の活用など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標２ 太宰府型全世代居場所と出番構想（移住定住戦略）										
施策０９ 市民参加のまちづくり、コミュニティの活性化 (市民参加のまちづくりの推進、地域コミュニティの活性化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策１０ 子育て・教育環境の充実 (先進的な教育環境等の整備や充実、保育サービスの充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策１１ 高齢者の活躍促進、地域福祉の拡充 (地域福祉の推進、福祉関係団体との連携強化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策１２ 健康寿命の延伸 (健康を支える環境の整備、介護予防事業の充実など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
施策 13 就職氷河期世代対策 (就職氷河期世代への社会参加支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 14 不登校、ひきこもり対策 (不登校やひきこもりの方の、学校復帰や社会的自立支援など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 15 ルネサンス宣言に基づく文化芸術の振興 (市民の文化芸術への参画、歴史や文化、芸術の活用による観光コンテンツの拡充など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 16 スポーツ振興 (健康づくりや仲間づくり、生きがいづくりにつながる生涯スポーツの実現など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 17 空家活用の推進 (空家化の予防推進、空家等を流通させる仕組みづくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 18 全世代交流型施設の検討 (全世代が交流できる居場所づくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 19 人権尊重のまちづくりの推進 (人権教育や啓発による、市民一人ひとりの人権が真に尊重されるまちづくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標 3 令和発祥の都にふさわしい大太宰府構想（圏域拡大戦略）										
施策 20 史跡指定 100 年とこれからの保存・活用 (大宰府関連史跡の保存や活用、整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 21 国・県・国内外自治体との連携の推進 (国や県、他市町村との連携、国際文化都市としての国外自治体との連携など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 22 交流人口・関係人口の拡大 (本市にゆかりのある方やこれから関わりを持とうとする方との関係づくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

	(A) 重要度					(B) 満足度				
	1. 重要	2. やや重要	3. あまり重要ではない	4. 重要ではない	5. わからない	1. 満足	2. やや満足	3. やや不満	4. 不満	5. わからない
施策 2 3 交通環境の向上 (交通の回遊促進、交通体系整備など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
基本目標 4 1300 年の歴史に思いを致す持続可能な太宰府構想（行財政改革）										
施策 2 4 防災力の強化 (市民の防災意識の向上、災害に強いまちづくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 2 5 市街地の活性化 (市内エリアごとの戦略に基づいたまちづくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 2 6 公共施設の再編、多面的機能強化、運営の見直し (公共施設再編、運営方法や利用料金の見直しなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 2 7 諸団体の強化、再編、補助金等改革 (諸団体への補助金交付適正化や効率化など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 2 8 地域コミュニティの強化、再編 (地域コミュニティの効率的な運営や組織づくりなど)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 2 9 ごみの削減を始めとする環境負荷低減 (ごみ排出量削減や資源化率の向上など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 3 0 ICT の活用推進、働き方改革 (オンライン手続きの拡大、SNS 等を用いた情報発信・交換の促進、市役所働き方改革の推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
施策 3 1 持続可能なまちへの取組 (持続可能なまちづくりの推進など)	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5

問 16. コロナ禍における新しい生活様式に対応するために、今後本市が特に進めていくべき取り組みは何であると考えますか。(○は1つ)

1. 行政手続きのオンライン化
2. キャッシュレス決済の普及促進
3. 避難所の3密対策など、新たな災害対応
4. 学校教育におけるデジタル教材やオンライン学習の導入
5. 生活困窮者に対する支援
6. 市内事業者に対する支援
7. その他 ()

問 17. 本市では市民を主体とした自治を推進し、市民福祉の向上を図ることを目的に「太宰府市自治基本条例」を制定していますが、あなたはこの条例についてご存じですか。(○は1つ)

1. 内容を知っている
2. 読んだことがある
3. 聞いた(見た)ことがある
4. 知らない

≪④あなた自身のお考えや日頃の暮らし、行動についておたずねします≫

【中学生までのお子さまをお持ちの保護者の方だけにおたずねします。】

問 18. あなたは本市では子育てがしやすいと思いますか。(○は1つ)

1. 子育てがしやすい
2. どちらかといえば子育てがしやすい
3. どちらかといえば子育てがしにくい
4. 子育てがしにくい

【65歳以上の方だけにおたずねします。】

問 19. あなたは日頃から生きがいを感じて生活していますか。(○は1つ)

1. 感じている
2. どちらかといえば感じている
3. どちらかといえば感じていない
4. 感じていない

問 20. あなたは本市の高齢者福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. 高齢者福祉サービスの内容を知らない

問 21. あなたは本市の障がい福祉サービスは充実していると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. 障がい福祉サービスの内容を知らない

問 22. あなたは市内の公共施設(市役所など)が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 23. あなたは市内の民間施設が高齢者や障がい者などに配慮されていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 24. あなたは本市では高齢者や障がい者などの交通弱者にとって必要な移動手段が確保されていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 25. あなたがお住まいの地域では、地域での住民相互の支え合いなどによる福祉活動が活発に行われていると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 26. あなたのここ数週間の健康状態はいかがですか。(○は1つ)

1. 健康である
2. 健康な方である
3. あまり健康ではない
4. 健康ではない

問 27. あなたは健康増進のために日頃から取り組んでいることがありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない

問 28. あなたはこの一年間に、健康診査（がん検診、人間ドックを含む）を受けましたか。(○は1つ)

1. 受けた
2. 受けなかった

【75 歳以上の方だけにおたずねします。】

問 29. 医療機関が行う健康診査（個別健診）のほかに、本市が行う健康診査（集団健診）があれば、そちらを利用したいですか。(○は1つ)

1. 利用したい
2. 利用しなくてよい

問 30. あなたは日頃から災害に対する備えをしていますか。以下の項目について、「はい」か「いいえ」のいずれかを選んでください。(○はそれぞれ1つずつ)

- ① 3日分程度の食料・飲料の備蓄をしている。
1. はい 2. いいえ
- ② 避難場所を知っている。
1. はい 2. いいえ
- ③ 警戒レベル3 高齢者等避難などの災害情報の入手方法を知っている。
1. はい 2. いいえ
- ④ 家具の転落・転倒防止策をとっている。
1. はい 2. いいえ

問 31. あなたは消防団という団体の活動内容を知っていますか。(○は1つ)

1. 活動内容をよく知っている
2. 活動内容を一部知っている
3. 活動内容は知らないが、消防団があることは知っている
4. 消防団があることを知らない

問 32. あなたは市内に住むうえで防犯の面で安心していますか。(○は1つ)

1. 安心している
2. どちらかといえば安心している
3. どちらかといえば不安である
4. 不安である

問 33. あなたやあなたの家族が、この1年間に架空請求・不当請求や不適正な取引行為(点検商法やキャッチセールス等)の被害を受けたり、被害にあいそうな不安を感じたことがありますか。(○は1つ)

1. 被害を受けた
2. 直接の被害はないが不安を感じた
3. 特になかった

問 34. あなたやあなたの家族が、この1年間に人権を侵害されたことがありますか。(○は1つ)

1. ある
2. ない

問 35. あなたは市内で同和問題をはじめ、あらゆる人権が尊重されていると思いますか。(○は1つ)

1. 尊重されている
2. どちらかといえば尊重されている
3. どちらかといえば尊重されていない
4. 尊重されていない

問 36. あなたは「男は仕事、女は家庭」というように、性別によって固定化された役割分業の考え方にどの程度同感しますか。(○は1つ)

1. 同感する
2. ある程度同感する
3. あまり同感しない
4. 同感しない

問 37. 配偶者（元配偶者も含む）や交際相手からDVを受けた経験がある場合、どこ（誰）かに相談をしましたか。[※DVには身体的・精神的・性的・経済的な暴力を含む]（○は1つ）

1. 相談した
2. どこ（誰）にも相談しなかった
3. DVを受けたことはない

問 38. あなたは日頃から自発的に学習に取り組んでいますか。（○は1つ）

1. ほぼ毎日取り組んでいる
2. 週に1回程度取り組んでいる
3. 月に数回程度取り組んでいる
4. 年に数回程度取り組んでいる
5. ほとんど取り組んでいない

問 39. あなたは運動・スポーツをどれくらいの頻度で行っていますか。（○は1つ）

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に3回程度行っている
3. 週に1回程度行っている
4. 月に数回程度行っている
5. 年に数回程度行っている
6. ほとんど行っていない

問 40. あなたは日頃から文化芸術活動（鑑賞、参加等を含む）をしていますか。（○は1つ）

1. ほぼ毎日行っている
2. 週に1回程度行っている
3. 月に数回程度行っている
4. 年に数回程度行っている
5. ほとんど行っていない

問 41. あなたがお住まいの地域では環境マナー（ごみ出しのマナー、ごみのポイ捨て、犬・猫の飼い方、雑草など空き地の管理、近隣騒音など）が守られていると思いますか。（○は1つ）

1. 守られている
2. ある程度守られている
3. あまり守られていない
4. 守られていない

問 42. あなたは地域一斉清掃活動などの地域の美化活動に参加していますか。（○は1つ）

1. いつも参加している
2. たまに参加している
3. 参加していない

問 43. あなたは市内の自然は豊かと感じますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. ややそう思う
3. あまりそう思わない
4. そう思わない

問 44. あなたは市内で、野鳥や昆虫、水辺の生き物等を観察したり、ふれあう場所がありますか。(○は1つ)

1. 観察したり、ふれあう場所があり、満足している
2. 観察したり、ふれあう場所がわからない
3. 観察したり、ふれあう場所がなく、不満に思う

問 45. あなたは日頃から、生ごみの堆肥化に取り組んでいますか。(○は1つ)

1. 取り組んでいる
2. とときどき取り組んでいる
3. あまり取り組んでいない
4. 取り組んでいない

問 46. あなたは、不要な紙類(新聞紙・雑誌及び雑紙・ダンボール)及び古布の資源回収を利用していますか。(○は1つ)

1. いつも利用している
2. たまに利用している
3. 利用していない

問 47. あなたは日頃から、省エネルギー・省資源の活動(節電・節水や、エコバックや簡易包装をこころがけるなど)を行っていますか。(○は1つ)

1. 行っている
2. ある程度行っている
3. あまり行っていない
4. ほとんど行っていない

問 48. あなたはこの1年間で、環境に関する学習会や講演会、イベントに参加したことがありますか。(○は1つ)

1. 年に2回以上参加した
2. 年に1回程度は参加した
3. 参加したことはない

問 49. あなたは市内の歴史的な景観は美しいと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 50. あなたがお住まいの地域は、良好なまちなみだと思いませんか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 51. あなたがお住まいの地域は、道路や公園などの都市基盤が整えられるなど、快適で住環境がよいところだと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 52. あなたは商店や学校、病院等が周辺にあり、生活するうえで便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 53. あなたは市内のバスは便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. バスを利用しないのでわからない

問 54. 市内のバスの中でコミュニティバス「まほろば号」についておたずねします。あなたはまほろば号をどの程度の頻度で利用しますか。(○は1つ)

1. 週5日以上
2. 週3～4日
3. 週1～2日
4. 月2～3日
5. 年2～3日
6. 利用しない

問 55. まほろば号は運行費用を運賃収入(年間約5千万円)と本市の財政負担(年間約1億5千万円)で運行しており、一律運賃100円でご利用いただいています。あなたは運賃や利便性についてどのように思いますか。(○は1つ)

1. 現行の運賃、財政負担、利便性のままで良い。
2. 運賃を値下げし、財政負担を増やす方が良い。
3. 運賃を値上げし、財政負担を減らす方が良い。
4. 運賃を値上げし、利便性を高める方が良い。
5. まほろば号を利用しないのでわからない。

問 56. あなたは市内の鉄道は便利だと思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. 鉄道を利用しないのでわからない

問 57. あなたは市内の道路全般について、円滑に移動できると思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない
5. わからない

問 58. あなたは日頃、どのような手段で外出しますか。(2つ以上あるときは主なもの1つ)

- | | |
|---------|--------------------------------|
| 1. 徒歩 | 5. コミュニティバス(まほろば号) |
| 2. 自転車 | 6. 路線バス |
| 3. 自家用車 | 7. タクシー |
| 4. 鉄道 | 8. その他() |

問 59. あなたは日頃、主にどこで買い物していますか。(○は1つ)

- | | |
|---------|----------------|
| 1. 太宰府市 | 5. 大野城市 |
| 2. 福岡市 | 6. 那珂川市 |
| 3. 筑紫野市 | 7. 宇美町 |
| 4. 春日市 | 8. 1 から7以外の市町村 |

問 60. あなたは市内の歴史・文化遺産を誇りに思いますか。(○は1つ)

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 61. あなたは本市の日本遺産や市民遺産についてご存知ですか。(○は1つ)

1. 両方知っている
2. 日本遺産については知っている
3. 市民遺産については知っている
4. どちらも知らない

問 62. あなたは市内に多くの観光客が訪れることについて、どのように思いますか。(○は1つ)

1. 地域の活気や発展につながり、好ましいと思う
2. どちらかといえば好ましいと思う
3. どちらかといえば好ましくないと思う
4. ごみや渋滞などが発生し、好ましくないと思う

問 63. あなたは今後の本市の観光に何が必要だと思いますか。(○はいくつでも)

- | | | | |
|---------|----------|-----------|-----------|
| 1. 宿泊施設 | 3. 駐車場整備 | 5. 道路整備 | 7. PR |
| 2. 飲食施設 | 4. 特産品 | 6. 市内交通機関 | 8. その他() |

問 64. あなたは本市が^{フ ョ グン}大韓民国扶餘郡と姉妹都市を、奈良県奈良市と宮城県多賀城市および大分県中津市とは友好都市をそれぞれ締結していることをご存じでしたか。(○はいくつでも)

1. 扶餘郡との姉妹都市締結は知っていた
2. 奈良市との友好都市締結は知っていた
3. 多賀城市との友好都市締結は知っていた
4. 中津市との友好都市締結は知っていた
5. どれも知らなかった

問 65. あなたは自治会活動及び小学校区自治協議会活動に参加していますか（○は1つ）

1. 参加している
2. どちらかといえば参加している
3. どちらかといえば参加していない
4. 参加していない

問 66. あなたは自治会活動以外（問 65 以外）のボランティア活動に参加していますか。（○は1つ）

1. 参加している
2. どちらかといえば参加している
3. どちらかといえば参加していない
4. 参加していない

問 67. あなたは市民と行政とがお互いに情報を共有できていると思いますか。（○は1つ）

1. そう思う
2. どちらかといえばそう思う
3. どちらかといえばそう思わない
4. そう思わない

問 68. あなたは「広報だざいふ」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市ホームページ」を見たりしていますか。（○はそれぞれ1つ）

広報だざいふ	太宰府市ホームページ
1. いつも読んでいる	1. いつも見ている
2. たまに読んでいる	2. たまに見ている
3. ほとんど読まない	3. ほとんど見ていない
4. 読まない	4. 見たことがない

問 69. あなたは「太宰府市議会だより」を読んだり（パソコン、タブレット、スマートフォンでの閲覧を含む）、「太宰府市議会ホームページ」を見たりしていますか。（○はそれぞれ1つ）

太宰府市議会だより	太宰府市議会ホームページ
1. いつも読んでいる	1. いつも見ている
2. たまに読んでいる	2. たまに見ている
3. ほとんど読まない	3. ほとんど見ていない
4. 読まない	4. 見たことがない

問 70. 最後にまちづくりについてご意見などがありましたら、お聞かせください。《自由意見欄》

貴重なご意見をありがとうございました。

今後も、市政へのご理解ご協力をお願いいたします。

ご記入が済みましたら、
同封の返信用封筒（切手不要）に入れて、
2月24日（木）までに投函してください。



太宰府まちづくり市民意識調査 報 告 書

編集・発行 太宰府市 総務部 経営企画課
〒818-0198
福岡県太宰府市観世音寺一丁目1番1号
TEL 092-921-2121
FAX 092-921-1601